学　生　便　覧

令和７年度
2025年度

京都大学大学院文学研究科
京　都　大　学　文　学　部

2025年度（令和7年度）授業日カレンダー

2025 年

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2026 年

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 授業日(通常)　● 試験期間　● フィードバック期間　● 集中講義期間
- ○… 本来の曜日と異なる授業を行う日　7月17日(木),10月15日(水),11月6日(木）→　月曜日授業
- □… 休講等による振替授業等実施可能日・・・7月18日(金),1月21日(水),1月22日(木)
- 創立記念日… 6月18日(水)
- 11月祭による授業休止日… 11月21日(金)～25日(火)[予定]

＜授業時間＞

1時限	8：45～10：15
2時限	10：30～12：00
3時限	13：15～14：45
4時限	15：00～16：30
5時限	16：45～18：15

＜教務掛窓口＞

平日：9時～17時　(土・日・祝日，創立記念日(6月18日)，8月第3週目の月・火・水，12月29日～1月3日は休止。)
夏季休業及び年度末,11月祭期間等，平日で授業の無い日は，昼休み（12時～13時）閉室。
その他，入試等により臨時休止することがある。（予め掲示で周知する。）

＜学生への連絡＞

休講，呼出等はすべてKULASIS（京都大学教務情報システム）で行うため，見なかったことによる不利益等を
受けることがないよう，各自が注意すること。

＜学生からの問い合わせ＞

授業等に関する問い合わせは，文学部教務掛窓口で直接行ってください。電話による問い合わせには原則応じられません。

2025(令和7)年度　文学部・文学研究科行事予定表

2025年度	曜日	学　　部	大　　学　　院
2025. 4. 1	火	前期始まり	
2	水	新入生健康診断、　救命救急講習	
7	月	入学式 9:30（みやこめっせ） 文学部新入生ガイダンス 13:00（文学部校舎第３講義室）	入学式 14:00（みやこめっせ） 文学研究科新入生ガイダンス 16:00（文学部校舎第３講義室）
8	火	前期授業開始	MC1 研究題目・研究計画届及び希望指導教員届提出（4/8～4/11） DC1 研究題目・研究計画届及び希望指導教員届提出（4/8～4/11） DC2・3 研究題目・学修及び研究計画届提出（4/8～4/11）
10	木	２回生～４回生健康診断＜注１＞	
11	金		
			JD専攻 修士論文題目提出（4月中旬）
16	水	科目等履修生・聴講生・研究生健康診断＜注１＞	大学院生健康診断＜注１＞
17	木	KULASIS履修登録期間（4/17～4/18）	
18	金		
23	水	KULASIS履修登録確認・修正期間（4/23～4/24）	
24	木		
28	月	履修登録確定（通年･前期科目）（4/28　17時）	
6. 2	月	履修取消期間（6/2～6/3）	
3	火		
6. 13	金		
18	水	創立記念日	MC（夏期）入学願書受付（6/13～6/19 16:00）
19	木		
7. 9	水		DC3 課程博士論文資格申請書提出（前期）（7/9～7/11）
11	金		
			JD専攻 修士論文提出（7月中旬）
17	木	**文学部・文学研究科専門科目：月曜日の授業実施日＜注４＞**	
18	金	**休講等による授業実施可能日**	
22	火	前期授業終了	
			JD専攻 修士論文試問（7月下旬）
23	水	試験期間（7/23～7/29）＜注２＞	
29	火		
30	水	レポート提出（7/30～8/1 12:00）	
8. 1	金		
4	月	フィードバック期間（7/30～8/5）	MC(夏期)入学 第一次試験（8/4）
5	火		MC(夏期)入学 第一次試験合格者発表（8/5）
6	水		MC(夏期)入学 第二次試験（8/6）
7	木	京都大学オープンキャンパス	MC(夏期)入学 合格者発表（8/7）
12	火	夏季一斉休業日（8/12～8/13）	
13	水		
18	月	集中講義（8/18～8/22）＜注３＞	
22	金		
25	月	集中講義（8/25～8/29）＜注３＞	
29	金		
9. 1	月	集中講義（9/1～9/5）＜注３＞	夏季休業（8/6～9/30）
5	金		
8	月	集中講義（9/8～9/12）＜注３＞	
12	金		
20	土	キャリアガイダンス（予定）	
24	水	１回生系分属・研究室ガイダンス（全体）	
25	木	２回生専修分属ガイダンス（各専修）（9/25～9/30）	
30	火	前期終わり	
10. 1	水	後期始まり･後期授業開始	
		１・２回生（１次）志望分属届提出（9/24～10/1）	DC1 博士論文作成計画書提出（10/1～10/3）
3	金		
8	水		
10	金	２回生（１次）専修分属選考実施・結果報告（10/8～10/10）	KULASIS履修登録期間（10/10～10/14）
14	火		
15	水	**文学部・文学研究科専門科目：月曜日の授業実施日＜注４＞**	卒業論文題目提出（10/15～10/17）
16	木	２回生（２次）志望分属届提出（10/15・10/16）	修士論文題目提出（10/15～10/17）
17	金		
20	月		KULASIS履修登録確認・修正期間（10/17～10/20）
22	水	履修登録確定（後期科目）（10/22 17時）	
23	木		
27	月	２回生（２次）専修分属選考実施・結果報告（10/23～10/27）	

2025年度	曜日	学　　部	大　　学　　院
11. 6	木	新２・３回生分属決定 **文学部・文学研究科専門科目：月曜日の授業実施日＜注４＞**	
10	月	新２・３回生分属（決定）掲示（予定）	
21	金	１１月祭（授業休止）	
25	火		
12. 1	月	履修取消期間（12/1～12/2）	DC3 課程博士論文資格申請書提出（後期）（12/1～12/3） DC3 課程博士学位論文提出（年度内学位取得希望者最終期限）
2	火		
3	水		
13	土	特色入試第２次選考	
9	火		MC入学・DC編入学願書受付（12/9～12/15 16:00）
15	月		
26	金	１２月授業終了	
2026. 1. 5	月	１月授業開始	DC編入学論文受付、修士論文・DC進学願提出（1/5・1/6 16:00）
6	火	卒業論文提出（1/5～1/7 16:00）	DC3 研究報告提出（1/5・1/6）
7	水		MC入学論文受付（1/5～1/7 16:00）
8	木	専修変更願提出（1/7～1/8）	
16	金	**大学入学共通テスト前日授業休止＜注５＞**	
17	土	大学入学共通テスト（1/17・18）	
18	日		
21	水	**休講等による授業実施可能日**	
22	木	**休講等による授業実施可能日**	
26	月	後期授業終了	
27	火	試験期間（1/27～2/2）＜注２＞	
29	木		レポート提出（1/27～1/29 12:00）
2. 2	月		
3	火	試験フィードバック期間（2/3～2/9）	修士論文試問（2/3～2/5）
5	木		
6	金		
9	月	学士入学・科目等履修生・聴講生・願書（継続）受付 （2/6～2/16）＜注7＞	MC入学・DC編入学 第一次試験（2/9）＜注６＞
10	火		MC入学・DC編入学 第一次試験合格者発表（2/10）
12	木		MC入学・DC編入学 第二次試験（2/12）
13	金		MC入学・DC編入学 合格者発表（2/13）（予定）
16	月		
25	水	学部入学試験（前期日程）（2/25・2/26）＜注６＞	
26	木		
3. 2	月	学士入学試験 9:00（予定）＜注７＞	DC1 研究報告書提出（3/2・3/3） DC2 研究報告書提出（3/2・3/3）
3	火	科目等履修生・聴講生入学試験 9:00（予定）＜注７＞	
上旬		学部入学試験合格者決定・学士入学・科目等履修生・聴講生合格者決定＜注７＞	
中旬		学部・大学院（卒業･修了・研究指導）認定	
23	月	卒業式 10:00（みやこめっせ）	大学院学位授与式 14:00（みやこめっせ）
31	火	後期終わり	

注　1 健康診断を指定日に受検できない場合は4月8日（火）から4月17日（木）の間に受検すること。
2 試験の日程はKULASISに掲載する。
3 集中講義の日程は後日掲示する。
4 7月17日(木)、10月15日（水）、11月6日（木）の文学部・文学研究科専門科目の授業は月曜日の授業を行う。
5 大学入学共通テスト前日（1月16日(金)）は、準備のため授業休止。
6 大学院入学試験（第１次）、学部入学試験の前日（土日の場合は金曜日）及び当日は教務掛窓口は休止する。
7 学士入学・科目等履修生・聴講生・願書（継続）受付、入学試験、合格発表の日程は変更することがある。
8 予定の詳細、変更等はKULASIS等により周知する。

学 生 便 覧 目 次

Ⅰ　文学部

１．京都大学文学部の理念と目標に関する内規 …… 1

２．京都大学文学部教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）…… 2

３．京都大学文学部学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー)…… 3

４．京都大学文学部卒業論文評価基準 …… 4

５．授業関係 …… 5

(1)　文学部専門課程専修別単位表 …… 5

履修上の注意事項 …… 5

学士の学位取得に必要な単位 …… 7

文学部人文学科コースツリー …… 10

人文学科単位表 …… 11

(2)　履修登録について …… 20

(3)　試験・成績について …… 20

(4)　卒業論文の提出について …… 24

(5)　令和７年度文学部開講科目一覧 …… 25

(6)　文学部講義題目（シラバス）について …… 50

(7)　全学共通科目の履修について …… 51

Ⅱ　文学研究科

1.　京都大学大学院文学研究科の理念と目標に関する内規 …… 54

2.　京都大学大学院文学研究科教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）…… 55

文学研究科修士課程 …… 55

文学研究科博士後期課程 …… 56

3.　京都大学大学院文学研究科学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）…… 57

文学研究科修士課程 …… 57

文学研究科博士後期課程 …… 58

4.　京都大学大学院文学研究科学位論文に係る評価基準 …… 59

京都大学　大学院文学研究科　修士課程カリキュラム …… 60

京都大学　大学院文学研究科　博士後期課程カリキュラム …… 61

5.　授業及び論文関係 …… 62

(1)　文学研究科の授業，研究指導及び学修方法に関する申合せ事項 …… 62

大学院修士課程単位表 …… 62

(2)　履修登録について …… 64

(3)　試験・成績について …… 65

(4)　修士論文の提出について …… 66

(5)　京都大学大学院文学研究科課程博士論文提出の手続 …… 67

(6)　京都大学大学院文学研究科課程博士論文執筆要綱 …… 73

(7)　令和７年度文学研究科開講科目一覧 …… 75

(8)　文学研究科講義題目（シラバス）について …… 95

(9)　国際高等教育院が開講する大学院共通科目について …… 96

(10)　奈良女子大学との学生交流について …… 97

(11)　東京大学との学生交流について …… 97

(12)　フランス社会科学高等研究院とのダブルディグリー（単一論文型）について …… 97

(13)　再入学について …… 97

Ⅲ　学生生活
1.　教務掛窓口及び学生への連絡について …… 98
2.　KULASIS（クラシス）―京都大学教務情報システム―について …… 99
3.　各種証明書の発行について……100
4.　各種届出について……101
5.　キャンパス・ハラスメントについて……103
6.　学生相談センター ……105
7.　文学研究科・文学部相談室 ……107
8.　京都大学文学部・文学研究科　性の多様性に関わるガイドライン（学生版）……108
Ⅳ　各種資格
1.　教育職員免許状の取得について ……112
2.　学芸員となる資格取得について ……115
3.　図書館司書・学校図書館司書教諭となる資格の取得について ……116
4.　公認心理師となる資格の取得について……118
Ⅴ　規程等
1.　京都大学通則……120
2.　京都大学文学部規程 ……138
3.　京都大学大学院文学研究科規程 ……141
4.　系及び専修に関する内規……143
5.　図書 ……145
(1)　京都大学文学研究科図書館利用規則 ……145
(2)　京都大学文学研究科図書館利用施行細則……150
(3)　文学研究科所蔵特殊文庫 ……153
6.　京都大学における災害等に伴う休講等の措置等に関する取扱要項 ……155
Ⅵ　その他
1.　教員名簿 ……158
名誉教授 ……158
元教授　……160
文学研究科 ……161
文学部 ……165
非常勤講師 ……167
学内教員 ……172
2.　建物配置図 ……176
文学部校舎　館内地図 ……177
文系学部校舎　館内地図 ……178
総合研究２号館　館内地図 ……179
人文科学研究所本館（総合研究４号館）　館内地図……180
3.　講義室設備一覧 ……181
4.　連絡先 ……182
5.　京大以文会規約 ……183

1．京都大学文学部の理念と目標に関する内規

平成 21 年 1 月 15 日　文学研究科・文学部教授会決定
平成 27 年 12 月 17 日　文学研究科・文学部教授会改定

1. 京都大学文学部は、京都大学創立以来の自由の学風を継承し、他の学問分野との調和や融合をはかりながら、哲学・歴史学・文学・行動科学の各分野における最高水準の研究に基づく教育を推進し、その成果を通じて人類の調和ある共存に貢献する。
2. この目的を達成するために、以下の目標を定める。
   (1) 京都大学文学部は、人間の諸活動の原理的な解明と、絶えず変化する環境のなかでその諸活動が有する価値を問い直すことを通じて、哲学・歴史学・文学・行動科学に関わる学術を教授する。
   (2) 京都大学文学部は、人類の文化の継承と調和ある共存に寄与し、深い専門知識と広い教養を具え、知の創造の担い手となり、かつ倫理性にも優れた学生を育成する。
   (3) 京都大学文学部は、地域密着的な視点と地球規模の広角的視点の両面から、京都・日本・アジアに固有の知的遺産の維持・継承・発展に寄与すると同時に、人類の文化全般についての多元的・総合的探求を推進する。
   (4) 京都大学文学部は、地域連携と国際交流の強化を通じて、教育の成果を広く社会に還元する。
   (5) 京都大学文学部は、人権を尊重し、環境に配慮した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。

２．京都大学文学部教育課程編成・実施の方針
（カリキュラム・ポリシー）

平成 22 年 3 月 15 日　文学研究科・文学部教授会決定
平成 27 年 12 月 17 日　文学研究科・文学部教授会改定
平成 28 年 12 月 15 日　文学研究科・文学部教授会決定
平成 31 年 3 月 7 日　文学研究科・文学部教授会決定

学士課程

京都大学文学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、次のように教育課程を編成し、実施する。

1. 文学部の学生は、幅広い学問分野に触れ、全人的な教養を身につけるために、全学共通科目の各群の科目を学士課程の四年間で履修する。
2. 二回生への進学時に系に分属し、専門分野に進む準備をするために、系共通講義、語学、基礎演習、講読などを履修する。これにより行動科学を含む広義の人文学に関わる基礎的な学識を培うとともに、専門分野についての概観を得る。また英語に限らず多様な言語を学ぶことで、豊富な原典資料や先行研究に基づき、国際的な文脈で分析、議論を行うための言語学的な基盤を築く。
3. 専門分野の学問を体系的かつ専門的に深く学び、問題を発見する力を涵養するため、三回生への進学時に専修に分属し、演習や特殊講義を履修する。
4. 専修における教育には、京都大学の教育理念「対話を根幹とした自学自習」に基づいた演習や実習などの参加型授業が設けられる。その授業に積極的に参加し、原典や一次資料の精読や分析・検討などを行う。少人数の対話型演習における原典や一次資料の精読や分析・検討などに参加することで、読解力および思考力を高めるとともに、他学生との議論や発表などを通じて問題を整理し解決する能力を涵養する。
5. 卒業年次に卒業論文の提出が課される。卒業論文の構想と執筆を通じ、自ら問題を発見し、それを批判的に検討した上で解決に導く能力を磨く。このために学生は、学士課程において培った問題探求能力、分析能力、表現能力を活かし、学修の集大成とするため、教員の指導のもと、自ら論文のテーマを主体的に設定し、卒業論文を完成する。
6. 以上の学修課程を通じて、人文学に広い教養と深い専門知識を具え、人類の文化の継承と調和ある発展に指導的に寄与できる資質とともに、強固な責任感と高い倫理性を身につける。

開講科目はシラバスや学生便覧に成績評価のあり方等を明示する。学修成果は、筆記試験、レポート試験、演習への積極的な参加等から評価するが、評価は、科目の特性に応じて公正かつ的確に実施する。

３．京都大学文学部学位授与の方針
（ディプロマ・ポリシー）

平成 22 年 3 月 15 日　文学研究科・文学部教授会決定
平成 27 年 1 月 22 日　文学研究科・文学部教授会改定
平成 28 年 12 月 15 日 文学研究科・文学部教授会決定
平成 31 年 3 月 7 日　文学研究科・文学部教授会決定

学士課程

京都大学文学部は、人間の諸活動の原理的な解明とその諸活動が有する価値を問い直すことを通じて、行動科学を含む広義の人文学に関わる学術を教授することを教育理念の根幹としています。この理念に基づき、広い教養と深い専門知識を具え、人類の文化の継承と調和ある発展に寄与するとともに、倫理性にも優れた学生を育成することを教育目標とします。

この教育目標にそって設定された授業科目を履修し、所定の年限在学し、所定の単位数を修得した者に、学士の学位を与えます。

学士課程卒業にあたっては、以下の点に到達していることが求められます。

1. 人文学に関わる基礎的学識を有し、その専門領域としての諸学問について深い理解力をもち、また学修成果を卒業論文として集大成できる問題探求能力、分析能力、表現能力を身につけている。
2. 人文学に関わる課題について、問題を発見し解決する力を具え、創造的に取り組むことができる。
3. 人文学の意義と重要性を理解し、強固な責任感と高い倫理性をもって、その発展に貢献することができる。
4. 自由で批判的な精神と良識、および多様な文化に対する理解能力と優れたコミュニケーション能力を具え、人類が直面する課題を直視し、社会からの要請に対して自らが修得した知識と能力がどのように生かせるのかを常に自覚し、問題の解決に積極的に寄与することができる。

４．京都大学文学部卒業論文評価基準

平成 29 年 1 月 19 日　文学研究科・文学部教授会決定

京都大学文学部では、学修の集大成として卒業論文を完成し、卒業年次に提出することを学生に課している。卒業論文の審査にあたっては、「学位授与の方針」を踏まえて、以下の基準に基づいて総合的に判断する。

１．当該専門領域に関する基礎的知識に基づき、また問題に関する深い理解の上で学術的意義のある研究主題が適切に設定されていること。
２．研究対象の分析と検討が着実に遂行され、議論が明晰に表現されていること。
３．結論が論理的に導き出されており、一定の独創性が認められること。
４．資料や先行研究が適切に取り扱われていること。

5．授　業　関　係

(1)　文学部専門課程専修別単位表

本学部における各専修の卒業に必要な単位は人文学科単位表(P. 11〜)のとおりである。

履修上の注意事項

○カリキュラムの編成や科目履修に関しては，学部・系・専修において実施されるガイダンスを必ず受けること。
○単位の認定は履修した科目の成績によって認定する。履修登録していない授業科目の単位は認定しない。
○全学共通科目及び1・2回生に配当された学部科目（次ページの「学士の学位取得に必要な単位」を参照）は，2回生までに履修し，所定の単位を修得しておくことが望ましい。また，3回生以上においては，専修単位で行われる履修指導に従って，計画的に学部科目を履修し，4回生では，十分な時間を卒業論文の作成に当てなければならない。
○必修科目は各専修の専門Ⅰ，Ⅱ，Ⅲから所定の科目及び単位を修得する。必修科目の所定の単位を超えた単位は自由選択科目の単位に算入する。
○自由選択科目は文学部全体の科目（文学部共通科目の博物館学，書道，英語（平成29年度までの開講科目）を除く）から選択することができる。
○他専修との共通科目については，履修登録した専修の科目として単位認定されるので，履修登録した専修以外の科目として変更することはできない。
なお，他学部・全学共通科目との共通科目についても同様の取扱いとする。
○学部規程第6条に定める他学部の学部科目の履修については，専修主任教員の承認を得ること。
なお，他学部で修得した単位は，卒業に必要な単位として認定しない。
○履修について不明な点があるときは必ず事前に教務掛まで問い合わせること。
○系ゼミナール(学部共通科目)については4単位まで卒業に必要な単位として認定する。
○平成27年度以前に入学した学生を対象としたカリキュラムが適用される学生が，文学研究科・文学部が開講する専門科目の語学を履修し，単位を修得した場合には，シラバス記載単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入される。

履修上の例外規則等

○講義科目・語学（初級）科目以外の科目（特殊講義・演習・実習・語学等の科目）については，同一科目（同一の科目コード）を複数回履修した場合，それぞれを卒業に必要な単位として認定する。ただし，以下の科目は除く（２回目以降は増加単位となる。）
・「地理学演習ⅠA」，「地理学演習ⅠB」，「地理学演習ⅡA」，「地理学演習ⅡB」，「地理学実習Ⅰ」，「地理学実習Ⅱ」
・「基礎現代文化学基礎演習Ⅱ」，「基礎現代文化学基礎演習ⅡA」，「基礎現代文化学基礎演習ⅡB」

○同一科目（同一の科目コード（※））の講義科目及び語学科目（初級）を複数回履修した場合，成績の最も良い1科目を卒業に必要な単位として認定する。ただし，以下については例外とするので十分留意すること。※開講科目一覧記載の７桁の講義コードの上４桁分が科目コードです。

☆以下の科目は修得したすべての単位を卒業に必要な単位として認定する。
・平成26年度以降に修得した西洋哲学史専修（近世）が開講している講義科目
・次の専修が開講している講義科目　：（４単位科目）国語学国文学専修　（２単位科目）西洋古典学専修，ドイツ語学ドイツ文学専修，情報･史料学専修

☆科目コードは異なるが以下の科目は同一科目として取り扱う。

≪平成 30 年度以降開講科目≫　　≪平成 25 年度～平成 29 年度開講科目≫

・科目コード **7113** 心理学（発達心理学）講義 IId　⇔ 科目コード **7108** 心理学講義 IId
・科目コード **7114** 心理学（学習・言語心理学）講義 Kb ⇔ 科目コード **7111** 心理学講義 Kb
・科目コード **7115** 心理学（知覚・認知心理学）講義 Kc ⇔ 科目コード **7112** 心理学講義 Kc

≪平成 31 年度以降開講科目≫　　≪平成 26 年度～平成 30 年度開講科目≫

・科目コード **8407** 現代史学 講義 I ⇔ 科目コード **8402** 現代史学講義
・科目コード **8408** 現代史学 講義 II ⇔ 科目コード **8404** 現代史学講義

≪平成 30 年度以降開講科目≫　　≪平成 29 年度～平成 9 年度開講科目≫

・科目コード **8645** 基礎現代文化学基礎演習ⅡA
・科目コード **8646** 基礎現代文化学基礎演習ⅡB
⇔ 科目コード **8442** 基礎現代文化学基礎演習Ⅱ

≪令和 3 年度以降開講科目≫　　≪平成 8 年度～令和 2 年度開講科目≫

・科目コード **7403** 地理学講義 I
・科目コード **7404** 地理学講義Ⅱ
⇔ 科目コード **7401** 地理学講義

≪令和 3 年度以降開講科目≫　　≪平成 28 年度～令和 2 年度開講科目≫

・科目コード **9673** スペイン語（初級）I
・科目コード **9674** スペイン語（初級）Ⅱ
⇔ 科目コード **9622** スペイン語（初級）

≪令和 3 年度以降開講科目≫　　≪平成 28 年度～令和 2 年度開講科目≫

・科目コード **9675** イタリア語（初級 4 時間コース）I
・科目コード **9676** イタリア語（初級 4 時間コース）Ⅱ
⇔ 科目コード **9606** イタリア語（初級 4 時間コース）

≪令和 4 年度以降開講科目≫　　≪平成 8 年度～令和 3 年度開講科目≫

・科目コード **5402** 倫理学講義 A
・科目コード **5403** 倫理学講義 B
⇔ 科目コード **5401** 倫理学講義

≪令和 6 年度以降開講科目≫　　≪平成 28 年度～令和 5 年度開講科目≫

・科目コード **9682** アラブ語（初級）I
・科目コード **9683** アラブ語（初級）II
⇔ 科目コード **9604** アラブ語（初級）

≪令和 7 年度以降開講科目≫　　≪令和 6 年度開講科目≫

科目コード **9684** ブルガリア語（初級）　⇔
・科目コード **9678** ブルガリア語（初級 I）
・科目コード **9679** ブルガリア語（初級 II）

≪令和 7 年度以降開講科目≫　　≪平成 28 年度～令和 6 年度開講科目≫

・科目コード **9688** シュメール語（初級 I）
・科目コード **9689** シュメール語（初級 II）
⇔ 科目コード **9620** シュメール語（初級）

≪令和 7 年度以降開講科目≫　　≪平成 8 年度～令和 6 年度開講科目≫

・科目コード **5102** 哲学講義
・科目コード **5104** 哲学講義
⇔ 科目コード **5101** 哲学講義

○ギリシア語等の 2 時間コースと 4 時間コースは同一科目として取扱う。

2 時間コースと 4 時間コースの両方の単位を修得した場合，4 時間コースの単位を卒業に必要な単位として認定する。

ただし，令和 2 年度以降開講科目である「ギリシア語（初級Ⅰ）」，「ギリシア語（初級Ⅱ）」，「ラテン語（初級Ⅰ）」，「ラテン語（初級Ⅱ）」については 2 時間コースと同様に扱い，当該科目と 4 時間コースの両方の単位を修得した場合，4 時間コースの単位を卒業に必要な単位として認定する。

○学士の学位取得に必要な単位

【平成 27 年度入学者対象】

全学共通科目（詳細は，全学共通科目履修の手引きの文学部ページを参照。）

人文・社会科学系科目群
自然・応用科学系科目群
現代社会適応科目群
拡大科目群[注2]
外国語科目群[注3]

36 単位以上[注1・4]
16 単位以上

52 単位以上

学部科目　88 単位以上（詳細は，次ページ以降の「人文学科単位表」を参照。）

140 単位以上

注 1　ただし，人文・社会科学系科目群 8 単位以上，自然・応用科学系科目群 6 単位以上

注 2　大学コンソーシアム京都単位互換科目を含む。

注 3　英独仏中露伊西朝ア※のうちから英独仏いずれか一つを含め，2 か国語それぞれ 8 単位以上，計 16 単位以上。　ア※:アラビア語の履修は，平成 26 年度入学者から認める。
英語を履修する場合，8 単位のうち 2 単位については，**「文学部英語 A」および「文学部英語 B」を各 1 単位ずつ**修得しなければならない。
なお，英語以外は初級 4 単位以上，中・上級 4 単位以上を修得しなければならない。
※「フランス語Ⅰ(8H コース)」は，16 単位のうち 4 単位のみ，「ドイツ語Ⅰ(6H コース)」，「ドイツ語Ⅱ(6H コース)」，「フランス語Ⅱ(6H コース)」は，12 単位のうち 4 単位のみ，卒業に必要な単位として認定する。

注 4　全学共通科目の履修登録単位数の上限は，1 開講期につき 30 単位とする。ただし，集中講義は履修登録単位数の上限には含まれない。なお，通年科目については，総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされる。

※「文学部英語 A」・「文学部英語 B」は 2 科目 2 単位のみ卒業に必要な単位として認定され，原則として各自の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修しなければならないが，修得後に他系の専修に分属した場合，あらたに履修しなおす必要はない。「文学部英語 A」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）A-E1」を，「文学部英語 B」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）B-E1」を履修し，単位を修得すること。但し，平成 27 年度以前入学者が単位を修得した場合，単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められる。

※基礎教育科目（詳細は，次ページ以降の「全学共通科目の履修について」を参照。）は全学共通科目として履修登録するが，単位を修得した場合，文学部の学部科目（自由選択）として認定する。
ただし，全学共通科目の必要単位が不足している場合，所定の手続きを経て，全学共通科目 A 群（平成 24 年度以前入学者）あるいは人文・社会科学系科目群（平成 25～27 年度入学者）に変更することができる。手続期間は，4 月初旬及び 10 月初旬のみ。詳細は，文学部教務掛関係掲示板に掲示する。

【平成 28～平成 31 年度（2019 年度）入学者対象】

全学共通科目（詳細は，全学共通科目履修の手引きの文学部ページを参照。）

- 人文・社会科学科目群
- 自然科学科目群
- 情報学科目群
- 健康・スポーツ科目群
- キャリア形成科目群
- 統合科学科目群
- 少人数教育科目群

英語を選択する：44 単位以上[注1]

英語を選択しない：36 単位以上[注1]

外国語科目群[注2]　英語を選択する：24 単位以上

英語を選択しない：32 単位以上

68 単位以上[注3]

学部科目　88 単位以上（詳細は，次ページ以降の「人文学科単位表」を参照。）

156 単位以上

注 1　人文・社会科学科目群，自然科学科目群，情報学科目群，健康・スポーツ科目群，キャリア形成科目群，統合科学科目群，少人数教育科目群から E1・E3 に指定されている科目を除き，計 36 単位以上修得すること。ただし，人文・社会科学科目群から E1 に指定されている科目を除き計 8 単位以上，自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。

なお，外国語科目群で英語を選択する場合は，下の《英語選択者の履修細則》(1)を参照すること。

注 2　英独仏中露伊西朝アのうちから英独仏いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。

英語を選択する場合，下の《英語選択者の履修細則》(2)を参照すること。英語以外の外国語を選択する場合，初級から 8 単位以上，中・上級から 8 単位以上，1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。

※「フランス語Ⅰ（8H コース）」は，16 単位のうち 8 単位のみ，「ドイツ語Ⅰ（6H コース）」，「ドイツ語Ⅱ（6H コース）」，「フランス語Ⅱ（6H コース）」は，12 単位のうち 8 単位のみ卒業に必要な単位として認定される。

注 3　全学共通科目の履修登録単位数の上限は，1 開講期につき 34 単位とする。ただし，集中講義は履修登録単位数の上限には含まれない。なお，通年科目については，総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされる。

《英語選択者の履修細則》

(1) 外国語科目群以外の全学共通科目履修規則

上記注 1 の規定に従い 36 単位以上を修得し，さらに，「外国文献研究（文・英）A」2 単位，「外国文献研究（文・英）B」2 単位，および，E1・E3 に指定されている科目から，上記「外国文献研究（文・英）A，B」以外の科目を 4 単位以上修得して，外国語科目群以外の全学共通科目の合計修得単位数が 44 単位以上となるようにすること。

（「外国文献研究（文・英）」の履修にあたっては次の二点に留意すること。①卒業に必要な単位として認定されるのは，A，B 各 2 単位，合計 4 単位のみである。②原則として自分の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修すること。ただし，「外国文献研究（文・英）」修得後に，他系の専修に分属した場合，あらたに「外国文献研究（文・英）」を履修し直す必要はない。）

(2) 外国語科目群履修規則

外国語科目群の科目として，「英語リーディング」4 単位，「英語ライティングーリスニング A」2 単位，「英語ライティングーリスニング B」2 単位の計 8 単位を修得し，さらに，これ以外の外国語 1 つについて初級から 8 単位以上，中・上級から 8 単位以上，計 16 単位以上を修得して，外国語科目群の合計修得単位数が 24 単位以上となるようにすること。

※外国語科目群で英語を選択する場合としない場合で，卒業に必要な単位数の集計方法が異なる。
全学共通科目では，入学手続時の外国語選択をもって英語選択の有無を判断し，集計方法を設定するので，入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合，もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は，全学共通科目学生窓口へ届け出ること。

※基礎教育科目（詳細は，次ページ以降の「全学共通科目の履修について」を参照。）は全学共通科目として履修登録するが，単位を修得した場合，文学部の学部科目（自由選択）として認定する。
ただし，全学共通科目の必要単位が不足している場合，所定の手続きを経て，人文・社会科学科目群（平成 28 年度以降入学者）に変更することができる。手続期間は，4 月初旬及び 10 月初旬のみ。詳細は，文学部教務掛関係掲示板に掲示する。

【令和２年度以降入学者対象】

全学共通科目（詳細は，全学共通科目履修の手引きの文学部ページを参照。）

人文・社会科学科目群
自然科学科目群
情報学科目群
健康・スポーツ科目群
キャリア形成科目群
統合科学科目群
少人数教育科目群
　→ 英語を選択する：32 単位以上[注1]
　→ 英語を選択しない：24 単位以上[注1]

外国語科目群[注2]
　→ 英語を選択する：24 単位以上
　→ 英語を選択しない：32 単位以上

（上記）→ 56 単位以上

学部科目　88 単位以上（詳細は，次ページ以降の「人文学科単位表」を参照。）

（全体）→ 144 単位以上[注3]

注１　人文・社会科学科目群，自然科学科目群，情報学科目群，健康・スポーツ科目群，キャリア形成科目群，統合科学科目群，少人数教育科目群から E1・E3 に指定されている科目を除き，計 24 単位以上修得すること。ただし，人文・社会科学科目群から E1 に指定されている科目を除き計 8 単位以上，自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
なお，外国語科目群で英語を選択する場合は，下の《英語選択者の履修細則》(1)を参照すること。

注２　英独仏中露伊西朝アのうちから英独仏いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。
英語を選択する場合，下の《英語選択者の履修細則》(2)を参照すること。英語以外の外国語を選択する場合，初級から 8 単位以上，中・上級から 8 単位以上，1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。
※「フランス語Ⅰ（8H コース）」は，16 単位のうち 8 単位のみ，「ドイツ語Ⅰ（6H コース）」，「ドイツ語Ⅱ（6H コース）」，「フランス語Ⅱ（6H コース）」は，12 単位のうち 8 単位のみ卒業に必要な単位として認定される。

注３　**全学共通科目と学部科目をあわせた履修登録単位数の上限は，1 開講期につき 30 単位とする。**ただし，集中講義は履修登録単位数の上限には含まれない。なお，通年科目については，総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされる。

《英語選択者の履修細則》

(1) 外国語科目群以外の全学共通科目履修規則

上記注 1 の規定に従い 24 単位以上を修得し，さらに，「外国文献研究（文・英）A」2 単位，「外国文献研究（文・英）B」2 単位，および，E1・E3 に指定されている科目から，上記「外国文献研究（文・英）A，B」以外の科目を 4 単位以上修得して，外国語科目群以外の全学共通科目の合計修得単位数が 32 単位以上となるようにすること。

（「外国文献研究（文・英）」の履修にあたっては次の二点に留意すること。①卒業に必要な単位として認定されるのは，A，B 各 2 単位，合計 4 単位のみである。②原則として自分の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修すること。ただし，「外国文献研究（文・英）」修得後に，他系の専修に分属した場合，あらたに「外国文献研究（文・英）」を履修し直す必要はない。）

(2) 外国語科目群履修規則

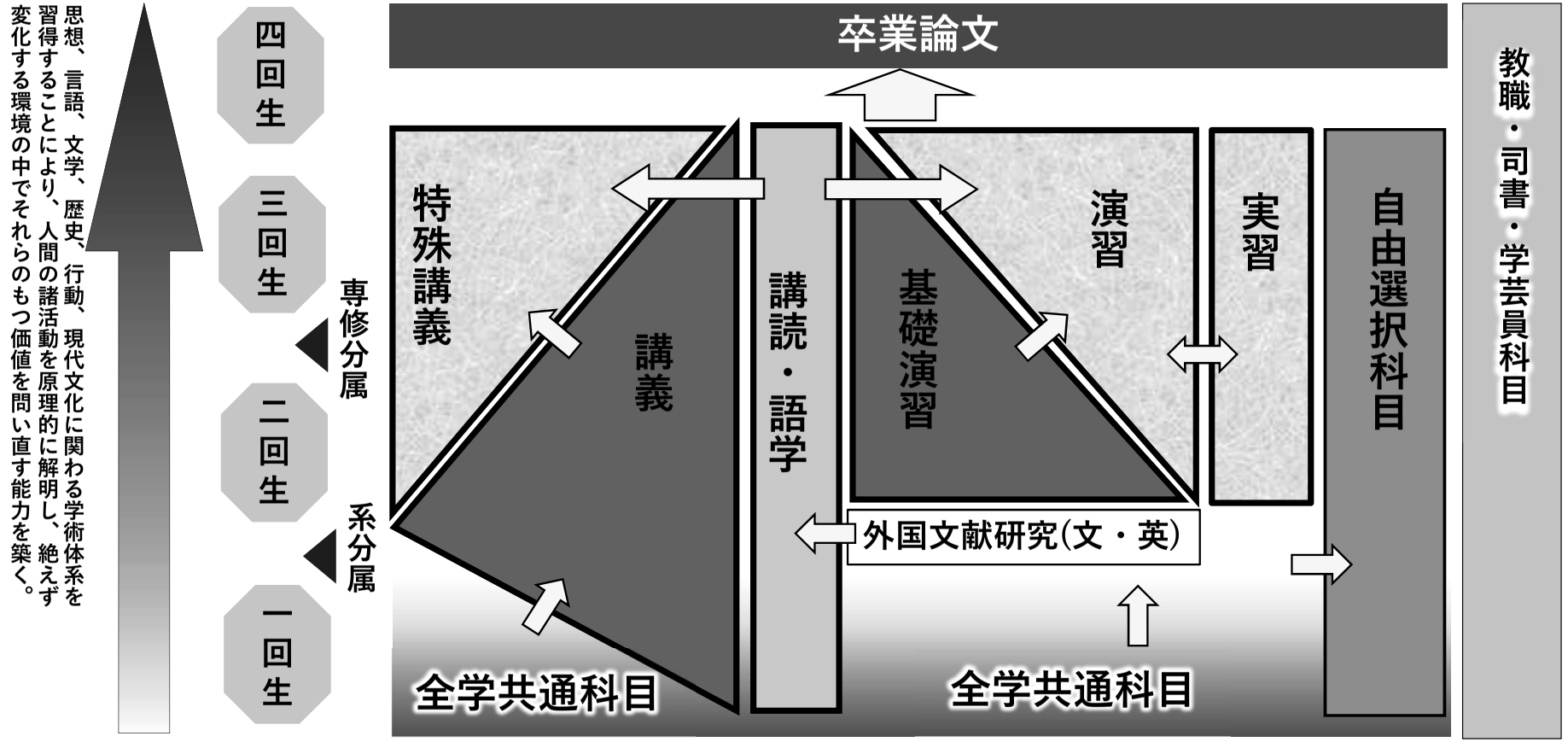
外国語科目群の科目として，「英語リーディング」4 単位，「英語ライティングーリスニング A」2 単位，「英語ライティングーリスニング B」2 単位の計 8 単位を修得し，さらに，これ以外の外国語 1 つについて初級から 8 単位以上，中・上級から 8 単位以上，計 16 単位以上を修得して，外国語科目群の合計修得単位数が 24 単位以上となるようにすること。

※外国語科目群で英語を選択する場合としない場合で，卒業に必要な単位数の集計方法が異なる。
全学共通科目では，入学手続時の外国語選択をもって英語選択の有無を判断し，集計方法を設定するので，入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合，もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は，全学共通科目学生窓口へ届け出ること。

※基礎教育科目（詳細は，次ページ以降の「全学共通科目の履修について」を参照。）は全学共通科目として履修登録するが，単位を修得した場合，文学部の学部科目（自由選択）として認定する。
ただし，全学共通科目の必要単位が不足している場合，所定の手続きを経て，人文・社会科学科目群（平成 28 年度以降入学者）に変更することができる。手続期間は，4 月初旬及び 10 月初旬のみ。詳細は，文学部教務掛関係掲示板に掲示する。

文学部 人文学科 コースツリー

○哲学・歴史学・文学・行動科学に関わる基礎的学識、専門分野についての深い理解力を持ち、卒業論文の作成を通して培われる問題探究能力、分析能力、表現能力を身につける。
○哲学・歴史学・文学・行動科学に関わる課題に関して、問題発見能力と問題解決能力を具え、創造的に取り組むことができる。
○人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性を持って、その展開に寄与する行動ができる。
○自由で批判的な精神と良識を具え、人類が直面する課題を直視し、問題解決に積極的に寄与することができる。



○「講義」　広く文学部の学生を対象に講述される、いわば「概論」にあたる授業。
○「特殊講義」　特定の専門的なテーマについて主に講義形式で行われる授業。
○「演習・実習」　主に専修の学生を対象とし、学生自らが調査・発表・討論する授業。文献を扱うもの、実験やフィールドに出るものなど、形式はさまざま。
○「講読」　専修で扱う文献を読むために必要なスキルを身につける基礎訓練の授業。

人 文 学 科 単 位 表

【哲学基礎文化学系】

	専 門 Ⅰ	専 門 Ⅱ	専 門 Ⅲ
哲学専修		哲学講義 4 西洋古代哲学史講義 4 西洋中世哲学史講義 4 西洋近世哲学史講義 4	哲学特殊講義 4 （西洋哲学史特殊講義を含む。） 哲学演習Ⅰ 8 哲学演習Ⅱ 2 哲学演習Ⅲ 2 哲学・西洋哲学史卒論演習 2
	必修 34	自由選択 42	卒業論文 12 合計 88
西洋哲学史（古代・中世・近世）専修	ラテン語または ギリシア語 4	哲学講義 4 西洋古代哲学史講義 4 西洋中世哲学史講義 4 西洋近世哲学史講義 4	西洋古代哲学史特殊講義 西洋中世哲学史特殊講義 西洋近世哲学史特殊講義 4 （哲学特殊講義を含む。） 西洋古代哲学史演習 西洋中世哲学史演習 西洋近世哲学史演習 8 （哲学演習Ⅰを含む。） 哲学・西洋哲学史卒論演習 2
	必修 34	自由選択 42	卒業論文 12 合計 88
日本哲学史専修	日本哲学史基礎演習 2	日本哲学史講義 4 哲学基礎文化学系内の他の専修より講義 4	日本哲学史特殊講義 8 哲学基礎文化学系内の他の専修より特殊講義 4 日本哲学史演習 6
	必修 28	自由選択 48	卒業論文 12 合計 88
倫理学専修		倫理学講義 4	倫理学特殊講義 12 倫理学演習 12 （哲学基礎文化学系の特殊講義，演習は，それぞれ倫理学専修の特殊講義，演習の単位として認める。）
	必修 28	自由選択 48	卒業論文 12 合計 88
宗教学専修	（平成28年度－平成29年度入学者） 宗教学講読 4	宗教学講義 4	宗教学特殊講義 12 宗教学基礎演習 8 宗教学演習 8
	必修 36	自由選択 40	卒業論文 12 合計 88
	（平成30年度以降入学者） 宗教学講読 4	宗教学講義 4	宗教学特殊講義 12 宗教学基礎演習 6 宗教学演習 8
	必修 34	自由選択 42	卒業論文 12 合計 88

	専　門　Ⅰ	専　門　Ⅱ	専　門　Ⅲ
キリスト教学専修	ギリシア語　4 または ラテン語 または ヘブライ語	キリスト教学講義　4	キリスト教学特殊講義　12 キリスト教学演習・講読　12
	必修　32　　自由選択　44　　卒業論文　12　　合計　88		
美学美術史学専修	美学美術史学演習Ⅱ　4	美学講義 日本・東洋美術史講義　8 西洋美術史講義	美学美術史学特殊講義　8 美学美術史学演習Ⅲ　8
	必修　28　　自由選択　48　　卒業論文　12　　合計　88		

【東洋文化学系】

	専　門　Ⅰ	専　門　Ⅱ	専　門　Ⅲ
国語学国文学専修	国語学国文学講読　4	国語学講義　4 国文学講義　4	国語学国文学特殊講義　8 国語学国文学演習　8 国語学国文学論文指導　4
	必修　32　自由選択　44　卒業論文　12　合計　88		
中国語学中国文学専修	中国文学講読　4	中国語学講義　4 中国文学講義　4	中国語学中国文学特殊講義　6 中国語学演習 中国文学演習　12 中国語学中国文学外国語実習　4
	必修　34　自由選択　42　卒業論文　12　合計　88		
中国哲学史専修	中国哲学史講読　4	中国哲学史講義　4	中国哲学史特殊講義　8 中国哲学史演習　12
	必修　28　自由選択　48　卒業論文　12　合計　88		
インド古典学専修	インド古典学講読　4 サンスクリット　4 サンスクリット（4時間コース） サンスクリット（2時間コース）	サンスクリット文学講義 インド哲学史講義　4	インド古典学特殊講義　8 インド古典学演習　12
	必修　32　自由選択　44　卒業論文　12　合計　88		
仏教学専修	仏教学講読　4	仏教学講義　4	仏教学特殊講義　8 仏教学演習　8 サンスクリット　4 サンスクリット（4時間コース） サンスクリット（2時間コース） チベット語　4
	必修　32　自由選択　44　卒業論文　12　合計　88		

【西洋文化学系】

<table>
<tr><th></th><th>専　門　Ⅰ</th><th>専　門　Ⅱ</th><th>専　門　Ⅲ</th></tr>
<tr><td>西洋古典学専修</td><td>ギリシア語
ラテン語　12
西洋古典学講読　4</td><td>西洋古典学講義　4</td><td>西洋古典学特殊講義　4
西洋古典学演習　12</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">必修　36　自由選択　40　卒業論文　12　合計　88</td></tr>
<tr><td rowspan="4">スラブ語学スラブ文学専修</td><td colspan="3">（平成29年度-令和4年度入学者）</td></tr>
<tr><td>スラブ語学スラブ文学講読　8
ラテン語または
ギリシア語　4</td><td>スラブ語学スラブ文学講義　4</td><td>スラブ語学スラブ文学特殊講義　4
スラブ語学スラブ文学演習　12
スラブ語学スラブ文学外国語実習　2</td></tr>
<tr><td colspan="3">必修　34　自由選択　42　卒業論文　12　合計　88</td></tr>
<tr><td colspan="3">（令和5年度以降入学者）</td></tr>
<tr><td></td><td>スラブ語学スラブ文学講読　8
ラテン語または
ギリシア語　4</td><td>スラブ語学スラブ文学講義　4</td><td>スラブ語学スラブ文学特殊講義　8
スラブ語学スラブ文学演習　12
スラブ語学スラブ文学外国語実習　2</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">必修　38　自由選択　38　卒業論文　12　合計　88</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ドイツ語学ドイツ文学専修</td><td colspan="3">（平成28年度－平成31年度(2019年度)入学者）</td></tr>
<tr><td>ドイツ語学ドイツ文学講読　8
ラテン語　4
ドイツ語学ドイツ文学外国語実習　2
（平成29年度から外国人実習は外国語実習として開講。）</td><td>ドイツ語学ドイツ文学講義　4</td><td>ドイツ語学ドイツ文学特殊講義　8
ドイツ語学ドイツ文学
演習Ⅰ・Ⅱ　12</td></tr>
<tr><td colspan="3">必修　38　自由選択　38　卒業論文　12　合計　88</td></tr>
<tr><td colspan="3">（令和2年度以降入学者）</td></tr>
<tr><td></td><td>ドイツ語学ドイツ文学講読　8
ラテン語　4
ドイツ語学ドイツ文学外国語実習　2</td><td>ドイツ語学ドイツ文学講義　4</td><td>ドイツ語学ドイツ文学特殊講義　4
ドイツ語学ドイツ文学
演習Ⅰ・Ⅱ　12
ドイツ語学ドイツ文学演習Ⅲ　4</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">必修　38　自由選択　38　卒業論文　12　合計　88</td></tr>
<tr><td rowspan="2">英語学英文学専修</td><td>英語学英文学講読　4
ラテン語　4</td><td>英語学講義　4
英文学講義　4
アメリカ文学講義　4</td><td>英語学英文学特殊講義　8
英語学英文学演習Ⅰ　4
英語学英文学演習Ⅱ　4
英語学英文学外国語実習　2
（平成29年度から外国人実習は外国語実習として開講。）</td></tr>
<tr><td colspan="3">必修　38　自由選択　38　卒業論文　12　合計　88</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th></th><th>専　門　Ⅰ</th><th>専　門　Ⅱ</th><th>専　門　Ⅲ</th></tr>
<tr><td>アメリカ文学専修</td><td>アメリカ文学講読　4
ラテン語　4</td><td>アメリカ文学講義　4
英語学講義　4
英文学講義　4</td><td>アメリカ文学特殊講義　8
アメリカ文学演習Ⅰ　4
アメリカ文学演習Ⅱ　4
アメリカ文学外国語実習　2
（平成29年度から外国人実習は外国語実習として開講。）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">必修　38　　自由選択　38　　卒業論文　12　　合計　88</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フランス語学フランス文学専修</td><td colspan="3">（平成28年度－平成30年度入学者）</td></tr>
<tr><td>フランス語学フランス文学講読　8
ラテン語　4
フランス語学フランス文学外国語実習　2
（平成29年度から外国人実習は外国語実習として開講。）</td><td>フランス語学講義　4
フランス文学講義　4</td><td>フランス語学フランス文学特殊講義　8
フランス語学フランス文学演習Ⅰ　4
フランス語学フランス文学演習Ⅱ　4</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">必修　38　　自由選択　38　　卒業論文　12　　合計　88</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td colspan="3">（平成31年度(2019年度)以降入学者）</td></tr>
<tr><td>フランス語学フランス文学講読　8
ラテン語　4
フランス語学フランス文学外国語実習　2</td><td>フランス語学講義
フランス文学講義　4</td><td>フランス語学フランス文学特殊講義　8
フランス語学フランス文学演習Ⅰ　4
フランス語学フランス文学演習Ⅱ　4</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">必修　34　　自由選択　42　　卒業論文　12　　合計　88</td></tr>
<tr><td rowspan="2">イタリア語学イタリア文学専修</td><td colspan="3">（平成28年度－令和2年度入学者）</td></tr>
<tr><td>イタリア語学イタリア文学講読　8
ラテン語　4</td><td>イタリア語学イタリア文学講義　4</td><td>イタリア語学イタリア文学特殊講義　8
イタリア語学イタリア文学演習　12
イタリア語学イタリア文学外国語実習　2
（平成29年度から外国人実習は外国語実習として開講。）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">必修　38　　自由選択　38　　卒業論文　12　　合計　88</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td colspan="3">（令和3年度以降入学者）</td></tr>
<tr><td>イタリア語学イタリア文学講読　8
ラテン語　4</td><td>イタリア語学イタリア文学講義　4</td><td>イタリア語学イタリア文学特殊講義　8
イタリア語学イタリア文学演習　8
イタリア語学イタリア文学外国語実習　2</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">必修　34　　自由選択　42　　卒業論文　12　　合計　88</td></tr>
</table>

【歴史基礎文化学系】

	専　門　Ⅰ		専　門　Ⅱ		専　門　Ⅲ	
日本史学専修	日本史学講読 日本史学基礎演習	4 4	日本史学講義	4	日本史学特殊講義 日本史学演習Ⅰ 日本史学演習Ⅱ 日本史学実習	10 4 4 4
	必修　34		歴史基礎文化学系内から講義・特殊講義12単位 自由選択　30　　卒業論文　12　　合計　88			
東洋史学専修	東洋史学実習 東洋史学講読	2 4	東洋史学講義	4	東洋史学特殊講義 東洋史学演習	12 8
	必修　30		歴史基礎文化学系内から講義・特殊講義12単位 自由選択　34　　卒業論文　12　　合計　88			
西南アジア史学専修	関連語学 西南アジア史学講読 西南アジア史学実習	8 2	西南アジア史学講義	4	西南アジア史学特殊講義 西南アジア史学演習Ⅰ 西南アジア史学演習Ⅱ	12 4 4
	必修　34		歴史基礎文化学系内から講義・特殊講義12単位 自由選択　30　　卒業論文　12　　合計　88			
西洋史学専修	西洋史学実習 英書講読 仏書講読 独書講読 露書講読 伊書講読 関連語学 （2科目から） ギリシア語（2時間コース，4時間コース） ラテン語（2時間コース，4時間コース） スペイン語（中級），ヘブライ語	2 6	西洋史学講義	4	西洋史学特殊講義 西洋史学演習Ⅰ～Ⅳ 西洋史学演習Ⅴ	12 4 4
	必修　32		歴史基礎文化学系内から講義・特殊講義12単位 自由選択　32　　卒業論文　12　　合計　88			
考古学専修	考古学実習 考古学講読	4 4	考古学講義 先史学講義	4 4	考古学特殊講義 考古学演習Ⅰ 考古学演習Ⅲ	4 4 4
	必修　28		歴史基礎文化学系内から特殊講義16単位 自由選択　32　　卒業論文　12　　合計　88			

【行動・環境文化学系】

	専　門　Ⅰ	専　門　Ⅱ	専　門　Ⅲ
心理学専修	心理学実習Ⅰ，Ⅱ　6	心理学講義　8	心理学特殊講義　8 心理学演習　8 心理学実習Ⅲ 　または心理学講読　4
	必修　34　自由選択　42　卒業論文　12　合計　88		
言語学専修	語学　16 言語学基礎演習　4 （「語学」科目の内容については、専修の指示にしたがうこと。詳細は専修HPを参照。）	言語学講義Ⅰ　4 言語学講義Ⅱ　4	言語学特殊講義　8 言語学演習　4 言語学卒論演習　2
	必修　42　自由選択　34　卒業論文　12　合計　88		
社会学専修		社会学講義　4	社会学特殊講義　14 社会学実習　2 社会学英書講読　4 社会学演習Ⅰ　4 社会学卒論演習　4
	必修　32　自由選択　44　卒業論文　12　合計　88		
地理学専修	地理学実習　4 英書講読　4	地理学講義　4	地理学特殊講義　20 地理学演習Ⅰ　4 地理学演習Ⅱ　4
	必修　40　自由選択　36　卒業論文　12　合計　88		

【基礎現代文化学系】

<table>
<tr><th></th><th>専　門　Ⅰ</th><th>専　門　Ⅱ</th><th>専　門　Ⅲ</th></tr>
<tr><td>科学哲学科学史専修</td><td>基礎現代文化学講読　4</td><td>科学哲学講義　4
科学史講義　4</td><td>科学哲学科学史特殊講義　8
科学哲学科学史演習　4
科学哲学科学史卒論演習　4</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">必修　28　　自由選択　48　　卒業論文　12　　合計　88</td></tr>
<tr><td rowspan="6">メディア文化学専修</td><td colspan="3">（平成30年度－令和2年度入学者）</td></tr>
<tr><td>基礎現代文化学英書講読　4

基礎現代文化学講読
（独，仏，露，中，伊）
学部共通科目・語学
（スペイン語中級，朝鮮語中級）　4

基礎現代文化学基礎演習ⅡA　2
基礎現代文化学基礎演習ⅡB　2
（重複履修は認めない。2年次単位を修得しなかった者は，メディア文化学演習Ⅱの任意の科目で読みかえることができる。）</td><td>メディア文化学講義　4</td><td>メディア文化学特殊講義　8
メディア文化学演習Ⅰ　4
メディア文化学演習Ⅱ　4
メディア文化学演習Ⅲ　8</td></tr>
<tr><td colspan="3">※情報・史料学専修と二十世紀学専修は平成30年度よりメディア文化学専修に統合
なお、平成29年度以前に修得した情報・史料学専修および二十世紀学専修の各科目は以下のとおり読みかえることができる。
情報・史料学講義
二十世紀学講義　→　メディア文化学講義
情報・史料学特殊講義
二十世紀学特殊講義　→　メディア文化学特殊講義
二十世紀学演習Ⅱ　→　メディア文化学演習Ⅱ</td></tr>
<tr><td colspan="3">必修　40　　自由選択　36　　卒業論文　12　　合計　88</td></tr>
<tr><td colspan="3">（令和3年度-令和4年度入学者）</td></tr>
<tr><td>基礎現代文化学英書講読　4

基礎現代文化学講読
（独，仏，露，中，伊）
学部共通科目・語学
（スペイン語中級，朝鮮語中級）　4</td><td>メディア文化学講義　4</td><td>メディア文化学特殊講義　8
メディア文化学演習Ⅰ　4
メディア文化学演習Ⅱ　4
メディア文化学演習Ⅲ　8</td></tr>
<tr><td colspan="3">必修　36　　自由選択　40　　卒業論文　12　　合計　88</td></tr>
<tr><td colspan="3">（令和5年度以降入学者）</td></tr>
<tr><td>メディア文化学講読　4</td><td>メディア文化学講義　4</td><td>メディア文化学特殊講義　8
メディア文化学演習Ⅰ　4
メディア文化学演習Ⅱ　4
メディア文化学演習Ⅲ　8</td></tr>
<tr><td colspan="3">必修　32　　自由選択　44　　卒業論文　12　　合計　88</td></tr>
</table>

	専　門　Ⅰ	専　門　Ⅱ	専　門　Ⅲ
現代史学専修	(平成29年度-令和2年度入学者) 基礎現代文化学英書講読　4 基礎現代文化学講読（独，仏，露，中，伊） 語学（学部共通科目）（スペイン語中級，朝鮮語中級）　4 基礎現代文化学基礎演習ⅡA　2 基礎現代文化学基礎演習ⅡB　2 重複履修は認めない。2年次単位を修得しなかった者は，現代史学演習Ⅱの任意の科目で読みかえることができる。 必修　40　自由選択　36　卒業論文　12　合計　88	現代史学講義 日本現代史講義　4	現代史学特殊講義　8 現代史学演習Ⅰ　4 現代史学演習Ⅱ　4 現代史学演習Ⅲ　8
	(令和3年度-令和4年度入学者) 基礎現代文化学英書講読　4 基礎現代文化学講読（独，仏，露，中，伊） 語学（学部共通科目）（スペイン語中級，朝鮮語中級）　4 現代史学基礎演習　2 2年次単位を修得しなかった者は、現代史学演習Ⅱの任意の科目で読みかえることができる。 必修　38　自由選択　38　卒業論文　12　合計　88	現代史学講義　4	現代史学特殊講義　8 現代史学演習Ⅰ　4 現代史学演習Ⅱ　4 現代史学演習Ⅲ　8
	(令和5年度以降入学者) 基礎現代文化学英書講読　4 基礎現代文化学講読（独，仏，露，中，伊，アラビア） 語学（学部共通科目）（スペイン語中級，朝鮮語中級）　4 現代史学基礎演習　2 2年次単位を修得しなかった者は、現代史学演習Ⅱの任意の科目で読みかえることができる。 必修　38　自由選択　38　卒業論文　12　合計　88	現代史学講義　4	現代史学特殊講義　8 現代史学演習Ⅰ　4 現代史学演習Ⅱ　4 現代史学演習Ⅲ　8

(2) 履 修 登 録 に つ い て

●文学部科目を履修する場合（KULASIS での履修登録）

文学部科目を履修するには，KULASIS での履修登録が必要となる。履修登録をしていない授業科目は，受講し試験(筆記，レポート等) を受けても単位認定がされないので，必ず期間内に KULASIS に登録すること。

また，前期及び後期の登録期間内に KULASIS で履修登録を行った後，履修登録確認・修正期間に登録されていることを必ず確認すること。

なお，履修登録についての詳細は，文学部掲示板及び KULASIS で周知するので必ず確認すること。

	前　期 （前期科目・通年科目・卒業論文）	後　期 （後期科目）
履修登録ページ公開日	4 月 2 日（水）	9 月 17 日（水）
履修登録期間	4 月 17 日（木）・4 月 18 日（金）	10 月 10 日（金）・10 月 14 日（火）
履修登録確認・修正期間	4 月 23 日（水）・4 月 24 日（木）	10 月 17 日（金）・10 月 20 日（月）
履修登録確定日	4 月 28 日（月）	10 月 22 日（水）
履修登録確認表開示期間	4 月 28 日（月）～5 月 5 日（月）	10 月 22 日（水）～10 月 29 日（水）
履修取消期間	6 月上旬	12 月上旬

●全学共通科目を履修する場合

全学共通科目の履修については，「全学共通科目履修の手引き」を参照すること。

●他学部科目を履修する場合（他学部聴講願での履修登録）

他学部科目の登録手続きの詳細は，別途掲示する。

●文学研究科・文学部が開講する専門科目の語学を平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学生が履修し，単位を修得した場合には，シラバス記載単位数の 2 分の 1 が修了・卒業に必要な単位として算入される。

(3) 試験・成績 に つ い て

成 績 評 価 基 準

文学部専門科目における成績評価は 100 点満点とし，評価基準は 60 点以上を合格，60 点未満は不合格とする。また評語は以下のとおりとする。

【平成２７年度～平成３１年度（２０１９年度）入学者】

90 点以上を「Ａ＋」，80 点～89 点を「Ａ」，70 点～79 点を「Ｂ」，61 点～69 点を「Ｃ」，60 点を「Ｄ」，59 点以下を「Ｆ」とする。

【令和２年度以降入学者】

96 点以上を「Ａ＋」，85 点～95 点を「Ａ」，75 点～84 点を「Ｂ」，65 点～74 点を「Ｃ」，60 点～64 点を「Ｄ」，59 点以下を「Ｆ」とする。

評語	適用基準	
A＋	合格基準に達している。	学修の高い効果が認められ、傑出した成績である。／Outstanding
A		学修の高い効果が認められ、特に優れた成績である。／Excellent
B		学修の高い効果が認められ、優れた成績である。／Good
C		学修の効果が認められる。／Fair
D		最低限の学修の効果が認められる。／Pass
F	合格基準に達していない。	不合格。／Fail

試験における不正行為の取扱いについて

受験に際し自己または他人のために不正行為をした者の当該期の科目及び当該年度の通年科目の成績は,すべて無効とする。

成績の異議申立について

当該期の成績について,次の場合に限り異議を申し立てることができる。

① 採点の誤記入等,明らかに担当教員の誤りであると思われるもの

② ｼﾗﾊﾞｽ等により周知している成績評価の方法等から,明らかに疑義があるもの

(申立の方法等)

成績開示初日から1週間以内※に,成績表を添えて教務掛窓口へ申し出ること。申立期間を過ぎたものは受け付けない。なお,担当教員に直接異議を申し出ることはできない。

申し立て内容については,文学研究科・文学部において確認し,上記の①又は②に該当しないと判断された場合,対象外とする。

おって,措置内容については,申し立てから原則として2週間以内に通知する。

※詳細な日程は,KULASIS及び掲示にて周知。

京都大学学士課程におけるGPA制度の導入について

京都大学では,学生の自律的な学修の促進及び学生に対する学修指導等に活用することを目的として,平成 28 年度以降に入学した学生を対象としたｶﾘｷｭﾗﾑが適用される学部生を対象に GPA(Grade Point Average)制度を導入いたします。

(1)成績評価とGPの対応

成績表評価は下表に基づきGPに変換します。

評語	A+	A	B	C	D	F
GP	4.3	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

(2)GPAに算入する科目

・6段階によって成績を認定された科目であって,卒業要件に算入できる科目。ただし,既修得科目・他大学での修得科目を除きます。

・科目コードが同一の科目を複数回履修した場合，正規単位のみ GPA に算入します。ただし，当該科目に正規単位が存在しない場合(全て不合格であった場合)は，1 科目の成績(不合格:GP=0)のみを GPA に算入します。

(3)GPA の種別

本学在学中の全期間における学修の成果を示す指標として「累積 GPA」を，当該学期における学修成果を示す指標として「学期 GPA」を算出します。

(GPA は小数点第二位まで表示。小数点以下第二位未満の端数があるときは，小数点以下第三位の値を四捨五入する。)

$$\text{累積 GPA} = \frac{\text{(在学全期間において GPA 算入科目のうち履修登録した科目の GP×当該科目の単位数)の総和}}{\text{在学全期間において GPA 算入科目のうち履修登録した科目の総単位数}}$$

$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{(当該学期において GPA 算入科目のうち履修登録科目した科目の GP×当該科目の単位数)の総和}}{\text{当該学期において GPA 算入科目のうち履修登録した科目の総単位数}}$$

(4)GPA の表示

成績表には，不合格となった科目も含めた全ての履修単位に係る成績，「学期 GPA」及び「累積 GPA」を記載します。

成績証明書には，修得した科目の成績のみを記載し，原則として GPA は記載しません。ただし，特に必要がある場合に限り，累積 GPA ならびに在学全期間において GPA 算入科目のうち履修登録した科目の総単位数を記載した成績証明書を学生の所属学部教務担当窓口において発行します。(証明書自動発行機では発行されません。)

京都大学学士課程における履修取消制度の導入について

京都大学では，平成 28 年度学部入学生を対象に GPA 制度を導入することに併せて，学生の申請により学期の途中に科目の履修登録を取り消す「履修取消制度」を平成 28 年度より，全ての学部生を対象に導入します。

(1)取消手続きについて

原則として，履修取消期間中に，KULASIS において履修取消を申請します。

(2)履修取消期間

全学統一で下記のとおり履修取消期間を定めます。詳細な期間については年度ごとにお知らせします。

令和 7 年度履修取消期間

前期:2025 年 6 月 2 日(月)・2025 年 6 月 3 日(火)

後期:2025 年 12 月 1 日(月)・2025 年 12 月 2 日(火)

(科目の特別な事情に応じてこの期間以外に取消を認める場合があります)

(3)履修取消を認めない科目

取消を認めない科目はありません。

(4)履修取消の特例

病気･事故等により長期間にわたって授業に出席できないなどのやむを得ない事由がある場合に限り，特例として履修取消を認める場合があります。詳しくは所属学部または科目の開講部局の教務担当窓口にお問い合わせください。

(5)不受験科目の取扱い

成績判定時点で履修登録されている全ての科目を成績評価の対象とします。
すなわち，受験しなかった試験または提出しなかった課題等に対して最低評価を与えたうえで，ｼﾗﾊﾞｽに記載された成績評価基準に従って成績評価をおこないます。

※例:ｼﾗﾊﾞｽの成績評価方法･観点及び達成度に「小ﾃｽﾄ 40 点満点，ﾚﾎﾟｰﾄ 20 点満点，期末試験 40 点満点」と記載されている科目において，期末試験を受験しなかった学生の成績は，期末試験 0 点とした上で評価する。

(4) 卒業論文の提出について

今年度の学部卒業希望者は，下記により論文題目及び論文を提出すること。

なお，前年度に論文題目及び論文を提出した後，卒業を延期した者も今年度改めて論文題目，論文とも提出すること。

記

論文題目	**提出期間：文学部・文学研究科行事予定表のとおり** 論文題目は必ず事前に指導教員の確認を受けたうえで「京都大学教育の質の向上のためのアンケートシステム」（KULIQS）より提出すること。（提出方法に関する詳細は KULASIS にて掲示する。）
論　　文	**提出期間：文学部・文学研究科行事予定表のとおり** 論文の表紙には，各専修より配付される表紙ラベルを貼付し教務掛へ提出すること。
注意事項	論文題目，論文とも締め切り後は受理しない。
書　　式	論文は原則として各系とも和文とする。 ただし， 1．英語学英文学，アメリカ文学専修学生は英語とする。 2．上記 1 以外の「外国」語学「外国」文学，言語学専修学生はそれぞれの専修の言語で書いてもよい。
用　　紙 枚　　数	**和文の場合** 400 字詰原稿用紙に換算して 50 枚以内とする。 **欧文の場合** A4 判用紙に 1 ページ 25 行程度で 30 ページ以内とする。
そ の 他	1．卒業論文には黒表紙をつけ仮製本して提出すること。 論文の提出期限は厳守し，提出後の誤字・脱字の訂正，プリントアウトの欠損などがないように充分な点検をおこなうこと。 パソコン使用の場合，ハードディスクやＵＳＢの異常，または機器の故障を理由とした提出延期や不完全な形での提出は認めない。 2．論文題目提出後は原則として題目の変更は認めない。止むを得ず変更する場合は，専修主任教員の検印を得て教務掛へ届け出ること。 3．論文題目を提出した者は卒業予定者として扱う。その後，事情により留年することになった者は，必ず教務掛交付の「論文提出取止届」に専修主任教員の検印を受けて提出すること。 4．卒業論文は口頭試問の前に限り撤回することができる。 5．口頭試問の日時は，所属する専修より通知が行われる。 6．その他詳細については，KULASIS，掲示及び各専修より指示されるので見落とし等のないように注意すること。

(5) 令和７年度 文学部開講科目一覧

【哲学基礎文化学系】

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
01	5102	001	系共通科目(哲学)	講義	1-4	2	前期	金3	出口 康夫			
02	5104	001	系共通科目(哲学)	講義	1-4	2	後期	金3	出口 康夫			
03	5200	001	系共通科目(西洋古代哲学史)	講義	1-4	2	前期	水5	早瀬 篤	古代	総合人間学部	
04	5202	001	系共通科目(西洋古代哲学史)	講義	1-4	2	後期	水5	早瀬 篤	古代	総合人間学部	
05	5204	001	系共通科目(西洋中世哲学史)	講義	1-4	2	前期	水2	石田 隆太	中世		
06	5206	001	系共通科目(西洋中世哲学史)	講義	1-4	2	後期	水2	石田 隆太	中世		
07	5208	001	系共通科目(西洋近世哲学史)	講義	1-4	2	前期	水3	大河内 泰樹	近世		
08	5210	001	系共通科目(西洋近世哲学史)	講義	1-4	2	後期	水3	大河内 泰樹	近世		
09	5302	001	系共通科目(日本哲学史)	講義	1-4	2	前期	火5	上原 麻有子			
10	5304	001	系共通科目(日本哲学史)	講義	1-4	2	後期	火5	上原 麻有子			
11	5402	001	系共通科目(倫理学)	講義A	1-4	2	前期	金2	児玉 聡			
12	5403	001	系共通科目(倫理学)	講義B	1-4	2	後期	金2	児玉 聡			
13	5502	001	系共通科目(宗教学A)	講義	1-4	2	前期	月1	杉村 靖彦			
14	5503	001	系共通科目(宗教学B)	講義	1-4	2	後期	月1	杉村 靖彦			
15	5602	001	系共通科目(キリスト教学)	講義	1-4	2	前期	火2	津田 謙治			
16	5604	001	系共通科目(キリスト教学)	講義	1-4	2	後期	火2	津田 謙治			
17	5705	001	系共通科目(美学)	講義	1-4	2	前期	水4	杉山 卓史			
18	5707	001	系共通科目(美学)	講義	1-4	2	後期	水4	杉山 卓史			
19	5708	001	系共通科目(日本・東洋美術史)	講義	1-4	2	後期	金1	筒井 忠仁			
20	5709	001	系共通科目(西洋美術史)	講義	1-4	2	前期	金1	平川 佳世			
01	5131	003	哲学	特殊講義	2-4	2	前期	火3	武田 裕紀		◎科学哲学科学史	
02	5131	001	哲学	特殊講義	1-4	2	前期	集中	久木田 水生		科学哲学科学史	
03	5131	009	哲学	特殊講義	2-4	2	前期	集中	澤田 和範		◎西洋哲学史	
04	5131	010	哲学	特殊講義	2-4	2	前期	集中	森元 良太		◎科学哲学科学史	
05	5143	006	哲学	演習I	1-4	2	前期	月5	大西 琢朗			
06	5143	011	哲学	演習I	2-4	2	前期	月5	朱 喜哲			
07	5143	010	哲学	演習I	2-4	2	前期	月1	五十嵐 涼介			
08	5143	005	哲学	演習I	2-4	2	後期	木4	大塚 淳		科学哲学科学史	全学共通科目(大学院横断教育科目)
09	5143	012	哲学	演習I	2-4	2	後期	水4	山口 尚			
10	5144	001	哲学	演習II	3-4	2	前期	金2	出口 康夫, 五十嵐 涼介			
11	5147	001	哲学	演習III	3-4	2	後期	金2	出口 康夫, 五十嵐 涼介			
12	5149	001	哲学・西洋哲学史	卒論演習	4	2	後期	不定	出口, 早瀬, 大河内, 五十嵐, 林			
13	9990	001	卒業論文(哲学)	卒業論文	4	12	通年	集中	出口 康夫, 五十嵐 涼介			
01	5230	001	西洋哲学史	特殊講義	3-4	4	通年	月5	早瀬 篤	古代		
02	5231	002	西洋哲学史	特殊講義	3-4	2	前期	集中	荻原 理	古代		
03	5234	001	西洋哲学史	特殊講義	2-4	2	後期	集中	関沢 和泉	中世		
04	5234	004	西洋哲学史	特殊講義	2-4	2	前期	不定(5限)	Jeffrey Brower	中世		
05	5236	002	西洋哲学史	特殊講義	3-4	2	前期	金3	大河内 泰樹	近世	日本哲学史	
06	5236	001	西洋哲学史	特殊講義	3-4	2	後期	金3	大河内 泰樹	近世	日本哲学史	
07	5236	005	西洋哲学史	特殊講義	3-4	2	前期	月3	林 拓也	近世		
08	5236	003	西洋哲学史	特殊講義	3-4	2	後期	月3	林 拓也	近世		
09	5236	004	西洋哲学史	特殊講義	3-4	2	前期	集中	澤田 和範	近世	哲学	
10	5236	006	西洋哲学史	特殊講義	3-4	2	前期	集中	城戸 淳		宗教学	◎日本哲学史
11	5240	002	西洋哲学史	演習	3-4	4	通年	木4,木5	早瀬 篤	古代		
12	5241	001	西洋哲学史	演習	3-4	2	前期	火5	早瀬 篤	古代		
13	5241	002	西洋哲学史	演習	3-4	2	後期	火5	早瀬 篤	古代		
14	5241	003	西洋哲学史	演習	3-4	2	前期	金4	西村 洋平	古代	西洋古典学	

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
15	5241	004	西洋哲学史	演習	3-4	2	後期	金4	西村 洋平	古代	西洋古典学	
16	5242	001	西洋哲学史	演習	3-4	4	通年	木4,木5	周藤 多紀	中世		
17	5243	001	西洋哲学史	演習	2-4	2	前期	水1	山口 雅広	中世		
18	5243	002	西洋哲学史	演習	2-4	2	後期	水1	山口 雅広	中世		
19	5244	001	西洋哲学史	演習	3-4	4	通年	金4,金5	大河内 泰樹, 林 拓也	近世		
20	5245	001	西洋哲学史	演習	3-4	2	後期	水5	大河内 泰樹	近世		
21	5245	007	西洋哲学史	演習	3-4	2	前期	月5	林 拓也	近世		
22	5245	002	西洋哲学史	演習	3-4	2	後期	月5	林 拓也	近世		
23	5245	003	西洋哲学史	演習	3-4	2	前期	水5	大河内 泰樹	近世		
24	5245	005	西洋哲学史	演習	3-4	2	前期	水4	岡崎 龍	近世	キリスト教学	
25	5245	004	西洋哲学史	演習	3-4	2	後期	水4	岡崎 龍	近世	宗教学	キリスト教学
26	5245	006	西洋哲学史	演習	3-4	2	前期	金1	松本 直樹	近世	◎宗教学	
27	5149	001	哲学・西洋哲学史	卒論演習	4	2	後期	不定	出口, 早瀬, 大河内, 五十嵐, 林			
28	9990	002	卒業論文(西洋古代哲学史)	卒業論文	4	12	通年	集中	早瀬 篤	古代		
29	9990	003	卒業論文(西洋中世哲学史)	卒業論文	4	12	通年	集中		中世		
30	9990	004	卒業論文(西洋近世哲学史)	卒業論文	4	12	通年	集中	大河内 泰樹	近世		
01	5331	001	日本哲学史	特殊講義	2-4	2	前期	水4	上原 麻有子			
02	5331	002	日本哲学史	特殊講義	2-4	2	後期	水4	上原 麻有子			
03	5331	004	日本哲学史	特殊講義	2-4	2	前期	集中	Bret Davis		宗教学	
04	5331	005	日本哲学史	特殊講義	2-4	2	前期	集中	城戸 淳		宗教学	西洋哲学史
05	5331	006	日本哲学史	特殊講義	3-4	2	前期	金3	大河内 泰樹		◎西洋哲学史	
06	5331	007	日本哲学史	特殊講義	3-4	2	後期	金3	大河内 泰樹		◎西洋哲学史	
07	5341	003	日本哲学史	演習	2-4	2	後期	木3	満原 健			
08	5343	001	日本哲学史	基礎演習	1-4	2	後期	金2	山本 舜			
09	5343	002	日本哲学史	基礎演習	1-4	2	前期	木4	上原 麻有子			
10	5345	001	日本哲学史	卒論演習	4	4	通年	不定	上原 麻有子			
11	9990	005	卒業論文(日本哲学史)	卒業論文	4	12	通年	集中	上原 麻有子			
01	5431	001	倫理学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	安藤 馨			
02	5431	002	倫理学	特殊講義	3-4	2	前期	火2	児玉 聡			
03	5431	003	倫理学	特殊講義	3-4	2	後期	火2	児玉 聡			
04	5431	004	倫理学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	児玉 聡		文化越境	
05	5431	005	倫理学	特殊講義	3-4	2	前期	木2	Campbell, Michael		文化越境	
06	5440	001	倫理学	演習	3-4	4	通年	火4	児玉 聡			
07	5440	002	倫理学	演習	3-4	4	通年	金4	児玉 聡			
08	5443	003	倫理学	演習	3-4	2	前期	金5	永守 伸年			
09	5443	004	倫理学	演習	3-4	2	後期	金5	永守 伸年			
10	5443	005	倫理学	演習	3-4	2	前期	水4	佐藤 義之		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
11	5443	006	倫理学	演習	3-4	2	後期	水4	佐藤 義之		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
12	9990	006	卒業論文(倫理学)	卒業論文	4	12	通年	集中	児玉 聡			
01	5531	004	宗教学	特殊講義	3-4	2	後期	水4	杉村 靖彦		キリスト教学	
02	5531	005	宗教学	特殊講義	3-4	2	前期	火5	伊原木 大祐			
03	5531	006	宗教学	特殊講義	3-4	2	後期	火5	伊原木 大祐			
04	5531	003	宗教学	特殊講義	3-4	2	前期	月2	津田 謙治		◎キリスト教学	
05	5531	008	宗教学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	津田 謙治		◎キリスト教学	
06	5531	001	宗教学	特殊講義	2-4	2	前期	集中	Bret Davis		◎日本哲学史	
07	5531	002	宗教学	特殊講義	2-4	2	前期	集中	城戸 淳		◎日本哲学史	西洋哲学史
08	5541	001	宗教学	演習	3-4	2	前期	水5	杉村 靖彦			
09	5541	002	宗教学	演習	3-4	2	後期	水5	杉村 靖彦			
10	5541	004	宗教学	演習	3-4	2	前期	火4	伊原木 大祐			

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
11	5541	005	宗教学	演習	3-4	2	後期	火4	伊原木 大祐			
12	5541	003	宗教学	演習	3-4	2	後期	木2	安部 浩		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
13	5541	006	宗教学	演習	3-4	2	前期	金1	松本 直樹		西洋哲学史	
14	5541	007	宗教学	演習	3-4	2	後期	水4	岡崎 龍		西洋哲学史	キリスト教学
15	5543	001	宗教学	基礎演習	2-4	2	前期	金4,金5	杉村 靖彦, 伊原木 大祐			
16	5543	002	宗教学	基礎演習	2-4	2	後期	金4,金5	杉村 靖彦, 伊原木 大祐			
17	5551	001	宗教学	講読	2-4	2	前期	水2	笠木 丈			
18	5551	002	宗教学	講読	2-4	2	後期	水2	笠木 丈			
19	9990	007	卒業論文(宗教学)	卒業論文	4	12	通年	集中	杉村 靖彦, 伊原木 大祐			
01	5631	001	キリスト教学	特殊講義	3-4	2	後期	月3	村上 みか			
02	5631	007	キリスト教学	特殊講義	3-4	2	前期	月2	津田 謙治		宗教学	
03	5631	002	キリスト教学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	津田 謙治		宗教学	
04	5631	004	キリスト教学	特殊講義	3-4	2	後期	水4	杉村 靖彦		◎宗教学	
05	5631	005	キリスト教学	特殊講義	3-4	2	前期	木3	三輪 地塩			
06	5631	006	キリスト教学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	西脇 純			
07	5641	001	キリスト教学	演習	3-4	2	後期	金3	西村 一輝			
08	5641	004	キリスト教学	演習	3-4	2	前期	火5	谷塚 厳			
09	5641	006	キリスト教学	演習	3-4	2	前期	月4	津田 謙治			
10	5641	007	キリスト教学	演習	3-4	2	後期	月4	津田 謙治			
11	5641	002	キリスト教学	演習	3-4	2	前期	水4	岡崎 龍		◎西洋哲学史	
12	5641	003	キリスト教学	演習	3-4	2	後期	水4	岡崎 龍		◎西洋哲学史	宗教学
13	9639	001	キリスト教学	語学	3-4	2	前期	金4	武藤 慎一	学部共通科目	西南アジア史学	ヘブライ語(初級)
14	9640	001	キリスト教学	語学	3-4	2	後期	金4	武藤 慎一	学部共通科目	西南アジア史学	ヘブライ語(中級)
15	9990	008	卒業論文(キリスト教学)	卒業論文	4	12	通年	集中	津田 謙治			
01	5731	005	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	前期	木1	平川 佳世			
02	5731	006	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	後期	木1	平川 佳世			
03	5731	007	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	前期	水2	杉山 卓史			
04	5731	008	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	後期	水2	杉山 卓史			
05	5731	018	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	前期	月5	筒井 忠仁			
06	5731	019	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	後期	月5	筒井 忠仁			
07	5731	003	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	田中 健一			
08	5731	004	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	田中 健一			
09	5731	009	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	前期	金2	稲本 泰生			
10	5731	010	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	後期	金2	稲本 泰生			
11	5731	001	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	前期	月4	呉 孟晋			
12	5731	002	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	後期	月4	呉 孟晋			
13	5731	011	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	前期	水5	浅井 佑太		◎ドイツ語学ドイツ文学	
14	5731	012	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	後期	水5	浅井 佑太		◎ドイツ語学ドイツ文学	
15	5731	013	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	後期	火2	加須屋 明子			
16	5731	014	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	増記 隆介			
17	5731	015	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	前期	月3	武田 宙也		◎人間・環境学研究科	
18	5731	016	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	後期	月3	武田 宙也		◎人間・環境学研究科	
19	5731	020	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	後期	月4	松永 伸司		◎メディア文化学	
20	5741	001	美学美術史学	演習Ⅰ	3-4	2	前期	火3	平川 佳世, 筒井 忠仁, 田中 健一			
21	5741	002	美学美術史学	演習Ⅰ	3-4	2	後期	火3	平川 佳世, 筒井 忠仁, 田中 健一			
22	5745	007	美学美術史学	演習Ⅱ	3-4	2	前期	金3	平川 佳世			
23	5745	004	美学美術史学	演習Ⅱ	3-4	2	後期	金3	平川 佳世			
24	5745	003	美学美術史学	演習Ⅱ	3-4	2	前期	木2	杉山 卓史			
25	5745	001	美学美術史学	演習Ⅱ	3-4	2	後期	木3	足立 恵理子			

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
26	5745	002	美学美術史学	演習II	3-4	2	前期	木5	山形 美有紀			
27	5745	005	美学美術史学	演習II	3-4	2	前期	月5	天王寺谷 千裕			
28	5745	006	美学美術史学	演習II	3-4	2	後期	火2	天王寺谷 千裕			
29	5746	001	美学美術史学	演習III	3-4	2	前期	金4	平川,杉山,筒井,田中			
30	5746	002	美学美術史学	演習III	3-4	2	後期	金4	平川,杉山,筒井,田中			
31	5753	001	美学美術史学	講読	2-4	2	前期	木2	高井 たかね	和書講読		
32	5753	002	美学美術史学	講読	2-4	2	後期	木2	田中 健一	和書講読		
33	9990	009	卒業論文(美学美術史学)	卒業論文	4	12	通年	集中	平川,杉山,筒井,田中			

【東洋文化学系】

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
01	1301	001	系共通科目(国語学)	講義	2-4	4	通年	水2	大槻 信			
02	1303	001	系共通科目(国文学)	講義	2-4	4	通年	火1	金光 桂子			
03	1402	001	系共通科目(中国語学)	講義	2-4	2	前期	水5	木津 祐子			
04	1404	001	系共通科目(中国語学)	講義	2-4	2	後期	水5	木津 祐子			
05	1406	001	系共通科目(中国文学)	講義	2-4	2	前期	金5	成田 健太郎			
06	1408	001	系共通科目(中国文学)	講義	2-4	2	後期	金5	成田 健太郎			
07	1502	001	系共通科目(中国哲学史)	講義	1-4	2	前期	火4	池田 恭哉			
08	1504	001	系共通科目(中国哲学史)	講義	1-4	2	後期	火4	池田 恭哉			
09	1602	001	系共通科目(サンスクリット語学サンスクリット文学)	講義	1-4	2	前期	月3	天野 恭子			
10	1604	001	系共通科目(サンスクリット語学サンスクリット文学)	講義	1-4	2	後期	月3	天野 恭子			
11	1702	001	系共通科目(インド哲学史)	講義	1-4	2	前期	水4	VASUDEVA, Somdev			
12	1704	001	系共通科目(インド哲学史)	講義	1-4	2	後期	水4	VASUDEVA, Somdev			
13	1802	001	系共通科目(仏教学)	講義	1-4	2	前期	月2	宮崎 泉			
14	1804	001	系共通科目(仏教学)	講義	1-4	2	後期	月2	宮崎 泉			
01	1331	013	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	河村 瑛子			
02	1331	012	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	河村 瑛子			
03	1331	010	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	前期	月3	田中 草大			
04	1331	011	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	後期	月3	田中 草大			
05	1330	002	国語学国文学	特殊講義	2-4	4	通年	火2	池田 恭哉		◎中国哲学史	
06	1331	001	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	前期	水4	須田 千里		メディア文化学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
07	1331	002	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	後期	水4	須田 千里		メディア文化学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
08	1331	003	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	前期	木2	佐野 宏		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
09	1331	004	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	後期	木2	佐野 宏		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
10	1331	005	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	長谷川 千尋		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
11	1331	006	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	長谷川 千尋		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
12	1331	007	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	前期	木2	市村 太郎		人間・環境学研究科 総合人間学部	
13	1331	008	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	後期	木2	市村 太郎		人間・環境学研究科 総合人間学部	
14	1331	014	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	前期	金3	土佐 朋子		総合人間学部	
15	1331	015	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	後期	金3	土佐 朋子		総合人間学部	
16	1331	009	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	佐々木 孝浩			
17	1340	001	国語学国文学	演習	3-4	4	通年	金5	大槻 信			
18	1340	002	国語学国文学	演習	3-4	4	通年	火3	金光 桂子			
19	1341	009	国語学国文学	演習	3-4	2	後期	月4	河村 瑛子			
20	1340	004	国語学国文学	演習	3-4	4	通年	木5	田中 草大			
21	1341	001	国語学国文学	演習	3-4	2	前期	木2	緑川 英樹		◎中国語学中国文学	
22	1341	002	国語学国文学	演習	3-4	2	後期	木2	緑川 英樹		◎中国語学中国文学	
23	1341	007	国語学国文学	演習	3-4	2	前期	火2	高橋 幸平		メディア文化学	人間・環境学研究科 総合人間学部
24	1341	008	国語学国文学	演習	3-4	2	後期	火2	高橋 幸平		メディア文化学	人間・環境学研究科 総合人間学部
25	1350	001	国語学国文学	講読	2-4	4	通年	木4	畑田 昌広			
26	1345	001	国語学国文学	卒論演習	4	4	通年	月1	大槻, 金光, 河村, 田中			
27	9990	010	卒業論文(国語学国文学)	卒業論文	4	12	通年	集中	大槻, 金光, 河村, 田中			
01	1431	001	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	前期	火1	永田 知之		中国哲学史	
02	1431	002	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	後期	火1	永田 知之		中国哲学史	
03	1431	003	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	前期	金2	井口 千雪			
04	1431	004	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	後期	金2	井口 千雪			
05	1431	005	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	後期	火4	木津 祐子			
06	1431	006	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	前期	火3	松江 崇		◎人間・環境学研究科	
07	1431	007	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	後期	火3	松江 崇		◎人間・環境学研究科	

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
08	1431	009	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	前期	金1	野原 将揮		言語学	
09	1431	008	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	後期	金1	野原 将揮		言語学	
10	1431	012	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	大西 克也			
11	1431	010	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	前期	木1	池田 巧			
12	1431	011	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	後期	木1	池田 巧			
13	1447	001	中国語学中国文学	演習	3-4	2	前期	月4	成田 健太郎	語学演習		
14	1447	002	中国語学中国文学	演習	3-4	2	後期	月4	成田 健太郎	語学演習		
15	1447	003	中国語学中国文学	演習	3-4	2	前期	水3	津守 陽	語学演習	◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
16	1447	004	中国語学中国文学	演習	3-4	2	後期	水3	木津 祐子	語学演習		
17	1449	001	中国語学中国文学	演習	3-4	2	前期	木2	緑川 英樹	文学演習	国語学国文学	
18	1449	002	中国語学中国文学	演習	3-4	2	後期	木2	緑川 英樹	文学演習	国語学国文学	
19	1451	001	中国語学中国文学	講読	2-4	2	前期	火5	緑川 英樹			
20	1451	002	中国語学中国文学	講読	2-4	2	後期	火5	緑川 英樹			
21	1464	001	中国語学中国文学	外国語実習	4	1	前期	金5	楊 維公			
22	1464	002	中国語学中国文学	外国語実習	4	1	後期	金5	楊 維公			
23	1464	003	中国語学中国文学	外国語実習	3-4	1	前期	金4	楊 維公			
24	1464	004	中国語学中国文学	外国語実習	3-4	1	後期	金4	楊 維公			
25	1445	001	中国語学中国文学	卒論演習	4	2	通年	水2	木津 祐子, 緑川 英樹, 成田 健太郎			
26	9990	011	卒業論文(中国語学中国文学)	卒業論文	4	12	通年	集中	木津 祐子, 緑川 英樹, 成田 健太郎			
01	1530	002	中国哲学史	特殊講義	3-4	4	通年	水4	池田 恭哉			
02	1531	010	中国哲学史	特殊講義	3-4	2	前期	火1	永田 知之		◎中国語学中国文学	
03	1531	011	中国哲学史	特殊講義	3-4	2	後期	火1	永田 知之		◎中国語学中国文学	
04	1531	006	中国哲学史	特殊講義	3-4	2	前期	火4	船山 徹		◎仏教学	
05	1531	007	中国哲学史	特殊講義	3-4	2	後期	火4	船山 徹		◎仏教学	
06	1531	004	中国哲学史	特殊講義	3-4	2	前期	木2	倉本 尚徳		◎仏教学	
07	1531	005	中国哲学史	特殊講義	3-4	2	後期	木2	倉本 尚徳		◎仏教学	
08	1540	002	中国哲学史	演習	3-4	4	通年	水2	池田 恭哉			
09	1541	002	中国哲学史	演習	3-4	2	前期	月5	福谷 彬			
10	1541	001	中国哲学史	演習	3-4	2	後期	月5	福谷 彬			
11	1541	003	中国哲学史	演習	3-4	2	前期	月3	古勝 隆一			
12	1541	004	中国哲学史	演習	3-4	2	後期	月3	古勝 隆一			
13	1550	001	中国哲学史	講読	2-4	4	通年	火2	池田 恭哉		国語学国文学	
14	9990	012	卒業論文(中国哲学史)	卒業論文	4	12	通年	集中	池田 恭哉			
01	1633	001	インド古典学	特殊講義	3-4	2	後期	金2	天野 恭子			
02	1633	002	インド古典学	特殊講義	3-4	2	前期	火2	VASUDEVA, Somdev		◎文化越境	
03	1633	003	インド古典学	特殊講義	3-4	2	後期	火2	VASUDEVA, Somdev		◎文化越境(院)	
04	1633	008	インド古典学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	CATT, Adam Alvah		◎言語学	
05	1633	007	インド古典学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	CATT, Adam Alvah		◎言語学	
06	1633	005	インド古典学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	沼田 一郎・谷口 力光			
07	1633	006	インド古典学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	Martin Kümmel, Benedikt Peschl, Chams Bernard			
08	1644	003	インド古典学	演習	3-4	2	前期	金2	天野 恭子			
09	1644	004	インド古典学	演習	3-4	2	前期	火5	VASUDEVA, Somdev			
10	1644	011	インド古典学	演習	3-4	2	後期	火5	VASUDEVA, Somdev			
11	1644	001	インド古典学	演習	3-4	2	後期	月2	Tao PAN		言語学	
12	1644	002	インド古典学	演習	2-4	2	後期	月3	Tao PAN			
13	1644	008	インド古典学	演習	3-4	2	前期	月2	Tao PAN		言語学	
14	1644	005	インド古典学	演習	2-4	2	前期	木4	山口 周子		仏教学	
15	1644	006	インド古典学	演習	2-4	2	後期	木4	芳原 綾子		仏教学	
16	1644	009	インド古典学	演習	3-4	2	前期	火1	天野,VASUDEVA Somdev,Tao PAN			

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
17	1644	010	インド古典学	演習	3-4	2	後期	火1	天野,VASUDEVA Somdev,Tao PAN			
18	1653	001	インド古典学	講読	2-4	2	前期	水2	天野 恭子			
19	1653	002	インド古典学	講読	2-4	2	後期	水2	大島 智靖			
20	1653	003	インド古典学	講読	3-4	2	前期	木3	Tao PAN		仏教学	
21	1653	004	インド古典学	講読	3-4	2	後期	木3	Tao PAN		仏教学	
22	9616	001	インド古典学	語学	1-4	4	通年	月4	山口 周子	学部共通科目	仏教学 西南アジア史学	サンスクリット (2時間コース)
23	9617	001	インド古典学	語学	1-4	8	通年	月5,木5	Tao PAN	学部共通科目	仏教学	サンスクリット (4時間コース)
24	9633	001	インド古典学	語学	1-4	4	通年	金4	濱谷 真理子	学部共通科目	西南アジア史学 ヒンディー語(初級)	アジア・アフリカ 地域研究研究科
25	9659	001	インド古典学	語学	2-4	2	前期	火3	西岡 美樹	学部共通科目	ヒンディー語(中級)	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
26	9660	001	インド古典学	語学	2-4	2	後期	火3	西岡 美樹	学部共通科目	ヒンディー語(中級)	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
27	9990	013	卒業論文(インド古典学)	卒業論文	4	12	通年	集中	天野 恭子, VASUDEVA Somdev			
01	1831	001	仏教学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	宮崎 泉			
02	1831	002	仏教学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	宮崎 泉			
03	1831	003	仏教学	特殊講義	3-4	2	前期	火4	船山 徹		中国哲学史	
04	1831	004	仏教学	特殊講義	3-4	2	後期	火4	船山 徹		中国哲学史	
05	1831	007	仏教学	特殊講義	3-4	2	後期	金2	DEROCHE, Marc-Henri Jean			
06	1831	008	仏教学	特殊講義	3-4	2	前期	木2	倉本 尚徳		中国哲学史	
07	1831	009	仏教学	特殊講義	3-4	2	後期	木2	倉本 尚徳		中国哲学史	
08	1841	001	仏教学	演習	3-4	2	前期	火3	宮崎 泉			
09	1841	002	仏教学	演習	3-4	2	後期	火3	宮崎 泉			
10	1841	003	仏教学	演習	3-4	2	前期	集中	岸野 亮示			
11	1841	004	仏教学	演習	3-4	2	前期	水4	熊谷 誠慈			
12	1841	006	仏教学	演習	3-4	2	前期	火2	佐藤 直実			
13	1841	007	仏教学	演習	3-4	2	後期	月5	志賀 浄邦			
14	1841	008	仏教学	演習	2-4	2	前期	木4	山口 周子		◎インド古典学	
15	1841	009	仏教学	演習	2-4	2	後期	木4	芳原 綾子		◎インド古典学	
16	1841	010	仏教学	演習	3-4	2	後期	木5	菊谷 竜太			
17	1851	001	仏教学	講読I	3-4	2	前期	木3	Tao PAN		◎インド古典学	
18	1851	002	仏教学	講読I	3-4	2	後期	木3	Tao PAN		◎インド古典学	
19	9616	001	仏教学	語学	1-4	4	通年	月4	山口 周子	学部共通科目	◎インド古典学 西南アジア史学	サンスクリット (2時間コース)
20	9617	001	仏教学	語学	1-4	8	通年	月5,木5	Tao PAN	学部共通科目	◎インド古典学	サンスクリット (4時間コース)
21	9628	001	仏教学	語学	2-4	2	前期	月1	高橋 慶治	学部共通科目	チベット語(初級)	
22	9629	001	仏教学	語学	2-4	2	後期	月1	高橋 慶治	学部共通科目	チベット語(初級)	
23	9630	001	仏教学	語学	3-4	2	前期	水1	宮崎 泉	学部共通科目	チベット語(中級)	
24	9630	002	仏教学	語学	3-4	2	後期	水1	宮崎 泉	学部共通科目	チベット語(中級)	
25	9990	014	卒業論文(仏教学)	卒業論文	4	12	通年	集中	宮崎 泉			

【西洋文化学系】

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
01	3100	001	系共通科目(西洋古典学)	講義	1-4	2	前期	金4	河島 思朗			
02	3102	001	系共通科目(西洋古典学)	講義	1-4	2	後期	水5	竹下哲文			
03	3202	001	系共通科目(スラブ語学スラブ文学)	講義	1-4	2	前期	水5	中村 唯史			
04	3204	001	系共通科目(スラブ語学スラブ文学)	講義	1-4	2	後期	水5	中村 唯史			
05	3302	M01	系共通科目(ドイツ語学ドイツ文学)	講義	1-4	2	前期	金2	籠 碧			
06	3304	001	系共通科目(ドイツ語学ドイツ文学)	講義	1-4	2	後期	金2	川島 隆			
07	3402	001	系共通科目(英語学)	講義A	1-4	2	前期	水5	家入 葉子		総合人間学部	
08	3404	001	系共通科目(英語学)	講義B	1-4	2	後期	水5	家入 葉子		総合人間学部	
09	3406	001	系共通科目(英文学)	講義A	1-4	2	前期	火2	廣田 篤彦			
10	3408	001	系共通科目(英文学)	講義B	1-4	2	後期	金1	南谷 奉良			
11	3502	001	系共通科目(アメリカ文学)	講義A	1-4	2	前期	金3	小林 久美子			
12	3503	001	系共通科目(アメリカ文学)	講義B	1-4	2	後期	火5	森 慎一郎			
13	3604	001	系共通科目(フランス文学)	講義	1-4	2	後期	木2	永盛 克也			
14	3606	001	系共通科目(フランス文学)	講義	1-4	2	前期	金2	森本 淳生			
15	3607	001	系共通科目(フランス語学)	講義	2-4	2	前期	火3	小田 涼			
16	3608	001	系共通科目(フランス語学)	講義	2-4	2	前期	木3	守田 貴弘		◎全学共通科目	科目名「言語科学I」
17	3702	001	系共通科目イタリア語学イタリア文学	講義	1-4	2	前期	月3	村瀬 有司			
18	3703	001	系共通科目イタリア語学イタリア文学	講義	1-4	2	後期	月3	村瀬 有司			
19	3902	001	西洋文学入門(講義)	講義	1-2	2	前期	木5	河島, 村瀬, 鳥山, 川島, 中村, 廣田, 小林			
01	3131	001	西洋古典学	特殊講義	3-4	2	前期	木2	河島 思朗			
02	3131	002	西洋古典学	特殊講義	3-4	2	後期	木2	河島 思朗			
03	3131	003	西洋古典学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	竹下 哲文			
04	3131	004	西洋古典学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	竹下 哲文			
05	3141	001	西洋古典学	演習	3-4	2	前期	月3	河島 思朗			
06	3141	003	西洋古典学	演習	3-4	2	後期	月3	河島 思朗			
07	3141	002	西洋古典学	演習	3-4	2	後期	金3	平山 晃司			
08	3141	004	西洋古典学	演習	3-4	2	前期	金5	竹下 哲文			
09	3141	005	西洋古典学	演習	3-4	2	後期	金5	竹下 哲文			
10	3141	006	西洋古典学	演習	3-4	2	前期	月5	河島 思朗			
11	3141	007	西洋古典学	演習	3-4	2	後期	月5	河島 思朗			
12	3141	010	西洋古典学	演習	3-4	2	前期	金4	西村 洋平		◎西洋哲学史	
13	3141	011	西洋古典学	演習	3-4	2	後期	金4	西村 洋平		◎西洋哲学史	
14	3151	001	西洋古典学	講読	2-4	2	前期	火4	竹下 哲文		西洋史学	
15	3151	002	西洋古典学	講読	2-4	2	後期	火4	竹下 哲文		西洋史学	
16	3151	003	西洋古典学	講読	2-4	2	前期	火2	山下 修一			
17	3151	004	西洋古典学	講読	2-4	2	後期	火2	山下 修一			
18	9615	001	西洋古典学	語学	2-4	8	通年	月1,木1	広川 直幸	学部共通科目	ギリシア語 (初級4時間コース)	
19	9645	001	西洋古典学	語学	2-4	8	通年	月2,金2	佐藤 義尚	学部共通科目	ラテン語 (初級4時間コース)	
20	9664	001	西洋古典学	語学	2-4	2	前期	金3	西村 洋平	学部共通科目	ギリシア語(初級)Ⅰ	哲学(院)
21	9665	001	西洋古典学	語学	2-4	2	後期	金3	西村 洋平	学部共通科目	ギリシア語(初級)Ⅱ	哲学(院)
22	9666	001	西洋古典学	語学	2-4	2	前期	水2	勝又 泰洋	学部共通科目	ラテン語(初級)Ⅰ	哲学(院)
23	9667	001	西洋古典学	語学	2-4	2	後期	水2	勝又 泰洋	学部共通科目	ラテン語(初級)Ⅱ	哲学(院)
24	9990	015	卒業論文(西洋古典学)	卒業論文	4	12	通年	集中	河島 思朗, 竹下 哲文			
01	3231	001	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	3-4	2	前期	火4	堀口 大樹		◎人間・環境学研究科	
02	3231	002	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	3-4	2	後期	水2	北井 聡子			
03	3231	003	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	3-4	2	前期	月4	中村 唯史			
04	3231	005	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	3-4	2	後期	月4	中村 唯史			
05	3231	006	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	Fedorova Anastasia			

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
06	3241	004	スラブ語学スラブ文学	演習	3-4	2	前期	木2	中村 唯史			
07	3241	005	スラブ語学スラブ文学	演習	3-4	2	後期	木2	中村 唯史			
08	3241	001	スラブ語学スラブ文学	演習	3-4	2	前期	月3	中野 悠希			
09	3241	007	スラブ語学スラブ文学	演習	2-4	2	後期	月3	中野 悠希			
10	3241	006	スラブ語学スラブ文学	演習	3-4	2	前期	金3	森谷 理紗			
11	3241	008	スラブ語学スラブ文学	演習	3-4	2	後期	火4	堀口 大樹		◎人間・環境学研究科	
12	3251	001	スラブ語学スラブ文学	講読	2-4	2	前期	火3	伊藤 順二	露書講読	◎西洋史学	基礎現代文化学
13	3251	002	スラブ語学スラブ文学	講読	2-4	2	後期	火3	伊藤 順二	露書講読	◎西洋史学	基礎現代文化学
14	3251	003	スラブ語学スラブ文学	講読	2-4	2	前期	水2	中村 唯史			
15	3251	005	スラブ語学スラブ文学	講読	2-4	2	後期	金4	帯谷 知可			
16	3251	006	スラブ語学スラブ文学	講読	3-4	2	前期	火4	小山 哲	ポーランド語講読	◎西洋史学	
17	3251	007	スラブ語学スラブ文学	講読	3-4	2	後期	火4	小山 哲	ポーランド語講読	◎西洋史学	
18	3251	008	スラブ語学スラブ文学	講読	2-4	2	後期	水3	北井 聡子			
19	3262	001	スラブ語学スラブ文学	外国語実習	3-4	1	前期	木3	Svetlana, Vinogradova			
20	3262	002	スラブ語学スラブ文学	外国語実習	3-4	1	後期	木3	Svetlana, Vinogradova			
21	9661	001	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	前期	木4	Bogna Sasaki	学部共通科目	ポーランド語(初級I)	言語学
22	9662	001	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	後期	木4	Bogna Sasaki	学部共通科目	ポーランド語(初級I)	言語学
23	9642	001	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	前期	木5	Bogna Sasaki	学部共通科目	ポーランド語(中級II)	言語学
24	9642	002	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	後期	木5	Bogna Sasaki	学部共通科目	ポーランド語(中級II)	言語学
25	9646	001	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	後期	火4	中村 唯史	学部共通科目	ロシア語(初級)	
26	9647	001	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	前期	火4	中村 唯史	学部共通科目	ロシア語(中級)	
27	9684	001	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	前期	水4	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	ブルガリア(初級)	言語学
28	9685	001	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	後期	水4	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	ブルガリア(中級)	言語学
29	9680	001	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	前期	水5	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	古教会スラヴ語(初級)	言語学
30	9681	001	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	後期	水5	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	古教会スラヴ語(中級)	言語学
31	9686	001	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	前期	金2	田中 大	学部共通科目	チェコ語(初級)	言語学
32	9687	001	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	後期	金2	田中 大	学部共通科目	チェコ語(中級)	言語学
33	9990	016	卒業論文(スラブ語学スラブ文学)	卒業論文	4	12	通年	集中	中村 唯史			
01	3331	001	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	前期	月4	川島 隆			
02	3331	002	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	後期	月4	籠 碧			
03	3331	005	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	前期	金3	河崎 靖		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
04	3331	006	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	前期	火3	BEUTTEL, Bianca			
05	3331	007	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	後期	火3	BEUTTEL, Bianca			
06	3331	008	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	前期	水5	浅井 佑太		美学美術史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
07	3331	009	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	後期	水5	浅井 佑太		美学美術史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
08	3341	001	ドイツ語学ドイツ文学	演習I	3-4	2	前期	水4	川島 隆			
09	3341	002	ドイツ語学ドイツ文学	演習I	3-4	2	後期	水4	川島 隆			
10	3343	001	ドイツ語学ドイツ文学	演習II	3-4	2	前期	火4	籠 碧			
11	3343	002	ドイツ語学ドイツ文学	演習II	3-4	2	後期	火4	籠 碧			
12	3345	001	ドイツ語学ドイツ文学	演習III	3-4	2	前期	金5	川島 隆・籠 碧			
13	3345	002	ドイツ語学ドイツ文学	演習III	3-4	2	後期	金5	川島 隆・籠 碧			
14	3351	001	ドイツ語学ドイツ文学	講読	2-4	2	前期	月2	浅井 知代			
15	3351	002	ドイツ語学ドイツ文学	講読	2-4	2	後期	木5	ポルドゥニャク エドワルド			
16	3351	003	ドイツ語学ドイツ文学	講読	2-4	2	前期	水2	藤田 隼風			
17	3351	004	ドイツ語学ドイツ文学	講読	2-4	2	後期	火2	杉山 東洋			
18	3362	001	ドイツ語学ドイツ文学	外国語実習	2-4	1	前期	金4	Franz, Edgar Hermann			
19	3362	002	ドイツ語学ドイツ文学	外国語実習	2-4	1	後期	金4	Franz, Edgar Hermann			
20	9990	017	卒業論文(ドイツ語学ドイツ文学)	卒業論文	4	12	通年	集中	川島 隆,籠 碧			

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部（研究科）共通 （他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること）	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
01	3431	022	英語学英文学	特殊講義	2-4	2	前期	集中	家入 葉子		アメリカ文学	
02	3431	002	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	後期	水1	廣田 篤彦		アメリカ文学	
03	3431	003	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	前期	金4	南谷 奉良		アメリカ文学	
04	3431	004	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	前期	水5	森 慎一郎		◎アメリカ文学	
05	3431	005	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	後期	金4	小林 久美子		◎アメリカ文学	
06	3431	006	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	前期	水4	谷口 一美		アメリカ文学 言語学	◎人間・環境学研究科
07	3431	007	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	後期	水4	谷口 一美		アメリカ文学 言語学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
08	3431	010	英語学英文学	特殊講義	2-4	2	前期	木2	滝沢 直宏		アメリカ文学	
09	3431	011	英語学英文学	特殊講義	2-4	2	後期	木2	滝沢 直宏		アメリカ文学	
10	3431	012	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	前期	月3	宮澤 直美		◎アメリカ文学	
11	3431	013	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	後藤 篤		◎アメリカ文学	
12	3431	014	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	前期	月1	メドロック 麻弥		◎アメリカ文学	
13	3431	015	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	後期	火2	西谷 拓哉		◎アメリカ文学	
14	3431	016	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	前期	月2	西谷 茉莉子		アメリカ文学	
15	3431	020	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	後期	月4	西谷 茉莉子		アメリカ文学	
16	3431	017	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	後期	木3	木島 菜菜子		アメリカ文学	
17	3431	018	英語学英文学	特殊講義	2-4	2	前期	火3	WROBETZ, Kevin Reay		アメリカ文学	
18	3431	019	英語学英文学	特殊講義	2-4	2	後期	火3	WROBETZ, Kevin Reay		アメリカ文学	
19	3431	021	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	尾崎 俊介		◎アメリカ文学	
20	3441	001	英語学英文学	演習I	2-4	2	前期	火4	家入 葉子		アメリカ文学	
21	3441	002	英語学英文学	演習I	2-4	2	後期	火4	家入 葉子		アメリカ文学	
22	3441	003	英語学英文学	演習I	3-4	2	前期	金2	南谷 奉良		アメリカ文学	
23	3441	004	英語学英文学	演習I	3-4	2	後期	金2	南谷 奉良		アメリカ文学	
24	3441	005	英語学英文学	演習I	3-4	2	前期	水2	小林 久美子		◎アメリカ文学	
25	3441	006	英語学英文学	演習I	3-4	2	後期	水2	小林 久美子		◎アメリカ文学	
26	3444	001	英語学英文学	演習II	4	2	前期	火1	廣田 篤彦			
27	3444	002	英語学英文学	演習II	4	2	後期	火1	廣田 篤彦			
28	3451	001	英語学英文学	講読	2-4	2	前期	水1	廣田 篤彦		アメリカ文学	
29	3451	002	英語学英文学	講読	2-4	2	後期	月3	南谷 奉良		アメリカ文学	
30	3451	003	英語学英文学	講読	2-4	2	前期	火5	森 慎一郎		◎アメリカ文学	
31	3451	004	英語学英文学	講読	2-4	2	後期	金3	小林 久美子		◎アメリカ文学	
32	3462	001	英語学英文学	外国語実習	2-4	1	前期	水1	LUDVIK, Catherine		アメリカ文学	
33	3462	002	英語学英文学	外国語実習	2-4	1	後期	木1	LUDVIK, Catherine		アメリカ文学	
34	3462	003	英語学英文学	外国語実習	2-4	1	前期	水4	JACKSON, Lachlan Rigby		◎アメリカ文学	
35	3462	004	英語学英文学	外国語実習	2-4	1	後期	水4	JACKSON, Lachlan Rigby		◎アメリカ文学	
36	9990	018	卒業論文(英語学英文学)	卒業論文	4	12	通年	集中	家入 葉子, 廣田 篤彦, 南谷 奉良			
01	3531	001	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	前期	水5	森 慎一郎		英語学英文学	
02	3531	002	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	後期	金4	小林 久美子		英語学英文学	
03	3531	022	アメリカ文学	特殊講義	2-4	2	前期	集中	家入 葉子		◎英語学英文学	
04	3531	004	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	後期	水1	廣田 篤彦		◎英語学英文学	
05	3531	005	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	前期	金4	南谷 奉良		◎英語学英文学	
06	3531	008	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	前期	水4	谷口 一美		英語学英文学 言語学	◎人間・環境学研究科
07	3531	009	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	後期	水4	谷口 一美		英語学英文学 言語学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
08	3531	010	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	前期	月3	宮澤 直美		英語学英文学	
09	3531	011	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	後藤 篤		英語学英文学	
10	3531	012	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	前期	月1	メドロック 麻弥		英語学英文学	
11	3531	013	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	後期	火2	西谷 拓哉		英語学英文学	
12	3531	014	アメリカ文学	特殊講義	2-4	2	前期	木2	滝沢 直宏		◎英語学英文学	
13	3531	015	アメリカ文学	特殊講義	2-4	2	後期	木2	滝沢 直宏		◎英語学英文学	

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
14	3531	016	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	前期	月2	西谷 茉莉子		◎英語学英文学	
15	3531	020	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	後期	月4	西谷 茉莉子		◎英語学英文学	
16	3531	017	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	後期	木3	木島 菜菜子		◎英語学英文学	
17	3531	018	アメリカ文学	特殊講義	2-4	2	前期	火3	WROBETZ, Kevin Reay		◎英語学英文学	
18	3531	019	アメリカ文学	特殊講義	2-4	2	後期	火3	WROBETZ, Kevin Reay		◎英語学英文学	
19	3531	021	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	尾崎 俊介		英語学英文学	
20	3541	001	アメリカ文学	演習I	3-4	2	前期	水2	小林 久美子		英語学英文学	
21	3541	002	アメリカ文学	演習I	3-4	2	後期	水2	小林 久美子		英語学英文学	
22	3541	003	アメリカ文学	演習I	2-4	2	前期	火4	家入 葉子		◎英語学英文学	
23	3541	004	アメリカ文学	演習I	2-4	2	後期	火4	家入 葉子		◎英語学英文学	
24	3541	005	アメリカ文学	演習I	3-4	2	前期	金2	南谷 奉良		◎英語学英文学	
25	3541	006	アメリカ文学	演習I	3-4	2	後期	金2	南谷 奉良		◎英語学英文学	
26	3544	001	アメリカ文学	演習II	4	2	前期	火4	森 慎一郎			
27	3544	002	アメリカ文学	演習II	4	2	後期	火4	森 慎一郎			
28	3551	001	アメリカ文学	講読	2-4	2	前期	火5	森 慎一郎		英語学英文学	
29	3551	002	アメリカ文学	講読	2-4	2	後期	金3	小林 久美子		英語学英文学	
30	3551	003	アメリカ文学	講読	2-4	2	前期	水1	廣田 篤彦		◎英語学英文学	
31	3551	004	アメリカ文学	講読	2-4	2	後期	月3	南谷 奉良		◎英語学英文学	
32	3562	001	アメリカ文学	外国語実習	2-4	1	前期	水1	LUDVIK, Catherine		◎英語学英文学	
33	3562	002	アメリカ文学	外国語実習	2-4	1	後期	木1	LUDVIK, Catherine		◎英語学英文学	
34	3562	003	アメリカ文学	外国語実習	2-4	1	前期	水4	JACKSON, Lachlan Rigby		英語学英文学	
35	3562	004	アメリカ文学	外国語実習	2-4	1	後期	水4	JACKSON, Lachlan Rigby		英語学英文学	
36	9990	019	卒業論文(アメリカ文学)	卒業論文	4	12	通年	集中	森 慎一郎,小林 久美子			
01	3631	001	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	前期	木2	永盛 克也			
02	3631	002	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	後期	金2	森本 淳生			
03	3631	003	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	前期	木3	Justine LE FLOC'H			
04	3631	004	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	後期	木3	Justine LE FLOC'H			
05	3631	005	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	前期	火2	鳥山 定嗣			
06	3631	006	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	後期	火2	鳥山 定嗣			
07	3631	008	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	村上 祐二			
08	3631	010	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	村上 祐二			
09	3631	012	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	後期	月3	伊藤 玄吾			
10	3631	013	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	前期	金3	菅原 百合絵			
11	3631	014	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	後期	金3	菅原 百合絵			
12	3631	007	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	鵜戸 聡			
13	3645	003	フランス語学フランス文学	演習	3-4	2	前期	木4	Justine LE FLOC'H			
14	3645	004	フランス語学フランス文学	演習	3-4	2	後期	木4	Justine LE FLOC'H			
15	3647	001	フランス語学フランス文学	演習II	4	2	前期	月4	永盛 克也,村上 祐二,鳥山 定嗣			
16	3647	002	フランス語学フランス文学	演習II	4	2	後期	月4	永盛 克也,村上 祐二,鳥山 定嗣			
17	3648	001	フランス語学フランス文学	演習I	3-4	2	前期	月2	鳥山 定嗣			
18	3648	002	フランス語学フランス文学	演習I	3-4	2	後期	月2	村上 祐二			
19	3651	001	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	後期	月3	鳥山 定嗣			
20	3651	002	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	前期	月3	村上 祐二			
21	3651	005	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	前期	金4	中筋 朋		◎総合人間学部	科目名「比較パラダイム文明論演習A」
22	3651	006	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	後期	金4	中筋 朋		◎総合人間学部	科目名「比較パラダイム文明論演習B」
23	3651	007	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	後期	水2	藤野 志織			
24	3663	001	フランス語学フランス文学	外国語実習	2-4	1	前期	火4	Justine LE FLOC'H			
25	3663	002	フランス語学フランス文学	外国語実習	2-4	1	後期	火4	Justine LE FLOC'H			
26	9990	020	卒業論文(フランス語学フランス文学)	卒業論文	4	12	通年	集中	永盛 克也, 村上 祐二, 鳥山 定嗣			

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
01	3731	003	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	村瀬 有司			
02	3731	004	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	Ida Duretto			
03	3731	005	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	Ida Duretto			
04	3731	006	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	3-4	2	前期	水5	Ida Duretto			
05	3731	007	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	3-4	2	後期	水5	Ida Duretto			
06	3741	001	イタリア語学イタリア文学	演習	3-4	2	前期	金3	村瀬 有司			
07	3741	002	イタリア語学イタリア文学	演習	3-4	2	後期	金3	村瀬 有司			
08	3741	003	イタリア語学イタリア文学	演習	3-4	2	前期	木4	内田 健一			
09	3741	004	イタリア語学イタリア文学	演習	3-4	2	後期	木4	内田 健一			
10	3741	005	イタリア語学イタリア文学	演習	3-4	2	通年	木2	村瀬 有司, Ida Duretto			
11	3741	006	イタリア語学イタリア文学	演習	3-4	2	前期	火2	霜田 洋祐		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
12	3741	007	イタリア語学イタリア文学	演習	3-4	2	後期	火2	霜田 洋祐		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
13	3751	001	イタリア語学イタリア文学	講読	2-4	2	前期	水4	村瀬 有司	伊書講読	西洋史学	基礎現代文化学
14	3751	002	イタリア語学イタリア文学	講読	2-4	2	後期	水4	村瀬 有司	伊書講読	西洋史学	基礎現代文化学
15	3751	003	イタリア語学イタリア文学	講読	2-4	2	前期	火4	河合 成雄			
16	3751	004	イタリア語学イタリア文学	講読	2-4	2	後期	火4	河合 成雄			
17	3764	001	イタリア語学イタリア文学	外国語実習	3-4	1	前期	火3	Ida Duretto			
18	3764	002	イタリア語学イタリア文学	外国語実習	3-4	1	後期	火3	Ida Duretto			
19	9675	001	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	4	前期	金4,金5	田中 真美	学部共通科目	イタリア語(初級I)	
20	9676	001	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	4	後期	金4,金5	田中 真美	学部共通科目	イタリア語(初級II)	
21	9663	001	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	2	前期	火5	Ida Duretto	学部共通科目	イタリア語会話(中級)	
22	9663	002	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	2	後期	火5	Ida Duretto	学部共通科目	イタリア語会話(中級)	
23	9673	001	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	2	前期	火4	小西 咲子	学部共通科目	スペイン語(初級I)	
24	9674	001	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	2	後期	火4	小西 咲子	学部共通科目	スペイン語(初級II)	
25	9668	001	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	2	前期	火5	小西 咲子	学部共通科目	スペイン語(中級I)	
26	9669	001	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	2	後期	火5	小西 咲子	学部共通科目	スペイン語(中級II)	
27	9990	021	卒業論文(イタリア語学イタリア文学)	卒業論文	4	12	通年	集中	村瀬 有司			

【歴史基礎文化学系】

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
01	6601	001	系共通科目(日本史学)(講義)	講義	2-4	4	通年	水2	谷川 穣		教育学部	
02	6701	001	系共通科目(東洋史学)(講義)	講義	2-4	4	通年	火2	中砂 明徳		教育学部	
03	6801	001	系共通科目(西南アジア史学)(講義)	講義	2-4	4	通年	月2	磯貝 健一			
04	6901	001	系共通科目(西洋史学)(講義)	講義	2-4	4	通年	火5	藤井 崇		教育学部	
05	7001	001	系共通科目(考古学)	講義	1-4	4	通年	火1	下垣 仁志			
06			系共通科目(先史学)	講義	1-4	4	通年		(不開講)			
01	6631	002	日本史学	特殊講義	3-4	2	後期	火4	三宅 正浩			
02	6631	003	日本史学	特殊講義	3-4	2	後期	金4	本庄 総子			
03	6631	016	日本史学	特殊講義	3-4	2	前期	木2	吉江 崇		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
04	6631	017	日本史学	特殊講義	3-4	2	後期	木2	吉江 崇		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
05	6631	014	日本史学	特殊講義	3-4	2	前期	木3	熊谷 隆之		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
06	6631	015	日本史学	特殊講義	3-4	2	後期	木3	熊谷 隆之		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
07	6631	004	日本史学	特殊講義	3-4	2	前期	月2	岩城 卓二			
08	6631	008	日本史学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	岩崎 奈緒子			
09	6631	006	日本史学	特殊講義	3-4	2	前期	火2	福家 崇洋		現代史学	
10	6631	007	日本史学	特殊講義	3-4	2	後期	木4	斎木 涼子			
11	6631	009	日本史学	特殊講義	3-4	2	前期	火5	横内 裕人			
12	6631	010	日本史学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	佐藤 雄介			
13	6631	011	日本史学	特殊講義	3-4	2	後期	金2	後藤 敦史		西洋史学	
14	6631	012	日本史学	特殊講義	3-4	2	前期	金1	佐々木 政文		現代史学	教育学部
15	6640	004	日本史学	演習I	3-4	4	通年	金3	谷川 穣			
16	6640	001	日本史学	演習I	3-4	4	通年	水1	三宅 正浩			
17	6640	002	日本史学	演習I	3-4	4	通年	金2	本庄 総子			
18	6640	003	日本史学	演習I	3-4	4	通年	月5	小原 嘉記			
19	6642	001	日本史学	演習II	4	4	通年	木1	谷川 穣, 三宅 正浩, 本庄 総子			
20	6646	001	日本史学	基礎演習	2-4	4	通年	木5	谷川,三宅,本庄,松井			
21	6650	001	日本史学	講読	2-4	4	通年	月4	笹川 尚紀			
22	6650	002	日本史学	講読	2-4	4	通年	金5	松井 直人			
23	6660	001	日本史学	実習	3-4	2	前期	水3,水4	谷川 穣, 松井 直人			
24	6660	002	日本史学	実習	4	2	前期	水3,水4	谷川 穣, 松井 直人			
25	6660	003	日本史学	実習	3-4	2	後期	水3,水4	三宅 正浩, 松井 直人			
26	6660	004	日本史学	実習	4	2	後期	水3,水4	三宅 正浩, 松井 直人			
27	9990	022	卒業論文(日本史学)	卒業論文	4	12	通年	集中	谷川 穣,三宅 正浩,本庄 総子			
01	6731	003	東洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	月4	中砂 明徳			
02	6731	004	東洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	月4	中砂 明徳			
03	6731	005	東洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	木1	箱田 恵子			
04	6731	006	東洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	木1	箱田 恵子			
05	6731	007	東洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	水2	小野寺 史郎		現代史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
06	6731	010	東洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	吉澤 誠一郎		現代史学	
07	6731	011	東洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	水2	辻 正博		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
08	6731	012	東洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	水2	辻 正博		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
09	6731	013	東洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	火1	矢木 毅			
10	6731	014	東洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	火1	矢木 毅			
11	6731	018	東洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	火3	承 志			
12	6731	019	東洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	火3	承 志			
13	6731	021	東洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	太田 出		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
14	6731	022	東洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	太田 出		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
15	6731	023	東洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	月2	宮宅 潔			

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
16	6731	024	東洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	宮宅 潔			
17	6731	025	東洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	月2	石川 禎浩		◎現代史学	メディア文化学
18	6731	026	東洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	石川 禎浩		◎現代史学	メディア文化学
19	6731	027	東洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	水1	古松 崇志			
20	6731	028	東洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	水1	古松 崇志			
21	6741	001	東洋史学	演習I	3-4	2	前期	火5	中砂 明徳			
22	6741	002	東洋史学	演習I	3-4	2	後期	火5	中砂 明徳			
23	6743	001	東洋史学	演習II	3-4	2	前期	火2	箱田 恵子			
24	6743	002	東洋史学	演習II	3-4	2	後期	火2	箱田 恵子			
25	6749	001	東洋史学	演習	3-4	2	前期	月4	村上 衛		◎現代史学	メディア文化学
26	6749	002	東洋史学	演習	3-4	2	後期	月4	村上 衛		◎現代史学	メディア文化学
27	6749	003	東洋史学	演習	3-4	2	後期	水2	小野寺 史郎		現代史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
28	6749	004	東洋史学	演習	3-4	2	後期	金3	佐藤 達郎			
29	6750	001	東洋史学	講読	2-4	4	通年	水4	中砂 明徳			
30	6750	002	東洋史学	講読	2-4	4	通年	水2	中砂 明徳			
31	6761	001	東洋史学	実習	3-4	2	通年	水5	中砂 明徳, 箱田 恵子			
32	9990	023	卒業論文(東洋史学)	卒業論文	4	12	通年	集中	中砂 明徳, 箱田 恵子			
01	6831	004	西南アジア史学	特殊講義	3-4	2	前期	木3	法貴 遊			
02	6831	005	西南アジア史学	特殊講義	3-4	2	前期	月3	山口 元樹		現代史学	
03	6831	006	西南アジア史学	特殊講義	3-4	2	前期	火3	磯貝 健一			
04	6831	011	西南アジア史学	特殊講義	3-4	2	後期	火3	岩本 佳子			
05	6831	007	西南アジア史学	特殊講義	3-4	2	後期	水2	帯谷 知可		現代史学	
06	6831	009	西南アジア史学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	髙松 洋一			
07	6840	001	西南アジア史学	演習I	3-4	4	通年	水4	岩本 佳子			
08	6842	001	西南アジア史学	演習II	3-4	4	通年	火2	磯貝 健一			
09	6842	002	西南アジア史学	演習II	3-4	4	通年	水3	岩本 佳子			
10	6844	001	西南アジア史学	演習II	3-4	2	前期	金3	伊藤 隆郎		基礎現代文化学	
11	6844	002	西南アジア史学	演習II	3-4	2	後期	金3	伊藤 隆郎		基礎現代文化学	
12	6850	001	西南アジア史学	講読	3-4	4	通年	金1	今松 泰			
13	6851	002	西南アジア史学	講読	3-4	2	前期	火4	中西 竜也			
14	6851	003	西南アジア史学	講読	3-4	2	後期	火4	磯貝 健一			
15	6851	004	西南アジア史学	講読	3-4	2	前期	水2	東長 靖		アジア・アフリカ地域 研究研究科	
16	6861	001	西南アジア史学	実習	3-4	1	後期	月4	岩本 佳子			
17	6861	002	西南アジア史学	実習	3-4	1	前期	月4	磯貝 健一			
18	9608	001	西南アジア史学	語学	3-4	4	通年	金2	杉山 雅樹	学部共通科目	イラン語(初級)	
19	9616	001	西南アジア史学	語学	1-4	4	通年	月4	山口 周子	学部共通科目	◎インド古典学 仏教学	サンスクリット (2時間コース)
20	9688	001	西南アジア史学	語学	3-4	2	前期	金1	森 若葉	学部共通科目	◎言語学	シュメール語 (初級I)
21	9689	001	西南アジア史学	語学	3-4	2	後期	金1	森 若葉	学部共通科目	◎言語学	シュメール語 (初級II)
22	9633	001	西南アジア史学	語学	1-4	4	通年	金4	濱谷 真理子	学部共通科目	◎インド古典学 ヒンディー語(初級)	アジア・アフリカ 地域研究研究科
23	9639	001	西南アジア史学	語学	3-4	2	前期	金4	武藤 慎一	学部共通科目	◎キリスト教学	ヘブライ語(初級)
24	9640	001	西南アジア史学	語学	3-4	2	後期	金4	武藤 慎一	学部共通科目	◎キリスト教学	ヘブライ語(中級)
25	9682	001	西南アジア史学	語学	2-4	2	前期	月2	仲尾 周一郎	学部共通科目	言語学	アラブ語(初級)I
26	9683	001	西南アジア史学	語学	2-4	2	後期	月2	仲尾 周一郎	学部共通科目	言語学	アラブ語(初級)II
27	9990	024	卒業論文(西南アジア史学)	卒業論文	4	12	通年	集中	磯貝 健一			
01	6931	001	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	月3	安平 弦司			
02	6931	002	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	月3	安平 弦司			
03	6931	003	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	火5	佐々木 博光			
04	6931	004	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	木2	小山 啓子			
05	6931	005	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	火4	竹下 哲文		◎西洋古典学	

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
06	6931	006	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	火4	竹下 哲文		◎西洋古典学	
07	6931	007	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	月2	伊藤 順二		現代史学	
08	6931	008	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	伊藤 順二		現代史学	
09	6931	009	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	木3	辻河 典子		現代史学	
10	6931	023	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	佐藤 公美		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
11	6931	010	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	佐藤 公美		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
12	6931	011	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	水4	小関 隆		現代史学	
13	6931	012	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	水4	小関 隆		現代史学	
14	6931	014	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	メディア文化学 科学哲学科学史
15	6931	015	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	メディア文化学 科学哲学科学史
16	6931	016	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	火2	藤井 崇			
17	6931	017	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	火2	藤井 崇, Rachele Dubbini			
18	6931	018	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	水5	小山 哲			
19	6931	019	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	水5	小山 哲			
20	6931	020	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	火4	林田 敏子		◎現代史学	
21	6931	021	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	火3	金澤 周作			
22	6931	022	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	火3	金澤 周作			
23	6931	024	西洋史学	特殊講義	3-4	2	前期	金4	福元 健之		現代史学	◎総合人間学部 人間・環境学研究科
24	6931	025	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	金4	福元 健之		現代史学	◎総合人間学部 人間・環境学研究科
25	6931	026	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	水2	山口 育人		◎現代史学	
26	6931	027	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	金2	後藤 敦史		◎日本史学	
27	6931	028	西洋史学	特殊講義	3-4	2	後期	金2	田野 大輔		◎社会学	メディア文化学
28	6971	001	西洋史学	演習I	3-4	2	前期	金5	藤井 崇			
29	6971	002	西洋史学	演習I	3-4	2	後期	金5	藤井 崇			
30	6972	001	西洋史学	演習II	3-4	2	前期	金5	佐藤 公美		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
31	6972	002	西洋史学	演習II	3-4	2	後期	金5	佐藤 公美		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
32	6973	001	西洋史学	演習III	3-4	2	前期	金5	小山 哲, 安平 弦司			
33	6973	002	西洋史学	演習III	3-4	2	後期	金5	小山 哲, 安平 弦司			
34	6974	001	西洋史学	演習IV	3-4	2	前期	金5	金澤 周作			
35	6974	002	西洋史学	演習IV	3-4	2	後期	金5	金澤 周作			
36	6947	001	西洋史学	演習V	4	4	通年	金2	小山, 金澤, 藤井, 安平			
37	6950	001	西洋史学	講読	2-4	4	通年	月3	下垣 仁志	英書講読	◎考古学	
38	6955	003	西洋史学	講読	2-4	2	前期	火2	Patrick Vierthaler	英書講読	◎基礎現代文化学	
39	6955	004	西洋史学	講読	2-4	2	後期	火2	福田 耕佑	英書講読	◎メディア文化学	基礎現代文化学
40	6956	001	西洋史学	講読	2-4	2	前期	火1	藤井 崇	独書講読	基礎現代文化学	社会学
41	6956	002	西洋史学	講読	2-4	2	後期	火1	藤井 崇	独書講読	基礎現代文化学	社会学
42	6957	001	西洋史学	講読	2-4	2	前期	水4	菅原 百合絵	仏書講読	社会学	基礎現代文化学
43	6957	002	西洋史学	講読	2-4	2	後期	水4	菅原 百合絵	仏書講読	社会学	基礎現代文化学
44	6958	001	西洋史学	講読	2-4	2	前期	火3	伊藤 順二	露書講読	スラブ語学スラブ文学	基礎現代文化学
45	6958	002	西洋史学	講読	2-4	2	後期	火3	伊藤 順二	露書講読	スラブ語学スラブ文学	基礎現代文化学
46	6959	001	西洋史学	講読	2-4	2	前期	水4	村瀬 有司	伊書講読	◎イタリア語学イタリア文学	基礎現代文化学
47	6959	002	西洋史学	講読	2-4	2	後期	水4	村瀬 有司	伊書講読	◎イタリア語学イタリア文学	基礎現代文化学
48	6961	001	西洋史学	講読	3-4	2	前期	火4	小山 哲	ポーランド書講読	スラブ語学スラブ文学	
49	6961	002	西洋史学	講読	3-4	2	後期	火4	小山 哲	ポーランド書講読	スラブ語学スラブ文学	
50	6960	001	西洋史学	実習	3-4	2	通年	水2	小山, 金澤, 藤井, 安平			
51	9990	025	卒業論文(西洋史学)	卒業論文	4	12	通年	集中	小山, 金澤, 藤井, 安平			
01	7031	002	考古学	特殊講義	3-4	2	後期	月4	吉井 秀夫			
02	7031	003	考古学	特殊講義	3-4	2	後期	金2	山本 雅和			
03	7031	004	考古学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	溝口 孝司			

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
04	7031	005	考古学	特殊講義	3-4	2	後期	水2	長友 朋子			
05	7031	006	考古学	特殊講義	3-4	2	前期	月4	千葉 豊			
06	7031	007	考古学	特殊講義	3-4	2	前期	木2	中川 尚史		◎理学部	
07	7031	008	考古学	特殊講義	3-4	2	後期	木2	中務 真人		◎理学部	
08	7031	009	考古学	特殊講義	3-4	2	前期	金3	下垣 仁志			
09	7031	010	考古学	特殊講義	3-4	2	後期	金3	下垣 仁志			
10	7031	012	考古学	特殊講義	3-4	2	後期	月5	吉井 秀夫, 下垣 仁志, FORTE, Erika		文化越境	
11	7031	018	考古学	特殊講義	3-4	2	前期	火2	向井 佑介			
12	7031	019	考古学	特殊講義	3-4	2	後期	火2	向井 佑介			
13	7040	001	考古学	演習I	3-4	4	通年	水4	吉井 秀夫, 下垣 仁志			
14	7042	001	考古学	演習II	3-4	4	通年	金4	下垣 仁志			
15	7045	001	考古学	演習III	4	4	通年	月1	千葉 豊, 吉井 秀夫, 下垣 仁志			
16	7050	001	考古学	講読	2-4	4	通年	月3	下垣 仁志		西洋史学	
17	7060	001	考古学	実習	2-4	4	通年	火3,火4	吉井, 下垣, 千葉, 伊藤, 村上			
18	9990	026	卒業論文(考古学)	卒業論文	4	12	通年	集中	吉井 秀夫, 下垣 仁志			

【行動・環境文化学系】

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
01	7102	001	系共通科目(心理学)	講義I	2-4	4	通年	月3	蘆田, 阿部, 熊田, 黒島, 森口, Wilson, 山﨑			
02	7106	001	系共通科目(心理学)	講義IIb	3-4	2	前期	月2	黒島 妃香		教育学部	
03	7109	001	系共通科目(心理学)	講義IIe	3-4	2	後期	火2	蘆田 宏		教育学部	
04	7110	001	系共通科目(心理学)	講義Ka	2-4	2	前期	木1	髙橋, Emmanuel Manalo,齊藤, 野村, 田口		◎教育学部	
05	7113	001	系共通科目(心理学)(発達心理学)	講義IId	3-4	2	前期	火2	森口 佑介		教育学部	
06	7116	001	系共通科目(心理学)	講義Kd	2-4	2	前期	金4	髙橋 雄介		◎教育学部	
07	7114	001	系共通科目(心理学)(学習・言語心理学)	講義Kb	2-4	2	後期	水2	齊藤 智		◎教育学部	
08	7202	001	系共通科目(言語学)	講義I	1-4	2	前期	水4	千田, CATT Adam Alvah, 定延, 大竹			
09	7204	001	系共通科目(言語学)	講義I	1-4	2	後期	水4	千田, CATT Adam Alvah, 定延, 大竹			
10	7206	001	系共通科目(言語学)	講義II	1-4	2	前期	月3	千田, CATT Adam Alvah, 定延, 大竹			
11	7208	001	系共通科目(言語学)	講義II	1-4	2	後期	月3	仲尾 周一郎			
12	7302	001	系共通科目(社会学)	講義	2-4	2	前期	水2	田中 紀行		教育学部	
13	7304	001	系共通科目(社会学)	講義	2-4	2	後期	水2	太郎丸 博		教育学部	
14	7403	001	系共通科目(地理学)	講義I	2-4	2	前期	水1	米家 泰作			
15	7404	001	系共通科目(地理学)	講義II	2-4	2	後期	水1	埴淵 知哉, 杉江 あい			
01	7170	001	心理学研究法	講義	1-4	2	後期	金4	齋木, 上田, 大倉, 鈴木, 山本, 黒島, 阿部		◎総合人間学部	
02	7172	001	心理学概論	講義	1-4	2	前期	金3	永田,神谷, 蘆田, 中島, 明地, 森口, 明和, 山本, 髙橋, 内田, 平田, 松下, 清重		◎総合人間学部	教育学部
03	7125	001	心理学(心理学的支援法)	特殊講義	2-4	2	後期	火2	松下 姫歌		◎教育学部	
04	7131	001	心理学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	関 義正		教育学部 教育学研究科	
05	7134	001	心理学(神経・生理心理学)	特殊講義A	1-4	2	前期	月1	月浦 崇		総合人間学部	◎全学共通科目
06	7135	001	心理学(神経・生理心理学)	特殊講義B	1-4	2	後期	月1	月浦 崇		総合人間学部	◎全学共通科目
07	7136	001	心理学(知覚・認知心理学)	特殊講義A	1-4	2	前期	金2	齋木 潤		総合人間学部	◎全学共通科目
08	7137	001	心理学(知覚・認知心理学)	特殊講義B	1-4	2	後期	金2	齋木 潤		総合人間学部	◎全学共通科目
09	7138	001	心理学(神経・生理心理学)	特殊講義	3-4	2	前期	水4	阿部 修士		教育学部	教育学研究科・デザイン学大学院
10	7139	001	心理学(臨床心理学概論)	特殊講義	2-4	2	前期	火2	梅村 高太郎		◎教育学部	
11	7140	001	心理学	演習I	3-4	4	通年	月4	黒島 妃香, 森口 佑介			
12	7140	002	心理学	演習II	4	4	通年	月4	蘆田 宏, 山﨑 大暉			
13	7142	001	心理学(心理演習)	演習	3-4	2	後期	月2	TAJAN Nicolas Pierre, 船曳 康子		◎総合人間学部	
14	7151	001	心理学	講読	3-4	2	前期	水3	山本 希			
15	7151	002	心理学	講読	3-4	2	後期	木3	中島 優			
16	7163	001	心理学(心理学実験)	実習IA	2-4	2	前期	火4,火5	蘆田, 黒島, 森口, 山﨑			
17	7167	001	心理学(実習)	実習IB	2-4	2	後期	火4,火5	蘆田, 黒島, 森口, 山﨑			
18	7165	001	心理学(実習)(心理学統計法)	実習IIA	2-4	1	前期	金3	渡部 綾一			
19	7166	001	心理学(実習)(心理学統計法)	実習IIB	2-4	1	後期	金3	渡部 綾一			
20	7164	001	心理学(実習)	実習III	3-4	2	通年	木2	蘆田, 黒島, 森口, 山﨑			
21	9990	027	卒業論文(心理学)	卒業論文	4	12	通年	集中	蘆田, 黒島, 森口, Wilson			
01	7231	002	言語学	特殊講義	3-4	2	後期	木5	淺尾 仁彦			
02	7231	003	言語学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	CATT, Adam Alvah		インド古典学	
03	7231	017	言語学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	CATT, Adam Alvah		インド古典学	
04	7231	020	言語学	特殊講義	3-4	2	前期	金1	野原 将揮		◎中国語学中国文学	
05	7231	005	言語学	特殊講義	3-4	2	後期	金1	野原 将揮		◎中国語学中国文学	
06	7231	006	言語学	特殊講義	3-4	2	前期	水4	谷口 一美		英語学英文学 アメリカ文学	◎人間・環境学研究科
07	7231	007	言語学	特殊講義	3-4	2	後期	水4	谷口 一美		英語学英文学 アメリカ文学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
08	7231	009	言語学	特殊講義	3-4	2	前期	水4	山本 武史			
09	7231	010	言語学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	宮本 陽一			
10	7231	013	言語学	特殊講義	3-4	2	前期	月2	Tao PAN		◎インド古典学	
11	7231	014	言語学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	Tao PAN		◎インド古典学	
12	7231	015	言語学	特殊講義	3-4	2	後期	水4	安岡 孝一			
13	7231	019	言語学	特殊講義	3-4	2	後期	火4	荻原 裕敏			

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
14	7231	021	言語学	特殊講義	3-4	2	後期	火5	大崎 紀子			
15	7231	023	言語学	特殊講義	3-4	2	後期	金2	横森 大輔		◎人間・環境学研究科	
16	7231	018	言語学	特殊講義	3-4	2	前期	金3	定延 利之			
17	7231	022	言語学	特殊講義	3-4	2	後期	金3	定延 利之			
18	7231	011	言語学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	エマ タマイアヌ モリタ			
19	7246	001	言語学	基礎演習	2-4	2	前期	水2	千田, CATT, 定延, 大竹			
20	7246	002	言語学	基礎演習	2-4	2	後期	木4	淺尾 仁彦			
21	7241	001	言語学	演習	3-4	2	前期	水2	鈴木 博之			
22	7241	002	言語学	演習	1-4	2	前期	木2	パリハワダナ ルチラ	日本語教育セミナー		
23	7241	003	言語学	演習	3-4	2	前期	火3	千田, CATT, 定延, 大竹			
24	7241	004	言語学	演習	3-4	2	後期	火3	千田, CATT, 定延, 大竹			
25	7241	005	言語学	演習	2-4	2	後期	木3	守田 貴弘		◎総合人間学部	
26	9688	001	言語学	語学	3-4	2	前期	金1	森 若葉	学部共通科目	西南アジア史学	シュメール語(初級I)
27	9689	001	言語学	語学	3-4	2	後期	金1	森 若葉	学部共通科目	西南アジア史学	シュメール語(初級II)
28	9624	001	言語学	語学	2-4	2	前期	火3	井戸根 綾子	学部共通科目	スワヒリ語(初級)	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
29	9625	001	言語学	語学	2-4	2	後期	火3	井戸根 綾子	学部共通科目	スワヒリ語(中級)	アジア・アフリカ地域研究研究科
30	9648	001	言語学	語学	2-4	2	前期	金1	杉山 豊	学部共通科目	朝鮮語(初級A)	
31	9649	001	言語学	語学	2-4	2	後期	金1	杉山 豊	学部共通科目	朝鮮語(初級B)	
32	9650	001	言語学	語学	2-4	2	前期	火2	朴 真完	学部共通科目	朝鮮語(中級A)	
33	9651	001	言語学	語学	2-4	2	後期	火2	朴 真完	学部共通科目	朝鮮語(中級B)	
34	9652	001	言語学	語学	2-4	2	前期	集中	松岡 雄太	学部共通科目	満洲語(初級)	
35	9661	001	言語学	語学	1-4	2	前期	木4	Bogna Sasaki	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	ポーランド語(初級I)
36	9662	001	言語学	語学	1-4	2	後期	木4	Bogna Sasaki	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	ポーランド語(初級I)
37	9642	001	言語学	語学	1-4	2	前期	木5	Bogna Sasaki	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	ポーランド語(中級II)
38	9642	002	言語学	語学	1-4	2	後期	木5	Bogna Sasaki	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	ポーランド語(中級II)
39	9686	001	言語学	語学	1-4	2	前期	金2	田中 大	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	チェコ語(初級)
40	9687	001	言語学	語学	1-4	2	後期	金2	田中 大	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	チェコ語(中級)
41	9684	001	言語学	語学	1-4	2	前期	水4	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	ブルガリア語(初級)
42	9685	001	言語学	語学	1-4	2	後期	水4	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	ブルガリア語(初級)
43	9680	001	言語学	語学	1-4	2	前期	水5	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	古教会スラヴ語(初級)
44	9681	001	言語学	語学	1-4	2	後期	水5	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	古教会スラヴ語(中級)
45	9682	001	言語学	語学	2-4	2	前期	月2	仲尾 周一郎	学部共通科目	西南アジア史学	アラブ語(初級)I
46	9683	001	言語学	語学	2-4	2	後期	月2	仲尾 周一郎	学部共通科目	西南アジア史学	アラブ語(初級)II
47	7245	001	言語学	卒論演習	4	2	後期	水5	千田, CATT, 定延, 大竹			
48	9990	028	卒業論文(言語学)	卒業論文	4	12	通年	集中	千田, CATT, 定延, 大竹			
01	7331	001	社会学	特殊講義	2-4	2	前期	金2	丸山 里美		メディア文化学	教育学部
02	7331	002	社会学	特殊講義	2-4	2	前期	火4	村上 あかね			
03	7331	003	社会学	特殊講義	2-4	2	後期	火4	村上 あかね			
04	7331	004	社会学	特殊講義	2-4	2	後期	月1	飯田 豊		メディア文化学	
05	7331	005	社会学	特殊講義	2-4	2	前期	水3	岸 政彦		教育学部 教育学研究科	
06	7331	006	社会学	特殊講義	2-4	2	前期	集中	瀧川 裕貴			
07	7331	007	社会学	特殊講義	3-4	2	前期	金4	安里 和晃			
08	7331	008	社会学	特殊講義	2-4	2	前期	水2	太郎丸 博		教育学部	
09	7331	009	社会学	特殊講義	2-4	2	前期	月2	岡崎 宏樹		メディア文化学	
10	7331	010	社会学	特殊講義	2-4	2	後期	金2	田野 大輔		メディア文化学	西洋史学
11	7331	011	社会学	特殊講義	3-4	2	前期	火3	坂梨 健太		◎農学部	
12	7331	012	社会学	特殊講義	2-4	2	前期	水5	藤間 公太		メディア文化学	◎教育学部
13	7331	013	社会学	特殊講義	3-4	2	後期	水5	岡邊 健		◎教育学部	
14	7331	014	社会学	特殊講義	2-4	2	前期	月5	中村 健二, 坂本 一磨, 梅原 喜政		◎メディア文化学	教育学研究科
15	7331	015	社会学	特殊講義	2-4	2	前期	月3	濱 貴子		◎メディア文化学	現代史学

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
16	7331	016	社会学	特殊講義	3-4	2	前期	火2	岡邉 健		教育学部 ◎教育学研究科	
17	7331	017	社会学	特殊講義	3-4	2	後期	金2	安里 和晃		◎文化越境	
18	7331	018	社会学	特殊講義	2-4	2	後期	木2	伊藤 理史		教育学部	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
19	7331	019	社会学	特殊講義	2-4	2	後期	金2	岡本 健		◎メディア文化学	文化越境
20	7331	020	社会学	特殊講義	2-4	2	前期	木1	井上 明人		◎メディア文化学	文化越境
21	7331	023	社会学	特殊講義	2-4	2	前期	水4	蘆田 裕史		◎メディア文化学	文化越境
22	7331	024	社会学	特殊講義	3-4	2	前期	火3	柴田 悠		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
23	7331	026	社会学	特殊講義	3-4	2	前期	金2	安里 和晃		◎文化越境	
24	7331	032	社会学	特殊講義	3-4	2	後期	水3	直野 章子			
25	7334	001	社会学	特殊講義	2-4	3	前期	月4	安里 和晃, Stephane Heim		全学共通科目(大学院横断教育科目)	
26	7346	001	社会学	演習I	3-4	2	後期	木2	岸 政彦			
27	7346	003	社会学	演習I	3-4	2	後期	木2	丸山 里美			
28	7346	004	社会学	演習I	3-4	2	前期	木2	田中 紀行			
29	7343	001	社会学	演習II	3-4	2	後期	金4	田中 紀行			
30	7353	001	社会学	講読	3-4	2	後期	月2	丸山 里美	英書講読		
31	7353	002	社会学	講読	3-4	2	前期	月2	山本 耕平	英書講読		
32	7354	001	社会学	講読	2-4	2	前期	火1	藤井 崇	独書講読	◎西洋史学	基礎現代文化学
33	7354	002	社会学	講読	2-4	2	後期	火1	藤井 崇	独書講読	◎西洋史学	基礎現代文化学
34	7355	001	社会学	講読	3-4	2	前期	水4	菅原 百合絵	仏書講読	◎西洋史学	基礎現代文化学
35	7355	002	社会学	講読	3-4	2	後期	水4	菅原 百合絵	仏書講読	◎西洋史学	基礎現代文化学
36	7356	001	社会学	講読	3-4	2	前期	水5	宮 紀子	中書講読	◎基礎現代文化学	
37	7356	002	社会学	講読	3-4	2	後期	水5	宮 紀子	中書講読	◎基礎現代文化学	
38	7361	001	社会学	実習	3-4	2	通年	月3	岸 政彦			
39	7361	002	社会学	実習	3-4	2	通年	水4	太郎丸 博			
40	7345	001	社会学	卒論演習	4	4	通年	金3	田中, 太郎丸, 岸, Heim, 丸山			
41	9990	029	卒業論文(社会学)	卒業論文	4	12	通年	集中	田中, 太郎丸, 岸, Heim, 丸山			
01	7431	003	地理学	特殊講義	2-4	2	前期	金3	米家 泰作			
02	7431	004	地理学	特殊講義	2-4	2	後期	金3	米家 泰作			
03	7431	001	地理学	特殊講義	2-4	2	前期	月3	埴淵 知哉			
04	7431	002	地理学	特殊講義	2-4	2	後期	月3	埴淵 知哉			
05	7431	017	地理学	特殊講義	2-4	2	前期	木1	杉江 あい			
06	7431	018	地理学	特殊講義	2-4	2	後期	木1	杉江 あい			
07	7431	006	地理学	特殊講義	3-4	2	前期	火2	小島 泰雄		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
08	7431	016	地理学	特殊講義	3-4	2	前期	水3	山村 亜希		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
09	7431	008	地理学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	松四 雄騎	教職科目「自然地理学」		
10	7431	009	地理学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	鈴木 康弘			
11	7431	010	地理学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	水野 真彦			
12	7431	011	地理学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	渡辺 和之			
13	7431	012	地理学	特殊講義	3-4	2	後期	水2	河原 典史			
14	7431	013	地理学	特殊講義	3-4	2	後期	月4	桐村 喬			
15	7431	014	地理学	特殊講義	3-4	2	前期	火2	寺床 幸雄			
16	7431	019	地理学	特殊講義	3-4	2	前期	火5	大山 修一, 塩谷 暁代			
17	7446	001	地理学	演習IA	3-4	2	前期	水3	米家 泰作, 埴淵 知哉, 杉江 あい			
18	7447	001	地理学	演習IB	3-4	2	後期	水3	米家 泰作, 埴淵 知哉, 杉江 あい			
19	7448	001	地理学	演習IIA	4	2	前期	水4	米家 泰作, 埴淵 知哉, 杉江 あい			
20	7449	001	地理学	演習IIB	4	2	後期	水4	米家 泰作, 埴淵 知哉, 杉江 あい			
21	7441	001	地理学	演習	3-4	2	後期	水3	山村 亜希		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
22	7454	001	地理学	講読	2-4	2	後期	木2	杉江 あい	英語地理書講読		
23	7454	002	地理学	講読	2-4	2	前期	金2	米家 泰作	英語地理書講読		
24	7461	001	地理学	実習I	2-4	2	前期	火3,火4	米家 泰作, 埴淵 知哉, 杉江 あい			

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
25	7462	001	地理学	実習II	2-4	2	後期	火3,火4	米家 泰作, 埴淵 知哉, 杉江 あい			
26	9990	030	卒業論文(地理学)	卒業論文	4	12	通年	集中	米家 泰作, 埴淵 知哉, 杉江 あい			

【基礎現代文化学系】

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
01	8202	001	系共通科目(科学哲学)	講義	1-4	2	前期	水3	大塚 淳			
02	8204	001	系共通科目(科学哲学)	講義	1-4	2	後期	水3	伊勢田 哲治			
03	8206	001	系共通科目(科学史I)	講義	1-4	2	前期	水2	伊藤 憲二			
04	8208	001	系共通科目(科学史II)	講義	1-4	2	後期	水2	伊藤 憲二			
05	8902	001	系共通科目(メディア文化学)	講義A	1-4	2	前期	月4	松永 伸司			
06	8904	001	系共通科目(メディア文化学)	講義B	1-4	2	後期	水2	喜多 千草			
07	8407	001	系共通科目(現代史学)	講義I	1-4	2	前期	水3	小野沢 透			
08	8408	001	系共通科目(現代史学)	講義II	1-4	2	後期	水3	塩出 浩之			
09	8655	001	系共通科目(基礎現代文化学)	講読I	2-4	2	前期	火2	Patrick Vierthaler	英書講読	西洋史学	
10	8655	002	系共通科目(基礎現代文化学)	講読I	2-4	2	後期	火2	福田 耕佑	英書講読	◎メディア文化学	西洋史学
11	8655	003	系共通科目(基礎現代文化学)	講読I	2-4	2	前期	火5	松永 伸司	英書講読	◎メディア文化学	
12	8656	001	系共通科目(基礎現代文化学)	講読II	2-4	2	前期	火1	藤井 崇	独書講読	◎西洋史学	社会学
13	8656	002	系共通科目(基礎現代文化学)	講読II	2-4	2	後期	火1	藤井 崇	独書講読	◎西洋史学	社会学
14	8657	001	系共通科目(基礎現代文化学)	講読III	2-4	2	前期	水4	菅原 百合絵	仏書講読	◎西洋史学	社会学
15	8657	002	系共通科目(基礎現代文化学)	講読III	2-4	2	後期	水4	菅原 百合絵	仏書講読	◎西洋史学	社会学
16	8658	001	系共通科目(基礎現代文化学)	講読IV	2-4	2	前期	火3	伊藤 順二	露書講読	◎西洋史学	スラブ語学スラブ文学
17	8658	002	系共通科目(基礎現代文化学)	講読IV	2-4	2	後期	火3	伊藤 順二	露書講読	◎西洋史学	スラブ語学スラブ文学
18	8659	001	系共通科目(基礎現代文化学)	講読V	2-4	2	前期	水5	宮 紀子	中書講読	社会学	
19	8659	002	系共通科目(基礎現代文化学)	講読V	2-4	2	後期	水5	宮 紀子	中書講読	社会学	
20	8661	001	系共通科目(基礎現代文化学)	講読VI	2-4	2	前期	水4	村瀬 有司	伊書講読	◎イタリア語学イタリア文学	西洋史学
21	8661	002	系共通科目(基礎現代文化学)	講読VI	2-4	2	後期	水4	村瀬 有司	伊書講読	◎イタリア語学イタリア文学	西洋史学
22	8662	001	系共通科目(基礎現代文化学)	講読VII	3-4	2	前期	金3	伊藤 隆郎	アラビア語講読	◎西南アジア史学	
23	8662	002	系共通科目(基礎現代文化学)	講読VII	3-4	2	後期	金3	伊藤 隆郎	アラビア語講読	◎西南アジア史学	
01	8231	001	科学哲学科学史	特殊講義	3-4	2	前期	月2	伊藤 憲二			
02	8231	002	科学哲学科学史	特殊講義	2-4	2	後期	月2	伊藤 憲二			
03	8231	004	科学哲学科学史	特殊講義	2-4	2	後期	金2	伊勢田 哲治			
04	8231	006	科学哲学科学史	特殊講義	2-4	2	前期	火3	武田 裕紀		哲学	
05	8231	007	科学哲学科学史	特殊講義	3-4	2	前期	集中	平岡 隆二			
06	8231	009	科学哲学科学史	特殊講義	2-4	2	前期	集中	森元 良太		哲学	
07	8231	010	科学哲学科学史	特殊講義	2-4	2	後期	金1	喜多 千草		◎メディア文化学	
08	8231	011	科学哲学科学史	特殊講義	2-4	2	前期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	西洋史学 メディア文化学
09	8231	012	科学哲学科学史	特殊講義	2-4	2	後期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	西洋史学 メディア文化学
10	8231	013	科学哲学科学史	特殊講義	2-4	2	後期	火3	瀬戸口 明久			
11	8231	014	科学哲学科学史	特殊講義	1-4	2	前期	集中	久木田 水生		◎哲学	
12	8241	001	科学哲学科学史	演習	3-4	2	前期	月5	伊藤 憲二		メディア文化学	
13	8241	002	科学哲学科学史	演習	2-4	2	後期	月5	伊藤 憲二		メディア文化学	
14	8241	003	科学哲学科学史	演習	3-4	2	後期	火4	伊勢田 哲治		メディア文化学	
15	8241	004	科学哲学科学史	演習	2-4	2	後期	金3	伊勢田 哲治		メディア文化学	
16	8241	005	科学哲学科学史	演習	2-4	2	後期	木4	大塚 淳		◎哲学	
17	8243	001	科学哲学科学史	卒論演習I	4	2	前期	水4	伊藤 憲二			
18	8247	001	科学哲学科学史	卒論演習II	4	2	後期	水4	伊勢田 哲治, 伊藤 憲二			
19	9990	031	卒業論文(科学哲学科学史)	卒業論文	4	12	通年	集中	伊勢田 哲治, 伊藤 憲二			
01	8931	002	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	西洋史学 科学哲学科学史
02	8931	003	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	後期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	西洋史学 科学哲学科学史
03	8931	006	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	火2	山本 昭宏			
04	8931	009	メディア文化学	特殊講義	2-4	3	後期	月4	松永 伸司		美学美術史学	
05	8931	010	メディア文化学	特殊講義	3-4	2	前期	水4	須田 千里		国語学国文学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
06	8931	011	メディア文化学	特殊講義	3-4	2	後期	水4	須田 千里		国語学国文学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
07	8931	012	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	金3,金4	岡本 健, 喜多 千草, 松永 伸司		文化越境	
08	8931	013	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	月2	岡崎 宏樹		◎社会学	
09	8931	014	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	後期	金2	田野 大輔		◎社会学	西洋史学
10	8931	015	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	水2	木下 千花		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
11	8931	016	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	後期	水2	木下 千花		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
12	8931	017	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	後期	金1	喜多 千草		科学哲学科学史	
13	8931	018	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	水3	仁井田 千絵		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
14	8931	019	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	後期	水3	仁井田 千絵		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
15	8931	020	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	後期	月1	飯田 豊		◎社会学	
16	8931	021	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	水5	藤間 公太		社会学	◎教育学部
17	8931	023	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	水4	蘆田 裕史		社会学	文化越境
18	8931	026	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	金2	丸山 里美		◎社会学	
19	8931	027	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	月3	濱 貴子		社会学	現代史学
20	8931	028	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	木1	井上 明人		社会学	文化越境
21	8931	029	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	金3	谷口 文和		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
22	8931	030	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	後期	金2	岡本 健		社会学	文化越境
23	8931	032	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	前期	月2	石川 禎浩		◎現代史学	東洋史学
24	8931	033	メディア文化学	特殊講義	2-4	2	後期	月2	石川 禎浩		◎現代史学	東洋史学
25	8941	001	メディア文化学	演習IA	2-4	2	前期	水2	喜多 千草			
26	8941	002	メディア文化学	演習IB	2-4	2	後期	火5	松永 伸司			
27	8944	004	メディア文化学	演習II	3-4	2	前期	火2	高橋 幸平		◎国語学国文学	人間・環境学研究科 総合人間学部
28	8944	005	メディア文化学	演習II	3-4	2	後期	火2	高橋 幸平		◎国語学国文学	人間・環境学研究科 総合人間学部
29	8944	006	メディア文化学	演習II	2-4	2	前期	月5	中村 健二, 坂本 一磨, 梅原 喜政		社会学	教育学研究科
30	8944	007	メディア文化学	演習II	3-4	2	前期	月5	伊藤 憲二		◎科学哲学科学史	
31	8944	008	メディア文化学	演習II	2-4	2	後期	月5	伊藤 憲二		◎科学哲学科学史	
32	8944	009	メディア文化学	演習II	3-4	2	後期	金3	伊勢田 哲治		◎科学哲学科学史	
33	8944	010	メディア文化学	演習II	2-4	2	後期	火4	伊勢田 哲治		◎科学哲学科学史	
34	8944	011	メディア文化学	演習II	2-4	2	後期	月3	伊藤 遊		文化越境	
35	8944	012	メディア文化学	演習II	3-4	2	前期	月4	村上 衛		◎現代史学	東洋史学
36	8944	013	メディア文化学	演習II	3-4	2	後期	月4	村上 衛		◎現代史学	東洋史学
37	8944	014	メディア文化学	演習II	2-4	2	後期	金3	谷口 文和			
38	8944	015	メディア文化学	演習II	3-4	2	後期	月3	松田 利彦		◎現代史学	
39	8944	016	メディア文化学	演習II	2-4	2	前期	水3	梶丸 岳, 風間 計博, 岩谷 彩子		◎総合人間学部	
40	8946	001	メディア文化学	演習IIIA	3-4	2	前期	火3	喜多 千草, 松永 伸司			
41	8947	001	メディア文化学	演習IIIB	3-4	2	後期	火3	喜多 千草, 松永 伸司			
42	8948	001	メディア文化学	演習IIIC	3-4	2	前期	集中	喜多 千草, 松永 伸司			
43	8949	001	メディア文化学	演習IIID	3-4	2	後期	集中	喜多 千草, 松永 伸司			
44	8951	001	メディア文化学	講読	2-4	2	前期	火5	松永 伸司		基礎現代文化学	
45	8951	002	メディア文化学	講読	2-4	2	後期	火2	福田 耕佑		基礎現代文化学	西洋史学
46	9990	035	卒業論文(メディア文化学)	卒業論文	4	12	通年	集中	喜多 千草, 松永 伸司			
01	8433	002	現代史学	特殊講義	2-4	2	前期	火4	林田 敏子		西洋史学	
02	8433	003	現代史学	特殊講義	2-4	2	後期	水2	山口 育人		西洋史学	
03	8433	004	現代史学	特殊講義	2-4	2	前期	水3	藤原 辰史		西洋史学	メディア文化学 科学哲学科学史
04	8433	005	現代史学	特殊講義	2-4	2	後期	水3	藤原 辰史		西洋史学	メディア文化学 科学哲学科学史
05	8433	006	現代史学	特殊講義	3-4	2	前期	金4	福元 健之		西洋史学	◎人間・環境学研究科
06	8433	007	現代史学	特殊講義	3-4	2	後期	金4	福元 健之		西洋史学	◎人間・環境学研究科
07	8433	008	現代史学	特殊講義	2-4	2	前期	月2	石川 禎浩		東洋史学	メディア文化学
08	8433	009	現代史学	特殊講義	2-4	2	後期	月2	石川 禎浩		東洋史学	メディア文化学
09	8433	010	現代史学	特殊講義	2-4	2	後期	火4	西山 伸			

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
10	8433	011	現代史学	特殊講義	3-4	2	前期	集中	吉澤 誠一郎		◎東洋史学	
11	8433	012	現代史学	特殊講義	3-4	2	後期	水2	帯谷 知可		◎西南アジア史学	
12	8433	013	現代史学	特殊講義	3-4	2	前期	水4	小関 隆		◎西洋史学	
13	8433	014	現代史学	特殊講義	3-4	2	後期	水4	小関 隆		◎西洋史学	
14	8433	015	現代史学	特殊講義	3-4	2	前期	月2	伊藤 順二		◎西洋史学	
15	8433	016	現代史学	特殊講義	3-4	2	後期	月2	伊藤 順二		◎西洋史学	
16	8433	017	現代史学	特殊講義	3-4	2	前期	月3	山口 元樹		◎西南アジア史学	
17	8433	018	現代史学	特殊講義	3-4	2	前期	金1	佐々木 政文		◎日本史学	教育学部
18	8433	019	現代史学	特殊講義	3-4	2	前期	火2	福家 崇洋		◎日本史学	
19	8433	020	現代史学	特殊講義	2-4	2	前期	金2	小堀 聡			
20	8433	021	現代史学	特殊講義	2-4	2	後期	金2	小堀 聡			
21	8433	022	現代史学	特殊講義	3-4	2	前期	水2	小野寺 史郎		東洋史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
22	8433	023	現代史学	特殊講義	3-4	2	後期	木3	辻河 典子		◎西洋史学	
23	8433	024	現代史学	特殊講義	2-4	2	前期	月3	濱 貴子		◎メディア文化学	社会学
24	8444	001	現代史学	演習IA	3-4	2	前期	金4	塩出 浩之			
25	8444	002	現代史学	演習IB	3-4	2	後期	金4	小野沢 透			
26	8448	001	現代史学	演習II	3-4	2	前期	月4	村上 衛		東洋史学	メディア文化学
27	8448	002	現代史学	演習II	3-4	2	後期	月4	村上 衛		東洋史学	メディア文化学
28	8448	003	現代史学	演習II	3-4	2	前期	火3	小野沢 透			
29	8448	004	現代史学	演習II	3-4	2	前期	水4	塩出 浩之			
30	8448	008	現代史学	演習II	3-4	2	後期	水2	小野寺 史郎		東洋史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
31	8448	009	現代史学	演習II	3-4	2	後期	火2	塩出 浩之			
32	8448	005	現代史学	演習II	3-4	2	後期	月3	松田 利彦		メディア文化学	
33	8448	006	現代史学	演習II	3-4	2	後期	木3	Patrick Vierthaler			
34	8452	001	現代史学	演習IIIA	3-4	2	前期	金5	小野沢 透・塩出 浩之			
35	8452	002	現代史学	演習IIIB	3-4	2	後期	金5	小野沢 透・塩出 浩之			
36	8453	001	現代史学	基礎演習	2-4	2	後期	水4	小野沢 透・塩出 浩之			
37	9990	034	卒業論文(現代史学)	卒業論文	4	12	通年	集中	小野沢 透・塩出 浩之			

【学部共通科目】

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
01	0012	001	哲学基礎文化学系	ゼミナールI	1-4	2	前期	木2	津田,真田,鈴木,佐野,大島,西岡,久冨	コーディネーター:津田		
02	0022	001	東洋文化学系	ゼミナールI	1-4	2	前期	木5	天野,小野,川崎,朴,宮武,河瀬,古閑,渡邉,奥田,キョウ,王,田尻,大木,廣瀬	コーディネーター:天野		
03	0022	002	東洋文化学系	ゼミナールII	1-4	2	後期	木5	天野,小野,川崎,朴,宮武,河瀬,古閑,渡邉,奥田,キョウ,王,田尻,大木,廣瀬	コーディネーター:天野		
04	0032	001	西洋文化学系	ゼミナールI	1-4	2	前期	集中	村瀬,岩永,村上,山下,大山,杉山	コーディネーター:村瀬		
05	0032	002	西洋文化学系	ゼミナールII	1-4	2	後期	火2	村瀬,中村,宮坂,山下,田中,木和田,藤田,浅井	コーディネーター:村瀬		
06	0042	001	歴史基礎文化学系	ゼミナールI	1-4	2	前期	木1	中砂,櫻井,新林,今村,田口,勅使河原,殿,安永,山下,平良,堀,鷲澤	コーディネーター:中砂		
07	0042	002	歴史基礎文化学系	ゼミナールII	1-4	2	後期	木1	中砂,辻田,小山田,斎藤,松島,王,角田,藤田,葉,徐	コーディネーター:中砂		
08	0042	003	歴史基礎文化学系	ゼミナールIII	1-4	2	前期	木1	中砂,辻田,小山田,斎藤,松島,王,角田,藤田,葉,徐	コーディネーター:中砂		
09	0042	004	歴史基礎文化学系	ゼミナールIV	1-4	2	後期	木1	中砂,櫻井,新林,田口,勅使河原,殿,安永,山下,平良,堀,鷲澤	コーディネーター:中砂		
10	0052	001	行動・環境文化学系	ゼミナールI	1-4	2	前期	木5	黒島,別役,吉,堂本,鄭,キム,川畑,LEE,山本,LADMIRAL	コーディネーター:黒島		
11	0052	002	行動・環境文化学系	ゼミナールII	1-4	2	後期	木5	黒島,幡地,宋,葉,徐,田多井,翁,戸梶,PENG	コーディネーター:黒島		
12	0062	001	基礎現代文化学系	ゼミナールI	1-4	2	前期	木5	小野沢,秦,福田,楊,范,白木	コーディネーター:小野沢		
01	9639	001	ヘブライ語(初級)	語学	3-4	2	前期	金4	武藤 慎一	学部共通科目	◎キリスト教学	西南アジア史学
02	9640	001	ヘブライ語(中級)	語学	3-4	2	後期	金4	武藤 慎一	学部共通科目	◎キリスト教学	西南アジア史学
03	9616	001	サンスクリット(2時間コース)	語学	1-4	4	通年	月4	山口 周子	学部共通科目	◎インド古典学	仏教学 西南アジア史学
04	9617	001	サンスクリット(4時間コース)	語学	1-4	8	通年	月5,木5	Tao PAN	学部共通科目	◎インド古典学	仏教学
05	9633	001	ヒンディー語(初級)	語学	1-4	4	通年	金4	濱谷 真理子	学部共通科目	◎インド古典学 西南アジア史学	アジア・アフリカ地域研究研究科
06	9659	001	ヒンディー語(中級)I	語学	2-4	2	前期	火3	西岡 美樹	学部共通科目	◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
07	9660	001	ヒンディー語(中級)II	語学	2-4	2	後期	火3	西岡 美樹	学部共通科目	◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
08	9628	001	チベット語(初級)	語学	2-4	2	前期	月1	高橋 慶治	学部共通科目	仏教学	
09	9629	001	チベット語(初級)	語学	2-4	2	後期	月1	高橋 慶治	学部共通科目	仏教学	
10	9630	001	チベット語(中級)	語学	3-4	2	前期	水1	宮崎 泉	学部共通科目	仏教学	
11	9630	002	チベット語(中級)	語学	3-4	2	後期	水1	宮崎 泉	学部共通科目	仏教学	
12	9664	001	ギリシア語(初級I)	語学	2-4	2	前期	金3	西村 洋平	学部共通科目	西洋古典学	哲学(院)
13	9665	001	ギリシア語(初級II)	語学	2-4	2	後期	金3	西村 洋平	学部共通科目	西洋古典学	哲学(院)
14	9615	001	ギリシア語(4時間コース)	語学	2-4	8	通年	月1,木1	広川 直幸	学部共通科目	西洋古典学	
15	9666	001	ラテン語(初級I)	語学	2-4	2	前期	水2	勝又 泰洋	学部共通科目	西洋古典学	哲学(院)
16	9667	001	ラテン語(初級II)	語学	2-4	2	後期	水2	勝又 泰洋	学部共通科目	西洋古典学	哲学(院)
17	9645	001	ラテン語(4時間コース)	語学	2-4	8	通年	月2,金2	佐藤 義尚	学部共通科目	西洋古典学	
18	9661	001	ポーランド語(初級I)	語学	1-4	2	前期	木4	Bogna Sasaki	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
19	9662	001	ポーランド語(初級I)	語学	1-4	2	後期	木4	Bogna Sasaki	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
20	9642	001	ポーランド語(中級II)	語学	1-4	2	前期	木5	Bogna Sasaki	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
21	9642	002	ポーランド語(中級II)	語学	1-4	2	後期	木5	Bogna Sasaki	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
22	9646	001	ロシア語(初級)	語学	1-4	2	後期	火4	中村 唯史	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	
23	9647	001	ロシア語(中級)	語学	1-4	2	前期	火4	中村 唯史	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	
24	9684	001	ブルガリア語(初級)	語学	1-4	2	前期	水4	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
25	9685	001	ブルガリア語(中級)	語学	1-4	2	後期	水4	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
26	9680	001	古教会スラヴ語(初級)	語学	1-4	2	前期	水5	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
27	9681	001	古教会スラヴ語(中級)	語学	1-4	2	後期	水5	ブラジミロブ イヴォ	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
28	9686	001	チェコ語(初級)	語学	1-4	2	前期	金2	田中 大	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
29	9687	001	チェコ語(中級)	語学	1-4	2	後期	金2	田中 大	学部共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
30	9673	001	スペイン語(初級)I	語学	2-4	2	前期	火4	小西 咲子	学部共通科目	イタリア語学イタリア文学	
31	9674	001	スペイン語(初級)II	語学	2-4	2	後期	火4	小西 咲子	学部共通科目	イタリア語学イタリア文学	
32	9668	001	スペイン語(中級I)	語学	2-4	2	前期	火5	小西 咲子	学部共通科目	イタリア語学イタリア文学	
33	9669	001	スペイン語(中級II)	語学	2-4	2	後期	火5	小西 咲子	学部共通科目	イタリア語学イタリア文学	
34	9675	001	イタリア語(初級4時間コース)I	語学	2-4	4	前期	金4,金5	田中 真美	学部共通科目	イタリア語学イタリア文学	
35	9676	001	イタリア語(初級4時間コース)II	語学	2-4	4	後期	金4,金5	田中 真美	学部共通科目	イタリア語学イタリア文学	
36	9663	001	イタリア語(会話)	語学	2-4	2	前期	火5	Ida Duretto	学部共通科目	イタリア語学イタリア文学	
37	9663	002	イタリア語(会話)	語学	2-4	2	後期	火5	Ida Duretto	学部共通科目	イタリア語学イタリア文学	
38	9682	001	アラブ語(初級)I	語学	2-4	2	前期	月2	仲尾 周一郎	学部共通科目	言語学	西南アジア史学
39	9683	001	アラブ語(初級)II	語学	2-4	2	後期	月2	仲尾 周一郎	学部共通科目	言語学	西南アジア史学
40	9608	001	イラン語(初級)	語学	3-4	4	通年	金2	杉山 雅樹	学部共通科目	西南アジア史学	
41	9688	001	シュメール語(初級Ⅰ)	語学	3-4	2	前期	金1	森 若葉	学部共通科目	言語学	西南アジア史学
42	9689	001	シュメール語(初級Ⅱ)	語学	3-4	2	後期	金1	森 若葉	学部共通科目	言語学	西南アジア史学
43	9624	001	スワヒリ語(初級)	語学	2-4	2	前期	火3	井戸根 綾子	学部共通科目	言語学	アジア・アフリカ地域研究研究科
44	9625	001	スワヒリ語(中級)	語学	2-4	2	後期	火3	井戸根 綾子	学部共通科目	言語学	アジア・アフリカ地域研究研究科

No	講義コード		科目名		回生	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態								
45	9652	001	満州語(初級)	語学	2-4	2	前期	集中	松岡 雄太	学部共通科目	言語学	
46	9648	001	朝鮮語(初級A)	語学	2-4	2	前期	金1	杉山 豊	学部共通科目	言語学	
47	9649	001	朝鮮語(初級B)	語学	2-4	2	後期	金1	杉山 豊	学部共通科目	言語学	
48	9650	001	朝鮮語(中級A)	語学	2-4	2	前期	火2	朴 真完	学部共通科目	言語学	
49	9651	001	朝鮮語(中級B)	語学	2-4	2	後期	火2	朴 真完	学部共通科目	言語学	
50	9635	001	フランス語(中級)	語学	2-4	2	前期	水4	Justine LE FLOC'H		全学共通	フランス語Ⅱ
51	9635	002	フランス語(中級)	語学	2-4	2	後期	水4	Justine LE FLOC'H		全学共通	フランス語Ⅱ
52	9636	001	フランス語(上級)	語学	3-4	2	前期	水2	Justine LE FLOC'H		全学共通	フランス語Ⅲ
53	9636	002	フランス語(上級)	語学	3-4	2	後期	水2	Justine LE FLOC'H		全学共通	フランス語Ⅲ
54	8005	001	博物館学I	講義	2-4	2	前期	火1	松岡 久美子	学芸員用		
55	8006	001	博物館学II	講義	2-4	2	後期	火1	松岡 久美子	学芸員用		
56	8007	001	博物館学III	講義	2-4	2	前期	金1	竹下 繭子	学芸員用		
57	8107	001	書道(演習)	演習	2-4	2	前期	火5	万殿 伸昭	教職用		
58	8107	002	書道(演習)	演習	2-4	2	後期	火5	万殿 伸昭	教職用		
01	9610	001	インドネシア語I(初級)	語学	1-4	2	前期	木5	柏村 彰夫		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
02	9611	001	インドネシア語II(初級)	語学	1-4	2	後期	木5	柏村 彰夫		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
03	9626	001	タイ語I(初級)	語学	1-4	2	前期	木5	弓庭 育子		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
04	9627	001	タイ語II(初級)	語学	1-4	2	後期	木5	弓庭 育子		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
05	9631	001	ビルマ(ミャンマー)語I(初級)	語学	1-4	2	前期	水2	本行 沙織		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
06	9637	001	ベトナム語I(初級)	語学	1-4	2	前期	火2	吉本 康子		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
07	9638	001	ベトナム語II(初級)	語学	1-4	2	後期	火2	吉本 康子		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
01	9822	003	戦争と植民地の歴史認識	特殊講義	1-4	2	後期	木2	小山 哲, 谷川 穣			
01	JK07	001	Skills for Transcultural Studies I-English	演習	3-4	2	前期	水2	ERICSON, Kjell David			
02	JK11	002	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	3-4	2	前期	集中	想田 和弘		メディア文化学	
03	JK11	005	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	3-4	2	前期	月1,月2	KIM, Suhyun			
04	JK11	006	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	3-4	2	前期	木4,木5	CHOI, Jung Bong			
05	JK11	007	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	2-4	2	前期	金3,金4	岡本 健, 喜多 千草, 松永 伸司		◎メディア文化学	
06	JK09	003	Foundations I-Seminar (KBR)	特殊講義	3-4	2	前期	月2	WIRTZ, Fernando Gustavo			
07	JK09	004	Foundations I-Seminar (KBR)	特殊講義	3-4	2	前期	木2	Campbell, Michael		◎倫理学	
08	JK11	001	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	2-4	2	前期	水4	蘆田 裕史		◎メディア文化学	社会学
09	JK11	003	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	3-4	2	前期	集中	RODE-KAYA, Katarina			
10	JK11	004	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	2-4	2	前期	木1	井上 明人		◎メディア文化学	社会学
11	JK11	008	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	3-4	2	前期	火1,火2	FEDOROVA, Anastasia			
12	JK38	002	Research and Advanced Studies (SEG) A	特殊講義	3-4	2	後期	金2	安里 和晃		社会学	
13	JK39	004	Research and Advanced Studies (VMC) A	特殊講義	2-4	2	後期	金2	岡本 健		◎メディア文化学	社会学
14	JK53	001	Research and Advanced Studies (SEG/VMC) B	特殊講義	3-4	2	後期	水3	Bjorn-Ole Kamm			
15	JK38	005	Research and Advanced Studies (SEG) A	特殊講義	3-4	2	後期	月2	KOCHHAR-GEORGE, Che Singh			
16	JK31	001	Introduction-Focus I Seminar (KBR) A	演習	3-4	2	前期	火2	VASUDEVA, Somdev		インド古典学	
17	JK32	001	Introduction-Focus I Seminar (SEG) A	演習	3-4	2	前期	金2	安里 和晃		社会学	
18	JK33	001	Introduction-Focus I Seminar (VMC) A	演習	3-4	2	前期	水3	Bjorn-Ole Kamm			
19	JK35	001	Introduction-Focus I Seminar (SEG) B	特殊講義	3-4	2	前期	木3	ERICSON, Kjell David			
20	JK36	001	Introduction-Focus I Seminar (VMC) B	演習	3-4	2	前期	火4,火5	Mitsuyo Wada-Marciano			
21	JK37	001	Research and Advanced Studies (KBR) A	特殊講義	3-4	2	後期	金3	海田 大輔			
22	JK38	003	Research and Advanced Studies (SEG) A	特殊講義	3-4	2	後期	木2	佐野 真由子		◎教育学研究科 教育学部	
23	JK38	004	Research and Advanced Studies (SEG) A	特殊講義	3-4	2	後期	水2	河合 淳子			
24	JK39	003	Research and Advanced Studies (VMC) A	特殊講義	3-4	2	後期	火4,火5	Mitsuyo Wada-Marciano			
25	JK40	002	Research and Advanced Studies (KBR/SEG) A	特殊講義	3-4	2	後期	木3	ERICSON, Kjell David			
26	JK41	001	Research and Advanced Studies (KBR/VMC) A	特殊講義	3-4	2	後期	金4	川島 隆			
27	JK45	001	Research and Advanced Studies (KBR/SEG) B	特殊講義	3-4	2	後期	木2	ERICSON, Kjell David			
28	JK48	001	Research and Advanced Studies (VMC) A	演習	2-4	2	後期	月3	伊藤 遊		◎メディア文化学	
29	JK50	001	Research and Advanced Studies (SEG/VMC) A	演習	3-4	2	後期	水4	Bjorn-Ole Kamm			

（6）文学部講義題目（シラバス）について

平成 24 年度より，本学部では講義題目（シラバス）については，KULASIS および本学部・研究科ホームページ等で掲載しますので，下記 URL より講義題目（シラバス）を確認してください。

■KULASIS（京都大学教務情報システム）
https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp

■本学部・研究科ホームページ（シラバス掲載）
https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/student/syllabus/

科目ナンバリングについて

平成 31 年度（2019 年度）より，シラバスに科目ナンバリングを附しております。（講義コードとは別のものです。）科目ナンバリングは，授業科目に適切な番号を付し分類することで，学修の段階や順序等を表し，教育課程の体系性を明示する仕組みです。 授業科目を分類し，対象とするレベル（学年等）や学問の分野を示すことで，学生が適切な授業科目を選択する助けとなるものですので，シラバスを活用し，履修計画を立てる上で，参考にしてください。

（例）系共通科目(日本哲学史)(講義)の場合

U	–	LET	05	2	5302	L	J	34
↑		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
課程		開講部局	専修	配当年次	科目コード	講義別	授業言語	学問分野

なお，コード分類は文学部ホームページに掲載しています。

(7) 全学共通科目の履修について

全学共通科目の履修に際しては，「全学共通科目履修の手引き」（国際高等教育院ホームページ掲載）及び本便覧『履修上の注意事項』を熟読し，必ず所定の手続きを行うこと。

■ 基礎教育科目（全学共通科目として履修登録するが，学部科目の単位として認定される科目）

科目名	開講期	単位	対象回生	旧科目名
日本古代・中世政治文化論	H28より廃止	2	1-4	日本古代・中世政治文化論A（2単位）
日本古代・中世の歴史社会	H28より廃止	2	1-4	日本古代・中世政治文化論B（2単位）
中国歴史風土論	不開講	2	1-4	中国歴史風土論A（2単位）
中国歴史地理論	不開講	2	1-4	中国歴史風土論B（2単位）
日本史I	前期	2	1-4	
日本史II	後期	2	1-4	
西洋史I	前期	2	1-4	西洋史IA（2単位）
西洋史II	後期	2	1-4	西洋史IB（2単位）
人文地理学各論Ⅰ（都市）	前期	2	1-4	都市空間論（4単位）
人文地理学各論Ⅱ（村落）	前期	2	1-4	村落空間論（4単位）
人文地理学各論Ⅲ（歴史地理）	後期	2	1-4	歴史地域構造論（4単位）
地域地理学各論Ⅰ（日本）	前期	2	1-4	比較地域構造論（4単位）
地域地理学各論Ⅱ（欧米）	後期	2	1-4	
地域地理学各論Ⅲ（アジア・アフリカ）	後期	2	1-4	

備考
・上記の科目は全学共通科目として履修登録するが，単位を修得した場合，文学部の学部科目（自由選択）として認定される。
ただし，全学共通科目の必要単位が不足している場合，所定の手続きを経て，全学共通科目人文・社会科学系科目群（平成27年度入学者），人文・社会科学科目群(平成28年度以降入学者)に変更することができる。（「全学共通科目履修の手引き」を参照）
手続期間は，4月及び10月のみ。締切日等詳細は文学部教務掛関係掲示板に掲示する。
・担当者，曜時限等については「全学共通科目履修の手引き」またはKULASISを参照すること。

■ 文学部提供全学共通科目「情報基礎演習［文学部］」・「外国文献研究（文・英）A・B」

科目名（対象回生）	授業形態	担当者		コメント	開講期	単位	曜時限
		職	氏名				
情報基礎演習［文学部］	演習	非常勤講師	大浦　真	重複履修は認められない。	前期	2	月1
（1～4回生）	〃	〃	〃	〃	前期	2	水1
外国文献研究(文・英)A	演習	教授	児玉　聡	哲学基礎文化学系，基礎現代文化学系の学生を対象とする。	前期	2	水3
（2～4回生）							
〃　B	〃	准教授	林　拓也	〃	後期	2	金3
〃　A	〃	准教授	天野　恭子	東洋文化学系の学生を対象とする。	前期	2	火4
〃　B	〃	教授	VASUDEVA, Somdev	〃	後期	2	火4
〃　A	〃	准教授	小林　久美子	西洋文化学系の学生を対象とする。	前期	2	金2
〃　B	〃	准教授	小林　久美子	〃	後期	2	金2
〃　A	〃	准教授	安平　弦司	歴史基礎文化学系，基礎現代文化学系の学生を対象とする。	前期	2	水4
〃　B	〃	准教授	安平　弦司	〃	後期	2	水4
〃　A	〃	准教授	岩本　佳子	歴史基礎文化学系，基礎現代文化学系の学生を対象とする。	前期	2	月5
〃　B	〃	教授	小野沢　透	〃	後期	2	月5
〃　A	〃	教授	藁田　宏	行動・環境文化学系の学生を対象とする。	前期	2	火2
〃　B	〃	准教授	埴淵　知哉	〃	後期	2	火2
〃　A	〃	教授	定延　利之	〃	前期	2	水3
〃　B	〃	准教授	田中　紀行	〃	後期	2	水3

備考

1. 「情報基礎演習［文学部］」

・全学共通科目現代社会適応科目群（平成27年度入学者）,情報学科目群（平成28年度以降入学者）の単位として認定される。授業内容等についてはKULASIS からシラバスを参照し，履修登録を行うこと。

・この科目は，平成 12年度以前「基礎情報処理」「基礎情報処理実習」（ともに学部科目），平成13年度「基礎情報処理Ⅰ」(全学共通科目)，平成14年度「基礎情報処理Ⅰ」（学部科目），平成15年度「基礎情報処理Ⅰ」（全学共通科目），平成16・17年度「基礎情報処理」（全学共通科目），平成18～24年度「人文情報基礎 A・B」(全学共通科目)，平成25年「コンピュータリテラシー演習Ⅰ・II」(全学共通科目)，平成26～27年度「コンピュータリテラシー演習[文学部]」（全学共通科目），平成28年度より「情報基礎演習[文学部]」（全学共通科目）として開講しているものである。

2. 「外国文献研究(文・英)A・B」

・全学共通科目外国語科目群（平成27年度入学者）,人文・社会科学科目群（平成28年度以降入学者)の単位として認定される。（「全学共通科目履修の手引き」，及び本便覧の『履修上の注意事項』を必ず読むこと。）

・この科目は,平成28年度以前「文学部英語A・B」,平成29年度より「外国文献研究(文・英)A・B」として開講しているものである。

・授業内容についてはKULASISからシラバスを参照し，履修登録を行うこと。なお，いずれのクラスでも履修人数制限を行うため，履修登録前に設定されている，**履修人数制限科目申込期間**に KULASISから申し込みをすること。

・原則として，自分の所属する系を対象とするクラスでA（前期）・B（後期）を履修すること。
ただし,基礎現代文化学系に所属するものは,哲学基礎文化学系及び歴史基礎文化学系のいずれかを対象とするクラスで 履修すること。なお，科学哲学科学史専修（志望）の学生は哲学基礎文化学系，現代史学専修（志望）の学生は歴史基礎文化学系を対象とするクラスでの履修を推奨する。

・平成27年度以前入学者は,A（前期，1単位）とB（後期，1単位）で2単位修得すること。
平成28年度以降入学者は,A（前期，2単位）とB（後期，2単位）で4単位修得すること。

・平成27年度以前入学者で，「文学部英語A・B」の単位未修得の場合は，「外国文献研究(文・英)A・B」の単位を読み替えるものとする。ただし,2単位で開講しているが,卒業単位として認定されるのは1単位のみとなるので注意すること。

１．京都大学大学院文学研究科の理念と目標に関する内規

平成 21 年 1 月 15 日　文学研究科・文学部教授会決定
平成 27 年 12 月 17 日　文学研究科・文学部教授会改定

1. 京都大学大学院文学研究科は、京都大学創立以来の自由の学風を継承し、他の学問分野との調和や融合をはかりながら、哲学・歴史学・文学・行動科学の各分野の学術を発展させつつ、人文学における世界最高水準の研究・教育を推進し、その成果を通じて人類の調和ある共存に貢献する。
2. この目的を達成するために、以下の目標を定める。
   (1) 京都大学大学院文学研究科は、人間の諸活動の原理的な解明と、絶えず変化する環境のなかでその諸活動が有する価値を問い直すことを通じて、哲学・歴史学・文学・行動科学に関わる学術を教授・研究する。
   (2) 京都大学大学院文学研究科は、人類の文化の継承と調和ある共存に寄与し、真に意味ある知を創造しうる卓越した学識と応用能力を有する、学術研究者および高度専門職業人を育成する。
   (3) 京都大学大学院文学研究科は、地域密着的な視点と地球規模の広角的視点の両面から、京都・日本・アジアに固有の知的遺産の維持・継承・発展に寄与すると同時に、人類の文化全般についての多元的・総合的探求を推進する。
   (4) 京都大学大学院文学研究科は、地域連携と国際交流の強化を通じて、教育と研究の成果を広く社会に還元する。
   (5) 京都大学大学院文学研究科は、人権を尊重し、環境に配慮した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。

２．京都大学大学院文学研究科　教育課程編成・実施の方針
（カリキュラム・ポリシー）

平成 22 年 3 月 15 日　文学研究科・文学部教授会決定
平成 27 年 12 月 17 日　文学研究科・文学部教授会改定
平成 31 年 3 月 7 日　文学研究科・文学部教授会決定

文学研究科修士課程

京都大学文学研究科修士課程では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、次の方針のもとに教育課程を編成・実施し、①基盤的・先端的な専門知識、②新たな知を創造しうる能力、③高い倫理性と強い責任感、④研究成果を世界に発信できる語学能力、をそれぞれ有する研究者および高度な専門性を必要とする職業を担いうる人材を育成する。

1. 修士課程一年次のはじめに、幅広い思考力と判断力を持つ学生を育てるために、主たる指導教員と、研究科を担当する本学教員のうちから指導教員若干名を定める。
2. 学生は、修士課程一年次の定められた時期に、それぞれの関心に沿った研究計画を主体的に作成し、指導教員に提出する。
3. 学生は、カリキュラムマップに示したように、特殊講義および参加型の演習などを受講することにより、関連分野を含めた高度な専門知識の習得、および原典・一次資料の分析力の向上に努めるとともに、活発な討議を通して問題に対するアプローチの方法、思考能力、討論の能力を身につける。学修成果の評価は、筆記試験、レポート試験、演習への積極的な参加などの観点から、科目の特性に応じて公正かつ的確に実施する。
4. 課程修了年次に修士論文の作成が課される。学生は専門分野において修得した研究能力と知識を活かし、課程修了の集大成として修士論文を完成する。その評価に際しては、「京都大学大学院文学研究科学位論文に係る評価基準」を用いる。

修士課程国際連携文化越境専攻にかかる分は、文学研究科 HP を参照のこと
（https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/about/graduate-school-of-letters/）

文学研究科博士後期課程

京都大学文学研究科博士後期課程では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、次の方針のもとに教育課程を編成・実施し、①基盤的・専門的な専門知識、②新たな知を創造する卓越した能力、③高い倫理性と強い責任感、④研究成果を世界に発信し国際的連携のもとで研究を推進する能力、をそれぞれ有する研究者および高度な専門業務に携わりうる人材を育成する。

1. 博士後期課程一年次のはじめに、学生が取り組む研究課題にふさわしい主たる指導教員と、研究科を担当する本学教員のうちから指導教員若干名を定める。
2. 学生は、博士後期課程一年次の定められた時期に、それぞれの研究目標と方法についての研究計画書を作成し、指導教員に提出する。これに基づき、修士課程で培った能力を活かして、各自のテーマによる高度な専門的研究を推進する。一年次の終わりに、研究報告書と研究状況と今後の進展の見通しについての論文作成計画書を提出し、第一年次研究指導認定を受ける。
3. 二年次にも、引き続き各自のテーマによる高度な専門的研究を推進する。年次の終わりに研究報告書を提出し、第二年次研究指導認定を受ける。
4. 三年次には、各自のテーマによる高度な専門的研究をさらに推進し、その成果をまとめた課程博士論文を作成する。この年次の 7 月もしくは 12 月に、資格申請書を提出し、適切と承認されれば博士論文提出資格を得る。そして三年次の 12 月もしくは課程研究指導認定退学後 3 年以内に、学生は専門分野において習得した知識や能力を活かして作成した課程博士論文を提出する。その評価に際しては、「京都大学大学院文学研究科学位論文に係る評価基準」を用いる。
5. 学生は毎年次、指導教員からきめ細かな指導を受ける。また、海外への留学・海外における調査研究や、研究成果を国内外の学会や学術誌に積極的に発表することを奨励される。

３．京都大学大学院文学研究科学位授与の方針
(ディプロマ・ポリシー)

平成 22 年 3 月 15 日　文学研究科・文学部教授会決定
平成 27 年 12 月 17 日　文学研究科・文学部教授会改定
平成 31 年 3 月 7 日　文学研究科・文学部教授会決定

文学研究科修士課程

京都大学文学研究科修士課程においては、人間の諸活動の原理的な解明とその諸活動が有する価値を問い直すことを通じて、行動科学を含む広義の人文学に関わる学術について教授・対話することを根幹の教育理念とする。この理念に基づき、①基盤的・先端的な専門知識、②新たな知を創造しうる能力を有し、③高い倫理性と強い責任感、④研究成果を世界に発信できる語学能力、をそれぞれ有する研究者および高度な専門性を必要とする職業を担いうる人材を育成する。

この教育目標を達成するために、次のような課程修了及び学位授与の規準を設ける。

1. 修士課程にあっては、所定の年限在学し、研究指導を受け、所定の単位数を取得し、かつ、本研究科が行う修士論文の審査及び試験に合格した者に、修士の学位を与える。
2. また１.に掲げる要件を満たすことを通じて、修士課程修了にあっては、以下の点に到達していることが求められる。

(1) 人文学のそれぞれの専門分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。
(2) それぞれの専門分野において、原典や一次資料の分析に基づいてオリジナリティを有する研究を進める能力を身につけている。
(3) 専門家としての責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。
(4) 研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。
(5) 現在の社会がかかえている様々な問題に関して、人文学の立場から積極的に発言できるだけの知識と発言力を持つとともに、将来の世界像を視野に入れて、人文学がいかなる存在意義を持つのかを自覚的にとらえ、社会からのいかなる要請にも自らの専門分野の立場から意義ある発言ができるだけの能力を身につけている。

修士課程国際連携文化越境専攻にかかる分は、文学研究科 HP を参照のこと
（https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/about/graduate-school-of-letters/）

文学研究科博士後期課程

京都大学文学研究科博士後期課程においては、人間の諸活動の原理的な解明とその諸活動が有する価値を問い直すことを通じて、行動科学を含む広義の人文学に関わる高度な学術を築き上げることを根幹の教育理念とする。この理念に基づき、①基盤的・専門的な専門知識、②新たな知を創造する卓越した能力を有し、③高い倫理性と強い責任感、④研究成果を世界に発信し国際的連携のもとで研究を推進する能力、をそれぞれ有する研究者および高度な専門業務に従事する能力を有した人材育成することを教育目標とする。

この教育目標を達成するために、次のような学位授与の規準を設ける。

1. 博士後期課程にあっては、所定の年限在学し、研究指導を受け、かつ、本研究科が行う博士論文の審査及び試験に合格した者に、博士の学位を与える。
2. また１.に掲げる要件を満たすことを通じて、以下の点に到達していることが求められる。

(1) 人文学のそれぞれの専門分野において、専門的研究者として自立できる研究能力と、指導的な高度専門職業人としての能力を身につけている。
(2) それぞれの専門分野において、原典や一次資料の高度な分析に基づいてオリジナリティの高い研究を進めるとともに、研究の成果と学術的意義を適切に把握する能力を身につけている。
(3) 専門家としての強い責任感と高い倫理性をもって研究を遂行する能力を身 につけている。
(4) 研究成果を世界に向けて積極的に発信するとともに、国際的な連携のもとで研究を推進する能力を身につけている。
(5) 現在の社会、さらには将来の社会において自らの専門分野がいかに貢献しうるのかということを常に自覚しつつ、学術的に国際的に認められる成果を挙げると同時に、よりよい社会の実現のために意味のある研究を行うための能力を身につけている。

４．京都大学大学院文学研究科学位論文に係る評価基準

平成 25 年 11 月 21 日文学研究科・文学部教授会決定

博士論文の審査にあたっては、以下の基準に基づいて総合的に判断する。

１．当該分野および関連する分野についての高度で幅広い知識に基づき、明確な問題意識をもって顕著な学術的意義のある研究主題が設定されていること。
２．適切な研究方法が主体的に選択され、確実に遂行されていること。また、資料や先行研究が適切に取り扱われていること。
３．論理的に明確な結論が導き出されており、顕著な独創性が認められ、当該研究分野の発展に寄与する学術的価値を有していること。

修士論文の審査にあたっては、以下の基準に基づいて総合的に判断する。

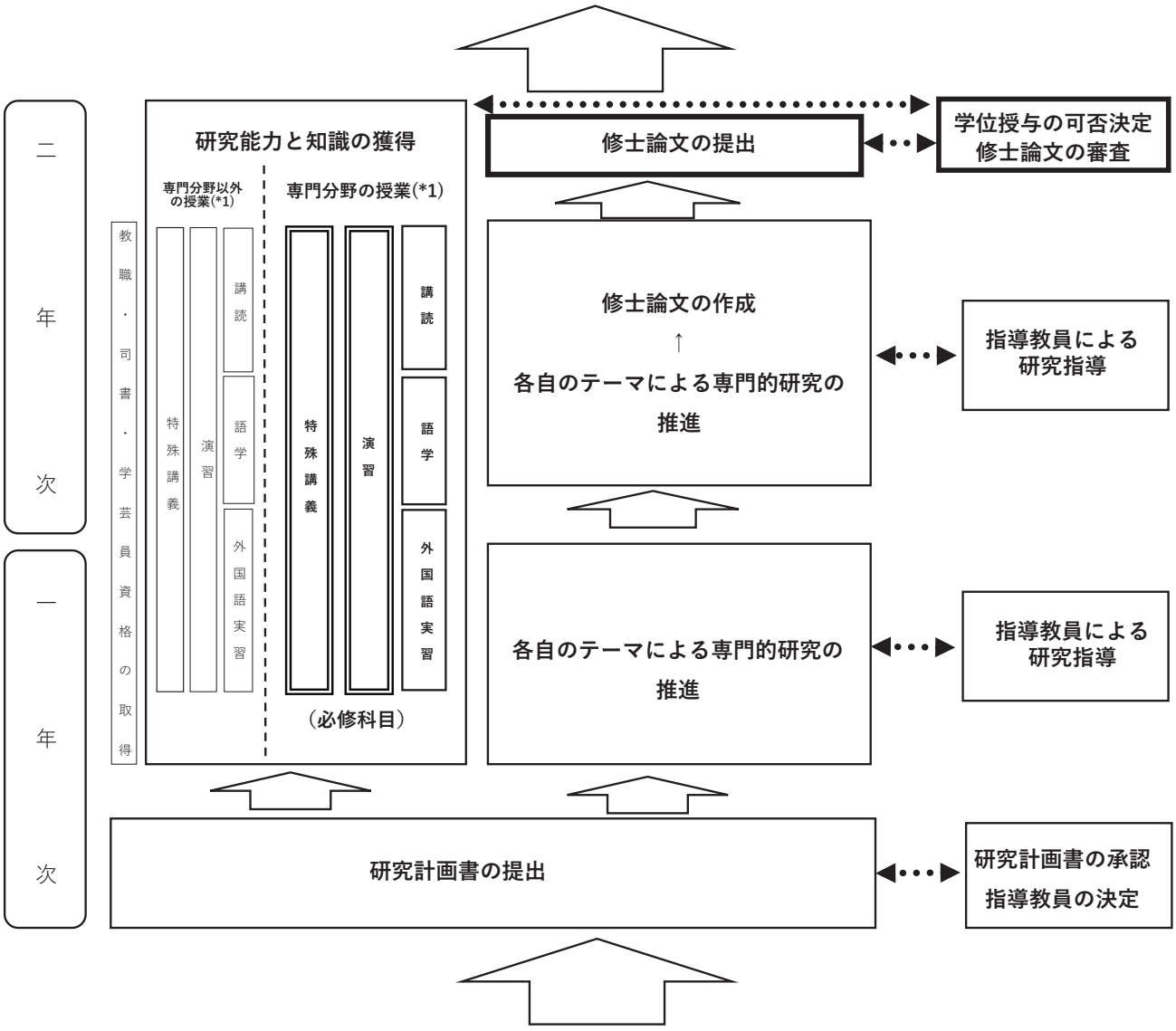
１．当該分野および関連する分野についての幅広い知識に基づき、明確な問題意識をもって学術的意義のある研究主題が設定されていること。
２．適切な研究方法が選択され、確実に遂行されていること。また、資料や先行研究が適切に取り扱われていること。
３．論理的に明確な結論が導き出されており、独創性が認められ、当該研究分野における学術的価値を有していること。

京都大学　大学院文学研究科　修士課程カリキュラム

（東洋文献文化学・西洋文献文化学・思想文化学・歴史文化学・行動文化学・現代文化学）

目標

（1）哲学・歴史学・文学・行動科学のそれぞれの専門分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。
（2）それぞれの専門分野において、原典や一次資料の分析に基づいてオリジナリティを有する研究を進める能力を身につけている。
（3）専門家としての責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。
（4）研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。



入学の要件

（1）志望分野に関する専門的知識を有しているとともに、人文学全般にわたって広い知識をもっている。
（2）志望分野において自らが主体的に問題を発見し、原典や一次資料の適切な分析に基づいてそれを解決する能力をもっている。
（3）将来国際的な場でも活動しうるだけの外国語能力の基礎を具えている。

(*1)専修ごとに開講科目の種別は異なり、また必修科目の単位数も異なる。

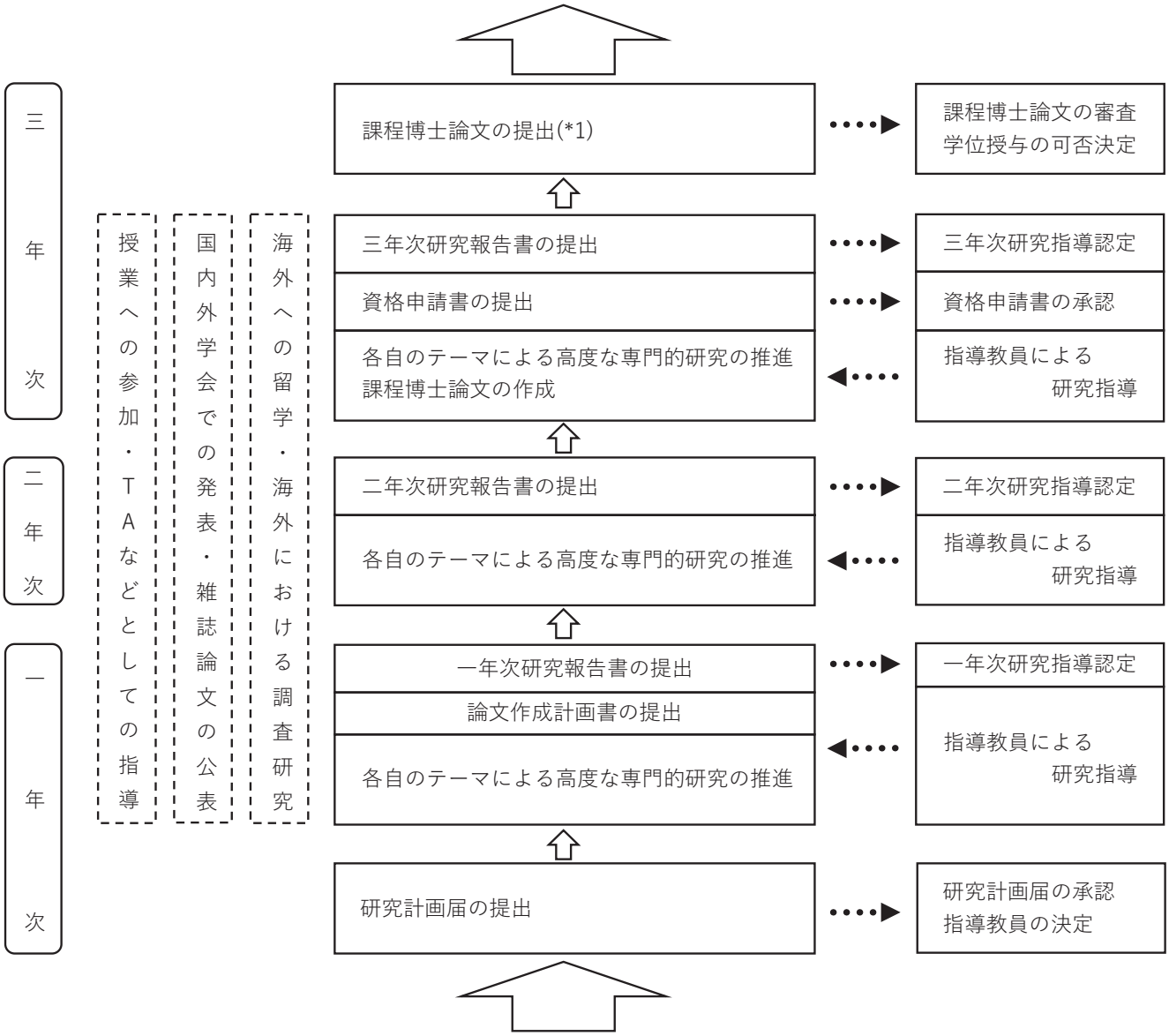
修士課程国際連携文化越境専攻にかかる分は、専攻HPを参照のこと（https://www.cats.bun.kyoto-u.ac.jp/jdts/kb/overview/）

京都大学　大学院文学研究科　博士後期課程カリキュラム

（東洋文献文化学・西洋文献文化学・思想文化学・歴史文化学・行動文化学・現代文化学）

目標

(1) 哲学・歴史学・文学・行動科学のそれぞれの専門分野において、専門的研究者として自立できる研究能力と、指導的な高度専門職業人としての能力を身につけている。
(2) それぞれの専門分野において、原典や一次資料の高度な分析に基づいてオリジナリティの高い研究を進めるとともに、研究の成果と学術的意義を適切に把握する能力を身につけている。
(3) 専門家としての強い責任感と高い倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。
(4) 研究成果を世界に向けて積極的に発信するとともに、国際的な連携のもとで研究を推進する能力を身につけている。



進学・編入学の要件

(1) 志望分野に関する深い専門的知識を有しているとともに、人文学の研究を通じて学術の高度化に寄与する能力をもっている。
(2) 志望分野において、先駆的な研究課題を自ら設定することができ、原典や一次資料の精緻な分析に基づいて、課題を解決する能力をもっている。
(3) 日本語、外国語によって、研究成果を国内外に効果的に発信するための語学能力を具えている。

(*1)在学中に学位論文を提出せずに研究指導認定を受ける者は、三年次研究報告書を提出して、研究指導認定退学する。退学後3年以内であれば課程博士論文を提出することができる。

5. 授業及び論文関係

(1) 文学研究科の授業，研究指導及び学修方法に関する申合せ事項

昭和 51 年 12 月 9 日教授会決定
平成 16 年 3 月 22 日改正
令和 3 年 12 月 16 日改正

1. (1) 各学生について，指導教授のほかに，研究科を担当する本学の教員のうちから，指導教員若干名を定める。
   (2) 当該専修の教授が欠員又は事故のある場合は，研究科会議の議を経て，指導教員の 1 名が指導教授の任務を代行することがある。

2. 学生は，学修及び研究の指導を受けるために，履修及び研究の計画を定め，所定の期日までにこれを提出しなければならない。

3. 修士課程の学生に必要な 30 単位のうち，各専修に属する必修科目の単位は，別表に掲げるとおりとし，その他の単位は，自由選択とすることができる。必修単位を超える単位は，自由選択の単位数に含まれる。
   自由選択科目は，本研究科の開講科目，所定の国際高等教育院が開講する大学院共通科目及び学生交流の単位互換等により取得し本研究科が認定した科目である（単位互換・入学前の既修得単位は，それぞれ 10 単位を上限とする）。

4. 博士後期課程の学生は，研究指導を受けて，毎学年，演習などを履修し，学年末に研究報告書を提出しなければならない。

大学院修士課程単位表

	必修		自由選択	合計	備考
	特殊講義	演習			
国語学国文学専修	12		18	30	
中国語学中国文学専修	8	8	14	30	
中国哲学史専修	16		14	30	
インド古典学専修	16		14	30	
仏教学専修	8	8	14	30	
西洋古典学専修	12		18	30	
スラブ語学スラブ文学専修	12		18	30	令和 6 年度以前入学者
	16		14	30	令和 7 年度以降入学者
ドイツ語学ドイツ文学専修	16		14	30	

	必修		自由選択	合計	備考
	特殊講義	演習			
英語学英米文学専修	8	12	10	30	令和5年度以前入学者
	8	8	14	30	令和6年度以降入学者
フランス語学フランス文学専修	8	8	14	30	
イタリア語学イタリア文学専修	8	8	14	30	
哲学専修	8	12 ※1	10	30	
西洋哲学史（古代・中世・近世）専修	16		14	30	
日本哲学史専修	16		14	30	
倫理学専修	16		14	30	
宗教学専修	16		14	30	
キリスト教学専修	16		14	30	
美学美術史学専修	4	8	18	30	
日本史学専修	12		18	30	
東洋史学専修	12		18	30	
西南アジア史学専修	12		18	30	
西洋史学専修	12		18	30	
考古学専修	12		18	30	
心理学専修	8	8	14	30	
言語学専修	8	12	10	30	
社会学専修	8	12	10	30	
地理学専修	8	8	14	30	
科学哲学科学史専修	8	8	14	30	
メディア文化学専修	8	8	14	30	
現代史学専修	8	8	14	30	
京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻	26		4	30	※2

※1　哲学専修の平成30年度以降入学者については，必修科目の「演習」は同専修の「演習Ⅰ」を指す。

※2　京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻の「自由選択科目」に含められるのは、1セメスターについて2単位まで、修士課程在学中の上限は4単位までとする。（指導教員の了解を得て履修可能な国際高等教育院が開講する全学共通科目の日本語科目2単位を含む。）

(2) 履 修 登 録 に つ い て

●文学研究科科目を履修する場合（KULASIS での履修登録）

文学研究科科目を履修するには，KULASIS での履修登録が必要となる。履修登録をしていない授業科目は，受講し試験(筆記，レポート等）を受けても単位認定がされないので，必ず期間内に KULASIS に登録すること。

	前　期 （前期科目・通年科目・修士論文）	後　期 （後期科目）
履修登録ページ公開日	4 月 2 日（水）	9 月 17 日（水）
履修登録期間	4 月 17 日（木）・4 月 18 日（金）	10 月 10 日（金）・10 月 14 日（火）
履修登録確認・修正期間	4 月 23 日（水）・4 月 24 日（木）	10 月 17 日（金）・10 月 20 日（月）
履修登録確定日	4 月 28 日（月）	10 月 22 日（水）
履修登録確認表開示期間	4 月 28 日（月）～5 月 5 日（月）	10 月 22 日（水）～10 月 29 日（水）

●文学部科目を履修する場合（KULASIS での履修登録）

KULASIS で行う。詳細は掲示に注意すること。ただし，学部科目の単位は，修了に必要な単位として認められない。

●他研究科科目を履修する場合（他研究科聴講願等での履修登録）

各研究科で履修登録方法が異なるため,掲示に注意すること。ただし，他研究科科目の単位は，修了に必要な単位として認められない。

●全学共通科目を履修する場合（KULASIS での履修登録）

「全学共通科目履修登録について」の掲示に注意すること。ただし，全学共通科目の単位は，修了に必要な単位として認められない。

●大学院共通科目群，大学院横断教育科目群の科目を履修する場合（KULASIS での履修登録）

KULASIS で行う。ただし，修了に必要な単位として認められない科目もあるので注意すること。

(3) 試験・成績について

成 績 評 価 基 準

文学研究科専門科目における成績評価は 100 点満点とし，評価基準は 60 点以上を合格，60 点未満は不合格とする。また評語は以下のとおりとする。

【平成２７年度～平成３１年度（２０１９年度）入学者】
90 点以上を「A＋」，80 点～89 点を「A」，70 点～79 点を「B」，61 点～69 点を「C」，60 点を「D」，59 点以下を「F」とする。

【令和２年度以降入学者】
96 点以上を「A＋」，85 点～95 点を「A」，75 点～84 点を「B」，65 点～74 点を「C」，60 点～64 点を「D」，59 点以下を「F」とする。

評語	適用基準	
A＋	合格基準に達している。	学修の高い効果が認められ，傑出した成績である。／Outstanding
A		学修の高い効果が認められ，特に優れた成績である。／Excellent
B		学修の高い効果が認められ，優れた成績である。／Good
C		学修の効果が認められる。／Fair
D		最低限の学修の効果が認められる。／Pass
F	合格基準に達していない。	不合格。／Fail

試験における不正行為の取扱いについて

受験に際し自己または他人のために不正行為をした者の当該期の科目及び当該年度の通年科目の成績は，すべて無効とする。

成績の異議申立について

当該期の成績について，次の場合に限り異議を申し立てることができる。
① 採点の誤記入等，明らかに担当教員の誤りであると思われるもの
② シラバス等により周知している成績評価の方法等から，明らかに疑義があるもの

（申立の方法等）
成績開示初日から１週間以内※に，成績表を添えて教務掛窓口へ申し出ること。申立期間を過ぎたものは受け付けない。なお，担当教員に直接異議を申し出ることはできない。
申し立て内容については，文学研究科・文学部において確認し，上記の①又は②に該当しないと判断された場合，対象外とする。
おって，措置内容については，申し立てから原則として２週間以内に通知する。
※詳細な日程は，KULASIS 及び掲示にて周知。

(4) 修 士 論 文 の 提 出 に つ い て

今年度の大学院修士課程修了希望者は，下記により論文題目届及び論文を提出すること。

なお，前年度に論文題目届及び論文を提出した後，修了を延期した者も今年度改めて論文題目届・論文とも提出すること。

記

論文題目	**提出期間：文学部・文学研究科行事予定表のとおり** 下記 URL にアクセスのうえ，必要事項を入力し，当該年度の「行事予定表」の提出日までにアップロードすること。論文題目は原則として WEB 上で入力し，指導教員の確認を受け作成すること。操作には KULASIS に掲載のマニュアルを参考すること。 【URL】https://kar.gakusei.kyoto-u.ac.jp/portal/login/
研究公正について	**修士論文を提出する者は，研究公正に関する対面型のチュートリアルを受けなければならない。チュートリアルは原則として指導教員がおこなうものとする。 なお，研究公正に関する知識定着のため，対面型のチュートリアルの受講に加えて日本学術振興会「研究倫理ｅラーニングコース」を受講すること。対面型のチュートリアルとｅラーニングコースを受講後は，「研究公正チュートリアル実施確認書」とｅラーニングの「修了証書」を論文題目の提出期間終了までに教務掛に提出すること。** **また，提出方法は教務掛が KULASIS で案内するものとする。**
論　　文	**提出期間：文学部・文学研究科行事予定表のとおり** 論文の表紙には必要事項を記入した表紙ラベルを貼付し，教務掛へ提出すること。
注意事項	論文題目届・論文とも締め切り後は受理しない。
書　　式	論文は原則として日本語とする。 但し，1. 英語学英米文学，フランス語学フランス文学専修学生はそれぞれの言語で書くものとする。(平成 29 年度以前のドイツ語学ドイツ文学専修入学者は，ドイツ語で書くものとする。) 2. その他の専修の学生も専修によって認められた場合には，日本語以外の言語で書いてもよい。
用　　紙 枚　　数	**和文の場合** 400 字詰原稿用紙に換算して， 文献文化学専攻　50 枚以内 思想文化学専攻　100 枚以内 歴史文化学専攻　100 枚以内 行動文化学専攻　100 枚以内 現代文化学専攻　100 枚以内 但し，中国哲学史，インド古典学，仏教学の各専修は 100 枚以内とする。 なお，歴史文化学専攻学生は別に 400 字詰原稿用紙 5 枚分に相当する論文要旨を本文の前に綴じ込むこと。 **欧文の場合** A 4 判用紙に 1 ページ 25 行程度で 50 ページ以内とする。 なお，「外国語」で書いた論文には必ず和文の要旨を添付すること。
そ の 他	1. 修士論文には黒表紙をつけ仮製本して提出すること。 論文の提出期限は厳守し，提出後の誤字・脱字の訂正，プリントアウトの欠損などがないように充分な点検をおこなうこと。 パソコン使用の場合，ハードディスクや USB の異常，または機器の故障を理由とした提出延期や不完全な形での提出は認めない。 2. 黒表紙を開いた一枚目に，必要事項を記入した「研究公正に関する宣誓書」を綴じ込むこと。用紙は KULASIS に掲載する。宣誓書がない論文は受理しない。 3. 論文題目届提出後は原則として題目の変更は認めない。止むを得ず変更する場合は，教務掛交付の「修士論文題目変更届」(所定用紙) に指導教員の検印を得て教務掛へ届け出ること。提出された論文題目は，学位記データに使用される。 4. 論文題目届を提出した者は修了予定者として扱う。その後，事情により留年することになった者は，必ず教務掛交付の「論文提出取止届」に指導教員の検印を受けて提出すること。 5. 修士論文は口頭試問の前に限り撤回することができる。 6. 修士論文は返却しない。審査終了後，本研究科で製本し文学研究科図書館で保管し、閲覧に供する。従って各自「写し」をとっておくことが望ましい。

修士課程国際連携文化越境専攻にかかる分は，専攻 HP も参照すること
(https://www.cats.bun.kyoto-u.ac.jp/jdts/kb/overview/)

(5) 京都大学大学院文学研究科課程博士論文提出の手続

【平成３１年度（２０１９年度）以前入学者】

(全体の流れ)

博士後期1年次	4月	「研究計画書」を提出，希望する指導教員3名を届け出る。
	3月	「論文作成計画書」および「研究報告書」を提出し，第1年次研究指導認定を受ける。
博士後期2年次	4月	研究題目・学修および研究計画届を提出。
	3月	「研究報告書」を提出し，第2年次研究指導認定を受ける。
博士後期3年次	4月	研究題目・学修および研究計画届を提出。
	7月	「資格申請書」を提出，承認されれば「博士論文提出資格」を得る。
	12月	「課程博士論文」を提出。
	1月	「研究報告書」を提出。

※提出日は、当該年度の「行事予定表」を参照すること。

(説明)

１．研究計画書

博士後期課程全体を通じての研究主題・修士論文までの研究実績との関連性・研究の具体的計画を年度をおったかたちで400字詰原稿用紙5枚程度の分量にまとめて説明し，第1年次の4月に提出する。また希望する指導教員3名を選んで申請する。指導教員は「研究計画書」を通覧し，必要に応じて，指導教員の選定を含めた補足・変更を求め，主任指導教員1名を選ぶ。

２．博士論文指導

博士論文指導の時間を定期的に設けるので，必ず出席すること。

３．研究公正チュートリアル

「課程博士」を申請する者は，研究公正に関する対面型のチュートリアルを受けなければならない。チュートリアルは原則として指導教員がおこなうものとする。

なお，研究公正に関する知識定着のため，対面型のチュートリアルの受講に加えて日本学術振興会「研究倫理ｅラーニングコース」を受講すること。

対面型のチュートリアルとｅラーニングコースを受講後は，「研究公正チュートリアル実施確認書」とｅラーニングの「修了証書」を遅くとも課程博士論文資格申請までに教務掛に提出すること。提出方法は教務掛がKULASISで案内するものとする。

また，本研究科修士課程出身者については，修士課程在籍時に対面型のチュートリアルとｅラーニングコースを受講していれば，あらためて受講する必要は無い。(ただし，「研究公正チュートリアル実施確認書」とｅラーニングの「修了証書」はあらためて提出するものとする。)

4．論文作成計画書

第 1 年次の 3 月に，

(1) 論文の主題

(2) 現在までの研究状況

(3) 今後の進展の見通し

(4) 自己の研究の国内外における位置づけ

以上につき，400 字詰原稿用紙で 10 枚程度の分量にまとめて提出する。執筆にあたっては実際にどのような論文を書こうとしているのか，どのように研究をすすめるのか，その研究によりどのような点が明らかにされるのかが具体的にわかるよう，明晰に記述しなくてはならない。

指導教員は，計画書の内容について検討し，不備と認めた場合に補足・変更を求める。

提出後にやむを得ず主題変更・修正をおこなう必要が出てきた際は，ただちに主任指導教員に届け，承認を得ること。

5．各年次研究報告書

(1) 当初の研究計画および論文作成計画に沿った，独立の研究論文としての実質をそなえたものを，第 1・2 年次末に提出する。論文 1 本に相当するものを基準にする。審査を経て学会誌に掲載された論文の抜刷などでもかまわない。

(2) 指導教員は，(1) の研究報告書の内容が不備と認めた場合には翌年度 6 月末までに書き直しを求め，改めて研究指導認定をおこなう。

(3) 1 年次または 2 年次に研究報告書未提出などの理由により研究指導認定を受けることができなかった者は，翌年度以降に所定の研究報告書を提出し，各年次の研究指導認定を受けなければならない。なおその際，複数年次の研究報告書を同一年度に提出することはできない。

(4) 3 年次については次のように取り扱う

・在学中に課程博士論文を完成し，提出した者は学位論文提出の際に作成した「論文要旨」を研究報告として提出すること。

・在学中に学位論文を提出せずに研究指導認定を受ける者は，(1)に準じて研究報告を作成し，提出すること。なお，研究指導認定を受けた者は当該年度末に研究指導認定退学することになるので，「研究指導認定退学願」を提出すること。

3 年次で研究報告を提出する期間は 1，2 年次とは異なるので，行事予定表を確認のうえ遺漏のないように提出すること。

6．資格申請書

上記でいう第 1 年次および第 2 年次に相当する 2 回の研究指導認定を受けた者は，第 2 年次研究指導認定を受けた翌年度以降（第 3 年次）の 7 月に，以下の内容を含む「資格申請書」を提出する（分量・体裁・内容については専修ごとの基準により，課程博士論文を実際に完成できるか否か判断できるだけの内容をそなえたものとする）。その際，以下の各項目は必ず含んでいなければならない。

(1) 論文の進行状況と今後の作業の見通し

(2) 論文全体の章・節および見出しを含む詳細な目次

(3) 各章・節の内容についての要旨

本申請書提出後，指導委員会（指導教員 3 名に，必要があれば他の教員を加える）による審査をおこない，承認されれば「博士論文提出資格」を与える。「博士論文提出資格」の有効期限は博士後期課程在学中および研究指導認定退学後 3 年間である。

「資格申請書」が審査の結果不承認となったとき，あるいは一旦提出し承認を受けた後で論文構想に変更 が生じたときには，次回の提出時期に再度承認を求めるものとする。

「資格申請書」の最終提出期限は博士後期課程退学以前の定められた時期（行事予定表に明示）とする。提出されないまま退学した場合，以後の課程博士論文の提出資格は認めない。

7．論文

第 3 年次の 12 月に，「博士学位論文出願手続について」等(文学研究科ホームページに掲載)を参照し，誤りのないよう提出すること。

第 3 年次の課程博士論文の提出期限は，「博士論文提出資格」を有する最終年度 12 月上旬（行事予定表および掲示で周知）の定められた時期とし，博士学位論文には自署した「研究公正に関する宣誓書」を 1 ページ目に綴じなければならない。

なお，「博士論文提出資格」を有した後，研究指導認定退学した者は，退学後 3 年以内に提出すれば課程博士となる。

8．博士後期課程第 3 年次において論文を完成できない場合

(a) 第 3 年次 7 月に「資格申請書」を完成・提出できなかった場合。

(b) 同年次 12 月に論文を提出できなかった場合。

いずれの場合も，その旨をただちに主任指導教員に届け出るものとする。

上記 (a)の場合，「資格申請書」提出の機会は，同年 12 月(行事予定表に明示)に与えられる。

9．留学計画

博士後期課程の中途で留学するときには，どの大学院の博士課程（ないしそれに相当する水準の教育研究機関)においてどの教員の指導を受けるか，また研究進捗状況と留学の関連につき指導教員と協議し，助言・承認を得るものとする。

留学を終了し帰国する際には，留学期間における研究状況について，留学先の指導教員による説明書（ないしそれに代るもの）をたずさえることが望ましい。

10．審査手続き等

研究報告書提出時，資格申請時及び論文提出時には在学していること(休学期間中は研究報告書提出，資格申請, 論文提出を認めない。)

【令和２年度以降入学者】

（全体の流れ）

博士後期１年次	４月	「研究題目」「研究計画届」を提出，希望する指導教員３名を届け出る。
	10 月	「論文作成計画書」を提出する。
	３月	「第１回研究報告書」を提出し，第１年次研究指導認定を受ける。
博士後期２年次	４月	研究題目・学修および研究計画届を提出する。
	３月	「第２回研究報告書」を提出し，第２年次研究指導認定を受ける。
博士後期３年次	４月	研究題目・学修および研究計画届を提出する。
	７月	「資格申請書」を提出，承認されれば「博士論文提出資格」を得る。
	12 月	「課程博士論文」を提出する。
	１月	「第３回研究報告書」を提出する。

※提出日は、当該年度の「行事予定表」を参照すること。

（説明）

１．研究計画届

第１年次４月の研究計画届は，博士後期課程全体を通じての研究主題と構想を A4 用紙１枚程度の分量にまとめて説明する。また希望する指導教員３名を選んで申請する。指導教員は「研究計画届」を通覧し，必要に応じて，指導教員の選定を含めた補足・変更を求め，主任指導教員１名を選び，主任指導教員は指導計画を作成する。

第２年次以降の研究計画届は，専修の指導に基づき作成する。

２．博士論文指導

博士論文指導の時間を定期的に設けるので，必ず出席すること。

３．研究公正チュートリアル

「課程博士」を申請する者は，研究公正に関する対面型のチュートリアルを受けなければならない。チュートリアルは原則として指導教員がおこなうものとする。

なお，研究公正に関する知識定着のため，対面型のチュートリアルの受講に加えて日本学術振興会「研究倫理ｅラーニングコース」を受講すること。

対面型のチュートリアルとｅラーニングコースを受講後は，「研究公正チュートリアル実施確認書」とｅラーニングの「修了証書」を遅くとも課程博士論文資格申請までに教務掛に提出すること。提出方法は教務掛が KULASIS で案内するものとする。

また，本研究科修士課程出身者については、修士課程在籍時に対面型のチュートリアルとｅラーニングコースを受講していれば，あらためて受講する必要は無い。（ただし，「研究公正チュートリアル実施確認書」とｅラーニングの「修了証書」はあらためて提出するものとする。）

4．論文作成計画書

第 1 年次の 10 月に，

(1) 論文の主題

(2) 現在までの研究状況

(3)研究の具体的年次計画及びその見通し

(4) 自己の研究の国内外における位置づけ

以上につき，日本語の場合は 4000～6000 字程度の分量にまとめて提出する。日本語以外の言語の場合は、指導教員の指示に従うこと。執筆にあたっては実際にどのような論文を書こうとしているのか，どのように研究をすすめるのか，その研究によりどのような点が明らかにされるのかが具体的にわかるよう，明晰に記述しなくてはならない。

指導教員は，計画書の内容について検討し，不備と認めた場合に補足・変更を求める。

提出後にやむを得ず主題変更・修正をおこなう必要が出てきた際は，ただちに主任指導教員に届け，承認を得ること。

5．各年次研究報告書

(1) 当初の研究計画および論文作成計画に沿った，独立の研究論文としての実質をそなえたものを，第 1・2 年次末に提出する。論文 1 本に相当するものを基準にする。審査を経て学会誌に掲載された論文の抜刷などでもかまわない。

(2) 指導教員は，(1) の研究報告書の内容が不備と認めた場合には翌年度 6 月末までに書き直しを求め，改めて研究指導認定をおこなう。

(3) 1 年次または 2 年次に研究報告書未提出などの理由により研究指導認定を受けることができなかった者は，翌年度以降に所定の研究報告書を提出し，各年次の研究指導認定を受けなければならない。なおその際，複数年次の研究報告書を同一年度に提出することはできない。

(4) 3 年次については次のように取り扱う

・在学中に課程博士論文を完成し，提出した者は学位論文提出の際に作成した「論文要旨」を研究報告として提出すること。

・在学中に学位論文を提出せずに研究指導認定を受ける者は，(1)に準じて研究報告を作成し，提出すること。なお，研究指導認定を受けた者は当該年度末に研究指導認定退学することになるので，「研究指導認定退学願」を提出すること。

3 年次で研究報告を提出する期間は 1，2 年次とは異なるので，行事予定表を確認のうえ遺漏のないように提出すること。

6．資格申請書

上記でいう第 1 年次および第 2 年次に相当する 2 回の研究指導認定を受けた者は，第 2 年次研究指導認定を受けた翌年度以降（第 3 年次）の 7 月に，以下の内容を含む「資格申請書」を提出する（分量・体裁・内容については専修ごとの基準により，課程博士論文を実際に完成できるか否か判断できるだけの内容をそなえたものとする)。その際，以下の各項目は必ず含んでいなければならない。

(1) 論文の進行状況と今後の作業の見通し

(2) 論文全体の章・節および見出しを含む詳細な目次

(3) 各章・節の内容についての要旨

本申請書提出後，指導委員会（指導教員 3 名に，必要があれば他の教員を加える）による審査をおこない，承認されれば「博士論文提出資格」を与える。「博士論文提出資格」の有効期限は博士後期課程在学中および研究指導認定退学後 3 年間である。

「資格申請書」が審査の結果不承認となったとき，あるいは一旦提出し承認を受けた後で論文構想に変更 が生じたときには，次回の提出時期に再度承認を求めるものとする。

「資格申請書」の最終提出期限は博士後期課程退学以前の定められた時期（行事予定表に明示）とする。提出されないまま退学した場合，以後の課程博士論文の提出資格は認めない。

7．論文

第 3 年次の 12 月に，「博士学位論文出願手続について」等(文学研究科ホームページに掲載)を参照し，誤りのないよう提出すること。

第 3 年次の課程博士論文の提出期限は，「博士論文提出資格」を有する最終年度 12 月上旬（行事予定表および掲示で周知）の定められた時期とし，博士学位論文には自署した「研究公正に関する宣誓書」を 1 ページ目に綴じなければならない。

なお，「博士論文提出資格」を有した後，研究指導認定退学した者は，退学後 3 年以内に提出すれば課程博士となる。

8．博士後期課程第 3 年次において論文を完成できない場合

(a) 第 3 年次 7 月に「資格申請書」を完成・提出できなかった場合。

(b) 同年次 12 月に論文を提出できなかった場合。

いずれの場合も，その旨をただちに主任指導教員に届け出るものとする。

上記 (a)の場合，「資格申請書」提出の機会は，同年 12 月(行事予定表に明示)に与えられる。

9．留学計画

博士後期課程の中途で留学するときには，どの大学院の博士課程（ないしそれに相当する水準の教育研究機関)においてどの教員の指導を受けるか，また研究進捗状況と留学の関連につき指導教員と協議し，助言・承認を得るものとする。

留学を終了し帰国する際には，留学期間における研究状況について，留学先の指導教員による説明書（ないしそれに代るもの）をたずさえることが望ましい。

10．審査手続き等

研究報告書提出時，資格申請時及び論文提出時には在学していること(休学期間中は研究報告書提出，資格申請,論文提出を認めない。)

(6) 京都大学大学院文学研究科課程博士論文執筆要綱

(文学研究科共通ガイドライン)

1．使用言語

論文には原則として日本語を用いる。但し，専修によって認められた場合にはその他の言語で書いてもよい。なお，主論文要旨は日本語で書くこと。

2．体裁

縦（横）書きとし，正本1部・副本2部ともに製本のうえ提出する。製本仕上がりの大きさはA4判もしくはB5判とする。なお，審査用以外に手続用（図書館納品分）としてさらに1部必要である。

論文は，京都大学附属図書館において保存するので，堅牢な製本とするよう注意すること。

表紙には論文題目・氏名のみを省略せずに記載する（年号の記載は自由)。複数冊に分けるときは，それぞれの表紙に記入のうえ，全体の通し番号をつける。(背表紙も同様)

3．用紙・論文書式

正本・副本ともにコピー機による複写を提出してもかまわない。

(1)和文手書きの場合は，縦書きB4判400字詰原稿用紙二つ折（またはB5判200字詰原稿用紙)，ペンまたはボールペン書きとする。横書きの場合は，A4判原稿用紙でもよい。

(2)パソコン使用の場合は，A4判またはB5判の上質紙に印刷する。印字内容の長期保存に適さない紙を用いてはならない。

a. 和文書式については，横書き・縦書きとも，製本仕上がり状態に留意の上，読みやすい仕上がりになるよう定めるものとする。

b. その他の文字の場合，上記に準じて定める。

(3) 参考論文・主論文要旨は，上記に準ずる。付図・付表については，必要があれば見やすさを損なわない範囲で用紙・書式の変更を行っても差し支えない。

4．論文の構成

(1) 目次・本文・注の構成とする。注の位置や，より具体的な章立てなどを統一する必要があれば，各専修もしくは専攻で定める。参考論文は本項規程の扱いに準じる（ただし，学術誌などに既公刊の論文を参考として提出する場合，強いて体裁を合わせる必要はない)。

(2) 引用文献は，各分野が求める適切な方法によって書誌情報を掲出すること。

5．論文の提出期限は厳守し，提出後の誤字・脱字の訂正，プリントアウトの欠損などがないように充分な点検をおこなうこと。

パソコン使用の場合，ハードディスクやメモリの異常，または機器の故障を理由とした提出延期や不完全な形での提出は認めない。

乱丁・落丁などがないか充分に確認した上で提出すること。

(7) 令和７年度 文学研究科開講科目一覧

【文献文化学】

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
01	M631	001	東洋文献文化学系英語論文実習	実習	1	前期	木1	Tao PAN	大学院系共通科目		
02	M631	002	東洋文献文化学系英語論文実習	実習	1	後期	木1	Tao PAN	大学院系共通科目		
01	1331	013	国語学国文学	特殊講義	2	前期	集中	河村　瑛子			
02	1331	012	国語学国文学	特殊講義	2	後期	月2	河村　瑛子			
03	1331	010	国語学国文学	特殊講義	2	前期	月3	田中　草大			
04	1331	011	国語学国文学	特殊講義	2	後期	月3	田中　草大			
05	1330	002	国語学国文学	特殊講義	4	通年	火2	池田　恭哉		◎中国哲学史	
06	1331	001	国語学国文学	特殊講義	2	前期	水4	須田　千里		メディア文化学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
07	1331	002	国語学国文学	特殊講義	2	後期	水4	須田　千里		メディア文化学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
08	1331	003	国語学国文学	特殊講義	2	前期	木2	佐野　宏		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
09	1331	004	国語学国文学	特殊講義	2	後期	木2	佐野　宏		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
10	1331	005	国語学国文学	特殊講義	2	前期	水3	長谷川　千尋		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
11	1331	006	国語学国文学	特殊講義	2	後期	水3	長谷川　千尋		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
12	1331	007	国語学国文学	特殊講義	2	前期	木2	市村　太郎		人間・環境学研究科 総合人間学部	
13	1331	008	国語学国文学	特殊講義	2	後期	木2	市村　太郎		人間・環境学研究科 総合人間学部	
14	1331	014	国語学国文学	特殊講義	2	前期	金3	土佐　朋子		総合人間学部	
15	1331	015	国語学国文学	特殊講義	2	後期	金3	土佐　朋子		総合人間学部	
16	1331	009	国語学国文学	特殊講義	2	前期	集中	佐々木　孝浩			
17	1340	001	国語学国文学	演習	4	通年	金5	大槻　信			
18	1341	009	国語学国文学	演習	2	後期	月4	河村　瑛子			
19	1340	004	国語学国文学	演習	4	通年	木5	田中　草大			
20	1341	001	国語学国文学	演習	2	前期	木2	緑川　英樹		◎中国語学中国文学	
21	1341	002	国語学国文学	演習	2	後期	木2	緑川　英樹		◎中国語学中国文学	
22	1341	007	国語学国文学	演習	2	前期	火2	高橋　幸平		メディア文化学	人間・環境学研究科 総合人間学部
23	1341	008	国語学国文学	演習	2	後期	火2	高橋　幸平		メディア文化学	人間・環境学研究科 総合人間学部
24	M112	001	国語学国文学	演習	4	通年	水5	大槻　信			
25	M112	002	国語学国文学	演習	4	通年	金2	金光　桂子			
26	M114	001	国語学国文学	修論演習	4	通年	水1	大槻, 金光, 河村, 田中			
27	M990	001	修士論文(国語学国文学)			通年	集中	大槻, 金光, 河村, 田中			
01	1431	001	中国語学中国文学	特殊講義	2	前期	火1	永田　知之		中国哲学史	
02	1431	002	中国語学中国文学	特殊講義	2	後期	火1	永田　知之		中国哲学史	
03	1431	003	中国語学中国文学	特殊講義	2	前期	金2	井口　千雪			
04	1431	004	中国語学中国文学	特殊講義	2	後期	金2	井口　千雪			
05	1431	005	中国語学中国文学	特殊講義	2	後期	火4	木津　祐子			
06	1431	006	中国語学中国文学	特殊講義	2	前期	火3	松江　崇		◎人間・環境学研究科	
07	1431	007	中国語学中国文学	特殊講義	2	後期	火3	松江　崇		◎人間・環境学研究科	
08	1431	008	中国語学中国文学	特殊講義	2	後期	金1	野原　将揮		言語学	
09	1431	009	中国語学中国文学	特殊講義	2	前期	金1	野原　将揮		言語学	
10	1431	012	中国語学中国文学	特殊講義	2	前期	集中	大西　克也			
11	1431	010	中国語学中国文学	特殊講義	2	前期	木1	池田　巧			
12	1431	011	中国語学中国文学	特殊講義	2	後期	木1	池田　巧			
13	1464	001	中国語学中国文学	外国語実習	1	前期	金5	楊　維公			
14	1464	002	中国語学中国文学	外国語実習	1	後期	金5	楊　維公			
15	M123	001	中国語学中国文学	演習	2	前期	月2	成田　健太郎			
16	M123	002	中国語学中国文学	演習	2	後期	月2	成田　健太郎			

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
17	M123	003	中国語学中国文学	演習	2	前期	金3	木津　祐子			
18	M123	004	中国語学中国文学	演習	2	後期	金3	木津　祐子			
19	M123	005	中国語学中国文学	演習	2	前期	水4	緑川　英樹			
20	M123	006	中国語学中国文学	演習	2	後期	水4	緑川　英樹			
21	M123	007	中国語学中国文学	演習	2	通年	水2	木津　祐子, 緑川　英樹, 成田　健太郎			
22	M990	002	修士論文(中国語学中国文学)			通年	集中	木津　祐子, 緑川　英樹, 成田　健太郎			
01	1530	002	中国哲学史	特殊講義	4	通年	水4	池田　恭哉			
02	1531	010	中国哲学史	特殊講義	2	前期	火1	永田　知之		◎中国語学中国文学	
03	1531	011	中国哲学史	特殊講義	2	後期	火1	永田　知之		◎中国語学中国文学	
04	1531	006	中国哲学史	特殊講義	2	前期	火4	船山　徹		◎仏教学	
05	1531	007	中国哲学史	特殊講義	2	後期	火4	船山　徹		◎仏教学	
06	1531	004	中国哲学史	特殊講義	2	前期	木2	倉本　尚徳		◎仏教学	
07	1531	005	中国哲学史	特殊講義	2	後期	木2	倉本　尚徳		◎仏教学	
08	1540	002	中国哲学史	演習	4	通年	水2	池田　恭哉			
09	1541	002	中国哲学史	演習	2	前期	月5	福谷　彬			
10	1541	001	中国哲学史	演習	2	後期	月5	福谷　彬			
11	1541	003	中国哲学史	演習	2	前期	月3	古勝　隆一			
12	1541	004	中国哲学史	演習	2	後期	月3	古勝　隆一			
13	M990	003	修士論文(中国哲学史)			通年	集中	池田　恭哉			
01	1633	001	インド古典学	特殊講義	2	後期	金2	天野　恭子			
02	1633	002	インド古典学	特殊講義	2	前期	火2	VASUDEVA, Somdev		◎文化越境	
03	1633	003	インド古典学	特殊講義	2	後期	火2	VASUDEVA, Somdev		◎文化越境	
04	1633	007	インド古典学	特殊講義	2	後期	水3	CATT, Adam Alvah		◎言語学	
05	1633	008	インド古典学	特殊講義	2	前期	水3	CATT, Adam Alvah		◎言語学	
06	1633	005	インド古典学	特殊講義	2	前期	集中	沼田　一郎・谷口　力光			
07	1633	006	インド古典学	特殊講義	2	前期	集中	Martin Kümmel, Benedikt Peschl, Chams Bernard			
08	1633	010	インド古典学	特殊講義	2	前期	水5	Tao PAN		◎文化越境	
09	1633	011	インド古典学	特殊講義	2	後期	水5	Tao PAN		◎文化越境	
10	1644	003	インド古典学	演習	2	前期	金2	天野　恭子			
11	1644	004	インド古典学	演習	2	前期	火5	VASUDEVA, Somdev			
12	1644	011	インド古典学	演習	2	後期	火5	VASUDEVA, Somdev			
13	1644	001	インド古典学	演習	2	後期	月2	Tao PAN		言語学	
14	1644	002	インド古典学	演習	2	後期	月3	Tao PAN			
15	1644	008	インド古典学	演習	2	前期	月2	Tao PAN		言語学	
16	1644	005	インド古典学	演習	2	前期	木4	山口　周子		仏教学	
17	1644	006	インド古典学	演習	2	後期	木4	芳原　綾子		仏教学	
18	1644	009	インド古典学	演習	2	前期	火1	天野　恭子,VASUDEVA Somdev,Tao PAN			
19	1644	010	インド古典学	演習	2	後期	火1	天野　恭子,VASUDEVA Somdev,Tao PAN			
20	1653	001	インド古典学	講読	2	前期	水2	天野　恭子			
21	1653	002	インド古典学	講読	2	後期	水2	大島　智靖			
22	1653	003	インド古典学	講読	2	前期	木3	Tao PAN		仏教学	
23	1653	004	インド古典学	講読	2	後期	木3	Tao PAN		仏教学	
24	9616	001	インド古典学	語学	4	通年	月4	山口　周子	大学院共通科目	仏教学 西南アジア史学	サンスクリット (2時間コース)
25	9617	001	インド古典学	語学	8	通年	月5,木5	Tao PAN	大学院共通科目	仏教学	サンスクリット (4時間コース)
26	9633	001	インド古典学	語学	4	通年	金4	濱谷　真理子	大学院共通科目	西南アジア史学 ヒンディー語(初級)	アジア・アフリカ 地域研究研究科
27	9659	001	インド古典学	語学	2	前期	火3	西岡　美樹	大学院共通科目	ヒンディー語(中級)	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
28	9660	001	インド古典学	語学	2	後期	火3	西岡　美樹	大学院共通科目	ヒンディー語(中級)	◎アジア・アフリカ地域研究研究科

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
29	M990	004	修士論文(インド古典学)			通年	集中	天野 恭子・VASUDEVA, Somdev			
01	1831	001	仏教学	特殊講義	2	前期	水3	宮崎 泉			
02	1831	002	仏教学	特殊講義	2	後期	水3	宮崎 泉			
03	1831	003	仏教学	特殊講義	2	前期	火4	船山 徹		中国哲学史	
04	1831	004	仏教学	特殊講義	2	後期	火4	船山 徹		中国哲学史	
05	1831	007	仏教学	特殊講義	2	後期	金2	DEROCHE, Marc-Henri Jean			
06	1831	008	仏教学	特殊講義	2	前期	木2	倉本 尚徳		中国哲学史	
07	1831	009	仏教学	特殊講義	2	後期	木2	倉本 尚徳		中国哲学史	
08	1841	001	仏教学	演習	2	前期	火3	宮崎 泉			
09	1841	002	仏教学	演習	2	後期	火3	宮崎 泉			
10	1841	003	仏教学	演習	2	前期	集中	岸野 亮示			
11	1841	004	仏教学	演習	2	前期	水4	熊谷 誠慈			
12	1841	006	仏教学	演習	2	前期	火2	佐藤 直実			
13	1841	007	仏教学	演習	2	後期	月5	志賀 浄邦			
14	1841	008	仏教学	演習	2	前期	木4	山口 周子		◎インド古典学	
15	1841	009	仏教学	演習	2	後期	木4	芳原 綾子		◎インド古典学	
16	1841	010	仏教学	演習	2	後期	木5	菊谷 竜太			
17	1851	001	仏教学	講読I	2	前期	木3	Tao PAN		◎インド古典学	
18	1851	002	仏教学	講読I	2	後期	木3	Tao PAN		◎インド古典学	
19	9616	001	仏教学	語学	4	通年	月4	山口 周子	大学院共通科目	◎インド古典学 西南アジア史学	サンスクリット (2時間コース)
20	9617	001	仏教学	語学	8	通年	月5,木5	Tao PAN	大学院共通科目	◎インド古典学	サンスクリット (4時間コース)
21	9628	001	仏教学	語学	2	前期	月1	高橋 慶治	大学院共通科目	チベット語(初級)	
22	9629	001	仏教学	語学	2	後期	月1	高橋 慶治	大学院共通科目	チベット語(初級)	
23	9630	001	仏教学	語学	2	前期	水1	宮崎 泉	大学院共通科目	チベット語(中級)	
24	9630	002	仏教学	語学	2	後期	水1	宮崎 泉	大学院共通科目	チベット語(中級)	
25	M990	005	修士論文(仏教学)			通年	集中	宮崎 泉			
01	3131	001	西洋古典学	特殊講義	2	前期	木2	河島 思朗			
02	3131	002	西洋古典学	特殊講義	2	後期	木2	河島 思朗			
03	3131	003	西洋古典学	特殊講義	2	前期	水3	竹下 哲文			
04	3131	004	西洋古典学	特殊講義	2	後期	水3	竹下 哲文			
05	3141	001	西洋古典学	演習	2	前期	月3	河島 思朗			
06	3141	002	西洋古典学	演習	2	後期	金3	平山 晃司			
07	3141	003	西洋古典学	演習	2	後期	月3	河島 思朗			
08	3141	004	西洋古典学	演習	2	前期	金5	竹下 哲文			
09	3141	005	西洋古典学	演習	2	後期	金5	竹下 哲文			
10	3141	006	西洋古典学	演習	2	前期	月5	河島 思朗			
11	3141	007	西洋古典学	演習	2	後期	月5	河島 思朗			
12	3141	010	西洋古典学	演習	2	前期	金4	西村 洋平		◎西洋哲学史	
13	3141	011	西洋古典学	演習	2	後期	金4	西村 洋平		◎西洋哲学史	
14	3151	001	西洋古典学	講読	2	前期	火4	竹下 哲文		西洋史学	
15	3151	002	西洋古典学	講読	2	後期	火4	竹下 哲文		西洋史学	
16	3151	003	西洋古典学	講読	2	前期	火2	山下 修一			
17	3151	004	西洋古典学	講読	2	後期	火2	山下 修一			
18	M990	006	修士論文(西洋古典学)			通年	集中	河島 思朗, 竹下 哲文			
01	3231	001	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	2	前期	火4	堀口 大樹		◎人間・環境学研究科	
02	3231	002	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	2	後期	水2	北井 聡子			
03	3231	003	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	2	前期	月4	中村 唯史			

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
04	3231	005	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	2	後期	月4	中村 唯史			
05	3231	006	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	2	前期	水3	フィオードロワ アナスタシア			
06	3241	004	スラブ語学スラブ文学	演習	2	前期	木2	中村 唯史			
07	3241	005	スラブ語学スラブ文学	演習	2	後期	木2	中村 唯史			
08	3241	001	スラブ語学スラブ文学	演習	2	前期	月3	中野 悠希			
09	3241	007	スラブ語学スラブ文学	演習	2	後期	月3	中野 悠希			
10	3241	006	スラブ語学スラブ文学	演習	2	前期	金3	森谷 理紗			
11	3241	008	スラブ語学スラブ文学	演習	2	後期	火4	堀口 大樹		◎人間・環境学研究科	
12	3251	001	スラブ語学スラブ文学	講読	2	前期	火3	伊藤 順二	露書講読	◎西洋史学	基礎現代文化学
13	3251	002	スラブ語学スラブ文学	講読	2	後期	火3	伊藤 順二	露書講読	◎西洋史学	基礎現代文化学
14	3251	003	スラブ語学スラブ文学	講読	2	前期	水2	中村 唯史			
15	3251	005	スラブ語学スラブ文学	講読	2	後期	金4	帯谷 知可			
16	3251	006	スラブ語学スラブ文学	講読	2	前期	火4	小山 哲	ポーランド語講読	◎西洋史学	
17	3251	007	スラブ語学スラブ文学	講読	2	後期	火4	小山 哲	ポーランド語講読	◎西洋史学	
18	3251	008	スラブ語学スラブ文学	講読	2	後期	水3	北井 聡子			
19	3262	001	スラブ語学スラブ文学	外国語実習	1	前期	木3	Svetlana, Vinogradova			
20	3262	002	スラブ語学スラブ文学	外国語実習	1	後期	木3	Svetlana, Vinogradova			
21	9661	001	スラブ語学スラブ文学	語学	2	前期	木4	Bogna Sasaki	大学院共通科目	ポーランド語(初級I)	言語学
22	9662	001	スラブ語学スラブ文学	語学	2	後期	木4	Bogna Sasaki	大学院共通科目	ポーランド語(初級I)	言語学
23	9642	001	スラブ語学スラブ文学	語学	2	前期	木5	Bogna Sasaki	大学院共通科目	ポーランド語(中級II)	言語学
24	9642	002	スラブ語学スラブ文学	語学	2	後期	木5	Bogna Sasaki	大学院共通科目	ポーランド語(中級II)	言語学
25	9646	001	スラブ語学スラブ文学	語学	2	後期	火4	中村 唯史	大学院共通科目	ロシア語(初級)	
26	9647	001	スラブ語学スラブ文学	語学	2	前期	火4	中村 唯史	大学院共通科目	ロシア語(中級)	
27	9684	001	スラブ語学スラブ文学	語学	2	前期	水4	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	ブルガリア(初級)	言語学
28	9685	001	スラブ語学スラブ文学	語学	2	後期	水4	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	ブルガリア(中級)	言語学
29	9680	001	スラブ語学スラブ文学	語学	2	前期	水5	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	古教会スラヴ語(初級)	言語学
30	9681	001	スラブ語学スラブ文学	語学	2	後期	水5	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	古教会スラヴ語(中級)	言語学
31	9686	001	スラブ語学スラブ文学	語学	2	前期	金2	田中 大	大学院共通科目	チェコ語(初級)	言語学
32	9687	001	スラブ語学スラブ文学	語学	2	後期	金2	田中 大	大学院共通科目	チェコ語(中級)	言語学
33	M990	007	修士論文(スラブ語学スラブ文学)			通年	集中	中村 唯史			
01	3331	001	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	前期	月4	川島 隆			
02	3331	002	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	後期	月4	籠 碧			
03	3331	005	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	前期	金3	河崎 靖		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
04	3331	006	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	前期	火3	BEUTTEL, Bianca			
05	3331	007	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	後期	火3	BEUTTEL, Bianca			
06	3331	008	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	前期	水5	浅井 佑太		美学美術史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
07	3331	009	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	後期	水5	浅井 佑太		美学美術史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
08	M181	001	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	前期	火5	細見 和之		◎人間・環境学研究科	
09	3345	001	ドイツ語学ドイツ文学	演習III	2	前期	金5	川島 隆, 籠 碧			
10	3345	002	ドイツ語学ドイツ文学	演習III	2	後期	金5	川島 隆, 籠 碧			
11	M183	001	ドイツ語学ドイツ文学	演習	2	前期	月3	籠 碧			
12	M183	002	ドイツ語学ドイツ文学	演習	2	後期	月3	籠 碧			
13	M183	003	ドイツ語学ドイツ文学	演習	2	前期	水3	川島 隆			
14	M183	004	ドイツ語学ドイツ文学	演習	2	後期	水3	川島 隆			
15	M183	005	ドイツ語学ドイツ文学	演習	2	後期	火5	細見 和之		◎人間・環境学研究科	
16	M990	008	修士論文(ドイツ語学ドイツ文学)			通年	集中	川島 隆, 籠 碧			

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
01	M191	022	英語学英米文学	特殊講義	2	前期	集中	家入 葉子			
02	M191	002	英語学英米文学	特殊講義	2	後期	水1	廣田 篤彦			
03	M191	003	英語学英米文学	特殊講義	2	前期	金4	南谷 奉良			
04	M191	004	英語学英米文学	特殊講義	2	前期	水5	森 慎一郎			
05	M191	005	英語学英米文学	特殊講義	2	後期	金4	小林 久美子			
06	M191	006	英語学英米文学	特殊講義	2	前期	水4	谷口 一美		言語学	◎人間・環境学研究科
07	M191	007	英語学英米文学	特殊講義	2	後期	水4	谷口 一美		言語学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
08	M191	010	英語学英米文学	特殊講義	2	前期	木2	滝沢 直宏			
09	M191	011	英語学英米文学	特殊講義	2	後期	木2	滝沢 直宏			
10	M191	012	英語学英米文学	特殊講義	2	前期	月3	宮澤 直美			
11	M191	013	英語学英米文学	特殊講義	2	後期	月2	後藤 篤			
12	M191	014	英語学英米文学	特殊講義	2	前期	月1	メドロック 麻弥			
13	M191	015	英語学英米文学	特殊講義	2	後期	火2	西谷 拓哉			
14	M191	016	英語学英米文学	特殊講義	2	前期	月2	西谷 茉莉子			
15	M191	017	英語学英米文学	特殊講義	2	後期	木3	木島 菜菜子			
16	M191	018	英語学英米文学	特殊講義	2	前期	火3	WROBETZ, Kevin Reay			
17	M191	019	英語学英米文学	特殊講義	2	後期	火3	WROBETZ, Kevin Reay			
18	M191	020	英語学英米文学	特殊講義	2	後期	月4	西谷 茉莉子			
19	M191	021	英語学英米文学	特殊講義	2	前期	集中	尾崎 俊介			
20	M193	001	英語学英米文学	演習	2	前期	火5	家入 葉子			
21	M193	002	英語学英米文学	演習	2	後期	火5	家入 葉子			
22	M193	003	英語学英米文学	演習	2	前期	水2	廣田 篤彦			
23	M193	004	英語学英米文学	演習	2	後期	水2	廣田 篤彦			
24	M193	005	英語学英米文学	演習	2	前期	月5	南谷 奉良			
25	M193	006	英語学英米文学	演習	2	後期	月5	南谷 奉良			
26	M193	007	英語学英米文学	演習	2	前期	水3	森 慎一郎			
27	M193	008	英語学英米文学	演習	2	後期	水3	森 慎一郎			
28	M193	009	英語学英米文学	演習	2	前期	水4	小林 久美子			
29	M193	010	英語学英米文学	演習	2	後期	水4	小林 久美子			
30	M197	001	英語学英米文学	外国語実習	1	前期	水4	JACKSON, Lachlan Rigby			
31	M197	002	英語学英米文学	外国語実習	1	後期	水4	JACKSON, Lachlan Rigby			
32	M990	009	修士論文(英語学英米文学)			通年	集中	家入, 廣田, 森, 小林, 南谷			
01	3631	001	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	前期	木2	永盛 克也			
02	3631	002	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	後期	金2	森本 淳生			
03	3631	003	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	前期	木3	Justine LE FLOC'H			
04	3631	004	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	後期	木3	Justine LE FLOC'H			
05	3631	005	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	前期	火2	鳥山 定嗣			
06	3631	006	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	後期	火2	鳥山 定嗣			
07	3631	008	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	前期	水3	村上 祐二			
08	3631	010	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	後期	水3	村上 祐二			
09	3631	012	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	後期	月3	伊藤 玄吾			
10	3631	013	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	前期	金3	菅原 百合絵			
11	3631	014	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	後期	金3	菅原 百合絵			
12	3631	007	フランス語学フランス文学	特殊講義	2	前期	集中	鵜戸 聡			
13	3645	003	フランス語学フランス文学	演習	2	前期	木4	Justine LE FLOC'H			
14	3645	004	フランス語学フランス文学	演習	2	後期	木4	Justine LE FLOC'H			
15	M202	001	フランス語学フランス文学	演習	4	通年	火4	永盛 克也, 村上 祐二, 鳥山 定嗣			

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
16	M203	001	フランス語学フランス文学	演習	2	前期	火3	Justine LE FLOC'H			
17	M203	002	フランス語学フランス文学	演習	2	後期	火3	Justine LE FLOC'H			
18	M990	010	修士論文(フランス語学フランス文学)			通年	集中	永盛 克也, 村上 祐二, 鳥山 定嗣			
01	3731	003	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	2	後期	月2	村瀬 有司			
02	3731	004	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	2	前期	水3	Ida Duretto			
03	3731	005	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	2	後期	水3	Ida Duretto			
04	3731	006	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	2	前期	水5	Ida Duretto			
05	3731	007	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	2	後期	水5	Ida Duretto			
06	3741	001	イタリア語学イタリア文学	演習	2	前期	金3	村瀬 有司			
07	3741	002	イタリア語学イタリア文学	演習	2	後期	金3	村瀬 有司			
08	3741	003	イタリア語学イタリア文学	演習	2	前期	木4	内田 健一			
09	3741	004	イタリア語学イタリア文学	演習	2	後期	木4	内田 健一			
10	3741	005	イタリア語学イタリア文学	演習	2	通年	木2	村瀬 有司・Ida Duretto			
11	3741	006	イタリア語学イタリア文学	演習	2	前期	火2	霜田 洋祐		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
12	3741	007	イタリア語学イタリア文学	演習	2	後期	火2	霜田 洋祐		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
13	M213	001	イタリア語学イタリア文学	演習	2	後期	木4,木5	Ida Duretto		◎文化越境	
14	3764	001	イタリア語学イタリア文学	外国語実習	1	前期	火3	Ida Duretto			
15	3764	002	イタリア語学イタリア文学	外国語実習	1	後期	火3	Ida Duretto			
16	M990	011	修士論文(イタリア語学イタリア文学)			通年	集中	村瀬 有司			

【思想文化学】

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
01	5131	003	哲学	特殊講義	2	前期	火3	武田 裕紀		◎科学哲学科学史	
02	5131	001	哲学	特殊講義	2	前期	集中	久木田 水生		科学哲学科学史	
03	5131	009	哲学	特殊講義	2	前期	集中	澤田 和範		◎西洋哲学史	
04	5131	010	哲学	特殊講義	2	前期	集中	森元 良太		◎科学哲学科学史	
05	5143	006	哲学	演習I	2	前期	月5	大西 琢朗			
06	5143	011	哲学	演習I	2	前期	月5	朱 喜哲			
07	5143	010	哲学	演習I	2	前期	月1	五十嵐 涼介			
08	5143	005	哲学	演習I	2	後期	木4	大塚 淳		科学哲学科学史	全学共通科目(大学院横断教育科目)
09	5143	012	哲学	演習I	2	後期	水4	山口 尚			
10	M228	001	哲学	演習I	2	前期	金4,金5	出口 康夫, 五十嵐 涼介			
11	M228	002	哲学	演習I	2	後期	金4,金5	出口 康夫, 五十嵐 涼介			
12	M450	001	哲学	語学	2	前期	金3	西村 洋平	大学院共通科目	ギリシア語(初級) I	
13	M451	001	哲学	語学	2	後期	金3	西村 洋平	大学院共通科目	ギリシア語(初級) II	
14	M452	001	哲学	語学	2	前期	水2	勝又 泰洋	大学院共通科目	ラテン語(初級) I	
15	M453	001	哲学	語学	2	後期	水2	勝又 泰洋	大学院共通科目	ラテン語(初級) II	
16	M990	012	修士論文(哲学)			通年	集中	出口 康夫, 五十嵐 涼介			
01	5230	001	西洋哲学史	特殊講義	4	通年	月5	早瀬 篤	古代		
02	5231	002	西洋哲学史	特殊講義	2	前期	集中	荻原 理	古代		
03	5234	001	西洋哲学史	特殊講義	2	後期	集中	関沢 和泉	中世		
04	5234	004	西洋哲学史	特殊講義	2	前期	不定(5限)	Jeffrey Brower	中世		
05	5236	002	西洋哲学史	特殊講義	2	前期	金3	大河内 泰樹	近世	日本哲学史	
06	5236	001	西洋哲学史	特殊講義	2	後期	金3	大河内 泰樹	近世	日本哲学史	
07	5236	005	西洋哲学史	特殊講義	2	前期	月3	林 拓也	近世		
08	5236	003	西洋哲学史	特殊講義	2	後期	月3	林 拓也	近世		
09	5236	004	西洋哲学史	特殊講義	2	前期	集中	澤田 和範	近世	哲学	
10	5236	006	西洋哲学史	特殊講義	2	前期	集中	城戸 淳	近世	宗教学	◎日本哲学史
11	5240	002	西洋哲学史	演習	4	通年	木4,木5	早瀬 篤	古代		
12	5241	001	西洋哲学史	演習	2	前期	火5	早瀬 篤	古代		
13	5241	002	西洋哲学史	演習	2	後期	火5	早瀬 篤	古代		
14	5241	003	西洋哲学史	演習	2	前期	金4	西村 洋平	古代	西洋古典学	
15	5241	004	西洋哲学史	演習	2	後期	金4	西村 洋平	古代	西洋古典学	
16	5242	001	西洋哲学史	演習	4	通年	木4,木5	周藤 多紀	中世		
17	5243	001	西洋哲学史	演習	2	前期	水1	山口 雅広	中世		
18	5243	002	西洋哲学史	演習	2	後期	水1	山口 雅広	中世		
19	5244	001	西洋哲学史	演習	4	通年	金4,金5	大河内 泰樹, 林 拓也	近世		
20	5245	001	西洋哲学史	演習	2	後期	水5	大河内 泰樹	近世		
21	5245	007	西洋哲学史	演習	2	前期	月5	林 拓也	近世		
22	5245	002	西洋哲学史	演習	2	後期	月5	林 拓也	近世		
23	5245	003	西洋哲学史	演習	2	前期	水5	大河内 泰樹	近世		
24	5245	004	西洋哲学史	演習	2	後期	水4	岡崎 龍	近世	宗教学	キリスト教学
25	5245	005	西洋哲学史	演習	2	前期	水4	岡崎 龍	近世	キリスト教学	
26	5245	006	西洋哲学史	演習	2	前期	金1	松本 直樹	近世	◎宗教学	
27	M990	013	修士論文(西洋古代哲学史)			通年	集中	早瀬 篤	古代		
28	M990	014	修士論文(西洋中世哲学史)			通年	集中	周藤 多紀	中世		
29	M990	015	修士論文(西洋近世哲学史)			通年	集中	大河内 泰樹	近世		

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
01	5331	001	日本哲学史	特殊講義	2	前期	水4	上原 麻有子			
02	5331	002	日本哲学史	特殊講義	2	後期	水4	上原 麻有子			
03	5331	004	日本哲学史	特殊講義	2	前期	集中	Bret Davis		宗教学	
04	5331	005	日本哲学史	特殊講義	2	前期	集中	城戸 淳		宗教学	西洋哲学史
05	5331	006	日本哲学史	特殊講義	2	前期	金3	大河内 泰樹		◎西洋哲学史	
06	5331	007	日本哲学史	特殊講義	2	後期	金3	大河内 泰樹		◎西洋哲学史	
07	5341	003	日本哲学史	演習	2	後期	木3	満原 健			
08	M244	001	日本哲学史	演習II	4	通年	不定	上原 麻有子			
09	M990	016	修士論文(日本哲学史)			通年	集中	上原 麻有子			
01	5431	001	倫理学	特殊講義	2	前期	集中	安藤 馨			
02	5431	002	倫理学	特殊講義	2	前期	火2	児玉 聡			
03	5431	003	倫理学	特殊講義	2	後期	火2	児玉 聡			
04	5431	004	倫理学	特殊講義	2	後期	水3	児玉 聡		文化越境	
05	5431	005	倫理学	特殊講義	2	前期	木2	Campbell, Michael		文化越境	
06	5440	001	倫理学	演習	4	通年	火4	児玉 聡			
07	5440	002	倫理学	演習	4	通年	金4	児玉 聡			
08	5443	003	倫理学	演習	2	前期	金5	永守 伸年			
09	5443	004	倫理学	演習	2	後期	金5	永守 伸年			
10	5443	005	倫理学	演習	2	前期	水4	佐藤 義之		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
11	5443	006	倫理学	演習	2	後期	水4	佐藤 義之		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
12	M990	017	修士論文(倫理学)			通年	集中	児玉 聡			
01	5531	004	宗教学	特殊講義	2	後期	水4	杉村 靖彦		キリスト教学	
02	5531	005	宗教学	特殊講義	2	前期	火5	伊原木 大祐			
03	5531	006	宗教学	特殊講義	2	後期	火5	伊原木 大祐			
04	5531	003	宗教学	特殊講義	2	前期	月2	津田 謙治		キリスト教学	
05	5531	008	宗教学	特殊講義	2	後期	月2	津田 謙治		◎キリスト教学	
06	5531	001	宗教学	特殊講義	2	前期	集中	Bret Davis		◎日本哲学史	
07	5531	002	宗教学	特殊講義	2	前期	集中	城戸 淳		◎日本哲学史	西洋哲学史
08	5541	001	宗教学	演習	2	前期	水5	杉村 靖彦			
09	5541	002	宗教学	演習	2	後期	水5	杉村 靖彦			
10	5541	004	宗教学	演習	2	前期	火4	伊原木 大祐			
11	5541	005	宗教学	演習	2	後期	火4	伊原木 大祐			
12	5541	003	宗教学	演習	2	後期	木2	安部 浩		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
13	5541	006	宗教学	演習	2	前期	金1	松本 直樹		西洋哲学史	
14	5541	007	宗教学	演習	2	後期	水4	岡崎 龍		西洋哲学史	キリスト教学
15	M264	001	宗教学	演習II	4	通年	金4,金5	杉村 靖彦, 伊原木 大祐			
16	5551	001	宗教学	講読	2	前期	水2	笠木 丈			
17	5551	002	宗教学	講読	2	後期	水2	笠木 丈			
18	M990	018	修士論文(宗教学)			通年	集中	杉村 靖彦, 伊原木 大祐			
01	5631	001	キリスト教学	特殊講義	2	後期	月3	村上 みか			
02	5631	007	キリスト教学	特殊講義	2	前期	月2	津田 謙治		宗教学	
03	5631	002	キリスト教学	特殊講義	2	後期	月2	津田 謙治		宗教学	
04	5631	004	キリスト教学	特殊講義	2	後期	水4	杉村 靖彦		◎宗教学	
05	5631	005	キリスト教学	特殊講義	2	前期	木3	三輪 地塩			
06	5631	006	キリスト教学	特殊講義	2	前期	集中	西脇 純			
07	5641	001	キリスト教学	演習	2	後期	金3	西村 一輝			
08	5641	004	キリスト教学	演習	2	前期	火5	谷塚 厳			
09	5641	006	キリスト教学	演習	2	前期	月4	津田 謙治			

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
10	5641	007	キリスト教学	演習	2	後期	月4	津田 謙治			
11	5641	002	キリスト教学	演習	2	前期	水4	岡﨑 龍		◎西洋哲学史	
12	5641	003	キリスト教学	演習	2	後期	水4	岡﨑 龍		◎西洋哲学史	宗教学
13	M272	001	キリスト教学	演習	4	通年	火4	津田 謙治			
14	9639	001	キリスト教学	語学	2	前期	金4	武藤 慎一	大学院共通科目	西南アジア史学	ヘブライ語(初級)
15	9640	001	キリスト教学	語学	2	後期	金4	武藤 慎一	大学院共通科目	西南アジア史学	ヘブライ語(中級)
16	M990	019	修士論文(キリスト教学)			通年	集中	津田 謙治			
01	5731	005	美学美術史学	特殊講義	2	前期	木1	平川 佳世			
02	5731	006	美学美術史学	特殊講義	2	後期	木1	平川 佳世			
03	5731	007	美学美術史学	特殊講義	2	前期	水2	杉山 卓史			
04	5731	008	美学美術史学	特殊講義	2	後期	水2	杉山 卓史			
05	5731	018	美学美術史学	特殊講義	2	前期	月5	筒井 忠仁			
06	5731	019	美学美術史学	特殊講義	2	後期	月5	筒井 忠仁			
07	5731	003	美学美術史学	特殊講義	2	前期	水3	田中 健一			
08	5731	004	美学美術史学	特殊講義	2	後期	水3	田中 健一			
09	5731	009	美学美術史学	特殊講義	2	前期	金2	稲本 泰生			
10	5731	010	美学美術史学	特殊講義	2	後期	金2	稲本 泰生			
11	5731	001	美学美術史学	特殊講義	2	前期	月4	呉 孟晋			
12	5731	002	美学美術史学	特殊講義	2	後期	月4	呉 孟晋			
13	5731	011	美学美術史学	特殊講義	2	前期	水5	浅井 佑太		◎ドイツ語学ドイツ文学	
14	5731	012	美学美術史学	特殊講義	2	後期	水5	浅井 佑太		◎ドイツ語学ドイツ文学	
15	5731	013	美学美術史学	特殊講義	2	後期	火2	加須屋 明子			
16	5731	014	美学美術史学	特殊講義	2	前期	集中	増記 隆介			
17	5731	015	美学美術史学	特殊講義	2	前期	月3	武田 宙也		◎人間・環境学研究科	
18	5731	016	美学美術史学	特殊講義	2	後期	月3	武田 宙也		◎人間・環境学研究科	
19	5731	020	美学美術史学	特殊講義	2	後期	月4	松永 伸司		◎メディア文化学	
20	5741	001	美学美術史学	演習I	2	前期	火3	平川 佳世, 筒井 忠仁, 田中 健一			
21	5741	002	美学美術史学	演習I	2	後期	火3	平川 佳世, 筒井 忠仁, 田中 健一			
22	5745	007	美学美術史学	演習II	2	前期	金3	平川 佳世			
23	5745	004	美学美術史学	演習II	2	後期	金3	平川 佳世			
24	5745	003	美学美術史学	演習II	2	前期	木2	杉山 卓史			
25	5745	005	美学美術史学	演習II	2	前期	月5	天王寺谷 千裕			
26	5745	006	美学美術史学	演習II	2	後期	火2	天王寺谷 千裕			
27	M286	001	美学美術史学	演習III	2	前期	金5	平川,杉山,筒井,田中			
28	M286	002	美学美術史学	演習III	2	後期	金5	平川,杉山,筒井,田中			
29	M990	020	修士論文(美学美術史学)			通年	集中	平川,杉山,筒井,田中			

【歴史文化学】

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
01	M630	001	歴史学英語論文実習	実習	1	後期	火3	ERICSON, Kjell David		文化越境	
01	6631	002	日本史学	特殊講義	2	後期	火4	三宅　正浩			
02	6631	003	日本史学	特殊講義	2	後期	金4	本庄　総子			
03	6631	016	日本史学	特殊講義	2	前期	木2	吉江　崇		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
04	6631	017	日本史学	特殊講義	2	後期	木2	吉江　崇		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
05	6631	014	日本史学	特殊講義	2	前期	木3	熊谷　隆之		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
06	6631	015	日本史学	特殊講義	2	後期	木3	熊谷　隆之		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
07	6631	004	日本史学	特殊講義	2	前期	月2	岩城　卓二			
08	6631	008	日本史学	特殊講義	2	後期	月2	岩崎　奈緒子			
09	6631	006	日本史学	特殊講義	2	前期	火2	福家　崇洋		現代史学	
10	6631	007	日本史学	特殊講義	2	後期	木4	斎木　涼子			
11	6631	009	日本史学	特殊講義	2	前期	火5	横内　裕人			
12	6631	010	日本史学	特殊講義	2	前期	集中	佐藤　雄介			
13	6631	011	日本史学	特殊講義	2	後期	金2	後藤　敦史		西洋史学	
14	6631	012	日本史学	特殊講義	2	前期	金1	佐々木　政文		現代史学	教育学部
15	M292	004	日本史学	演習	4	通年	金4	谷川　穣			
16	M292	001	日本史学	演習	4	通年	水5	三宅　正浩			
17	M292	002	日本史学	演習	4	通年	月4	本庄　総子			
18	M293	001	日本史学	演習	2	前期	月3	小原　嘉記			
19	M990	021	修士論文(日本史学)			通年	集中	谷川　穣, 三宅　正浩, 本庄　総子			
01	6731	003	東洋史学	特殊講義	2	前期	月4	中砂　明徳			
02	6731	004	東洋史学	特殊講義	2	後期	月4	中砂　明徳			
03	6731	005	東洋史学	特殊講義	2	前期	木1	箱田　恵子			
04	6731	006	東洋史学	特殊講義	2	後期	木1	箱田　恵子			
05	6731	007	東洋史学	特殊講義	2	前期	水2	小野寺　史郎		現代史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
06	6731	010	東洋史学	特殊講義	2	前期	集中	吉澤　誠一郎		現代史学	
07	6731	011	東洋史学	特殊講義	2	前期	水2	辻　正博		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
08	6731	012	東洋史学	特殊講義	2	後期	水2	辻　正博		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
09	6731	013	東洋史学	特殊講義	2	前期	火1	矢木　毅			
10	6731	014	東洋史学	特殊講義	2	後期	火1	矢木　毅			
11	6731	018	東洋史学	特殊講義	2	前期	火3	承　志			
12	6731	019	東洋史学	特殊講義	2	後期	火3	承　志			
13	6731	021	東洋史学	特殊講義	2	前期	水3	太田　出		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
14	6731	022	東洋史学	特殊講義	2	後期	水3	太田　出		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
15	6731	023	東洋史学	特殊講義	2	前期	月2	宮宅　潔			
16	6731	024	東洋史学	特殊講義	2	後期	月2	宮宅　潔			
17	6731	025	東洋史学	特殊講義	2	前期	月2	石川　禎浩		◎現代史学	メディア文化学
18	6731	026	東洋史学	特殊講義	2	後期	月2	石川　禎浩		◎現代史学	メディア文化学
19	6731	027	東洋史学	特殊講義	2	前期	水1	古松　崇志			
20	6731	028	東洋史学	特殊講義	2	後期	水1	古松　崇志			
21	6741	001	東洋史学	演習I	2	前期	火5	中砂　明徳			
22	6741	002	東洋史学	演習I	2	後期	火5	中砂　明徳			
23	6743	001	東洋史学	演習II	2	前期	火2	箱田　恵子			
24	6743	002	東洋史学	演習II	2	後期	火2	箱田　恵子			
25	6749	001	東洋史学	演習	2	前期	月4	村上　衛		◎現代史学	メディア文化学
26	6749	002	東洋史学	演習	2	後期	月4	村上　衛		◎現代史学	メディア文化学

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
27	6749	003	東洋史学	演習	2	後期	水2	小野寺 史郎		現代史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
28	6749	004	東洋史学	演習	2	後期	金3	佐藤 達郎			
29	M303	003	東洋史学	演習	2	前期	金2	中砂 明徳			
30	M303	004	東洋史学	演習	2	後期	金2	中砂 明徳			
31	M303	005	東洋史学	演習	2	前期	月5	箱田 恵子			
32	M303	006	東洋史学	演習	2	後期	月5	箱田 恵子			
33	M990	022	修士論文(東洋史学)			通年	集中	中砂 明徳, 箱田 恵子			
01	6831	004	西南アジア史学	特殊講義	2	前期	木3	法貴 遊			
02	6831	005	西南アジア史学	特殊講義	2	前期	月3	山口 元樹		現代史学	
03	6831	006	西南アジア史学	特殊講義	2	前期	火3	磯貝 健一			
04	6831	007	西南アジア史学	特殊講義	2	後期	水2	帯谷 知可		現代史学	
05	6831	009	西南アジア史学	特殊講義	2	前期	集中	髙松 洋一			
06	6831	011	西南アジア史学	特殊講義	2	後期	火3	岩本 佳子			
07	6842	001	西南アジア史学	演習II	4	通年	火2	磯貝 健一			
08	6842	002	西南アジア史学	演習II	4	通年	水3	岩本 佳子			
09	6844	001	西南アジア史学	演習II	2	前期	金3	伊藤 隆郎		基礎現代文化学	
10	6844	002	西南アジア史学	演習II	2	後期	金3	伊藤 隆郎		基礎現代文化学	
11	6850	001	西南アジア史学	講読	4	通年	金1	今松 泰			
12	6851	002	西南アジア史学	講読	2	前期	火4	中西 竜也			
13	6851	003	西南アジア史学	講読	2	後期	火4	磯貝 健一			
14	6851	004	西南アジア史学	講読	2	前期	水2	東長 靖		アジア・アフリカ地域研究研究科	
15	9608	001	西南アジア史学	語学	4	通年	金2	杉山 雅樹	大学院共通科目	イラン語(初級)	
16	9616	001	西南アジア史学	語学	4	通年	月4	山口 周子	大学院共通科目	◎インド古典学 仏教学	サンスクリット (2時間コース)
17	9688	001	西南アジア史学	語学	2	前期	金1	森 若葉	大学院共通科目	◎言語学	シュメール語(初級I)
18	9689	001	西南アジア史学	語学	2	後期	金1	森 若葉	大学院共通科目	◎言語学	シュメール語(初級II)
19	9633	001	西南アジア史学	語学	4	通年	金4	濱谷 真理子	大学院共通科目	◎インド古典学 ヒンディー語(初級)	アジア・アフリカ 地域研究研究科
20	9639	001	西南アジア史学	語学	2	前期	金4	武藤 慎一	大学院共通科目	◎キリスト教学	ヘブライ語(初級)
21	9640	001	西南アジア史学	語学	2	後期	金4	武藤 慎一	大学院共通科目	◎キリスト教学	ヘブライ語(中級)
22	9682	001	西南アジア史学	語学	2	前期	月2	仲尾 周一郎	大学院共通科目	言語学	アラブ語(初級)I
23	9683	001	西南アジア史学	語学	2	後期	月2	仲尾 周一郎	大学院共通科目	言語学	アラブ語(初級)II
24	M990	023	修士論文(西南アジア史学)			通年	集中	磯貝 健一			
01	6931	001	西洋史学	特殊講義	2	前期	月3	安平 弦司			
02	6931	002	西洋史学	特殊講義	2	後期	月3	安平 弦司			
03	6931	003	西洋史学	特殊講義	2	前期	火5	佐々木 博光			
04	6931	004	西洋史学	特殊講義	2	後期	木2	小山 啓子			
05	6931	005	西洋史学	特殊講義	2	前期	火4	竹下 哲文		◎西洋古典学	
06	6931	006	西洋史学	特殊講義	2	後期	火4	竹下 哲文		◎西洋古典学	
07	6931	007	西洋史学	特殊講義	2	前期	月2	伊藤 順二		現代史学	
08	6931	008	西洋史学	特殊講義	2	後期	月2	伊藤 順二		現代史学	
09	6931	009	西洋史学	特殊講義	2	後期	木3	辻河 典子		現代史学	
10	6931	023	西洋史学	特殊講義	2	前期	水3	佐藤 公美		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
11	6931	010	西洋史学	特殊講義	2	後期	水3	佐藤 公美		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
12	6931	011	西洋史学	特殊講義	2	前期	水4	小関 隆		現代史学	
13	6931	012	西洋史学	特殊講義	2	後期	水4	小関 隆		現代史学	
14	6931	014	西洋史学	特殊講義	2	前期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	メディア文化学 科学哲学科学史
15	6931	015	西洋史学	特殊講義	2	後期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	メディア文化学 科学哲学科学史
16	6931	016	西洋史学	特殊講義	2	前期	火2	藤井 崇			

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
17	6931	017	西洋史学	特殊講義	2	後期	火2	藤井 崇, Rachele Dubbini			
18	6931	018	西洋史学	特殊講義	2	前期	水5	小山 哲			
19	6931	019	西洋史学	特殊講義	2	後期	水5	小山 哲			
20	6931	020	西洋史学	特殊講義	2	前期	火4	林田 敏子		◎現代史学	
21	6931	021	西洋史学	特殊講義	2	前期	火3	金澤 周作			
22	6931	022	西洋史学	特殊講義	2	後期	火3	金澤 周作			
23	6931	024	西洋史学	特殊講義	2	前期	金4	福元 健之		現代史学	◎総合人間学部 人間・環境学研究科
24	6931	025	西洋史学	特殊講義	2	後期	金4	福元 健之		現代史学	◎総合人間学部 人間・環境学研究科
25	6931	026	西洋史学	特殊講義	2	後期	水2	山口 育人		◎現代史学	
26	6931	027	西洋史学	特殊講義	2	後期	金2	後藤 敦史		◎日本史学	
27	6931	028	西洋史学	特殊講義	2	後期	金2	田野 大輔		◎社会学	メディア文化学
28	6971	001	西洋史学	演習I	2	前期	金5	藤井 崇			
29	6971	002	西洋史学	演習I	2	後期	金5	藤井 崇			
30	6972	001	西洋史学	演習II	2	前期	金5	佐藤 公美		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
31	6972	002	西洋史学	演習II	2	後期	金5	佐藤 公美		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
32	6973	001	西洋史学	演習III	2	前期	金5	小山 哲, 安平 弦司			
33	6973	002	西洋史学	演習III	2	後期	金5	小山 哲, 安平 弦司			
34	6974	001	西洋史学	演習IV	2	前期	金5	金澤 周作			
35	6974	002	西洋史学	演習IV	2	後期	金5	金澤 周作			
36	6961	001	西洋史学	講読	2	前期	火4	小山 哲	ポーランド書講読	スラブ語学スラブ文学	
37	6961	002	西洋史学	講読	2	後期	火4	小山 哲	ポーランド書講読	スラブ語学スラブ文学	
38	M322	001	西洋史学	演習	4	通年	金3	小山, 金澤, 藤井, 安平			
39	M990	024	修士論文(西洋史学)			通年	集中	小山, 金澤, 藤井, 安平			
01	7031	002	考古学	特殊講義	2	後期	月4	吉井 秀夫			
02	7031	003	考古学	特殊講義	2	後期	金2	山本 雅和			
03	7031	004	考古学	特殊講義	2	前期	集中	溝口 孝司			
04	7031	005	考古学	特殊講義	2	後期	水2	長友 朋子			
05	7031	006	考古学	特殊講義	2	前期	月4	千葉 豊			
06	7031	009	考古学	特殊講義	2	前期	金3	下垣 仁志			
07	7031	010	考古学	特殊講義	2	後期	金3	下垣 仁志			
08	7031	012	考古学	特殊講義	2	後期	月5	吉井 秀夫・下垣 仁志・FORTE, Erika		文化越境	
09	7031	018	考古学	特殊講義	2	前期	火2	向井 佑介			
10	7031	019	考古学	特殊講義	2	後期	火2	向井 佑介			
11	7042	001	考古学	演習II	4	通年	金4	下垣 仁志			
12	M334	001	考古学	演習IV	4	通年	木1	千葉 豊・吉井 秀夫・下垣 仁志			
13	M990	025	修士論文(考古学)			通年	集中	吉井 秀夫・下垣 仁志			

【行動文化学】

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
01	7138	001	心理学(神経・生理心理学)	特殊講義	2	前期	水4	阿部 修士		教育学部	教育学研究科・デザイン学大学院
02	7131	001	心理学	特殊講義	2	前期	集中	関 義正		教育学部 教育学研究科	
03	M341	001	心理学	特殊講義	2	後期	火2	森口 佑介		教育学研究科	
04	M341	002	心理学	特殊講義	2	前期	水3	蘆田 宏		教育学研究科	
05	M341	003	心理学	特殊講義	2	後期	火4	齋木 潤		◎人間・環境学研究科	教育学部
06	M341	004	心理学	特殊講義	2	前期	月2	熊田, 西田, 中島, 後藤, 三好, 佐藤		◎情報学研究科	
07	M341	005	心理学	特殊講義	2	前期	木1	髙橋, Manalo, 齊藤, 野村, 田口		◎教育学研究科	
08	M341	006	心理学	特殊講義	2	前期	水2	黒島 妃香		教育学研究科	
09	M342	001	心理学	演習	4	通年	火3	蘆田, 阿部, 黒島, 森口, Wilson, 山崎			
10	M990	026	修士論文(心理学)			通年	集中	蘆田, 黒島, 森口, Wilson			
01	7231	018	言語学	特殊講義	2	前期	金3	定延 利之			
02	7231	022	言語学	特殊講義	2	後期	金3	定延 利之			
03	7231	003	言語学	特殊講義	2	前期	水3	CATT, Adam Alvah		インド古典学	
04	7231	017	言語学	特殊講義	2	後期	水3	CATT, Adam Alvah		インド古典学	
05	7231	020	言語学	特殊講義	2	前期	金1	野原 将揮		◎中国語学中国文学	
06	7231	005	言語学	特殊講義	2	後期	金1	野原 将揮		◎中国語学中国文学	
07	7231	006	言語学	特殊講義	2	前期	水4	谷口 一美		英語学英文学 アメリカ文学	◎人間・環境学研究科
08	7231	007	言語学	特殊講義	2	後期	水4	谷口 一美		英語学英文学 アメリカ文学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
09	7231	002	言語学	特殊講義	2	後期	木5	淺尾 仁彦			
10	7231	009	言語学	特殊講義	2	前期	水4	山本 武史			
11	7231	010	言語学	特殊講義	2	前期	集中	宮本 陽一			
12	7231	013	言語学	特殊講義	2	前期	月2	Tao PAN		◎インド古典学	
13	7231	014	言語学	特殊講義	2	後期	月2	Tao PAN		◎インド古典学	
14	7231	015	言語学	特殊講義	2	後期	水4	安岡 孝一			
15	7231	019	言語学	特殊講義	2	後期	火4	荻原 裕敏			
16	7231	021	言語学	特殊講義	2	後期	火5	大崎 紀子			
17	7231	023	言語学	特殊講義	2	後期	金2	横森 大輔		◎人間・環境学研究科	
18	7231	011	言語学	特殊講義	2	前期	集中	エマ タマイアヌ モリタ			
19	M351	001	言語学	特殊講義	2	前期	火4	堀口 大樹		◎人間・環境学研究科	
20	M351	002	言語学	特殊講義	2	後期	火4	堀口 大樹		◎人間・環境学研究科	
21	7241	001	言語学	演習	2	前期	水2	鈴木 博之			
22	7241	002	言語学	演習	2	前期	木2	パリハワダナ ルチラ	日本語教育セミナー		
23	7241	003	言語学	演習	2	前期	火3	千田, CATT, 定延, 大竹			
24	7241	004	言語学	演習	2	後期	火3	千田, CATT, 定延, 大竹			
25	M352	001	言語学	演習	4	通年	金4,金5	千田, CATT, 定延, 大竹			
26	9688	001	言語学	語学	2	前期	金1	森 若葉	大学院共通科目	西南アジア史学	シュメール語(初級I)
27	9689	001	言語学	語学	2	後期	金1	森 若葉	大学院共通科目	西南アジア史学	シュメール語(初級II)
28	9624	001	言語学	語学	2	前期	火3	井戸根 綾子	大学院共通科目	スワヒリ語(初級)	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
29	9625	001	言語学	語学	2	後期	火3	井戸根 綾子	大学院共通科目	スワヒリ語(中級)	アジア・アフリカ地域研究研究科
30	9652	001	言語学	語学	2	前期	集中	松岡 雄太	大学院共通科目	満洲語(初級)	
31	9661	001	言語学	語学	2	前期	木4	Bogna Sasaki	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	ポーランド語(初級I)
32	9662	001	言語学	語学	2	後期	木4	Bogna Sasaki	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	ポーランド語(初級I)
33	9642	001	言語学	語学	2	前期	木5	Bogna Sasaki	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	ポーランド語(中級II)
34	9642	002	言語学	語学	2	後期	木5	Bogna Sasaki	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	ポーランド語(中級II)
35	9684	001	言語学	語学	2	前期	水4	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	ブルガリア語(初級)
36	9685	001	言語学	語学	2	後期	水4	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	ブルガリア語(初級)
37	9680	001	言語学	語学	2	前期	水5	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	古教会スラヴ語(初級)

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
38	9681	001	言語学	語学	2	後期	水5	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	古教会スラヴ語(中級)
39	9686	001	言語学	語学	2	前期	金2	田中 大	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	チェコ語(初級)
40	9687	001	言語学	語学	2	後期	金2	田中 大	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	チェコ語(中級)
41	9682	001	言語学	語学	2	前期	月2	仲尾 周一郎	大学院共通科目	西南アジア史学	アラブ語(初級)I
42	9683	001	言語学	語学	2	後期	月2	仲尾 周一郎	大学院共通科目	西南アジア史学	アラブ語(初級)II
43	M990	027	修士論文(言語学)			通年	集中	千田, CATT, 定延, 大竹			
01	7331	001	社会学	特殊講義	2	前期	金2	丸山 里美		メディア文化学	教育学部
02	7331	002	社会学	特殊講義	2	前期	火4	村上 あかね			
03	7331	003	社会学	特殊講義	2	後期	火4	村上 あかね			
04	7331	004	社会学	特殊講義	2	後期	月1	飯田 豊		メディア文化学	
05	7331	005	社会学	特殊講義	2	前期	水3	岸 政彦		教育学部 教育学研究科	
06	7331	006	社会学	特殊講義	2	前期	集中	瀧川 裕貴			
07	7331	007	社会学	特殊講義	2	前期	金4	安里 和晃			
08	7331	008	社会学	特殊講義	2	前期	水2	太郎丸 博		教育学部	
09	7331	009	社会学	特殊講義	2	前期	月2	岡崎 宏樹		メディア文化学	
10	7331	010	社会学	特殊講義	2	後期	金2	田野 大輔		メディア文化学	西洋史学
11	7331	012	社会学	特殊講義	2	前期	水5	藤間 公太		メディア文化学	◎教育学部
12	7331	013	社会学	特殊講義	2	後期	水5	岡邊 健		◎教育学部	
13	7331	014	社会学	特殊講義	2	前期	月5	中村 健二, 坂本 一磨, 梅原 喜政		◎メディア文化学	教育学研究科
14	7331	015	社会学	特殊講義	2	前期	月3	濱 貴子		◎メディア文化学	現代史学
15	7331	017	社会学	特殊講義	2	後期	金2	安里 和晃		◎文化越境	
16	7331	018	社会学	特殊講義	2	後期	木2	伊藤 理史		教育学部	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
17	7331	019	社会学	特殊講義	2	後期	金2	岡本 健		◎メディア文化学	文化越境
18	7331	020	社会学	特殊講義	2	前期	木1	井上 明人		◎メディア文化学	文化越境
19	7331	023	社会学	特殊講義	2	前期	水4	蘆田 裕史		◎メディア文化学	文化越境
20	7331	024	社会学	特殊講義	2	前期	火3	柴田 悠		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
21	7331	026	社会学	特殊講義	2	前期	金2	安里 和晃		◎文化越境	
22	7331	032	社会学	特殊講義	2	後期	水3	直野 章子			
23	7334	001	社会学	特殊講義	3	前期	月4	安里 和晃, Stephane Heim		全学共通科目(大学院横断教育科目)	
24	M361	002	社会学	特殊講義	2	前期	集中	安里 和晃, Stephane Heim		アジア研究	
25	M361	003	社会学	特殊講義	2	前期	月2	丸山 里美			
26	M361	004	社会学	特殊講義	2	通年	水4	太郎丸 博			
27	M361	005	社会学	特殊講義	2	前期	水3	原山 浩介		◎農学研究科	
28	M361	006	社会学	特殊講義	2	後期	水3	原山 浩介		◎農学研究科	
29	M361	007	社会学	特殊講義	2	後期	月2	福間 良明		◎教育学研究科	
30	M361	009	社会学	特殊講義	2	後期	火1	朴 沙羅		◎人間・環境学研究科	
31	M361	010	社会学	特殊講義	2	後期	火3	柴田 悠		◎人間・環境学研究科	
32	M361	011	社会学	特殊講義	2	通年	月3	岸 政彦			
33	M362	001	社会学	演習	4	通年	水5	Stephane Heim			
34	M362	002	社会学	演習	4	通年	月5	丸山 里美			
35	M362	003	社会学	演習	4	通年	金4	太郎丸 博			
36	M362	005	社会学	演習	4	通年	火5	田中 紀行		人間・環境学研究科	
37	M362	006	社会学	演習	4	通年	月4	岸 政彦			
38	M990	028	修士論文(社会学)			通年	集中	田中, 太郎丸,Heim, 丸山			
01	7431	003	地理学	特殊講義	2	前期	金3	米家 泰作			
02	7431	004	地理学	特殊講義	2	後期	金3	米家 泰作			
03	7431	001	地理学	特殊講義	2	前期	月3	埴淵 知哉			
04	7431	002	地理学	特殊講義	2	後期	月3	埴淵 知哉			

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
05	7431	017	地理学	特殊講義	2	前期	木1	杉江 あい			
06	7431	018	地理学	特殊講義	2	後期	木1	杉江 あい			
07	7431	006	地理学	特殊講義	2	前期	火2	小島 泰雄		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
08	7431	016	地理学	特殊講義	2	前期	水3	山村 亜希		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
09	7431	008	地理学	特殊講義	2	前期	集中	松四 雄騎	教職科目「自然地理学」		
10	7431	009	地理学	特殊講義	2	前期	集中	鈴木 康弘			
11	7431	010	地理学	特殊講義	2	後期	月2	水野 真彦			
12	7431	011	地理学	特殊講義	2	前期	集中	渡辺 和之			
13	7431	012	地理学	特殊講義	2	後期	水2	河原 典史			
14	7431	013	地理学	特殊講義	2	後期	月4	桐村 喬			
15	7431	014	地理学	特殊講義	2	前期	火2	寺床 幸雄			
16	7431	019	地理学	特殊講義	2	前期	火5	大山 修一, 塩谷 暁代			
17	7441	001	地理学	演習	2	後期	水3	山村 亜希		◎総合人間学部 人間・環境学研究科	
18	M373	001	地理学	演習	2	後期	火2	小島 泰雄	地理学演習(中国農村)	◎人間・環境学研究科	
19	M373	002	地理学	演習	2	前期	水5	米家 泰作, 埴淵 知哉, 杉江 あい			
20	M373	003	地理学	演習	2	後期	水5	米家 泰作, 埴淵 知哉, 杉江 あい			
21	M990	029	修士論文(地理学)			通年	集中	米家 泰作, 埴淵 知哉, 杉江 あい			

【現代文化学】

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
01	8231	001	科学哲学科学史	特殊講義	2	前期	月2	伊藤 憲二			
02	8231	002	科学哲学科学史	特殊講義	2	後期	月2	伊藤 憲二			
03	8231	004	科学哲学科学史	特殊講義	2	後期	金2	伊勢田 哲治			
04	8231	006	科学哲学科学史	特殊講義	2	前期	火3	武田 裕紀		哲学	
05	8231	007	科学哲学科学史	特殊講義	2	前期	集中	平岡 隆二			
06	8231	009	科学哲学科学史	特殊講義	2	前期	集中	森元 良太		哲学	
07	8231	010	科学哲学科学史	特殊講義	2	後期	金1	喜多 千草		◎メディア文化学	
08	8231	011	科学哲学科学史	特殊講義	2	前期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	西洋史学 メディア文化学
09	8231	012	科学哲学科学史	特殊講義	2	後期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	西洋史学 メディア文化学
10	8231	013	科学哲学科学史	特殊講義	2	後期	火3	瀬戸口 明久			
11	8231	014	科学哲学科学史	特殊講義	2	前期	集中	久木田 水生		◎哲学	
12	8241	001	科学哲学科学史	演習	2	前期	月5	伊藤 憲二		メディア文化学	
13	8241	002	科学哲学科学史	演習	2	後期	月5	伊藤 憲二		メディア文化学	
14	8241	003	科学哲学科学史	演習	2	後期	火4	伊勢田 哲治		メディア文化学	
15	8241	004	科学哲学科学史	演習	2	後期	金3	伊勢田 哲治		メディア文化学	
16	8241	005	科学哲学科学史	演習	2	後期	木4	大塚 淳		◎哲学	
17	M383	001	科学哲学科学史	演習	2	前期	水4	伊藤 憲二			
18	M383	002	科学哲学科学史	演習	2	後期	水4	伊勢田 哲治, 伊藤 憲二			
19	M990	030	修士論文(科学哲学科学史)			通年	集中	伊勢田 哲治, 伊藤 憲二			
01	8931	002	メディア文化学	特殊講義	2	前期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	西洋史学 科学哲学科学史
02	8931	003	メディア文化学	特殊講義	2	後期	水3	藤原 辰史		◎現代史学	西洋史学 科学哲学科学史
03	8931	006	メディア文化学	特殊講義	2	前期	火2	山本 昭宏			
04	8931	009	メディア文化学	特殊講義	3	後期	月4	松永 伸司		美学美術史学	
05	8931	010	メディア文化学	特殊講義	2	前期	水4	須田 千里		国語学国文学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
06	8931	011	メディア文化学	特殊講義	2	後期	水4	須田 千里		国語学国文学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
07	8931	012	メディア文化学	特殊講義	2	前期	金3,金4	岡本 健・喜多 千草・松永 伸司		文化越境	
08	8931	013	メディア文化学	特殊講義	2	前期	月2	岡崎 宏樹		◎社会学	
09	8931	014	メディア文化学	特殊講義	2	後期	金2	田野 大輔		◎社会学	西洋史学
10	8931	015	メディア文化学	特殊講義	2	前期	水2	木下 千花		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
11	8931	016	メディア文化学	特殊講義	2	後期	水2	木下 千花		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
12	8931	017	メディア文化学	特殊講義	2	後期	金1	喜多 千草		科学哲学科学史	
13	8931	018	メディア文化学	特殊講義	2	前期	水3	仁井田 千絵		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
14	8931	019	メディア文化学	特殊講義	2	後期	水3	仁井田 千絵		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
15	8931	020	メディア文化学	特殊講義	2	後期	月1	飯田 豊		◎社会学	
16	8931	023	メディア文化学	特殊講義	2	前期	水4	蘆田 裕史		社会学	文化越境
17	8931	026	メディア文化学	特殊講義	2	前期	金2	丸山 里美		◎社会学	
18	8931	027	メディア文化学	特殊講義	2	前期	月3	濱 貴子		社会学	現代史学
19	8931	028	メディア文化学	特殊講義	2	前期	木1	井上 明人		社会学	文化越境
20	8931	029	メディア文化学	特殊講義	2	前期	金3	谷口 文和		◎人間・環境学研究科 総合人間学部	
21	8931	030	メディア文化学	特殊講義	2	後期	金2	岡本 健		社会学	文化越境
22	8931	032	メディア文化学	特殊講義	2	前期	月2	石川 禎浩		◎現代史学	東洋史学
23	8931	033	メディア文化学	特殊講義	2	後期	月2	石川 禎浩		◎現代史学	東洋史学
24	M431	004	メディア文化学	特殊講義	2	前期	集中	想田 和弘		◎文化越境	
25	8941	001	メディア文化学	演習IA	2	前期	水2	喜多 千草			
26	8941	002	メディア文化学	演習IB	2	後期	火5	松永 伸司			
27	8944	004	メディア文化学	演習II	2	前期	火2	高橋 幸平		◎国語学国文学	人間・環境学研究科 総合人間学部

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
28	8944	005	メディア文化学	演習II	2	後期	火2	高橋 幸平		◎国語学国文学	人間・環境学研究科 総合人間学部
29	8944	006	メディア文化学	演習II	2	前期	月5	中村 健二・坂本 一磨・梅原 喜政		社会学	教育学研究科
30	8944	007	メディア文化学	演習II	2	前期	月5	伊藤 憲二		◎科学哲学科学史	
31	8944	008	メディア文化学	演習II	2	後期	月5	伊藤 憲二		◎科学哲学科学史	
32	8944	009	メディア文化学	演習II	2	後期	金3	伊勢田 哲治		◎科学哲学科学史	
33	8944	010	メディア文化学	演習II	2	後期	火4	伊勢田 哲治		◎科学哲学科学史	
34	8944	011	メディア文化学	演習II	2	後期	月3	伊藤 遊		文化越境	
35	8944	012	メディア文化学	演習II	2	前期	月4	村上 衛		◎現代史学	東洋史学
36	8944	013	メディア文化学	演習II	2	後期	月4	村上 衛		◎現代史学	東洋史学
37	8944	014	メディア文化学	演習II	2	後期	金3	谷口 文和			
38	8944	015	メディア文化学	演習II	2	後期	月3	松田 利彦		◎現代史学	
39	8946	001	メディア文化学	演習IIIA	2	前期	火3	喜多 千草, 松永 伸司			
40	8947	001	メディア文化学	演習IIIB	2	後期	火3	喜多 千草, 松永 伸司			
41	8948	001	メディア文化学	演習IIIC	2	前期	集中	喜多 千草, 松永 伸司			
42	8949	001	メディア文化学	演習IIID	2	後期	集中	喜多 千草, 松永 伸司			
43	M432	001	メディア文化学	演習	4	通年	火4	喜多 千草, 松永 伸司			
44	8951	001	メディア文化学	講読	2	前期	火5	松永 伸司		基礎現代文化学	
45	8951	002	メディア文化学	講読	2	後期	火2	福田 耕佑		基礎現代文化学	西洋史学
46	M990	034	修士論文(メディア文化学)			通年	集中	喜多 千草, 松永 伸司			
01	8433	002	現代史学	特殊講義	2	前期	火4	林田 敏子		西洋史学	
02	8433	004	現代史学	特殊講義	2	前期	水3	藤原 辰史		西洋史学	メディア文化学 科学哲学科学史
03	8433	005	現代史学	特殊講義	2	後期	水3	藤原 辰史		西洋史学	メディア文化学 科学哲学科学史
04	8433	008	現代史学	特殊講義	2	前期	月2	石川 禎浩		東洋史学	メディア文化学
05	8433	009	現代史学	特殊講義	2	後期	月2	石川 禎浩		東洋史学	メディア文化学
06	8433	010	現代史学	特殊講義	2	後期	火4	西山 伸			
07	8433	012	現代史学	特殊講義	2	後期	水2	帯谷 知可		◎西南アジア史学	
08	8433	013	現代史学	特殊講義	2	前期	水4	小関 隆		◎西洋史学	
09	8433	014	現代史学	特殊講義	2	後期	水4	小関 隆		◎西洋史学	
10	8433	015	現代史学	特殊講義	2	前期	月2	伊藤 順二		◎西洋史学	
11	8433	016	現代史学	特殊講義	2	後期	月2	伊藤 順二		◎西洋史学	
12	8433	017	現代史学	特殊講義	2	前期	月3	山口 元樹		◎西南アジア史学	
13	8433	019	現代史学	特殊講義	2	前期	火2	福家 崇洋		◎日本史学	
14	8433	020	現代史学	特殊講義	2	前期	金2	小堀 聡			
15	8433	021	現代史学	特殊講義	2	後期	金2	小堀 聡			
16	8433	022	現代史学	特殊講義	2	前期	水2	小野寺 史郎		東洋史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部
17	8433	003	現代史学	特殊講義	2	後期	水2	山口 育人		西洋史学	
18	8433	011	現代史学	特殊講義	2	前期	集中	吉澤 誠一郎		◎東洋史学	
19	8433	018	現代史学	特殊講義	2	前期	金1	佐々木 政文		◎日本史学	教育学部
20	8433	023	現代史学	特殊講義	2	後期	木3	辻河 典子		◎西洋史学	
21	8433	006	現代史学	特殊講義	2	前期	金4	福元 健之		西洋史学	◎人間・環境学研究科
22	8433	007	現代史学	特殊講義	2	後期	金4	福元 健之		西洋史学	◎人間・環境学研究科
23	8433	024	現代史学	特殊講義	2	前期	月3	濱 貴子		◎メディア文化学	社会学
24	8448	001	現代史学	演習II	2	前期	月4	村上 衛		東洋史学	メディア文化学
25	8448	002	現代史学	演習II	2	後期	月4	村上 衛		東洋史学	メディア文化学
26	8448	003	現代史学	演習II	2	前期	火3	小野沢 透			
27	8448	004	現代史学	演習II	2	前期	水4	塩出 浩之			
28	8448	008	現代史学	演習II	2	後期	水2	小野寺 史郎		東洋史学	◎人間・環境学研究科 総合人間学部

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
29	8448	009	現代史学	演習II	2	後期	火2	塩出 浩之			
30	8448	005	現代史学	演習II	2	後期	月3	松田 利彦		メディア文化学	
31	8448	006	現代史学	演習II	2	後期	木3	Patrick Vierthaler			
32	M415	001	現代史学	演習II	2	前期	金4	駒込 武		◎教育学研究科	
33	M415	002	現代史学	演習II	2	後期	金4	駒込 武		◎教育学研究科	
34	8452	001	現代史学	演習IIIA	2	前期	金5	小野沢 透, 塩出 浩之			
35	8452	002	現代史学	演習IIIB	2	後期	金5	小野沢 透, 塩出 浩之			
36	M413	001	現代史学	演習	2	前期	火5	小野沢 透, 塩出 浩之			
37	M413	002	現代史学	演習	2	後期	火5	小野沢 透, 塩出 浩之			
38	M990	033	修士論文(現代史学)			通年	集中	小野沢 透, 塩出 浩之			

【大学院共通科目】

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
01	9639	001	ヘブライ語(初級)	語学	2	前期	金4	武藤 慎一	大学院共通科目	キリスト教学	西南アジア史学
02	9640	001	ヘブライ語(中級)	語学	2	後期	金4	武藤 慎一	大学院共通科目	キリスト教学	西南アジア史学
03	9616	001	サンスクリット(2時間コース)	語学	4	通年	月4	山口 周子	大学院共通科目	インド古典学 仏教学	西南アジア史学
04	9617	001	サンスクリット(4時間コース)	語学	8	通年	月5,木5	Tao PAN	大学院共通科目	インド古典学	仏教学
05	9633	001	ヒンディー語(初級)	語学	4	通年	金4	濱谷 真理子	大学院共通科目	インド古典学 西南アジア史学	アジア・アフリカ地域研究研究科
06	9659	001	ヒンディー語(中級)I	語学	2	前期	火3	西岡 美樹	大学院共通科目	インド古典学	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
07	9660	001	ヒンディー語(中級)II	語学	2	後期	火3	西岡 美樹	大学院共通科目	インド古典学	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
08	9628	001	チベット語(初級)	語学	2	前期	月1	高橋 慶治	大学院共通科目	仏教学	
09	9629	001	チベット語(初級)	語学	2	後期	月1	高橋 慶治	大学院共通科目	仏教学	
10	9630	001	チベット語(中級)	語学	2	前期	水1	宮崎 泉	大学院共通科目	仏教学	
11	9630	002	チベット語(中級)	語学	2	後期	水1	宮崎 泉	大学院共通科目	仏教学	
12	9661	001	ポーランド語(初級I)	語学	2	前期	木4	Bogna Sasaki	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
13	9662	001	ポーランド語(初級I)	語学	2	後期	木4	Bogna Sasaki	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
14	9642	001	ポーランド語(中級II)	語学	2	前期	木5	Bogna Sasaki	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
15	9642	002	ポーランド語(中級II)	語学	2	後期	木5	Bogna Sasaki	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
16	9646	001	ロシア語(初級)	語学	2	後期	火4	中村 唯史	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	
17	9647	001	ロシア語(中級)	語学	2	前期	火4	中村 唯史	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	
18	9684	001	ブルガリア語(初級)	語学	2	前期	水4	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
19	9685	001	ブルガリア語(中級)	語学	2	後期	水4	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
20	9680	001	古教会スラヴ語(初級)	語学	2	前期	水5	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
21	9681	001	古教会スラヴ語(中級)	語学	2	後期	水5	ブラジミロブ イヴォ	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
22	9686	001	チェコ語(初級)	語学	2	前期	金2	田中 大	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
23	9687	001	チェコ語(中級)	語学	2	後期	金2	田中 大	大学院共通科目	スラブ語学スラブ文学	言語学
24	9682	001	アラブ語(初級)I	語学	2	前期	月2	仲尾 周一郎	大学院共通科目	言語学	西南アジア史学
25	9683	001	アラブ語(初級)II	語学	2	後期	月2	仲尾 周一郎	大学院共通科目	言語学	西南アジア史学
26	9608	001	イラン語(初級)(語学)	語学	4	通年	金2	杉山 雅樹	大学院共通科目	西南アジア史学	
27	9688	001	シュメール語(初級Ⅰ)	語学	2	前期	金1	森 若葉	大学院共通科目	言語学	西南アジア史学
28	9689	001	シュメール語(初級Ⅱ)	語学	2	後期	金1	森 若葉	大学院共通科目	言語学	西南アジア史学
29	9624	001	スワヒリ語(初級)	語学	2	前期	火3	井戸根 綾子	大学院共通科目	言語学	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
30	9625	001	スワヒリ語(中級)	語学	2	後期	火3	井戸根 綾子	大学院共通科目	言語学	アジア・アフリカ地域研究研究科
31	9652	001	満州語(初級)	語学	2	前期	集中	松岡 雄太	大学院共通科目	言語学	
32	M450	001	ギリシア語(初級) I	語学	2	前期	金3	西村 洋平	大学院共通科目	哲学	
33	M451	001	ギリシア語(初級) II	語学	2	後期	金3	西村 洋平	大学院共通科目	哲学	
34	M452	001	ラテン語(初級) I	語学	2	前期	水2	勝又 泰洋	大学院共通科目	哲学	
35	M453	001	ラテン語(初級) II	語学	2	後期	水2	勝又 泰洋	大学院共通科目	哲学	
01	9610	001	インドネシア語I(初級)	語学	2	前期	木5	柏村 彰夫		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
02	9611	001	インドネシア語II(初級)	語学	2	後期	木5	柏村 彰夫		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
03	9626	001	タイ語I(初級)	語学	2	前期	木5	弓庭 育子		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
04	9627	001	タイ語II(初級)	語学	2	後期	木5	弓庭 育子		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
05	9631	001	ビルマ(ミャンマー)語I(初級)	語学	2	前期	水2	本行 沙織		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
06	9637	001	ベトナム語I(初級)	語学	2	前期	火2	吉本 康子		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
07	9638	001	ベトナム語II(初級)	語学	2	後期	火2	吉本 康子		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
01	9822	003	戦争と植民地の歴史認識	特殊講義	2	後期	木2	小山 哲・谷川 穣			
02	9822	015	次世代グローバルワークショップ	特殊講義	2	前期	集中	安里 和晃・Stephane Heim		社会学	
01	M603	001	科学技術と社会に関わるクリティカルシンキング	特殊講義	2	後期	木2	伊勢田 哲治	大学院横断教育科目		
01	JK01	001	Introduction-Transcultural Studies (Lecture)	特殊講義	2	前期	月3	安里, VASUDEVA, Wada-Marciano, Kamm			
02	JK02	001	Introduction-Transcultural Studies (Tutorium)	演習	2	前期	月4	Bjorn-Ole Kamm			

No	講義コード		科目名		単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番	専修・科目	講義形態							
03	JK06	001	Introduction-Research Skills	演習	2	前期	水4	Bjorn-Ole Kamm			
04	JK07	001	Skills for Transcultural Studies I-English	演習	2	前期	水2	ERICSON, Kjell David			
05	JK09	001	Foundations I-Seminar (KBR)	特殊講義	2	前期	水5	Tao PAN		インド古典学	
06	JK09	002	Foundations I-Seminar (KBR)	特殊講義	2	前期	水3	Justine LE FLOC'H			
07	JK10	001	Foundations I-Seminar(SEG)	特殊講義	2	前期	金1	ERICSON, Kjell David			
08	JK11	002	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	2	前期	集中	想田 和弘		メディア文化学	
09	JK11	005	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	2	前期	月1,月2	KIM, Suhyun			
10	JK11	006	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	2	前期	木4,木5	CHOI, Jung Bong			
11	JK11	007	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	2	前期	金3,金4	岡本 健, 喜多 千草, 松永 伸司		◎メディア文化学	
12	JK09	003	Foundations I-Seminar (KBR)	特殊講義	2	前期	月2	WIRTZ, Fernando Gustavo			
13	JK09	004	Foundations I-Seminar (KBR)	特殊講義	2	前期	木2	Campbell, Michael		◎倫理学	
14	JK11	001	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	2	前期	水4	蘆田 裕史		◎メディア文化学	社会学
15	JK11	003	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	2	前期	集中	RODE-KAYA, Katarina			
16	JK11	004	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	2	前期	木1	井上 明人		◎メディア文化学	社会学
17	JK11	008	Foundations I-Seminar(VMC)	特殊講義	2	前期	火1,火2	FEDOROVA, Anastasia			
18	JK38	002	Research and Advanced Studies (SEG) A	特殊講義	2	後期	金2	安里 和晃		社会学	
19	JK39	004	Research and Advanced Studies (VMC) A	特殊講義	2	後期	金2	岡本 健		◎メディア文化学	社会学
20	JK53	001	Research and Advanced Studies (SEG/VMC) B	特殊講義	2	後期	水3	Bjorn-Ole Kamm			
21	JK38	005	Research and Advanced Studies (SEG) A	特殊講義	2	後期	月2	KOCHHAR-GEORGE, Che Singh			
22	JK31	001	Introduction-Focus I Seminar (KBR) A	演習	2	前期	火2	VASUDEVA, Somdev		インド古典学	
23	JK32	001	Introduction-Focus I Seminar (SEG) A	演習	2	前期	金2	安里 和晃		社会学	
24	JK33	001	Introduction-Focus I Seminar (VMC) A	演習	2	前期	水3	Bjorn-Ole Kamm			
25	JK35	001	Introduction-Focus I Seminar (SEG) B	特殊講義	2	前期	木3	ERICSON, Kjell David			
26	JK36	001	Introduction-Focus I Seminar (VMC) B	演習	2	前期	火4,火5	Mitsuyo Wada-Marciano			
27	JK37	001	Research and Advanced Studies (KBR) A	特殊講義	2	後期	金3	海田 大輔			
28	JK37	002	Research and Advanced Studies (KBR) A	特殊講義	2	後期	月3	湯川 志貴子			
29	JK37	004	Research and Advanced Studies (KBR) A	特殊講義	2	後期	水5	Tao PAN		インド古典学	
30	JK37	005	Research and Advanced Studies (KBR) A	特殊講義	2	後期	金2	VASUDEVA, Somdev			
31	JK38	003	Research and Advanced Studies (SEG) A	特殊講義	2	後期	木2	佐野 真由子		◎教育学研究科 教育学部	
32	JK38	004	Research and Advanced Studies (SEG) A	特殊講義	2	後期	水2	河合 淳子			
33	JK39	001	Research and Advanced Studies (VMC) A	特殊講義	2	後期	水2	ROTH, Martin Erwin			
34	JK39	002	Research and Advanced Studies (VMC) A	特殊講義	2	後期	木4,木5	Ida Duretto		イタリア語学イタリア文学	
35	JK39	003	Research and Advanced Studies (VMC) A	特殊講義	2	後期	火4,火5	Mitsuyo Wada-Marciano			
36	JK40	002	Research and Advanced Studies (KBR/SEG) A	特殊講義	2	後期	木3	ERICSON, Kjell David			
37	JK41	001	Research and Advanced Studies (KBR/VMC) A	特殊講義	2	後期	金4	川島 隆			
38	JK41	002	Research and Advanced Studies (KBR/VMC) A	特殊講義	2	後期	月5	吉井 秀夫, 下垣 仁志, FORTE, Erika		◎考古学	
39	JK43	001	Skills II-Research 1-3-Advanced English	実習	1	後期	火3	ERICSON, Kjell David		◎歴史文化学	
40	JK44	001	Research and Advanced Studies (KBR) B	演習	2	後期	火2	VASUDEVA, Somdev		インド古典学	
41	JK45	001	Research and Advanced Studies (KBR/SEG) B	特殊講義	2	後期	木2	ERICSON, Kjell David			
42	JK48	001	Research and Advanced Studies (VMC) A	演習	2	後期	月3	伊藤 遊		◎メディア文化学	
43	JK49	001	Research and Advanced Studies (KBR/SEG) A	演習	2	後期	水3	児玉 聡		◎倫理学	
44	JK50	001	Research and Advanced Studies (SEG/VMC) A	演習	2	後期	水4	Bjorn-Ole Kamm			
45	9829	001	Heidelberg-Strasbourg Student Workshop	演習	1	後期	不定	Bjorn-Ole Kamm, Sandra Schaal			
46	JK29	001	Research 3&MA Thesis-Research Colloquium	演習	2	後期	不定	Wada-Marciano,VASUDEVA, Kamm	後期修論提出者向け		
47	JK29	002	Research 3&MA Thesis-Research Colloquium	演習	2	前期	不定	安里, VASUDEVA, Wada-Marciano, Kamm	前期修論提出者向け		
48	J980	001	Oral Master Examination - Oral Examination			前期	不定	安里, VASUDEVA, Wada-Marciano, Kamm			
49	J980	002	Oral Master Examination - Oral Examination			後期	不定	Wada-Marciano,VASUDEVA, 安里, Kamm			
50	J990	001	Master's Thesis			前期	集中	安里, VASUDEVA, Wada-Marciano, Kamm			
51	J990	002	Master's Thesis			後期	集中	Wada-Marciano,VASUDEVA, 安里, Kamm			

(8) 文学研究科講義題目（シラバス）について

平成 24 年度より，本学研究科では講義題目（シラバス）については，KULASIS および本学部・研究科ホームページ等で掲載しますので，下記 URL より講義題目（シラバス）を確認してください。

■KULASIS（京都大学教務情報システム）
https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp

■本学部・研究科ホームページ（シラバス掲載）
https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/student/syllabus/

科目ナンバリングについて

平成３１年度（２０１９年度）より、シラバスに科目ナンバリングを附しております。（講義コードとは別のものです。）科目ナンバリングは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。 授業科目を分類し、対象とするレベル（学年等）や学問の分野を示すことで、学生が適切な授業科目を選択する助けとなるものですので、シラバスを活用し、履修計画を立てる上で、参考にしてください。

（例）国語学国文学(演習)の場合

G	–	LET	10	7	M112	S	J	36
↑		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
課程		開講部局	専修	対象レベル	科目コード	講義別	授業言語	学問分野

なお、コード分類は文学部ホームページに掲載しています。

（9）国際高等教育院が開講する大学院共通科目について

平成 30 年度入学者より，国際高等教育院が開講する大学院共通科目のうち，以下の表に掲げる科目の単位を，自由選択科目として修了に必要な単位として認定します。ただし，分野ごとに認定する単位数には上限があります。また，全分野の合計で３単位を上限として認定します。

分野	科目	単位	上限単位数	備考
社会適合	研究倫理・研究公正（人社系）	0.5	社会適合分野からは合計 2.5 単位を上限とする	国際連携文化越境専攻を除く
	研究倫理・研究公正（生命系）	0.5		
	大学教員になる人のための学生支援論	1.0		
	教育デザイン基礎講座、実践授業・模擬授業	1.0		
情報テクノサイエンス	学術研究のための情報リテラシー基礎	0.5	情報テクノサイエンス分野からは合計 2.5 単位を上限とする	国際連携文化越境専攻を除く
	情報科学基礎論	2.0		
	データ科学：理論から実用へⅠ（2022 年度まで開講，2023 年度以降は廃止科目）	1.0		

大学院共通科目の詳細は下記 URL をご確認ください。
http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/for-internal/daigakuin

（10）奈良女子大学との学生交流について

平成 11 年 11 月に，本研究科と奈良女子大学人間文化研究科との間において学生交流協定が締結され，平成 12 年 4 月より実施されています。

本研究科修士課程の学生が，奈良女子大学人間文化研究科博士前期課程において，授業の履修および単位の取得を希望する場合，5 科目 10 単位以内に限りその聴講が許可されます。履修した科目について修得した単位は，本研究科の各専修の自由選択科目として，認定されます。

詳細については，掲示によりお知らせします。

（11）東京大学との学生交流について

令和３年２月に，本研究科と東京大学大学院人文社会系研究科との間において学生交流に関する覚書が取り交わされ，令和３年度より運用が開始されています。本制度により研究指導または科目履修（単位互換），またはその両方を希望する場合は，指導教員に相談してください。

（12）フランス社会科学高等研究院とのダブルディグリー（単一論文型）について

令和２年度より，本研究科（博士後期課程）とフランス社会科学高等研究院との間においてコチュテール（ダブルディグリー）が実施されています。

詳細については，ホームページを参照してください。

（13）再入学について

本研究科を中途退学した者については，京都大学通則第 39 条第 1 項第 2 号の規定により，選考のうえ，退学以前に所属していた専修に再入学を許可する制度がある。

１．教務掛窓口及び学生への連絡について

〈教務掛窓口〉

平日：9時～17時

（土・日・祝日，創立記念日(6月18日)，8月第3週目の月・火・水，12月29日～1月3日は休止。）

夏季休業及び年度末，11月祭期間等，平日で授業の無い日は，昼休み(12時～13時）閉室。

その他，入試等により臨時休止することがある。（予め掲示で周知する。）

〈学生への連絡〉

休講，呼出等はすべてKULASIS（京都大学教務情報システム）で行うため，見なかったことによる不利益等を受けることがないよう，各自が注意すること。KULASIS一文学部一お知らせも確認すること。

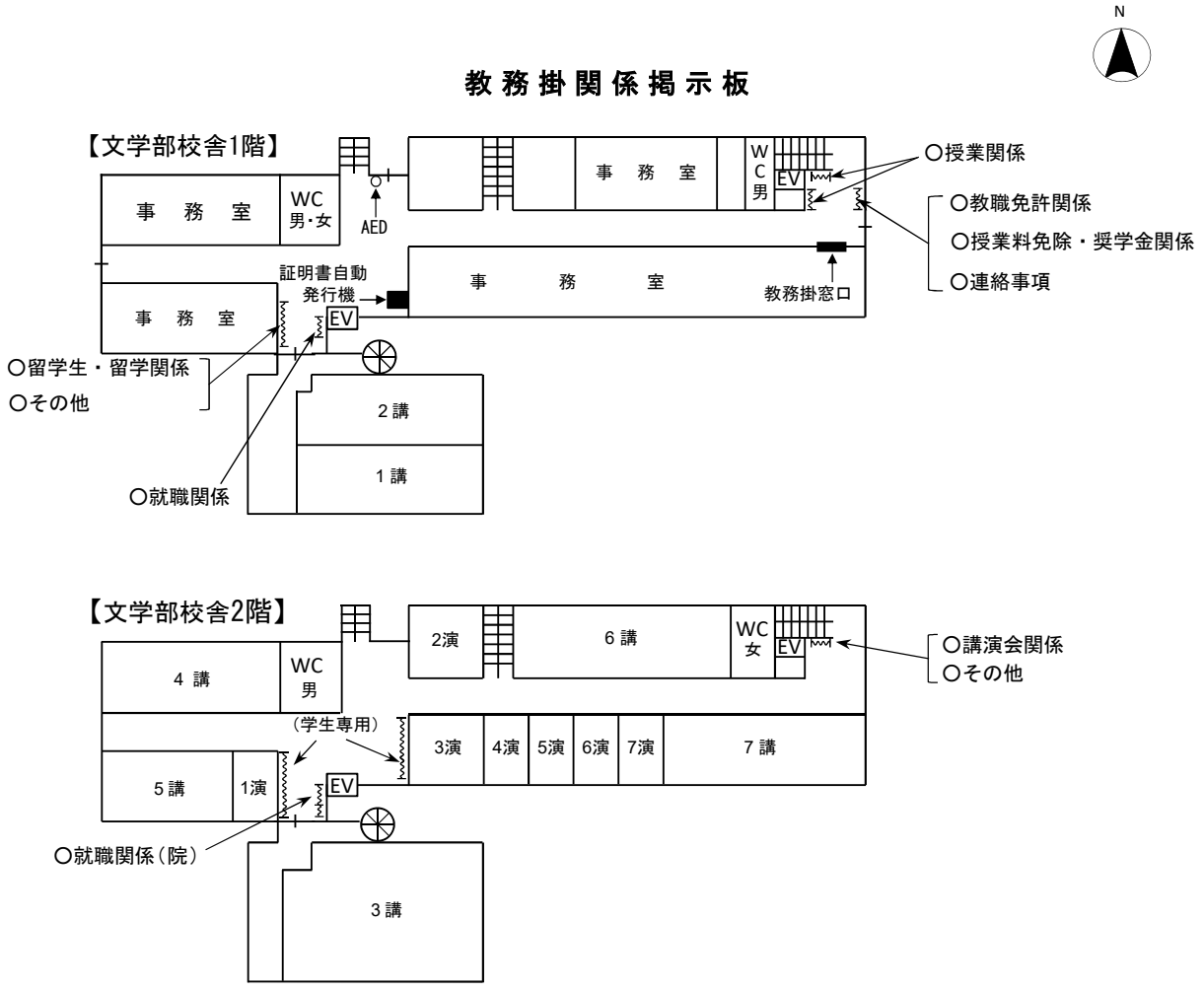
また，学生の呼び出しや連絡先等個人情報の照会には応じられないので，家族・親戚・知人・下宿先等へその旨周知しておくこと。

なお，一部の掲示については，「京都大学大学院文学研究科・文学部」ホームページTOP→「在学生ポータル」→「お知らせ」にも掲載している。

〈学生からの問い合わせ〉

授業等に関する問い合わせは，文学部教務掛窓口で直接行ってください。電話による問い合わせには，原則応じられません。

教 務 掛 関 係 掲 示 板



２．KULASIS（クラシス）―京都大学教務情報システム―について

KULASIS とは，学部・大学院及び全学共通科目の教務情報を WEB 化し，学生・教員へ「早く・わかりやすく・確実に」提供することを目的に開発されたシステムの名称です。

KULASIS では，休講情報・学生呼び出しなどのお知らせ情報を始め，授業資料のダウンロード・教員からの授業連絡メールなどの機能が利用できます。(学生用メール(KUMOI)にメールは送信されます。)

KULASIS にログインするためには，情報環境機構交付の学生アカウント(ECS-ID) （a0******） が必要です。ログイン画面の URL は，https：//student.iimc.kyoto-u.ac.jp です。

また，KULASIS と連携したスマートフォンアプリ「KULASIS アプリ」も公開されており，プッシュ通知や授業サポートの確認等の便利な機能が活用できますので，各自ダウンロードして積極的に利用ください。

メニュー		アプリ対応機能	備　　考
お知らせ	授業連絡メール	●	メールが送信されます
	授業資料	●	
	学生呼び出し	●	メールが送信されます
	授業変更情報	●	
	休講情報	●	
	補講情報	●	
	授業連絡	●	
	レポート情報	●	
	教務・厚生情報	●	
時間割		●	
シラバス		●	一部動画あり
登録情報			連絡先（電話番号・住所・授業料関係書類送付先住所）の登録・変更等
履修登録			
履修取消			一部科目を除く
試験時間割		●	
成績確認・異議申立		▲（異議申立の申請は不可）	

なお，KULASIS に登録された情報は,原則として各学部・研究科・全学共通科目における業務以外には使用しません。ただし,プライバシーに配慮したうえで,京都大学における業務のために使用する場合があります。

連絡先（電話番号，住所，授業料関係書類送付先住所）の変更が生じた場合には,「登録情報」より変更してください。

3．各種証明書の発行について

（イ）証明書自動発行機で発行する証明書……学内設置のすべての発行機で利用可能。

種　　類	発行方法等
正規生 学生生徒旅客運賃割引証（学割証） 通学証明書 在学証明書（和文・英文） 卒業見込証明書（和文・英文） 修了見込証明書（和文・英文） 成績証明書（和文・英文） 成績及び卒業・修了見込証明書（和文・英文） 健康診断結果通知書 健康診断証明書	1）証明書発行サービスにアクセス(※)し、発行方法「学内印刷」を選択。必要な証明書の種類、発行枚数を選択して申請する。 ※全学共通ポータル、KULASIS からシングルサインオンが可能。 2）申請後、印刷予約が完了すると、「学内印刷番号」がメール送信される。 3）証明書自動発行機のタッチパネルの「予約番号」欄に「学内印刷番号」を入力して発行。 ※上記操作方法は 2025 年 2 月現在の情報のため、変更が生じる可能性がある。
非正規生 在籍証明書（和文・英文） 成績証明書（和文・英文） 〈科目等履修生・特別聴講学生のみ〉 健康診断結果通知書 健康診断証明書	

（注）証明書自動発行機で交付する証明書類は，時間外・発行機が故障等の場合、即時発行できないので，余裕を持って交付を受けておくこと。

※コンビニ発行・オンライン発行については京都大学 HP よりホーム＞教育・学生支援＞学生支援の窓口・証明書発行など＞各種証明書や学生証などの発行＞証明書発行サービスについてを参照のこと。

（ロ）教務掛窓口で発行する証明書……受領の際は，学生証（身分証）を提示すること。

種　　類	申込方法等
正規生 卒業証明書（和文・英文） 修了証明書（和文・英文） 成績証明書（和文・英文） 各種証明書（和文・英文） 〈教員免許・学芸員・図書館司書等〉	申込：教務掛窓口備え付けの「証明書発行願」により申し込むこと。 交付：和文は 3 日後。（土・日・祝日を除く） 英文は 1 週間後。 （ただし，証明書の種類によっては上記以上の日数を要することがある。）
非正規生 在籍期間証明書（和文・英文）	

※上記以外の証明書について必要が生じた場合は教務掛に問合わせること。

※今年度の卒業・修了者は卒業・修了日より 3 月中（発行可能最終日は掲示を確認のこと）は証明書自動発行機で発行できます。

（ハ）上記以外の証明書

種　　類	申込方法等
健康診断書	京都大学環境安全保健機構産業厚生部門のホームページから申し込むこと。 URL: https://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/health-care-office/kenshinsyomei/ （当該年度の学生定期健康診断を受検した者に限る。） 証明書自動発行機で発行された健康診断結果通知書を持参すること。

※健康診断について

「学校保健法（昭和 33 年 4 月 10 日法律第 56 号）」及び「京都大学学生健康診断規定」に定めるところにより，学生は毎年指定された時期に，必ず健康診断を受けなければならない。

特に，卒業・修了年次の学生は就職・進学等の際に健康診断書が必要となるので，必ず受検しておくこと。

4．各 種 届 出 に つ い て

1．以下については，教務掛で所定用紙を受領のうえ，提出すること。

種　　類	
休学（延長）願	疾病その他の事由により３ヶ月以上修学を中止しようとするとき。 (疾病の場合「診断書」が必要)
復学届	休学期間途中で復学しようとするとき。
復学願	疾病による休学から復学しようとするとき。 なお，その場合は，休学期間途中であるかどうかにかかわらず復学するときに復学願の提出が必要。（復学面談申込書（学生総合支援機構学生相談部門指定様式）及び主治医による診断書の添付が必要。）
退学願	やむを得ない事情により退学しなければならなくなったとき。 (退学しようとする期の授業料領収書の写しをあわせて提出)　(注)
学生証再交付願	学生証を紛失・破損したとき。
改姓（名）届	改姓（名）したとき。（新・旧氏名が記載された改姓（名）の事実が確認できる公的書類を添付)

（注）中途退学した者については再入学を許可する制度があるので，詳細は教務掛に問い合わせること。

※本人又は保護者の住所に変更があった場合は,すみやかに KULASIS より変更手続きを行うこと。
その他詳細については,「Campus Life Information」（京都大学発行）を参照のこと。

休学・復学・退学の願い出は，遡及して認められない。原則，事実発生の３週間前までに指導教員の許可を得て，教務掛に願い出ること。（願い出が遅延すると，希望する日付で許可されず，また，授業料納付について不利益が生じる場合がある。）

２．以下については，遵守事項を熟読し，KULASIS の「海外渡航情報管理リンク」から，登録すること。登録内容は教務掛から専修主任（学部 2 回生以下はクラス担任）に送付し，専修主任またはクラス担任が確認後，渡航を許可します。

種　　類	
海外渡航届	勉学・旅行その他で海外へ行くとき。 なお，3 ヶ月以上の場合は，交換留学以外原則として休学を願い出ること。

【遵守事項】

１．　渡航前・渡航中は安全情報の把握に努め，日本および渡航先の法令・規則を遵守し，高い危機管理意識をもって万全な安全対策を講じること。

２．　京都大学による渡航前・渡航中・帰国後の安全対策にかかる指導・指示に従うこと。

３．　京都大学に海外渡航届その他指示された書類を提出すること。

４．　京都大学の指示に従って定期的に安全に関する報告を行うこと。

５．　外務省危険情報がレベル２以上の地域へは原則移動しないほか，外務省安全情報等で危険とされる地域や注意喚起情報が発出されている地域には立ち入らないこと。

６．　出国から帰国までに疾病・事故等に遭った場合は，安全を確保の上，速やかに所属学部・研究科の指定する連絡先に報告すること。

７．　3 ヶ月以上の渡航の場合には，旅券法に従い，渡航先到着後，住居が決まり次第，遅滞なく渡航地の日本大使館・総領事館に在留届を提出すること。

８．　海外旅行保険は治療費・救済費用無制限のプランに加入すること。

９．　渡航先の健康・感染症情報を確認の上，予防接種に関しては医師の指示に従うこと。

１０．渡航先の安全状況の変化により，京都大学が渡航の中止・延期・帰国等を指示した場合，それに従うこと。（渡航の中止・延期・帰国等によって生じた損害について，京都大学には責任を問いません。）

１１．渡航地について，現状の外務省危険情報を十分に理解し，渡航中の事故・疾病等については自らの責任で対処すること。

５．キャンパス・ハラスメントについて

文学研究科・文学部は，ここに集い，学習，教育，研究，就労するものが構成するアカデミック・コミュニティであり，その構成員すべての基本的人権を尊重し，安全，平等かつ快適な状態で，学習，教育，研究，就労ができる権利を保障します。セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントなどはこれらの人権を侵害し，個人の尊厳を損ねる行為であり，本研究科は決してこれを容認せず，キャンパスで起こりうるさまざまなハラスメントの防止につとめます。

１．ハラスメントへの対応の原則

京都大学には京都大学人権委員会のもとに，ハラスメントに関わるさまざまな規定やガイドラインが作られています。文学研究科・文学部のハラスメントに対する対応は，原則的にこれら全学の規定やガイドラインに準拠して行われます。

具体的なハラスメントの定義，対応する組織，解決のプロセスなどについては，京都大学人権委員会から出されているパンフレット「京都大学におけるハラスメントの防止と対応について」やウェブサイト（http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/human_rights/commission）をご覧ください。

２．文学研究科・文学部 「ハラスメント相談窓口」

文学研究科・文学部では，1995 年以来，セクシュアル・ハラスメント等の人権問題が生じた場合の相談に応じる窓口が設けられています。このような人権問題は，固定された人間関係の中でなかなか実態がつかみにくく，被害を受けた人が精神的な苦痛を一人で抱え込むというようなことになりがちです。

「相談窓口」では，問題をできる限り早い段階でキャッチし，被害者と相談し協力しあって，事態が解決に向かうのをサポートしていきます。

少しでも，不安や不審を感じたら，どうぞ「相談窓口」にアクセスしてみてください。

(a)「相談窓口」の構成について

毎年若干のメンバーの入れ替えがありますが，窓口委員は，必ず男性と女性によって構成されています。相談申し込みの段階で，実際に面談する窓口委員についても，できる限り要望に応じていきたいと考えています。

窓口委員については，京都大学ホームページ「京都大学におけるハラスメントの防止と対応について」の「相談窓口」をご覧ください。

https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/human-rights/harassment

(b) 相談の申し込みがあったら

相談は，相談者と窓口委員との間の面談によって行います。

まず，相談の申し込みがあれば，改めて窓口委員の方から具体的な面談に関しての要望をうかがい，日時のご相談をします。原則として二人の委員で話を聞かせていただきます。

相談内容の秘密は絶対に守ります。

セクシュアル・ハラスメントなどの被害の実態は，ケースによってまちまちですし，解決へのプロセスも一定ではありません。窓口委員は，解決に向けてもっともふさわしい方策は何

か，相談者の意向を第一にしながら，一緒に考えていきます。全学の学生相談センターや専門のカウンセラーを紹介することもできます。問題の内容によっては，人権問題対策委員会など，他の関連する委員会と連絡を取り合い，対応することもあります。

(c) こんな場合に相談してください

セクシュアル・ハラスメント等の人権問題は，加害者と被害者双方のいろいろな立場や事情がからんでいて解決をおくらせることになりがちです。不愉快な言動はやめてほしいのだが，はっきりそうとは言いにくい，それは決しておかしいことではありません。一人で悩まずに，また拒絶できない自分を責めたりせずに，「相談窓口」や学生相談センターに，相談してみてください。きっと解決できます。もちろん，早ければ早いほどいいですが，遅すぎるということはありません。

例えば，「自分が不快に感じている行為がセクハラにあたるのかどうか知りたい」「そのような行為はやめさせたいが，どうしたらよいかわからない」というような時，連絡を取ってみてください。

また，「身近にセクハラ等の人権侵害が行われている状況を解決したい」と思われる時にもご相談ください。対策を講じるために，被害を受けている本人の申し出は必須ですが，被害者の立場によっては，相談窓口に来ることすらも躊躇されるということがあり得ます。解決のプロセスは若干異なるでしょうが，その場合も最善の方法を探っていきます。とにかく迷ったら，ご相談ください。

(d) 相談の申し込み方法

下記のいずれかの方法で，氏名ならびに連絡先を明示のうえ申し込んでください。折り返し，こちらから連絡いたします。

原則として本人が申し込んでください。ただ，周りの人，あるいは本人から相談を受けた人が申し込むこともできます。

相談者のプライバシーは絶対に守ります。

手紙の場合　606-8501
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科・文学部「相談窓口」

電話の場合　窓口委員の内線電話まで

電子メール　S-H.soudan@bun.kyoto-u.ac.jp

（文学研究科・文学部人権問題対策委員会）

６． 学生相談センター

京都大学に籍を置く，学生，教職員のための，総合的な相談機関です。修学上あるいは学生生活上の悩み，さまざまな人間関係など，どのような悩みや苦しみについての相談にも，学生相談，心理相談の専門スタッフが応じています。秘密は守られますので，実り豊かな学生生活のために，日々の充実のために，気軽に，安心してご利用ください。こんなことを相談に行ってよいのだろうかと思うような時にも，ぜひ一度訪ねてみてください。

相談のご案内

◆たとえばこんな時に

学生生活上の様々な悩みの相談に応じています。

・人間関係について悩んでいる
・自分の性格について考えてみたい
・性のことで悩んでいる
・家族関係について悩んでいる
・どういうわけか研究にやる気がでない
・進路を変更しようか迷っている
・気持ちが落ち込んだり不安になることがあって苦しい
・指導教員からハラスメントをうけている
・研究室内で嫌がらせをうけている

◆相談申し込みの方法

以下の学生相談センターのホームページをご覧いただいて，直接お申込みください。

学内５か所に相談室があります。訪れやすい（相談しやすい）相談室を選んでください。（学生相談センターは、５カ所の相談室をまとめた通称です。）

・吉田相談室　：吉田キャンパス 本部構内 教育推進・学生支援部棟（旧石油化学教室本館）２階
・吉田南相談室：吉田キャンパス 吉田南構内 楽友会館１階
・北部相談室　：吉田キャンパス 北部構内 旧演習林事務室内
・桂相談室　　：桂キャンパス Ｂクラスター 船井交流センター3 階
・宇治相談室　：宇治キャンパス 生協会館２階

≪学生相談センター≫

https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/ssc/

ハラスメントについて

もしあなたが，ハラスメントを受けていると感じているなら，一人で悩まず，誰か信頼できる人に相談することが必要です。また，あなたの周囲でそういう事態を見聞きしたという場合も同様です。

相談しようとする人は，文学研究科・文学部のハラスメント相談窓口に相談することも，学生相談センターの各相談室で相談することもできます。これらの相談窓口における相談者からのハラスメント申し立ては，基本的に文学研究科・文学部の人権委員会において対応されます。そこでの対処が難しい場合には，法務・コンプライアンス担当副学長において対応がなされる場合があります。

全学の人権委員会は，法務・コンプライアンス担当副学長と連携して，ハラスメントの予防・啓発活動，事案の検証などを行います。

ハラスメントに当たるのかどうかよく分からないというような場合でも，何か気がかりなことがあれば，各相談窓口で問い合わせてください。他の相談でもそうですが，相談者のプライバシーには万全の注意を払いますので，安心して相談してください。

7．文学研究科・文学部相談室

当相談室は，京都大学文学研究科・文学部の学部生・院生・教職員の方専用の相談室です。学生生活を送る上で生じる様々な悩みや困りごとについて，臨床心理士・公認心理師の資格を持つカウンセラーが相談にあたっています。相談内容は，人間関係，ご自身の性格，学業，進路など，どのようなことでも構いません。「相談に行くほどではない」，「なんとなく行きづらい」などと思われ，相談したいことがあっても一人で悩みを抱えている方もいますが，思いきって人に話してみると，気持ちが楽になることがあります。ぜひ一度お気軽に訪ねてみてください。相談内容の守秘は厳守します。

必要に応じて相談内容に相応しい専門の他機関や相談窓口も紹介しております。どこに相談したら良いか分からないという場合にも，当相談室へご相談ください。なお，当相談室と同様の相談窓口として，全学の学生相談センターの各相談室もご利用いただけます。

《ご利用案内》

◆ご相談の申込方法

事前予約については，メール，ホームページの申し込みフォーム，電話のいずれかから申し込んでください。メールの場合，件名は「相談希望」とし，本文に「氏名」，「生年月日」，「学年」，「学生番号」，「専修（未定でも可）」，「連絡先（電話番号等連絡の繋がりやすいもの）」，「相談希望曜日・時間枠（10 時 30 分～／11 時 30 分～／13 時 30 分～／14 時 30 分～／15 時 30 分～の各 1 時間単位，9 時 30 分～30 分単位※継続の方対象，第 3 希望までご記入ください）」を明記してお送りください。折り返し連絡します。

面接は1回50分で，継続の場合は多くて週1回までの頻度で実施します。当日に枠が空いていれば，事前連絡の上，相談を受け付けられる場合もあります。

対面での相談以外にオンライン（Zoom）や電話での相談も受け付けております。

◆開室日時

毎週月曜～金曜 9 時 30 分～16 時 30 分（12 時 30 分～13 時 30 分は休室）

◆場所・連絡先

文学研究科・文学部相談室は，総合研究 2 号館 2 階の南側，文学研究科の研究室が並んでいる一角にあります。ご予約やお問い合せは下記まで。

住所：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 総合研究 2 号館 2 階 236 号室

電話： 075-753-2723（内線 2723） ※電話は開室中のみ対応可能（ただし面接中は対応できません）

E-mail アドレス： bun-soudan@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

★文学研究科・文学部相談室ホームページ

https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/counseling/

★文学研究科・文学部相談室公式 X（旧ツイッター）（アカウント：@BunCounseling）

https://twitter.com/BunCounseling

８．京都大学文学部・文学研究科　性の多様性に関わるガイドライン（学生版）

令和６年１月 18 日教授会制定

０．基本理念

京都大学文学部・大学院文学研究科は「京都大学文学部の理念と目標」として、「人類の文化の継承と調和ある共存に寄与し、深い専門知識と広い教養を具え、知の創造の担い手となり、かつ倫理性にも優れた学生を育成する」こと、「人類の文化全般についての多元的・総合的探求を推進する」こと、「人権を尊重し、環境に配慮した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える」ことを掲げています。こうした理念に照らし人文学の教育・研究・就労の場である文学部・文学研究科（以下「本研究科」という。）において、様々な個性を持った学生・教職員が安心して学び、働くことができる場を作り出す責務があると考えます。

本研究科は、性別、障害、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、宗教、信条、年齢などに関わらず本研究科の構成員が個人として尊重され、その属性によって不利益を被ることなく、互いの価値観を認め合うことができる環境の実現に向けて努力していきます。

以下に策定したガイドラインは、そうした理念の実現に向けて、性の多様性に関わる本研究科の基本姿勢と方針、そして当事者・非当事者を問わず、現在の京都大学の規則や事務手続の枠組みの中で学生・教職員のみなさんのために有用であると考えられる情報をまとめたものです。このガイドラインを上記の理念の実現に向けた第一歩とし、それぞれの当事者のニーズに耳を傾けながら、今後本研究科を構成する学生・教職員との議論を通じて適宜改訂し、具体的な実現を図っていきます。

１．学生ひとりひとりのために

本研究科は授業や様々な啓発活動を通じて学生の性の多様性への理解を広げていくことに努めます。

みなさんが授業や課外活動等の場で周囲の言動によって悩んだり傷ついたりするようなことがあった際には、ひとりで抱え込まずに８．に挙げる文学部相談室や全学の相談窓口に相談してください。

また、差別的な言動を行わないことはもちろん、友人から知り得たプライベートな情報を本人の意図に反して伝えるような行為は決してしないでください。

非当事者も含めた学生のみなさんには以下のことへの配慮をお願いします。

- 授業や課外活動において、学生や教職員に性的マイノリティがいることを前提とした言動を心がけてください。
- あなたのまわりに、性的マイノリティであることを公にしている人や、もしかしたらそうではないかと思われる人がいても、そのことをからかうような言動は絶対しないでください。逆に特別扱いする必要もありません。
- あなたの友人について、友人から知り得たプライベートな情報を、誰であろうと第三者に本人の意図に反して伝えることは、その友人を大きく傷つける結果になることがあります。カミングアウトを受けて、どうしたらよいか分からないというときには、ひとりで抱え込まずに、８．に挙げられている文学部相談室や全学の相談窓口に相談してください。

本研究科の教職員には「京都大学文学部・文学研究科　性の多様性に関わるガイドラインと心得（教職員版）」を配付し、性的マイノリティへの理解と配慮を求めています。教職員の対応に疑問がある場合には、教務掛ないしは８．で挙げられている窓口にご相談ください。

２．氏名・性別の情報とその管理について

氏名と性別は、個人のアイデンティティに関わるとても重要な情報であり、本学では慎重にその取り扱いを定めています。現在本学での氏名・性別の情報の扱いは下記のようになっています。

２．１．氏名の変更について

２．１．１．通称の使用について

本学は性の多様性を尊重し、該当する学生に通称使用を認めています。

通称の使用が認められると、学籍簿に記載する氏名が変更され、大学内で使用するあらゆる氏名は原則として通称に変更され、学生証、学位記をはじめとする各種証明書、大学から送付する文書などにも通称が使用されます。

申請された通称は、保護者等への連絡の際にも用いられます。その点も十分に考慮した上で通称の使用

を申請してください。

【必要な手続き】
① 通称使用を希望する学生は、教務掛にて「旧姓等使用申出書」を提出してください。
性の多様性を理由にした通称使用では、証明書類の添付は不要です。
② 研究科長が通称使用を承認すると「旧姓等使用申出受理通知書」とともに、通称を記載した学生証を交付します。

学位記等では本人の希望があれば、戸籍上の氏名のみの表記、または通称と戸籍上の氏名の併記が可能です。希望する場合は別途、教務掛に申し出てください。
ただし、法令等で戸籍上の氏名の使用が義務づけられた文書では通称の使用ができません。
卒業後の証明書の交付に当たっては、原則として卒業時の学籍簿に記載された氏名で交付されますので、通称使用を申し出て卒業した場合には通称が記載されます。卒業後の変更は認められませんので注意してください。

【旧姓又は通称使用証明書】
通称と戸籍上の氏名との同一性の証明は、学生が自己の責任において行うものとされていますが、大学が通称使用を認めたことを記載した証明書を発行することができます。旧姓又は通称使用証明書を希望する場合は、別途、教務掛に申し出てください。

【新入生の対応について】
学部新入生は入学試験時の手続を通称で進めている場合には、入学時から通称を使用することができます。入学手続きの際に教務掛まで申し出てください。
大学院進学の際、京大からの進学の場合には、学部生の間に通称の使用を届け出ていれば、そのまま通称を使用することができます。他大学から大学院に進学する場合は、入学手続きの際に教務掛まで申し出てください。
通称使用に関して疑問がある場合には、教務掛または教務企画課(全学)にお尋ねください。

２．１．２．戸籍上の氏名を変更した場合
戸籍上の氏名を変更した場合は、教務掛で改名手続きを行ってください。

２．１．３．メールアドレスの変更について
大学のメールアドレスには自動的に氏名のアルファベット表記が組み込まれていますが、氏名が変わった場合や通称を使用している場合、あるいはストーキング被害を受けている場合などに変更することができます。情報環境支援センター（学術情報メディアセンター南館 1F）にお問い合わせください。

２．２．性別について
２．２．１．性別の記載について
学生の性別に関しては、学籍情報に登録されており、現状では「女子」か「男子」のいずれかとなっています。履修者名簿には性別は記載されていません。また、各種統計情報に利用されています。
教員の会議等では、性別情報を含む個人情報については慎重に取り扱います。
本学で発行する証明書等の性別の記載の有無については以下のようになっています。

【性別の記載がないもの】
学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)、通学証明書、在学証明書(和文・英文)、卒業・修了（見込)証明書(和文・英文)、退学証明書(和文・英文)、学業成績証明書(和文・英文)、学業成績及び卒業・修了(見込)証明書、研究指導認定(退学)(見込)証明書、健康診断結果通知書、学研災傷害保険加入証明書、国費留学生受給証明書

【性別の記載があるもの】
健康診断証明書、健康診断書及び紹介状
これらについては、性別の記載を削除することはできません。

２．２．２．性別の変更について

性別の変更については、現在明確な定めはありません。性別の変更を希望する場合にはまずは教務掛にご相談ください。

３．トイレ・更衣室の利用について

３．１．トイレ

文学部校舎一階および文系学部校舎一階にはそれぞれ「多目的トイレ」が設けられています。また、全学についても各所に設置されている「多目的（車いす対応）トイレ」が性別に関係なく利用できます。

本研究科は性自認にもとづくトイレ使用に関して適切な配慮を行いたいと思います。具体的な対応については個別の状況及び環境的要因に応じて検討が必要になりますので、トイレの使用にあたって、相談のある場合は、教務掛まで相談してください。

３．２．更衣室

スポーツ実習の際の更衣室の使用にあたって配慮が必要な場合には全学共通科目学生窓口にご相談ください。

課外活動における更衣室の利用にあたって配慮が必要な場合には教育推進・学生支援部厚生課窓口にご相談ください。

４．健康診断について

年に一度行われる学生の健康診断は、男性と女性に分けて実施されています。ただし、事情がある場合、本人からの希望があれば、個人で健康診断を受けることができます。健康診断にあたって配慮が必要な場合には、以下の部署に相談してください。

連絡先　075-753-2407　健康管理室　看護師
メールアドレス：nurse@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp（看護師と対応事務）
不在の場合　075-753-2331　環境安全保健課　特定職員

５．実習科目、合宿など宿泊を伴う行事について

実習・合宿などの実施に当たって配慮が必要な場合には、まずは責任者となる教員にご相談ください。もし教員に相談するのがむずかしい場合には、教務掛までご相談ください。

６．寮・宿舎

本学では女子寮を除き、入寮の条件において性別は要件としておりません。学生寮の申込みや入寮にあたって配慮を必要とする場合には、教育推進・学生支援部厚生課窓口までご相談ください。

７．式典などでの服装と身なり

入学式・卒業式等の式典には、参加するみなさんそれぞれの多様なアイデンティティに基づいた服装や身なりで参加することができます。式典にふさわしい自分らしい服装や身なりでご参加ください。

８．相談・サポート

京都大学および本研究科では以下のような相談窓口を設けています。いずれの窓口でも相談内容の秘密は守られます。

相談内容によっては、学内外の他の相談窓口を紹介し、連携して対応します。もちろん、連携の範囲や内容については事前に本人に確認します。

・学生相談窓口

〔文学研究科・文学部〕
相談室（要予約）
総合研究２号館 236 号室
毎週月曜日～金曜日　9：30～16：30
（各開室日の 12：30～13：30 は休室）
電話:075-753-2723（内線 2723）

※開室日のみ対応可。なお、面接中は電話対応いたしかねますので何卒ご了承ください。
E-mail: bun-soudan@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/counseling/

〔全学〕
学生総合支援機構 学生相談部門
・吉田相談室
電話：075-753-2596
E-mail: yoshida-ssc@mail.assdr.kyoto-u.ac.jp

・ハラスメント相談
〔文学部/文学研究科〕
ハラスメント相談窓口
E-mail：S-H.soudan@bun.kyoto-u.ac.jp
※窓口委員の教員および職員４名にメールが届きます。
※窓口委員は年度によってかわります。
　窓口委員については京都大学ホームページ「京都大学におけるハラスメントの防止と対応について」（https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/human-rights/harassment）より「相談窓口」をご覧ください。

〔全学〕
ホームページ情報
「京都大学におけるハラスメントの防止と対応について」
（https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/human-rights/harassment）

コンプライアンス部通報・相談掛（全学のハラスメント相談窓口）
電話:075-753-5139
E-mail:kc-madoguchi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
受付時間:原則として９時～17時(土日祝除く)

※ 最新版は文学研究科ホームページに掲載しています。
https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/student/

１．教育職員免許状の取得について

教員免許状取得に関する情報は，本便覧の他，文学部の掲示，及び KULASIS「全学生向け共通掲示板」の Information「教員免許」から確認すること。教職科目の履修や教育実習に関する情報が随時更新されるため，見落としのないよう注意すること。

また，KULASIS「全学生向け共通掲示板」のページには本学の教職課程及び免許取得に関する基本情報についてへのリンクがあるので，そちらも必ず確認すること。

１．教育職員免許状について

大学を除くすべての国公立，私立学校の教員となるためには教育職員免許状が必要であり，本学で取得できるのは高等学校教諭，中学校教諭及び特別支援学校教諭の免許状である。

高等学校及び中学校の免許状は教科＜国語・社会・地理歴史・公民・理科・数学・英語など＞別になっており，教育職員免許法に定められた所要の単位を修得すれば，相当の免許状が取得できる。

なお，取得希望者は 4 月に開催される教職課程オリエンテーションに必ず参加すること。

文学部・文学研究科で取得できる免許状の種類と教科

文学部	中学校一種	国語・社会・英語
	高等学校一種	国語・地理歴史・公民・英語
文学研究科	中学校専修	国語・社会・英語
	高等学校専修	国語・地理歴史・公民・英語

（※注）平成 30 年度以前入学者で旧法適用者は，上記に加えて「フランス語」・「中国語」・「宗教」の中学校一種・高等学校一種・中学校専修・高等学校専修免許状が取得できる。

２．**【重要】平成 31 年 4 月以降の教職課程の変更及び経過措置について**

教育職員免許法施行規則等の改正に伴い，平成 31 年 4 月 1 日から教職課程が新課程に移行されたが，入学時期や所属，身分，所要資格を得た時期等によって適用される経過措置が異なる。そのため，自身が旧法適用であるか新法適用であるかをよく確認の上，必要な科目を履修すること。（旧法適用者と新法適用者では，必要な単位数や科目が異なる。）

なお，**経過措置及び適用法の詳細については KULASIS「全学生向け共通掲示板」教員免許のページに掲載しているため，必ず確認すること。**

３．単位の修得について

単位は「教科及び教科の指導法に関する科目」，「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目」，「教育実践に関する科目」，及び「大学が独自に設定する科目」に区分され，それぞれ必要な単位を修得しなければならない。

なお，各授業科目については，それぞれ履修が許可される回生が指定されているので，各回生で取得できる単位から計画的に取得していくこと。卒業直前に，単位不足により免許取得が不可能であることが判明する例が稀に見られるので注意すること。

（1）「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち，教科に関する専門的事項を含んだ科目の単位については，KULASIS の文学部及び文学研究科部局ホームに掲載の**教育職員免許状取得のための手引き・履修カルテ・A票・B票・科目表**を参照すること。（一部，学部の専門科目として認定される場合がある。）

【掲載場所： 学部（大学院）＞文学部（文学研究科）＞部局ホーム】

（※学部・大学院，部局は画面左端で選択）

（2）上記（1）以外の科目の単位修得に関しては，KULASIS「全学生向け共通掲示板」＞本学の教職課程及び免許取得に関する基本情報についてはこちら＞本学 Web ページ「中学・高校の教員免許」で確認すること。

4．教育実習について

教育実習は「教育実践に関する科目」として必修であり，実習に係る事前，事後指導（いずれも講義）並びに中・高等学校で行う実習（中学校免許状は 4 週間（3 週間で 4 週間の実習とみなすことが多い）・高等学校免許状は 2 週間）からなっている。教育実習は京都大学に附属学校がないため，原則として学生の出身校（中学校・高等学校）において実施する。

教育実習の詳細，日程及び参加申込資格については，KULASIS「全学生向け共通掲示板」教員免許のページで確認すること。なお，各説明会，オリエンテーション等を含めて「教育実習」となるので，いずれも欠席，遅刻及び早退は認められないため注意すること。（参加前年度の 4 月から説明会が実施されるため，掲示に注意すること。）

5．介護等体験について

中学校教諭免許状取得希望者については，平成 10 年度入学者から，特別支援学校で 2 日間と社会福祉施設等（保育所を除く）で 5 日間，合計 7 日間の介護等体験を行うことが義務づけられている。

介護等体験についての制度や申請方法については教育学部で説明会が実施され，その後申込手続きを行うので，掲示に注意すること。

6．教育実習・介護等体験実施に当たっての共通の注意事項

教育実習・介護等体験を実施するに当たって，健康診断証明書が必要なため，当該年度に実施される学生一般定期健康診断は必ず受検しておくこと。その際，胸部X線検査を省略しないこと。健康診断証明書は，学内の証明書自動発行機で発行すること。証明書は当該年度の 6 月に発行可能となる。

また，事故対策としての保険，「学生教育研究災害障害保険」（学研災）と「学研災付帯賠償責任保険」（付帯賠責）に加入しておかないと教育実習や介護等体験に参加できない。

＜保険の担当：教育推進・学生支援部厚生課厚生掛　TEL　075-753-2539 ＞

7．教育職員免許状の授与申請（大学からの一括申請）

京都府教育委員会への一括申請手続きについては例年 9 月頃に掲示で周知するので，卒業・修了予定者は見落としのないよう注意すること。(個人申請の場合は，各都道府県教育庁に各自で問い合わせること。)

※その他，不明なことがあれば，文学部教務掛に問い合わせること。

２．学芸員となる資格取得について

学芸員の職務

博物館法に基づく専門的職員で，博物資料の収集，保管，展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

学芸員の資格

学芸員となるには，学士の学位を有する者で，大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得しなければならない。

大学において修得すべき博物館に関する科目の単位

博物館法〔昭和 26 年法律第 285 号〕第 5 条第 1 項第 1 号の規定により大学において修得すべき博物館に関する科目の単位と本年度本学部，教育学部，理学部及び総合博物館において開講される科目との関係を示すと下記のとおりである。

【新科目（新規則に規定する科目）】

科　　目	法律上の単位	区分	本年度，本学部等の授業科目のうちこれらに該当するもの		学部等	備　　考
生涯学習概論	2	選必	生涯学習概論Ⅰ	（本年度不開講）	教育学部	※教育学部での履修登録が必要
			生涯学習概論Ⅱ	奥村(旅)講師		
博物館概論	2	必修	博物館学Ⅰ	松岡非常勤講師	文学部	学部共通科目参照
博物館経営論	2	必修	博物館学Ⅱ	松岡非常勤講師		
博物館資料論	2	必修	博物館学Ⅲ	竹下非常勤講師		
博物館資料保存論	2	必修	博物館資料保存論	村上教授 竹之内助教	総合博物館（全学共通科目）	全学共通科目参照
博物館展示論	2	必修	博物館展示論	塩瀬准教授 伊藤助教		
博物館教育論	2	必修	博物館教育論	本川教授 佐々木准教授		
博物館情報・メディア論	2	必修	博物館情報・メディア論	五島講師		
博物館実習	3	選必	（学内実習・文系） 博物館実習（文化史）	吉井教授他	文学部（全学共通科目）	
			（学内実習・理系） 博物館実習（自然史）	理学研究科・総合博物館等教員多数	理学部等（理学部科目）	※理学部での履修登録が必要
		必修	（館園実習） 博物館実習（館園実務）	総合博物館教員多数	総合博物館（全学共通科目）	全学共通科目参照

博物館法第 5 条により，大学において博物館に関する科目を修得し，学士の学位を得た者には学芸員の資格が発生する。この証明を必要とする者は，教務掛に証明書発行願を提出し，交付を受けること。

３．図書館司書・学校図書館司書教諭となる資格の取得について

図書館学の科目は，公立図書館司書，学校図書館司書教諭の資格取得上の必修科目である。
これに関する科目はすべて教育学部で開講されているので，他学部聴講の履修登録を行うこと。

１．図書館司書

図書館法に規定している図書館において，専門的な職務に従事する司書となるための資格は，大学在学中に図書館学に関する一定の科目を履修することによって取得できるが，その科目とは下記のように，必修 11 科目 22 単位，選択 2 科目 2 単位以上(合計 24 単位以上)となっており，これらの科目と，本年度，教育学部において開講される講義科目との関係を示すと次のとおりである。原則として各科目とも隔年開講であり，従って開講年度に履修しておくことが望ましい。なお，図書館法第 5 条により，大学を卒業した者で，大学において図書館学に関する科目を履修し，その単位を満たした者にはこの司書の資格が発生する。その証明を必要とする者は文学部教務掛に届け出て証明書の交付を受けること。

必修科目　（１１科目２２単位）			
	科　目　名	単位数	教育学部における講義科目
甲群	生涯学習概論	2	「生涯学習概論Ⅰ」(本年度不開講)
	図書館概論	2	「図書館概論」福井准教授
	図書館制度・経営論	2	「図書館制度・経営論」岸本講師
	図書館情報技術論	2	「図書館情報技術論」原田講師
	図書館サービス概論	2	「図書館サービス概論」原田講師
	情報サービス論	2	「情報サービス論」(本年度不開講)
	児童サービス論	2	「児童サービス論」(本年度不開講)
	情報サービス演習	2	「情報サービス演習Ⅰ」(本年度不開講) 「情報サービス演習Ⅱ」(本年度不開講)
	図書館情報資源概論	2	「図書館情報資源概論」久野講師
	情報資源組織論	2	「情報資源組織論」渡邊(隆)講師
	情報資源組織演習	2	「情報資源組織演習Ⅰ」「情報資源組織演習Ⅱ」渡邊(隆)講師
選択科目　２科目２単位			
乙群	図書館基礎特論	1	「図書館情報学特講Ⅱ」(本年度不開講)
	図書館サービス特論	1	「図書館情報学特講Ⅰ」北村講師
	図書館情報資源特論	1	「図書館情報学特講Ⅰ」北村講師
	図書・図書館史	1	「図書館情報学特講Ⅱ」(本年度不開講)

なお，「情報サービス演習」については，「情報サービス演習Ⅰ」「情報サービス演習Ⅱ」の両方，「情報資源組織演習」については，「情報資源組織演習Ⅰ」「情報資源組織演習Ⅱ」の両方の科目を履修しないと司書の資格は得られない。

平成 24 年 4 月 1 日以前からの在学生には以下が適用されるので注意すること。

備考　1：平成24年3月31日までに旧規則に規定する科目（以下「旧科目」という。）の単位を全て修得した者は，新規則に規定する科目（以下「新科目」という。）の単位を全て修得したものとみなす。
2：平成24年4月1日以前から引き続き在学し卒業するまでに旧科目の単位を全て修得した者は，新科目の単位を全て修得したものとみなす。ただし，平成24年度以降は，新科目のみの開講となり，平成24年3月31日以前から引き続き在学している者が旧科目の一部を残している場合は，卒業するまでに次の表の左欄に掲げる新科目を修得すれば当該科目に相当する右欄に掲げる旧科目を修得したものとみなす。

新科目		旧科目	
生涯学習概論	2 単位	生涯学習概論	1 単位
図書館概論	2 単位	図書館概論	2 単位
図書館制度・経営論	2 単位	図書館経営論	1 単位
図書館サービス概論	2 単位	図書館サービス論	2 単位
情報サービス論	2 単位	情報サービス概説	2 単位
児童サービス論	2 単位	児童サービス論	1 単位
情報サービス演習	2 単位	レファレンスサービス演習 情報検索演習	1 単位 1 単位
図書館情報資源概論	2 単位	図書館資料論	2 単位
情報資源組織論	2 単位	資料組織概説	2 単位
情報資源組織演習	2 単位	資料組織演習	2 単位
図書館情報資源特論	1 単位	専門資料論	1 単位

※新科目の「情報サービス演習Ⅰ」を修得すれば，旧科目の「レファレンスサービス演習」を修得したものとみなす。新科目の「情報サービス演習Ⅱ」を修得すれば，旧科目の「情報検索演習」を修得したものとみなす。
※新科目の「情報資源組織演習Ⅰ」を修得すれば，旧科目の「資料組織演習Ⅰ」を修得したものとみなす。新科目の「情報資源組織演習Ⅱ」を修得すれば，旧科目の「資料組織演習Ⅱ」を修得したものとみなす。
※「専門資料論」を修得していない者は，「図書館情報学特講Ⅰ」と「図書館情報学特講Ⅱ」の両方を修得しなくてはならない。

2．学校図書館司書教諭

教員免許状をもつ者が，さらに学校図書館の専門的職務に従う司書教諭の資格を得るためには，大学在学中に，下記左欄に示す司書教諭講習科目(5 科目 10 単位)を修得しておくとよい。この司書教諭講習科目と本年度教育学部において開講される講義科目との関係は下記のとおりである。なお，司書教諭の資格発生には特別の手続きを必要とするので，文学部教務掛に申し出ること。

司書教諭講習科目	単位数	教育学部における講義科目	備考
学校経営と学校図書館	2	「学校経営と学校図書館」(本年度不開講)	
学校図書館メディアの構成	2	「情報資源組織論」渡邊(隆)講師 「図書館情報資源概論」久野講師	2 科目とも必修 (計 4 単位履修)
学習指導と学校図書館	2	「学習指導と学校図書館」(本年度不開講)	
読書と豊かな人間性	2	「読書と豊かな人間性」坂下講師	
情報メディアの活用	2	「情報メディアの活用」高鍬講師	

なお，「学校図書館メディアの構成」については，「情報資源組織論(2 単位)」と「図書館情報資源概論(2 単位)」の両方の科目(計 4 単位)を履修しなくてはならない。

各科目とも隔年開講であり，従って開講年度に履修しておくことが望ましい。

４．公認心理師となる資格の取得について

京都大学では，文学部，教育学部及び総合人間学部において，平成 30 年度以降の入学者が，在学中に公認心理師受験の要件となっている大学における必要な科目を履修できるようにしている。

ただし，学部を卒業することで自動的に受験資格が得られるのではなく，必要となる科目や実習を計画的に履修し，そのうえ卒業後は大学院修士課程にて大学院における必要な科目を履修し修了するか，あるいは特定の機関で実務経験を 2 年ないし 3 年積むことで，受験資格を得ることができる。

なお，文学研究科では大学院における必要な科目は開講していないため注意すること。

詳細は 4 月に実施する公認心理師履修ガイダンスで説明するので，公認心理師資格取得希望者は必ず参加すること。

１．公認心理師の職務

公認心理師は，公認心理師登録簿への登録を受け，公認心理師の名称を用いて，保健医療，福祉，教育その他の分野において，心理学に関する専門的知識及び技術をもって，次に掲げるような業務を行うものである。

（１）心理に関する支援を要する者の心理状態の観察，その結果の分析
（２）心理に関する支援を要する者に対する，その心理に関する相談及び助言，指導その他の援助
（３）心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言，指導その他の援助
（４）心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

（公認心理師法第 2 条）

２．公認心理師の資格

【平成 30 年度以降の入学者（公認心理師法施行後入学者）について】

公認心理師となるには，下記の（１）から（３）のいずれかに該当する者で，公認心理師試験合格後に，公認心理師登録簿に，氏名，生年月日その他の文部科学省令・厚生労働省令で定める事項の登録を受けなければならない。

（１）学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に基づく大学において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるものを修めて卒業し，かつ，同法に基づく大学院において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるものを修めてその課程を修了した者その他に準ずるものとして文部科学省令・厚生労働省令で定める者
（２）学校教育法に基づく大学において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるものを修めて卒業した者その他その者に準ずるものとして文部科学省令・厚生労働省令で定める者であって，文部科学省令・厚生労働省令で定める施設において文部科学省令・厚生労働省令で定める期間以上公認心理師法第 2 条第 1 号から第 3 号までに掲げる行為の業務に従事したもの

（3）文部科学大臣及び厚生労働大臣が（1）（2）に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認定した者

（同法第 4 条，第 7 条，第 28 条）

3．公認心理師に関する科目の単位

大学における公認心理師となるために必要な科目（25 科目）は，下記のとおりである。また，「京都大学公認心理師情報ページ」URL に記載の「3. 受験資格の要件となる指定科目について」の項目「1. 在学生」に掲載の「読み替え科目リスト（学内限定）」からも確認できる。

なお，履修方法については，4 月に実施する公認心理師履修ガイダンスで指導を行うので，毎年必ず参加すること。欠席した場合，指定科目を履修できなくなることがあるので注意されたい。

また，文部科学省令・厚生労働省令で定める科目毎，対応する科目については 2 単位以上の履修が必要である。

（公認心理師法施行規則第 1 条及び第 2 条，公認心理師法附則第 2 条第 1 項第 1 号から第 4 号）

【大学（学部）における公認心理師となるために必要な科目（25 科目）】

1. 公認心理師の職責
2. 心理学概論
3. 臨床心理学概論
4. 心理学研究法
5. 心理学統計法
6. 心理学実験
7. 知覚・認知心理学
8. 学習・言語心理学
9. 感情・人格心理学
10. 神経・生理心理学
11. 社会・集団・家族心理学
12. 発達心理学
13. 障害者・障害児心理学
14. 心理的アセスメント
15. 心理学的支援法
16. 健康・医療心理学
17. 福祉心理学
18. 教育・学校心理学
19. 司法・犯罪心理学
20. 産業・組織心理学
21. 人体の構造と機能及び疾病
22. 精神疾患とその治療
23. 関係行政論
24. 心理演習
25. 心理実習（80 時間以上）
（本学では 90 時間で開講）

【京都大学公認心理師情報ページ URL】

https://www.educ.kyoto-u.ac.jp/graduate/qualification_obtain_/kounin-cp/

1．京都大学通則

（昭和 28 年達示第 3 号）

第 1 章　学　　年

第 1 条　学年は，4 月 1 日に始まり，翌年 3 月 31 日に終わる。

第 2 条　学期は，次の 2 期とする。

前期　4 月 1 日から 9 月 30 日まで

後期　10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

第 3 条　学年中の定期休業日は，次のとおりとする。

日曜日

土曜日

国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日

創立記念日　6 月 18 日

夏季休業　8 月 6 日から 9 月 30 日まで

冬季休業　12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

2　前項の規定にかかわらず，教育上の必要があると認めるときは，夏季休業及び冬季休業の期間を変更し，又は臨時の休業日を定めることができる。

3　前 2 項の規定にかかわらず，教育上の必要があると認めるときは，定期休業日に授業を行うことができる。

4　前 2 項の規定の実施に関し必要な事項については，総長が別に定める。

第 2 章　学　　部

第 3 条の 2　本学の学部及び学科並びにその学生定員は，別表第 1 に掲げるとおりとする。

第 3 条の 3　前条の学部においては，当該学部の定めるところにより，学部又は学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め，公表するものとする。

第 4 条　入学は，学年の初め 1 回とする。ただし，特別の必要があると認めるときは，当該学部の定めるところにより，学期の初めにも入学させることができる。

2　入学の手続は，当該学部の定めるところによる。

第 5 条　本学に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する資格を有する者とする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 中等教育学校を卒業した者

(3) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者

(4) 通常の課程以外の課程により前号に相当する学校教育を修了した者

(5) 外国において，学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(7) 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13

号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(10)高等学校,中等教育学校の後期課程又は文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程に2年以上在学した者であって,本学において,本学が教育研究を行っている学問分野における傑出した能力を有すると認めたもの

(11)本学において,個別の入学資格審査により,高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で,18歳に達したもの

2　前項第10号に該当する者の審査の実施等に関し必要な事項は,当該学部の定めるところによる。

第6条　入学志望者に対しては,試験を行う。

2　試験は,当該学部の定めるところによる。

第7条　次の各号の一に該当する者は,前条の規定にかかわらず選考のうえ,入学を許可することがある。

(1) 一の学部を卒業した者が,他の学部又は同一学部の他の学科に入学を志望するとき。

(2) 中途退学をした者が同一学部に入学を志望するとき。

(3) 他の大学又は専門職大学の学部を卒業した者

2　前項に規定するもののほか,編入学については,当該学部の定めるところによる。

第8条　本学の他学部に転学を志望し,又は他の大学若しくは専門職大学から本学に転学を志望する者は,欠員のある場合に限り,当該学部の定めるところにより許可することがある。

第9条　入学志望者は,所定の期日までに,願書を学部長あてに提出しなければならない。

第10条　入学志望者は,願書に添えて検定料を納めなければならない。

2　前項の規定にかかわらず,国費外国人留学生(国費外国人留学生制度実施要項(昭和29年3月31日文部大臣裁定。以下「実施要項」という。)第2条に定めるものをいう。以下同じ。)は,検定料の納付を要しない。

3　受理した検定料は,返還しない。ただし,京都大学における学生納付金に関する規程(平成16年達示第63号。第67条において「学納金規程」という。)に定めるものについては,この限りでない。

第11条　入学志望者には,健康診断を行う。

第12条　入学に際しては,所定の入学手続期間内に入学料を納めなければならない。

2　入学料を納めない者には,入学を許可しない。ただし,次項の規定による手続をとつた者については,この限りでない。

3　第1項の規定にかかわらず,特別の事由のある者については,別に定める京都大学授業料,入学料免除等規程(昭和53年達示第5号。以下「免除等規程」という。)による。

4　前項の規定による手続をとつた者が入学料全額の免除若しくは入学料の徴収猶予をされなかつた場合又は入学料の徴収猶予をされた場合において,免除等規程の定めるところにより所定の期日までに納めるべき入学料を納めないときは,学生の身分を失う。

5　第1項の規定にかかわらず,第37条第1項第9号,第3項第7号又は第53条の3第9号の規定により本学大学院に入学し,課程を修了した者が,当該入学前に在学した学部に再入学するときは,入学料の納付を要しない。

6　第1項の規定にかかわらず,国費外国人留学生は,入学料の納付を要しない。

7　受理した入学料は,返還しない。ただし,所定の入学手続期間内に入学を辞退し,かつ,申し出た者については,この限りでない。

第13条　入学を許可された者は,本学の定めた方式によつて宣誓を行うものとする。

第14条　除籍された者が,再入学を願い出たときは,除籍された日から3年以内に限り,学部長の申請により教育研究評議会の議を経て,総長が許可することがある。

第 15 条　教育課程は，教育上の目的を達成するために必要な科目を開設して，体系的に編成するものとする。
2　教育課程の編成に当たつては，学部及び学科の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに，幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い，豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。
第 16 条　科目の区分は，開講対象による区分として全学共通科目及び学部科目とし，教育目的・内容による区分として教養科目及び専門科目とする。
第 17 条　科目の単位数の計算の基準については，別に定める。
第 17 条の 2　授業は，講義，演習，実験，実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
2　前項の授業は，文部科学大臣が別に定めるところにより，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
3　第 1 項の授業は，外国において履修させることができる。前項の規定により，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても，同様とする。
4　第 1 項の授業の一部は，文部科学大臣が別に定めるところにより，校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
第 18 条　科目，授業，修業年限及び在学年限は，当該学部の定めるところによる。
2　前項の場合において，学部は，学生に対して，授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。
第 18 条の 2　授業の内容及び方法の改善を図るため，組織的な研修及び研究を行うものとする。
第 18 条の 3　学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため，当該学部の定めるところにより，卒業の要件として学生が修得すべき単位数について，学生が 1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるよう努めるものとする。
2　特に学業優秀と認めた学生その他特別の必要があると認めた学生については，当該学部の定めるところにより，前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。
第 19 条　学生は，他学部の科目を履修することができる。ただし，この場合は，所属学部長を経て，当該学部長の許可を受けなければならない。
第 20 条　教育上有益と認めるときは，当該学部の定めるところにより，他の大学，専門職大学又は短期大学と協議のうえ，学生に，その科目を履修することを許可することがある。
2　教育上有益と認めるときは，当該学部の定めるところにより，外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この条において同じ。）又は短期大学と協議のうえ，学生に，休学することなく当該外国の大学又は短期大学に留学し，その科目を履修することを許可することがある。
3　教育上有益と認めるときは，当該学部の定めるところにより，学生に，外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することを許可することがある。
4　第２項に定めるもののほか，教育上有益と認めるときは，当該学部の定めるところにより，審査のうえ，学生に，休学し，又は休学することなく外国の大学又は短期大学に留学し，その科目を履修することを許可することがある。
5　前各項の規定により履修した科目について修得した単位は，当該学部の定めるところにより，60単位を超えない範囲で，本学における科目の履修により修得したものとみなすことができる。
第 21 条　教育上有益と認めるときは，当該学部の定めるところにより，学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を，本学における科目の履修とみなし，単位を与えることができる。

2　前項の規定により与えることができる単位数は，前条第 5 項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 22 条　教育上有益と認めるときは，当該学部の定めるところにより，学生が本学に入学する前に大学，専門職大学又は短期大学において履修した科目について修得した単位(大学設置基準(昭和 31 年文部省令第 28 号)第 31 条第 1 項又は第 2 項に定める科目等履修生又は特別の課程履修生として修得した単位を含む。)を，本学に入学した後の本学における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2　教育上有益と認めるときは，当該学部の定めるところにより，学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を，本学における科目の学修とみなし，単位を与えることができる。

3　前 2 項の規定により修得したものとみなし，又は与えることができる単位数は，編入学，転学等の場合を除き，本学において修得した単位以外のものについては，第 20 条第 5 項の規定により修得したものとみなす単位数及び前条第 1 項の規定により与えることができる単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

4　第 1 項に定めるもののうち，学生が本学の科目等履修生又は特別の課程履修生として修得した単位(大学，専門職大学又は短期大学の学生として修得した単位を除く。)を本学に入学した後に修得したものとみなすときは，その単位数，修得に要した期間その他当該学部が必要と認める事項を勘案して当該学部が認める期間は，第 18 条の修業年限に通算することができる。ただし，その期間は，当該修業年限の 2 分の 1 を超えることができない。

第 23 条　疾病その他の事由により，3 月以上修学を中止しようとするときは，所属学部長の許可を得て，休学することができる。

2　前項の規定にかかわらず，医学部及び薬学部が定める特別な課程を履修する医学部学生及び薬学部学生が，第 37 条第 3 項第 7 号の規定により，医学研究科及び薬学研究科に入学するときは，当該学部長の許可を得て，休学することができる。

3　疾病のため，修学が不適当と認められる者に対しては，学部長は，総長の許可を得て，休学を命ずることができる。

4　休学は，通算 4 年を超えることができない。ただし，第 2 項の規定により休学するときは，その期間を通算しない。

5　休学期間内に復学しようとするときは，その旨届け出なければならない。

6　休学期間は，在学年に算入しない。

第 24 条　学生が退学しようとするときは，その事由を申し出て，総長の許可を受けなければならない。

第 25 条　次の場合には，学部長の申請により教育研究評議会の議を経て，総長が除籍する。

(1) 疾病その他の事由により成業の見込みがない者

(2) 授業料納付の義務を怠る者

第 26 条　試験は，当該学部の定めるところにより行う。

第 27 条　卒業の要件は，学部所定の期間在学し，学部所定の卒業に必要な単位数を修得し，学士試験に合格することとする。

2　前項の規定による卒業に必要な単位のうち，第 17 条の 2 第 2 項に規定する授業の方法により修得する単位数は，60 単位を超えないものとする。

第 27 条の 2　学部においては，学生に対して，前条第 1 項の学士試験及び学修の成果に係る評価の基準をあらかじめ明示するものとする。

第 28 条　授業料は，年額を次の 2 期に分けて，所定の期日までに納めなければならない。ただし，第 2 期に係る授業料については，学生が申し出た場合，当該年度の第 1 期に係る授業料を納めるときに納めるも

のとする。
第1期　4月から9月まで　年額の2分の1に相当する額
第2期　10月から3月まで　年額の2分の1に相当する額
2　前項の規定にかかわらず，特別の事由がある者については，別に定める免除等規程による。
3　前2項に定めるもののほか，授業料の免除に関し必要な事項は，別に定める。
4　第1項本文の規定にかかわらず，国費外国人留学生は，授業料の納付を要しない。
5　受理した授業料は，返還しない。ただし，受理した授業料のうち，免除等規程第2条第1項，第3項，第4項又は第5項の規定により免除した授業料は，返還する。
第29条　休学中は，別に定める免除等規程により授業料を免除する。
第30条　停学を命ぜられた者は，その期間中であつても授業料を納付しなければならない。
第31条　学生は，別に定める学生票の交付を受け，常に携帯しなければならない。
第32条　学生の本分を守らない者があるときは，総長は懲戒する。
2　前項に規定する懲戒の必要がない学生についても，当該学生の所属する学部長が必要と認めたときは，当該学部長が，厳重注意その他の教育的措置を行うことができる。
3　懲戒に関し必要な事項は，別に定める。
第33条　懲戒の種類は，次のとおりとする。
(1) 譴責
(2) 停学
(3) 放学
第34条　停学3月以上にわたるときは，その期間は，在学年に算入しない。

第3章　大 学 院

第35条　本学大学院の研究科等及び専攻並びにその学生定員は，別表第2に掲げるとおりとする。
第35条の2　前条の研究科等においては，当該研究科等の定めるところにより，研究科等又は専攻ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め，公表するものとする。
第36条　研究科(総合生存学館，地球環境学舎及び経営管理教育部を含む。以下同じ。)に博士課程を置く。
2　博士課程の標準修業年限は，5 年とする。ただし，医学研究科医学専攻及び薬学研究科薬学専攻の博士課程の標準修業年限は，4年とする。
3　博士課程(前項ただし書の博士課程を除く。)は，前期2年の課程及び後期3年の課程に区分し，前期2年の課程は，これを修士課程として取り扱う。
4　文学研究科京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻及び経済学研究科京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻の博士課程は，前期２年の国際連携専攻（大学院設置基準（昭和４９年文部省令第２８号）第３５条第１項の規定による外国の大学院と連携して教育研究を実施するための専攻をいう。以下同じ。）の課程とし，医学研究科京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の博士課程は，国際連携専攻（大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第35条第1項の規定による外国の大学院と連携して教育研究を実施するための専攻をいう。以下同じ。）とし，それぞれ前期2年及び4年の国際連携専攻の課程とする。
5　医学研究科社会健康医学系専攻，地球環境学舎地球環境学専攻及び経営管理教育部経営科学専攻の博士課程は，後期3年の課程とする。
6　第3項の規定にかかわらず，薬学研究科創発医薬科学専攻，アジア・アフリカ地域研究研究科及び総合生存学館の博士課程は，課程の区分を設けない。

7　第3項の前期2年及び後期3年の課程並びに前項の課程は，それぞれ「修士課程」及び「博士後期課程」並びに「一貫制博士課程」という。

8　学生で，職業を有している等の事情により，標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを志望する者には，当該研究科の定めるところにより，その計画的な履修(第49条第5項，第50条第7項及び第53条の12第3項において「長期履修」という。)を許可することがある。

第36条の2　入学は，学年の初め1回とする。ただし，特別の必要があると認めるときは，当該研究科の定めるところにより，学期の初めにも入学させることができる。

2　前項に定めるもののほか，前条第4項に定める医学研究科京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の入学時期は，当該研究科の定めるところによる。

3　入学の手続は，当該研究科の定めるところによる。

第37条　修士課程及び一貫制博士課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する資格を有する者とする。

(1) 大学又は専門職大学を卒業した者

(2) 学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者

(3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

(5) 我が国において，外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この項において同じ。）の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて，文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

(7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 大学又は専門職大学に3年以上在学した者(学校教育法第102条第2項の規定により，これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であつて，本学において，所定の単位を優れた成績をもつて修得したものと認めた者

(10) 本学において，個別の入学資格審査により，大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，22歳に達したもの

2　博士後期課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する資格を有する者とする。

(1) 修士の学位又は修士(専門職)若しくは法務博士(専門職)の学位を有する者

(2) 外国において，本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者

(4) 我が国において，外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて，文部科学大臣が指

定するものの当該課程(本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程に限る。)を修了した者

(5) 国際連合大学(国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項の規定によるものをいう。次号において同じ。)の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者

(6) 外国の学校，第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者であつて，本学において，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(7) 文部科学大臣の指定した者

(8) 本学において，個別の入学資格審査により，第 1 号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの

3　医学研究科及び薬学研究科の博士課程(医学研究科医学専攻，医学研究科京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻及び薬学研究科薬学専攻の博士課程に限る。以下同じ。)に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する資格を有する者とする。

(1) 大学における医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程(修業年限が6年であるものに限る。)を修了した者

(2) 外国において，学校教育における18年の課程を修了した者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者

(4) 我が国において，外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて，文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

(5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において，修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 大学における医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程(修業年限が6年であるものに限る。)に4年以上在学した者(学校教育法第102条第2項の規定により，これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であつて，本学において，所定の単位を優れた成績をもつて修得したものと認めた者

(8) 本学において，個別の入学資格審査により，第 1 号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの

4　第1項第9号及び第10号並びに第2項第6号及び第8号並びに前項第7号及び第8号に該当する者の審査の実施等に関し必要な事項は，当該研究科の定めるところによる。

第38条　入学志望者に対しては，試験を行う。

2　試験は，当該研究科の定めるところによる。

第39条　次の各号の一に該当する者は，前条の規定にかかわらず，選考のうえ，入学を許可することがある。

(1) 第 37 条第 2 項各号の一に該当する資格を有する者が，一貫制博士課程（薬学研究科創発医薬科学専攻を除く。）における博士後期課程の第 1 年次に相当する年次に入学を志望するとき。

(2) 中途退学した者が，同一研究科に入学を志望するとき。

第 40 条　本学大学院の他研究科に転科(地球環境学舎及び経営管理教育部にあつては転部)を志望し，又は他の大学若しくは専門職大学の大学院から本学大学院に転学を志望する者は，欠員のある場合に限り，当該研究科の定めるところにより，許可することがある。

2　同一研究科内における転専攻については，当該研究科の定めるところによる。

第 41 条　除籍された者が再入学を願い出たときは，除籍された日から 3 年以内に限り，研究科長(総合生存学館長，地球環境学舎長及び経営管理教育部長を含む。以下同じ。)の申請により教育研究評議会の議を経て，総長が許可することがある。

第 42 条　入学志望者は，所定の期日までに，願書を研究科長あてに提出しなければならない。

第 42 条の 2　入学志望者は，願書に添えて検定料を納めなければならない。

2　前項の規定にかかわらず，国費外国人留学生及び実施要項第 4 条第 2 号の推薦による入学志望者は，検定料の納付を要しない。

3　前項に定めるもののほか，本学と外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）との間において相互の大学の学位を取得させることを目的として締結した大学間交流協定（相互に正規学生を受け入れるもので，その数並びに検定料，入学料及び授業料の相互不徴収並びに有効期間が記されているものに限る。以下同じ。）に基づき受け入れる外国の大学院の学生又は国際連携専攻に受け入れる当該連携して教育研究を実施する外国の大学院（以下「連携外国大学院」という。）の学生は，検定料の納付を要しない。

第 42 条の 3　入学に際しては，所定の入学手続期間内に入学料を納めなければならない。

2　前項の規定にかかわらず，国費外国人留学生及び実施要項第 4 条第 2 号又は第 4 号の推薦により，前項の期間までにその採用が決定している者は，入学料の納付を要しない。

3　前項に定めるもののほか，本学と外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）との間において相互の大学の学位を取得させることを目的として締結した大学間交流協定に基づき受け入れる外国の大学院の学生又は国際連携専攻に受け入れる連携外国大学院の学生は，入学料の納付を要しない。

第 42 条の 4　教育課程は，教育上の目的を達成するために必要な科目を開設するとともに研究指導の計画を策定して，体系的に編成するものとする。

2　教育課程の編成に当たつては，専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに，当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮するものとする。

3　国際連携専攻の教育課程の編成に当たつては，当該連携外国大学院が開設する科目を本学大学院の教育課程の一部とみなして当該連携外国大学院と連携した教育課程（以下「国際連携教育課程」という。）を編成し，又は当該連携外国大学院と共同して科目を開設することができる。

第 42 条の 5　科目の区分は，大学院共通科目及び研究科科目とする。

第 42 条の 6　授業は，講義，演習，実験，実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2　前項の授業は，文部科学大臣が別に定めるところにより，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3　第 1 項の授業は，外国において履修させることができる。前項の規定により，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても，同様とする。

4　第 1 項の授業の一部は，文部科学大臣が別に定めるところにより，校舎及び附属施設以外の場所で行う

ことができる。

第 43 条　科目，その授業及び研究指導は，当該研究科の定めるところによる。

2　前項の場合において，研究科は，学生に対して，授業及び研究指導の方法及び内容並びに年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

3　当該研究科において必要と認めたときは，学部若しくは他の研究科等(研究科又は公共政策教育部をいう。以下同じ。)の科目を履修させ，修士課程，博士後期課程，一貫制博士課程若しくは医学研究科及び薬学研究科の博士課程の単位とし，又は他の研究科において研究指導を受けさせ，修士課程，博士後期課程，一貫制博士課程若しくは医学研究科及び薬学研究科の博士課程の修了に必要な研究指導の一部とすることができる。

4　第 42 条の 4 第 3 項の規定による連携外国大学院が開設する国際連携教育課程に係る科目について修得した単位又は連携外国大学院において受けた国際連携教育課程に係る研究指導は，本学大学院における国際連携教育課程に係る科目の履修により修得し，又は当該国際連携教育課程に係るものとみなすものとする。

5　第 42 条の 4 第 3 項の規定による連携外国大学院と共同して開設する科目の履修により修得した単位は，5 単位を超えない範囲で，本学大学院又は当該連携外国大学院のいずれかにおいて修得したものとすることができる。ただし，第 49 条第 2 項の規定により連携外国大学院において修得することとしている単位数に満たない場合は，当該単位を連携外国大学院において修得した単位とすることはできない。

第 43 条の 2　授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため，組織的な研修及び研究を行うものとする。

第 43 条の 3　教育上有益と認めるときは，当該研究科の定めるところにより，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行うことができる。

第 44 条　学生は,他の研究科等の科目を履修し,又は他の研究科において研究指導を受けることができる。ただし，この場合所属の研究科及び当該他の研究科等の長の許可を受けなければならない。

2　前項の規定により履修した科目及びこれについて修得した単位並びに前項の規定により受けた研究指導の取扱いについては，当該研究科の定めるところによる。

第 45 条　教育上有益と認めるときは，当該研究科の定めるところにより，他の大学又は専門職大学と協議のうえ，学生に，当該他の大学又は専門職大学の大学院の科目を履修することを許可することがある。

2　教育上有益と認めるときは，当該研究科の定めるところにより，外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この条において同じ。）と協議のうえ，学生に，休学することなく当該外国の大学の大学院に留学し，その科目を履修することを許可することがある。

3　教育上有益と認めるときは，当該研究科の定めるところにより，学生に，外国の大学の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することを許可することがある。

4　第２項に定めるもののほか，教育上有益と認めるときは，当該研究科の定めるところにより，審査のうえ，学生に，休学し，又は休学することなく外国の大学の大学院に留学し，その科目を履修することを許可することがある。

5　前各項の規定により履修した科目について修得した単位は，当該研究科の定めるところにより，10 単位を超えない範囲で，本学大学院における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

第 46 条　学生で，他の大学若しくは専門職大学の大学院若しくは研究所等において研究指導を受け，又は休学することなく外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）の大学院若しくは研究所等に留学し，研究指導を受けることを志望するものには，それぞれ前条第 1 項又は第 2 項に定めるものと同様の要件及び手続により，これを許可することがある。ただし，修士課程及び一貫制博士課程の修士課程

に相当する年次の学生について許可する場合には，当該研究指導を受ける期間は，1 年を超えないものとする。

2　前項の規定により受けた研究指導は，当該研究科の定めるところにより，修士課程，博士後期課程，一貫制博士課程又は医学研究科及び薬学研究科の博士課程の修了に必要な研究指導の一部とすることができる。

第 46 条の 2　教育上有益と認めるときは，当該研究科の定めるところにより，学生が本学大学院に入学する前に大学院において履修した科目について修得した単位（大学院設置基準第 15 条において準用する大学設置基準第 31 条第 1 項に定める科目等履修生又は同条第 2 項に定める特別の課程履修生（履修資格を有する者が，学校教育法第 102 条第 1 項の規定により大学院に入学することができる者である特別の課程を，履修した者に限る。）として修得した単位を含む。）を，本学大学院に入学した後の本学大学院における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2　前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は，転学等の場合を除き，本学大学院において修得した単位以外のものについては，10 単位を超えないものとする。

第 47 条　疾病その他の事由により，3 月以上修学を中止しようとするときは，研究科長の許可を得て，休学することができる。

2　疾病のため，修学が不適当と認められる者に対しては，研究科長は，総長の許可を得て，休学を命ずることができる。

3　休学は，修士，博士後期の各課程，一貫制博士課程並びに医学研究科及び薬学研究科の博士課程において，それぞれ通算 3 年を超えることができない。ただし，特別の事情がある者に対し，一貫制博士課程においては，なお，2 年以内の，医学研究科及び薬学研究科の博士課程においては，なお，1 年以内の休学を許可することができる。

第 48 条　試験及び研究指導の認定方法は，当該研究科の定めるところによる。

第 49 条　修士課程の修了の要件は，同課程に 2 年以上在学して，研究指導を受け，専攻科目につき 30 単位以上を修得し，かつ，当該研究科の行う修士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし，在学期間については，当該研究科の定めるところにより，優れた研究業績を挙げた者について，同課程に 1 年以上の在学をもつて足りるものとすることができる。

2　前項に定めるもののほか，国際連携専攻の修士課程の修了の要件は，本学大学院において当該国際連携専攻の教育課程に係る科目の履修により 15 単位以上を修得し，かつ，当該連携外国大学院において国際連携教育課程に係るものとして開設する授業科目の履修により 10 単位以上を修得することとする。

3　前項の規定により本学大学院において修得する単位数には，第 43 条第 4 項の規定により当該国際連携教育課程に係る科目の履修により修得したものとみなす連携外国大学院が開設する国際連携教育課程に係る科目について修得した単位を含まないものとする。

4　第 2 項の規定により本学大学院又は連携外国大学院において修得する単位数には，第 45 条第 5 項の規定により本学大学院における科目の履修により修得したものとみなす他の大学若しくは専門職大学の大学院又は外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）の大学院における科目の履修により修得した単位及び第 46 条の 2 第 1 項の規定により本学大学院に入学した後の本学大学院における科目の履修により修得したものとみなす本学大学院に入学する前に大学院において履修した科目について修得した単位を含まないものとする。ただし，連携外国大学院に入学した学生が国際連携教育課程を履修するために本学大学院に入学する場合において，本学大学院に入学する前に当該連携外国大学院が開設する国際連携教育課程に係る科目について修得した単位のうち，第 46 条の 2 第 1 項の規定により本学大学院に入学した後の本学大学院における科目の履修により修得したものとみなす単位は，連携外国大学院にお

いて修得する単位数に含むことができる。

5　在学年限は，4年を超えることができない。長期履修の場合の在学年限についても同様とする。

第 50 条　博士後期課程の修了の要件は，同課程に 3 年(専門職大学院設置基準(平成 15 年文部科学省令第 16 号)第 18 条第 1 項の法科大学院の課程を修了した者にあつては,2 年)以上在学して,研究指導を受け，かつ，当該研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。

2　一貫制博士課程の修了の要件は，同課程に 5 年以上在学して専攻科目につき 30 単位以上修得し，研究指導を受け，かつ，当該研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。

3　前 2 項に規定するもののほか，当該研究科において必要と認めたときは，専攻科目につき当該研究科の定める単位の修得を博士後期課程又は一貫制博士課程の修了の要件に加えることができる。

4　医学研究科医学専攻及び薬学研究科薬学専攻の博士課程の修了の要件は，同課程に 4 年以上在学して専攻科目につき 30 単位以上修得し，研究指導を受け，かつ，当該研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。

5　前項に定めるもののほか，国際連携専攻の博士課程の修了の要件は，第 49 条第 2 項から第 4 項までの規定を準用する。この場合において，第 49 条第 2 項の規定中「修士課程」とあるのは「博士課程」と読み替える。

6　第 1 項，第 2 項及び第 4 項の在学期間については，当該研究科の定めるところにより，優れた研究業績を挙げた者について，それぞれ博士後期課程にあつては 1 年(修士課程又は専門職学位課程の修了の要件を満たした者で，大学院における在学期間が 2 年未満のものにあつては，その在学期間を含めて 3 年)以上の，一貫制博士課程にあつては 3 年(第 39 条第 1 号に該当して入学した者で，修士課程又は専門職学位課程の修了の要件を満たした者にあつては,大学院における2年以内の在学期間を含めて3年)以上の，医学研究科及び薬学研究科の博士課程にあつては 3 年以上の在学をもつて足りるものとすることができる。

7　在学年限は，博士後期課程及び医学研究科京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻においては 6 年を，一貫制博士課程においては 10 年を，医学研究科医学専攻及び薬学研究科の博士課程においては 8 年を超えることができない。長期履修の場合の在学年限についても同様とする。

第 50 条の 2　研究科においては，学生に対して，第 49 条第 1 項並びに前条第 1 項，第 2 項及び第 4 項の論文の審査及び試験に係る評価の基準をあらかじめ明示するものとする。

第 51 条　授業料は，年額を次の 2 期に分けて，所定の期日に納めなければならない。

第 1 期　4 月から 9 月まで　年額の 2 分の 1 に相当する額

第 2 期　10 月から 3 月まで　年額の 2 分の 1 に相当する額

2　前項の規定にかかわらず，本学と外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）との間において相互の大学の学位を取得させることを目的として締結した大学間交流協定に基づき受け入れる外国の大学院の学生又は国際連携専攻に受け入れる連携外国大学院の学生は，授業料の納付を要しない。

第 52 条　休学中は，別に定める免除等規程により授業料を免除する。

第 53 条　第 10 条第 3 項，第 11 条，第 12 条第 2 項ないし第 4 項及び第 7 項本文，第 13 条，第 17 条，第 23 条第 5 項及び第 6 項ないし第 25 条，第 28 条第 1 項ただし書及び第 2 項ないし第 4 項，第 30 条ないし第 34 条の規定は，大学院学生の場合に準用する。この場合において，第 25 条及び第 32 条第 2 項中「学部長」とあるのは「研究科長」と読み替えるものとする。

第 3 章の 2　専門職大学院

第 53 条の 2　第 36 条に定めるもののほか，法学研究科，医学研究科，公共政策教育部及び経営管理教育部に専門職学位課程を置き，これを専門職大学院とする。
2　前項の専門職大学院は，法学研究科の専門職学位課程に関し，これを法科大学院とする。
3　専門職学位課程(法科大学院の課程を除く。)の標準修業年限は，2 年とする。ただし，教育上の必要があると認めるときは，医学研究科又は経営管理教育部の定めるところにより，1 年以上 2 年未満の期間とすることができる。
4　法科大学院の課程の標準修業年限は，3 年とする。
5　専門職大学院である法学研究科，医学研究科，公共政策教育部及び経営管理教育部の専攻及びその学生定員は，別表第 2 に掲げるとおりとする。
6　前項の研究科及び教育部においては，当該研究科又は教育部の定めるところにより，研究科若しくは教育部又は専攻ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め，公表するものとする。
第 53 条の 3　専門職学位課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する資格を有する者とする。
(1) 大学又は専門職大学を卒業した者
(2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
(3) 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
(5) 我が国において，外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この項において同じ。）の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて，文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
(7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
(8) 文部科学大臣の指定した者
(9) 大学又は専門職大学に 3 年以上在学した者(学校教育法第 102 条第 2 項の規定により，これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であつて，本学において，所定の単位を優れた成績をもつて修得したものと認めたもの（当該単位の修得の状況及び法科大学院が当該法科大学院において必要とされる法学の基礎的な学識を有するかどうかを判定するために実施する試験の結果に基づき，これと同等以上の能力及び資質を有すると認めたものを含む。）
(10) 本学において，個別の入学資格審査により，大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，22 歳に達したもの
2　前項第 9 号及び第 10 号に該当する者の審査の実施等に関し必要な事項は，当該法学研究科，医学研究科，公共政策教育部又は経営管理教育部(以下第 53 条の 15 までにおいて「研究科又は教育部」という。)の定めるところによる。
第 53 条の 4　教育課程は，教育上の目的を達成するために専攻分野に応じ必要な科目を開設して，体系的

に編成するものとする。

第 53 条の 4 の 2　科目の区分は，大学院共通科目及び専門職大学院科目とする。

第 53 条の 4 の 3　授業は，講義，演習，実験，実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2　専門職大学院においては，その目的を達成し得る実践的な教育を行うよう専攻分野に応じ事例研究，現地調査又は双方向若しくは多方向に行われる討論若しくは質疑応答その他の適切な方法により授業を行うなど適切に配慮しなければならない。

3　第 1 項の授業は，文部科学大臣が別に定めるところにより，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

4　前項の規定により多様なメディアを高度に利用して授業を行う教室等以外の場所で履修させることは，これによって十分な教育効果が得られる専攻分野に関して，当該効果が認められる授業について，行うことができるものとする。

5　第 1 項の授業は，外国において履修させることができる。前項の規定により，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても，同様とする。

6　第 1 項の授業の一部は，文部科学大臣が別に定めるところにより，校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

第 53 条の 5　科目及び授業は，当該研究科又は教育部の定めるところによる。

2　前項の場合において，研究科又は教育部は，学生に対して，授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

3　当該研究科又は教育部において必要と認めたときは，学部又は他の研究科等の科目を履修させ，専門職学位課程の単位とすることができる。

第 53 条の 6　学生が各年次にわたつて適切に授業科目を履修するため，当該研究科又は教育部の定めるところにより，学生が 1 年間又は 1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるものとする。

2　当該研究科又は教育部において必要と認めるときは，学生が各年次において履修し，修得すべき授業科目，単位数その他上位の年次に進級させる基準並びに同一年次において在学することができる年限を定めることができる。

第 53 条の 7　学生は，他の研究科等の科目を履修することができる。ただし，この場合所属の研究科又は教育部及び当該他の研究科等の長の許可を受けなければならない。

2　前項の規定により履修した科目及びこれについて修得した単位の取扱いについては，当該研究科又は教育部の定めるところによる。

第 53 条の 8　教育上有益と認めるときは，当該研究科又は教育部の定めるところにより，他の大学又は専門職大学と協議のうえ，学生に，当該他の大学又は専門職大学の大学院の科目を履修することを許可することがある。

2　教育上有益と認めるときは，当該研究科又は教育部の定めるところにより，外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この条において同じ。）と協議のうえ，学生に，休学することなく当該外国の大学の大学院に留学し，その科目を履修することを許可することがある。

3　前項に定めるもののほか，教育上有益と認めるときは，当該研究科又は教育部の定めるところにより，審査のうえ，学生に，休学し，又は休学することなく外国の大学の大学院に留学し，その科目を履修することを許可することがある。

4　前 3 項の規定により履修した科目について修得した単位は，当該研究科又は教育部の定めるところによ

り，医学研究科，公共政策教育部又は経営管理教育部にあつてはその修了要件として定める単位数の 2 分の 1 を超えない範囲で，法学研究科にあつては 30 単位を超えない範囲で，当該専門職大学院又は法科大学院(以下「専門職大学院等」という。)における科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし，法学研究科において，93 単位を超える単位の修得を修了の要件とする場合は，その超える部分の単位数に限り 30 単位を超えてみなすことができる。

第 53 条の 9　教育上有益と認めるときは，当該研究科又は教育部の定めるところにより，学生が当該専門職大学院等に入学する前に大学院又は専門職大学院において履修した科目について修得した単位(大学院設置基準第 15 条において準用する大学設置基準第 31 条第 1 項に定める科目等履修生又は同条第 2 項，専門職大学院設置基準第 13 条の 2 第 1 項若しくは同基準第 21 条の 2 第 1 項に定める特別の課程履修生として修得した単位を含む。)を，当該専門職大学院等に入学した後の当該専門職大学院等における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2　前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は，転学等の場合を除き，当該専門職大学院等において修得した単位以外のものについては，前条第 4 項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて，医学研究科，公共政策教育部又は経営管理教育部にあつてはその修了要件として定める単位数の 2 分の 1 を超えないものとし，法学研究科にあつては 30 単位(前条第 4 項ただし書の規定により 30 単位を超えてみなす単位を除く。)を超えないものとする。ただし，専門職大学院設置基準第 20 条の 7 第 6 号にいう認定連携法曹基礎課程（以下「認定連携法曹基礎課程」という。）を修了して法科大学院に入学した者又はこれらの者と同等の学識を有すると当該法科大学院が認める者がその入学前に当該法科大学院以外の専門職大学院設置基準第 20 条の 7 第 6 号にいう認定連携法科大学院において履修した授業科目について修得した単位については，前条第 4 項の規定により当該法科大学院において修得したものとみなす単位数と合わせて 46 単位（同条第 4 項ただし書の規定により 30 単位を超えてみなす単位を除く。）を超えない範囲で修得したものとみなすことができるものとする。

第 53 条の 10　休学は，通算 3 年を超えることができない。

第 53 条の 11　試験は，当該研究科又は教育部の定めるところによる。

第 53 条の 12　専門職学位課程(法科大学院の課程を除く。)の修了の要件は，同課程に 2 年(第 53 条の 2 第 3 項ただし書の規定により標準修業年限を 1 年以上 2 年未満の期間とする場合にあつては，当該期間)以上在学し，専攻科目につき医学研究科，公共政策教育部又は経営管理教育部が定める 30 単位以上の修得その他の教育課程の履修により課程を修了することとする。この場合において，単位の修得以外の教育課程の履修を課すときは，当該履修の方法及びその学修の成果に係る評価の基準をあらかじめ学生に対し明示するものとする。

2　法科大学院の課程の修了の要件は，同課程に 3 年以上在学し，法学研究科が定める 93 単位以上を修得することとする。

3　在学年限は，4年(法科大学院にあつては6年)を超えることができない。長期履修の場合の在学年限についても同様とする。ただし，第53条の6第2項の規定により当該研究科又は教育部において同一年次に在学する年限を定めるときは，当該年限を超えることができない。

第 53 条の 13　第 53 条の 9 第 1 項の規定により当該専門職大学院等に入学する前に修得した単位(学校教育法第 102 条第 1 項の規定により入学資格を有した後，修得したものに限る。)を当該専門職大学院等において修得したものとみなす場合であつて当該単位の修得により当該専門職大学院等の教育課程の一部を履修したと認めるときは，その単位数，修得に要した期間その他当該研究科又は教育部が必要と認める事項を勘案して当該研究科又は教育部が認める期間は，1 年を超えない範囲で，当該専門職大学院等の課程に在学したものとみなすことができる。ただし，第 53 条の 2 第 3 項ただし書の規定により 1 年以上 2 年

未満の期間を標準修業年限とする場合において，当該専門職大学院の課程に在学したものとみなすことができる期間は，当該1年以上2年未満の期間から1年を減じた期間を超えることができない。

第53条の14　第53条の12第2項に定めるもののうち，法学研究科の定めるところにより，当該法科大学院において必要とされる法学の基礎的な学識を有すると認める者(以下本条において「法学既修者」という。)に関しては，在学期間については1年を超えない範囲で当該法科大学院の課程に在学し，単位（法学研究科が定める必修科目の単位を含む。）については 30 単位を超えない範囲で当該法科大学院が認める単位を修得したものとみなすことができる。ただし，法学研究科において，93 単位を超える単位の修得を修了の要件とする場合は，その超える部分の単位数に限り 30 単位を超えてみなすことができる。

2　前項の規定により法学既修者について在学したものとみなすことのできる期間は，前条の規定により在学したものとみなす期間と合わせて1年を超えないものとする。

3　第 1 項の規定により法学既修者について修得したものとみなすことのできる単位数(第 1 項ただし書の規定により 30 単位を超えてみなす単位を除く。)は，第 53 条の 8 第 4 項及び第 53 条の 9 第 1 項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて 30 単位(第 53 条の 8 第 4 項ただし書の規定により 30 単位を超えてみなす単位を除く。)を超えないものとする。

4　認定連携法曹基礎課程を修了して法科大学院に入学した者又はこれらの者と同等の学識を有すると当該法科大学院が認める者に関する第 1 項及び前項の規定の適用については，第 1 項中「30 単位」とあるのは「46 単位」と，前項中「第 1 項ただし書の規定により 30 単位」とあるのは「第 1 項ただし書の規定により 46 単位」と，「合わせて 30 単位」とあるのは 「合わせて 46 単位」とする。

第53条の15　第10条第3項，第11条，第12条第2項ないし第4項及び第7項本文，第13条，第17条，第18条の2，第23条第5項及び第6項ないし第25条，第28条第1項ただし書及び第2項ないし第4項，第30条ないし第34条，第36条第8項，第36条の2，第38条，第39条(第2号の場合に限る。)，第40条ないし第42条の3，第47条第1項及び第2項，第51条及び第52条の規定は，専門職大学院等学生の場合に準用する(法科大学院にあつては，第42条の2第3項，第42条の3第3項及び第51条第2項を除く。)。この場合において，第25条及び第32条第2項中「学部長」とあるのは「法学研究科長，医学研究科長，公共政策教育部長又は経営管理教育部長」と，第36条第8項，第36条の2，第38条第2項及び第39条(第2号の場合に限る。)中「研究科」とあるのは「研究科又は教育部」と，第40条第1項中「研究科に転科(地球環境学舎及び経営管理教育部にあつては転部)」とあるのは「研究科又は教育部に，それぞれ，転科若しくは転部」と，「当該研究科」とあるのは「当該研究科又は教育部」と，同条第2項中「研究科」とあるのは「研究科又は教育部」と，第41条中「研究科長(総合生存学館長，地球環境学舎長及び経営管理教育部長を含む。以下同じ。)」とあるのは「法学研究科長，医学研究科長，公共政策教育部長又は経営管理教育部長」と，第42条並びに第47条第1項及び第2項中「研究科長」とあるのは「法学研究科長，医学研究科長，公共政策教育部長又は経営管理教育部長」と読み替えるものとする。

第4章　学　　位

第 54 条　学士試験に合格した者には，学士の学位を授与する。

第 55 条　修士課程を修了した者には，修士の学位を授与する。

2　前項に規定するもののほか，一貫制博士課程において，第 49 条第 1 項に規定する修士課程の修了に相当する要件を満たした者にも，修士の学位を授与することができる。

第 55 条の 2　専門職学位課程(法科大学院の課程を除く。)を修了した者には，修士(専門職)の学位を授与する。

2　法科大学院の課程を修了した者には，法務博士(専門職)の学位を授与する。

第 56 条　博士後期課程を修了した者，一貫制博士課程を修了した者並びに医学研究科及び薬学研究科の博士課程を修了した者には，博士の学位を授与する。

第 57 条　前条に規定するもののほか，別に定めるところにより博士の学位の授与を申請して，博士論文の審査及び試験に合格し，かつ，学識の確認を経た者にも，前条と同様の学位を授与する。

第 58 条　この章に定めるもののほか，学位の授与に関し必要な事項は，別に定める。

第 5 章　外国学生，委託生，科目等履修生，聴講生，特別聴講学生，特別研究学生，特別交流学生等

第 59 条　外国人で第 5 条及び第 37 条によらないで学部又は大学院に入学しようとする者には，当該学部又は研究科等の定めるところにより，外国学生として入学を許可することがある。

2　外国学生で学部又は大学院の課程を修了した者には，当該学部又は研究科等の定めるところにより学位を授与する。

第 60 条　公の機関又は団体等から，その所属の職員につき，学修科目を定め，学部又は大学院に入学を願い出たときは，当該学部又は研究科等の定めるところにより，委託生として入学を許可することがある。

2　委託生で所定の科目につき試験に合格した者には，当該学部又は研究科等の定めるところにより，修了証書を授与する。

第 61 条　本学の学生以外の者で学部又は大学院において，1 又は複数の科目の履修を志望する者には，当該学部又は研究科等の定めるところにより科目等履修生として入学を許可することがある。

2　科目等履修生で履修した科目につき，当該学部又は研究科等の定めるところにより試験のうえ，単位を与えることができる。

第 62 条　特定の科目を定め，学部又は大学院において，聴講を志望する者には，当該学部又は研究科等の定めるところにより聴講生として入学を許可することがある。

2　聴講生で聴講した科目につき，本人の希望があるときは，証明書を交付する。

第 63 条　他の大学，専門職大学若しくは外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この条において同じ。）の学生又は他の大学，専門職大学若しくは外国の大学の大学院の学生で，大学間の協議に基づき，特定の科目を定め，それぞれ，学部又は大学院において聴講を志望する者には，当該学部又は研究科等の定めるところにより，特別聴講学生として入学を許可することがある。

2　他の大学，専門職大学又は外国の大学の大学院の学生で，大学間の協議に基づき，大学院において研究指導を受けることを志望する者には，当該研究科の定めるところにより，特別研究学生として入学を許可することがある。

3　「大学院教育における大学間学生交流に関する協定書」（平成 19 年 12 月 25 日発効）に基づき，大学院において研究指導を受け，又は聴講を志望する者には，当該研究科の定めるところにより，特別交流学生として入学を許可することがある。

4　特別聴講学生又は特別交流学生として聴講した科目については，試験のうえ，単位を与える。

第 63 条の 2　第 61 条，第 62 条並びに前条第 1 項及び第 4 項（特別聴講学生に限る。）の規定は，国際高等教育院の場合に準用する。この場合において，第 61 条第 1 項，第 62 条第 1 項及び前条第 1 項中「学部又は大学院」とあるのは「国際高等教育院」と，第 61 条第 1 項及び第 2 項，第 62 条第 1 項並びに前条第 1 項中「当該学部又は研究科等」とあるのは「国際高等教育院」と読み替えるものとする。

第 63 条の 3　第 61 条の規定は，大学院教育支援機構の場合に準用する。この場合において，第 61 条第 1 項中「学部又は大学院」とあるのは「大学院教育支援機構」と，第 61 条第 1 項及び第 2 項中「当該学部又は研究科等」とあるのは「大学院教育支援機構」と読み替えるものとする。

第 64 条　委託生，科目等履修生又は聴講生として入学を志望する者は，願書に添えて検定料を納めなけれ

ばならない。

2　委託生，科目等履修生又は聴講生として入学する者は，入学に際して，所定の期日までに入学料を納めなければならない。特別聴講学生，特別研究学生又は特別交流学生として入学する者は，入学料の納付を要しない。

3　委託生，科目等履修生，聴講生及び特別聴講学生の授業料は，履修又は聴講科目の単位数に応じて，特別研究学生の授業料は，研究指導を受ける期間の月数に応じて，それぞれ所定の期日までに納めなければならない。ただし，特別交流学生並びに次の各号に掲げる特別聴講学生及び特別研究学生は，授業料の納付を要しない。

(1) 国立大学(国立大学法人法(平成 15 年法律第 112 号)に基づき設置される大学で，当該大学との間における学生の交流協定又は協議に基づき授業料の相互不徴収が確認できるものに限る。)の学生又は大学院の学生

(2) 本学と公立又は私立の大学又は専門職大学との間において締結した大学間相互単位互換協定(相互に授業科目を履修し，単位を修得することを認めるもので，授業料の相互不徴収及び有効期間が記されているものに限る。)に基づき受け入れる公立又は私立の大学又は専門職大学の学生

(3) 本学と公立又は私立の大学又は専門職大学との間において締結した大学間特別研究学生交流協定(相互に研究指導を受けることを認めるもので，授業料の相互不徴収及び有効期間が記されているものに限る。)に基づき受け入れる公立又は私立の大学又は専門職大学の大学院の学生

(4) 本学と外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この号において同じ。）との間において締結した大学間交流協定(学部若しくは研究科間の協定又は協定に準じるものを含み，相互に学生を受け入れるもので，その数，授業料の相互不徴収及び有効期間が記されているものに限る。)に基づき受け入れる外国の大学の学生

4　前 3 項の規定にかかわらず，科目等履修生又は聴講生として入学を志望し，又は入学する国費外国人留学生は，検定料，入学料及び授業料の納付を，Kyoto University International Undergraduate Program における予備教育科目を履修するために国際高等教育院の聴講生として入学する者は，入学料及び授業料の納付を要しない。

5　受理した検定料，入学料及び授業料は，返還しない。

6　入学料又は授業料を納めないときは，入学又は聴講若しくは研究指導を受けることを許可しない。

第 65 条　第 4 条，第 6 条，第 8 条，第 9 条，第 10 条第 1 項及び第 3 項，第 11 条，第 12 条第 1 項ないし第 5 項及び第 7 項，第 13 条，第 14 条，第 18 条ないし第 26 条，第 28 条第 1 項，第 2 項及び第 4 項，第 29 条ないし第 34 条の規定は，学部の外国学生に準用する。

2　第 10 条第 1 項及び第 3 項，第 11 条，第 12 条第 1 項ないし第 4 項及び第 7 項本文，第 13 条，第 23 条第 5 項及び第 6 項ないし第 25 条，第 28 条第 1 項ただし書，第 2 項及び第 4 項，第 30 条ないし第 34 条，第 36 条第 8 項，第 36 条の 2，第 38 条，第 40 条ないし第 42 条，第 42 条の 4 ないし第 50 条の 2，第 51 条第 1 項，第 52 条，第 53 条後段，第 55 条，第 56 条の規定は，大学院の外国学生に準用する。

3　第 11 条，第 19 条，第 24 条ないし第 26 条，第 30 条ないし第 33 条の規定は，学部の委託生，科目等履修生及び聴講生に準用する。

4　第 11 条，第 19 条，第 24 条ないし第 26 条，第 30 条ないし第 33 条，第 40 条，第 41 条，第 44 条第 1 項，第 48 条，第 53 条後段の規定は，大学院の委託生，科目等履修生及び聴講生に準用する。

5　第 24 条，第 26 条，第 30 条ないし第 33 条の規定は，学部の特別聴講学生に準用する。

6　第 24 条，第 30 条ないし第 33 条，第 48 条の規定は，大学院の特別聴講学生及び特別研究学生に準用する。

7　第 24 条，第 31 条ないし第 33 条，第 48 条の規定は，特別交流学生に準用する。

8　第 11 条，第 19 条，第 24 条ないし第 26 条，第 30 条ないし第 33 条の規定は国際高等教育院の科目等履修生及び聴講生に，第 24 条，第 26 条，第 30 条ないし第 33 条の規定は国際高等教育院の特別聴講学生に準用する。この場合において，第 19 条中「所属学部長」とあるのは「国際高等教育院長」と，第 25 条中「学部長」とあるのは「国際高等教育院長」と，第 26 条中「当該学部」とあるのは「国際高等教育院」と読み替えるものとする。

9　第 11 条，第 24 条，第 25 条，第 30 条ないし第 33 条，第 44 条第 1 項，第 48 条の規定は大学院教育支援機構の科目等履修生に準用する。この場合において，第 25 条中「学部長」とあるのは「大学院教育支援機構長」と，第 44 条第 1 項中「他の研究科等の科目を履修し，又は他の研究科において研究指導を受ける」とあるのは「他の研究科等の科目を履修する」と，「所属の研究科」とあるのは「大学院教育支援機構」と，第 48 条中「試験及び研究指導」とあるのは「試験」と，「当該研究科」とあるのは「大学院教育支援機構」と読み替えるものとする。

第 66 条　この章及び別に定めるもののほか，特定の学部又は研究科等において特定の方法により学修を志望する者については，当該学部又は研究科等の定めるところによる。

第 5 章の 2　特別の課程

第 66 条の 2　本学の学生以外の者を対象とした学校教育法第 105 条に規定する特別の課程として，履修証明プログラムを編成することができる。

2　前項に定めるもののほか，履修証明プログラムに関し必要な事項は，総長が別に定める。

第 6 章　授業料等の額

第 67 条　第 10 条第 1 項及び第 42 条の 2 第 1 項の検定料並びに第 12 条第 1 項及び第 42 条の 3 第 1 項の入学料の額並びに第 28 条第 1 項及び第 51 条第 1 項の授業料の年額並びに第 64 条第 1 項の検定料，同条第 2 項の入学料及び同条第 3 項の授業料の額は，それぞれ学納金規程の定めるところによる。

附　則　（略）

別　表　（略）

2．京 都 大 学 文 学 部 規 程

昭和 24 年 12 月 19 日制定

第1　学　　科

第 1 条　本学部の学科は，次に掲げるとおりとする。

人文学科

第2　入　　学

第 2 条　入学者の選抜方法は，教授会で定める。

第 3 条　入学候補者の決定は，教授会で行う。

第3　修　　学

第 4 条　授業は，学部科目及び全学共通科目を必修科目及び選択科目に分けて行う。

第 5 条　学部科目及び全学共通科目の単位数，配当及び授業時間数は，別に定めるところによる。

第 5 条の 2　1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限に関する事項は，別に定める。

第 6 条　京都大学通則(昭和 28 年達示第 3 号。以下「通則」という。)第 19 条の規定により他学部の科目を履修しようとする者は，学年の初め又は学期の初めに学部長に願い出て，当該学部の学部長の許可を受けるものとする。

第 7 条　通則第 20 条第 1 項の規定により他の大学の科目を履修しようとする者には，教育上有益と認めるときは，教授会の議を経て，許可することがある。

第 8 条　通則第 20 条第 2 項又は第 4 項の規定により外国の大学に留学し，その科目を履修しようとする者には，教育上有益と認めるときは，教授会の議を経て，許可することがある。

第 9 条　修学期間は，4 年とする。

2　前項の規定にかかわらず，第 3 年次に入学した者の修学期間は，2 年とする。

第4　試　　験

第 10 条　試験は，科目試験及び論文試験とする。

2　科目試験は，受験の申出をした者に対して行う。

3　論文試験は，所定の科目試験に合格した者に対して行う。ただし，論文題目は，専攻科目の範囲内に限る。

第 11 条　前条の論文は，教授会の指定した教員が審査する。

第 12 条　試験実施の期日その他については，あらかじめ告知する。

第5　学士の学位授与

第 13 条　4 年以上在学し，学部の定めるところにより，144 単位以上を修得した者は，学士試験に合格した者とし，通則第 54 条に定める学士の学位を授与する。

2　次の各号に掲げる単位数は，教授会の議を経て，前項の単位数に含めることがある。

（1）　第 6 条，第 7 条及び第 8 条の規定により他学部並びに他の大学及び外国の大学において履修し修得した単位数

（2）　通則第 21 条第 1 項の規定により文部科学大臣が別に定める学修により履修し修得した単位数

（3）　通則第 22 条第 1 項の規定により本学に入学する前に大学又は短期大学において履修し修得した単位数（大学設置基準(昭和 31 年文部省令第 28 号)第 31 条に定める科目等履修生として修得した単位数を含む。）

（4）　通則第 22 条第 2 項の規定により本学に入学する前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修により履修し修得した単位数

3　第 15 条の規定により本学他学部又は他大学から本学部に転学した場合における転学前に履修し修得した単位数は，教授会の議を経て，第 1 項の単位数に含めることがある。

4　第 1 項の規定にかかわらず，第 3 年次に入学した者の学士の学位授与に必要な単位数は，別に教授会で定める。

第 6　在　　学

第 14 条　在学は，7 年を超えることができない。

2　前項の規定にかかわらず，第 3 年次に入学した者の在学は，4 年を超えることができない。

第 7　転　　学

第 15 条　本学他学部学生若しくは他大学の学生で本学部に転学を志望する者又は本学部学生で他学部に転学を志望する者があるときは，教授会の議を経て，許可することがある。

第 8　科目等履修生，聴講生及び特別聴講学生

第 16 条　通則第 61 条第 1 項の規定により科目等履修生として入学を志望する者には，教授会の議を経て，入学を許可することがある。

第 17 条　特定の科目につき聴講を志望する者があるときは，教授会の議を経て，聴講生として入学を許可することがある。

2　聴講生の取扱いその他については，別に定める。

第 18 条　通則第 63 条第 1 項の規定により特別聴講学生として入学を志望する者には，教授会の議を経て，入学を許可することがある。

附則（中略）

附則

この規程は，平成 16 年 7 月 30 日から施行し，平成 16 年 4 月 1 日から適用する。

附則

この規程は，平成 25 年 12 月 19 日から施行し，平成 25 年 12 月 1 日から適用する。

附則

1　この規程は，平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

2　改正後の第 13 条第 1 項の規定は，この規程施行の日以後に入学した者から適用し，同日前に入学した者については，なお従前の例による。

附則

1　この規程は，令和2年4月1日から施行する。

2　改正後の第13条第1項の規定は，この規程施行の日以後に入学した者から適用し，同日前に入学した者については，なお従前の例による。

3．京都大学大学院文学研究科規程

昭和 28 年 4 月 7 日制定

第 1　専　　攻

第 1 条　本研究科の専攻は，次に掲げるとおりとする。

文献文化学専攻
思想文化学専攻
歴史文化学専攻
行動文化学専攻
現代文化学専攻
京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻

第 2　入　　学

第 2 条　入学手続及び入学者選抜方法は，文学研究科教授会(以下「研究科教授会」という。)で定める。

2　京都大学通則(以下「通則」という。)第 36 条の 2 第 1 項ただし書の規定による入学に関する事項は，研究科教授会で定める。

第 3 条　入学候補者の決定は，研究科教授会で行う。

第 3　転学，転科及び転専攻

第 4 条　通則第 40 条第 1 項の規定により本研究科に転学又は転科を志望する者には，欠員のある場合に限り，研究科教授会の議を経て，許可することがある。

2　本研究科学生で転専攻を志望する者には，各専攻の学生定員を考慮し，研究科教授会の議を経て，許可することがある。

第 4　授業，研究指導及び学修方法

第 5 条　科目，その単位数，授業時間数及び研究指導に関する事項は，研究科教授会で定める。

第 6 条　各学生につき，指導教員を定める。

2　学生は，学修につき，指導教員の指導を受けなければならない。

第 7 条　通則第 44 条第 1 項の規定により他の研究科等の科目を学修し，又は他の研究科において研究指導を受けようとする者は，指導教員の承認を得て，学年の初めに願い出なければならない。ただし，特別の事情があるときは，別の時期に願い出ることを認めることがある。

第 8 条　通則第 45 条第 1 項，第 2 項又は第 4 項の規定により他の大学の大学院の科目を学修し，又は外国の大学の大学院に留学し，その科目を学修しようとする者には，教育上有益と認めるときは，研究科教授会の議を経て，許可することがある。

2　通則第 46 条第 1 項の規定により他の大学の大学院若しくは研究所等において研究指導を受け，又は休学することなく外国の大学の大学院若しくは研究所等に留学し，研究指導を受けようとする者には，前項と同様の要件及び手続により，許可することがある。

3　前 2 項の規定による許可の願い出については，前条の規定を準用する。

第 9 条　次の各号に掲げる科目，単位数，研究指導及び在学年数の一部又は全部は，研究科教授会の議を経て，

それぞれ修士課程又は博士後期課程の修了に必要な科目，単位数，研究指導又は在学年数の一部として認定することができる。

（1）転学，転科又は転専攻前に，本学又は他の大学の大学院で学修した科目及びその単位数，受けた研究指導並びに在学年数

（2）前2条の規定により学修した科目及びその単位数並びに受けた研究指導

（3） 通則第46条の2第1項の規定により本研究科に入学する前に大学院において履修した科目について修得した単位数 （大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第15条において準用する大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条に定める科目等履修生として修得した単位数を含む。）

第 5　試　　験

第10条　科目の試験は，学年の終わりに行う。ただし，特別の事情があるときは，その時期を変更することがある。

2　試験を受けようとする者は，受験科目を届け出なければならない。

3　前項の届出期日は，あらかじめ告知する。

第 6　論文審査，課程修了の認定等

第11条　修士論文及び博士論文の審査及び試験は，京都大学学位規程の定めるところにより，修士論文にあつては研究科教授会，博士論文にあつては研究科会議（以下「研究科教授会等」という。）で行う。

第12条　修士論文及び博士論文の提出の時期及び要件並びに試験実施の時期及び方法は，研究科教授会等で定める。

第13条　修士課程及び博士後期課程の修了の認定は，研究科教授会等で行う。

第14条　通則第57条の規定により学位の授与を申請した者の博士論文の審査及び試験は，博士後期課程における論文の審査及び試験と同一の手続による。

第15条　前条に規定する者の学識の確認は，筆答試問及び口頭試問により行う。ただし，研究科会議の議を経て，他の方法によることができる。

2　前項の学識の確認については，専攻学術に関し，博士後期課程を修了した者と同等以上の学識を有することが確認されなければならない。

第16条　本研究科の博士後期課程に所定の年限在学し，必要な研究指導を受けて退学した者が，通則第57条の規定により学位の授与を申請したときは，研究科会議の議を経て，その者に係る前条の学識確認のための試問を免除することができる。

第 7　外国学生，委託生，科目等履修生，聴講生，特別聴講学生，特別研究学生及び特別交流学生

第17条　外国学生，委託生，科目等履修生又は聴講生として入学を志望する者には，選考のうえ，研究科教授会の議を経て，許可することがある。

第18条　通則第63条第1項，第2項又は第3項の規定により特別聴講学生，特別研究学生又は特別交流学生として入学を志望する者には，研究科教授会の議を経て，許可することがある。

附　　則

この規程は，平成29年10月1日から施行する。

４．系及び専修に関する内規

昭和 35 年 5 月 9 日制定
平成 16 年 12 月 16 日改正
平成 25 年 2 月 18 日改正
平成 29 年 4 月 29 日改正
令和 5 年 1 月 19 日改正

１．　平成 24 年度から平成 27 年度の入学者【平成 30 年度以降専修分属降該当者なしのため、記載省略】

２．　平成 28 年度以降の入学者

１）　1 年次の 10 月に志望する系の届出を必ずしなければならない。
２）　志望する系の届出期日は毎年 9 月下旬に掲示する。
３）　2 年次の 10 月に志望する専修の届出を必ずしなければならない。
４）　志望する専修の届出期日は毎年 9 月下旬に掲示する。
５）　各系及び専修は次表のとおりであり，各専修の収容人員は同表を基準として決定する。なお，この内規でいう収容人員とは，1 学年あたりの受入可能数である。

哲学基礎文化学系	
哲学専修	10 名
西洋哲学史専修	20 名
日本哲学史専修	10 名
倫理学専修	10 名
宗教学専修	10 名
キリスト教学専修	10 名
美学美術史学専修	20 名
東洋文化学系	
国語学国文学専修	20 名
中国語学中国文学専修	20 名
中国哲学史専修	10 名
インド古典学専修	20 名
仏教学専修	10 名
西洋文化学系	
西洋古典学専修	10 名
スラブ語学スラブ文学専修	5 名
ドイツ語学ドイツ文学専修	10 名
英語学英文学専修	20 名
アメリカ文学専修	10 名
フランス語学フランス文学専修	20 名
イタリア語学イタリア文学専修	10 名
歴史基礎文化学系	
日本史学専修	20 名
東洋史学専修	20 名
西南アジア史学専修	10 名
西洋史学専修	20 名
考古学専修	10 名
行動・環境文化学系	
心理学専修	20 名
言語学専修	20 名
社会学専修	20 名
地理学専修	20 名
基礎現代文化学系	
科学哲学科学史専修	10 名
メディア文化学専修	10 名
現代史学専修	10 名

６）　専修志望者数が上記の基準を超過し，選考を行うときは，2 年次までの学業成績その他を勘案する。
７）　所属系及び専修が決定しない者は，2 年次及び 3 年次以降に配当された本学部学部科目を履修することができない。

8 ） 所属系及び専修は 11 月に決定し，翌年 4 月 1 日に分属する。
9 ） 分属後の専修の変更の願出期日は毎年 1 月とする。
10 ） 転学部(転入)の願出期日は毎年 10 月上旬に掲示する。

3． 専攻及び専修の収容人員は，事情により変更することがある。

4． この内規に定めるもののほか，専修等への分属に関し必要な事項は，文学部教授会が定める。

5． 本内規は，令和 5 年 4 月 1 日から適用する。ただし，令和 5 年 3 月 31 日までは，改正前の内規により取り扱う。

注 1 専修に分属する際，所属する系に関係なく分属できます。
注 2 転学部(転入)については掲示に注意すること。

５．図　　書

(1) 京都大学文学研究科図書館利用規則

平成22年7月15日全部改正
平成 23 年 3 月 14 日改正
平成 31 年 2 月 21 日改正
令和 2 年 2 月 20 日改正
令和 5 年 2 月 16 日改正

（趣旨）

第１条　この規程は、京都大学大学院文学研究科の組織に関する規程（平成１６年４月１日達示第７号）第９条第６項に定める文学研究科図書館（以下「図書館」という。）の利用について、必要な事項を定めるものとする。

（図書館資料）

第２条　図書館に、以下の図書その他の資料（以下「図書館資料」という。）を置く。
（１）貴重図書
（２）普通図書
（３）参考図書
（４）視聴覚資料
（５）逐次刊行物
（６）その他の資料

（利用者）

第３条　図書館を利用できる者（以下「利用者」という。）は、次の各号に掲げる者とする。
（１）文学部の学生等
（２）文学研究科の学生等
（３）文学研究科の教職員、名誉教授、元教授
（４）本学学部の学生等（第１号に該当する者を除く。）
（５）本学大学院の学生等（第２号に該当する者を除く。）
（６）本学の役員、教職員、名誉教授（第３号に該当する者を除く。）
（７）文学部卒業者、文学研究科修士課程及び博士後期課程修了者、文学博士、文学研究科博士後期課程研究指導認定者（単位取得退学者を含む。）
（８）本学の卒業生（大学院修了者を含む。）（第７号に該当する者を除く。）
（９）その他図書館資料の閲覧、検索、複写等を希望する者
２．前項の学生等には、次の各号に該当する者を含むものとする。
（１）京都大学通則（昭和２８年４月７日達示第３号）第５章に該当する者
（２）京都大学研修規程（昭和２４年５月１２日達示第３号）の各条に該当する者
（３）京都大学研究生規程（昭和５０年１２月９日達示第３７号）の各条に該当する者

（施設）

第４条　図書館に、次の各号の施設を設置する。
（１）文学部校舎閲覧室
（２）学術雑誌閲覧室

（３）文学部校舎書庫
（４）学術雑誌閲覧室書庫
（５）貴重書庫

（施設の利用）

第５条　利用者は、文学部校舎閲覧室及び学術雑誌閲覧室を利用することができる。
２.利用者のうち次の各号に掲げる者は、所定の手続きを経た上で、文学部校舎書庫を利用することができる。
（１）第３条第１項第１号から第３号、第５号及び第６号の各号に該当する者
（２）同項第７号のうち文学研究科図書館長（以下「図書館長」という。）の許可を得た者
（３）その他図書館長が特に認めた者
３．利用者のうち次の各号に掲げる者は、所定の手続きを経た上で、学術雑誌閲覧室書庫を利用することができる。
（１）第３条第１項第１号から第８号の各号に該当する者
（２）その他図書館長が特に認めた者
４．図書館長が、図書館の運営に支障をきたすおそれがあると認めたときは、図書館施設の利用を制限することができる。

（開館日及び開館時間）

第６条　開館日及び開館時間は、図書館長が別に定める。

（休館日）

第７条　休館日は、以下の各号に掲げるとおりとする。
（１）土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日
（２）毎月１５日（第１号に定められた休館日と重なる場合は翌開館日）
（３）４月最初の開館日２日間
（４）創立記念日（６月１８日）
（５）８月第３週
（６）京都大学通則（昭和２８年達示第３号）第３条に規定する冬季休業の期間
２．前項の規定にかかわらず、図書館長が特に必要と認めたときは、臨時に休館又は開館することができる。

（目録及び利用規則の備付）

第８条　図書館資料の利用に供するため、図書館資料の目録及び本利用規則を文学部校舎閲覧室及び学術雑誌閲覧室に備え付けるものとする。

（閲覧室及び書庫内資料の閲覧）

第９条　利用者は、文学部校舎書庫及び学術雑誌閲覧室書庫に保管されている図書館資料を、所定の手続きを経た上で、書庫から持ち出し閲覧することができる。
２．利用者は、文学部校舎閲覧室及び学術雑誌閲覧室に保管されている図書館資料を自由に閲覧することができる。また所定の手続きを経た上で、文学部校舎閲覧室及び学術雑誌閲覧室から持ち出し閲覧することができる。
３．利用者は、第１項及び第２項の手続きを経た上で持ち出した図書館資料を、当日中に返却しなければならない。

（貴重図書の閲覧）

第１０条　貴重図書の閲覧を希望する者は、あらかじめ所定の閲覧願により、許可を得るものとする。
２．貴重図書は、あらかじめ定められた場所で閲覧するものとする。

（普通図書の貸出）

第１１条　第３条第１項第１号から第６号に該当する利用者は、所定の手続を経た上で、別表に定める冊数及び期間を限度に、普通図書の貸出を受けることができる。
２．前項に掲げる貸出期間が夏季休業（京都大学通則第３条）期間中に満了する場合、図書館長は前項の規定にかかわらず、貸出時に貸出期間を延長することができる。
３．利用者は、貸出期間の延長を希望する際は、所定の貸出期間延長手続を経なければならない。
４．前項に定める貸出期間の延長は、1 度のみ可能とする。ただし第２項の適用を受ける場合は、延長を認めない。
５．第３条第１項第１号から第６号に該当する利用者が借受け期間中にその身分を失う場合には、その２週間前までに貸出を受けた図書館資料を返却しなければならない。
６．第１項に定める貸出期間にかかわらず、図書館長は利用者が貸出を受けている図書館資料の返却を求めることができる。

（貸出及び閲覧の制限）

第１２条　以下の各号に掲げる図書館資料の貸出は行わない。
（１）第２条第１号及び第３号から第５号
（２）第２条第６号のうち、修士論文、博士論文及び図書館長が指定した資料
２．図書館長は、以下の各号に掲げる範囲内で、図書館資料の閲覧及び貸出を制限することができる。
（１）当該図書館資料に独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成１３年法律第１４０号。以下「情報公開法」という。）第５条第１号、第２号及び第４号イに掲げる情報が記録されていると認められる場合における当該情報が記録されている部分
（２）当該図書館資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は情報公開法第５条第２号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合における当該期間が経過するまでの間
（３）当該図書館資料等を利用させることにより、資料に破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合

（研究室備付図書）

第１３条　第１１条及び第１２条第１項第１号の規定にかかわらず、文学研究科教員は研究又は教育のために図書館資料の貸出を受け、自身の個人研究室又は専修の共同研究室に備え付けることができるものとする。
２．研究室に備え付ける目的で、図書館資料の貸出を希望する者は、所定の手続きを経なければならない。
３．研究室備付図書の貸出期間は、貸出を受けた者の退職日までとする。
４．貸出を受けた者が出張等により１年以上文学研究科を離れる場合、研究室備付図書は返却しなければならない。

（転貸の禁止）

第１４条　貸し出された図書館資料は、他人に転貸してはならない。

（汚損・紛失）

第１５条　利用者は、図書館資料を紛失、汚損、又は機器その他の設備をき損したときは、速やかに図書館長に届け出なければならない。
２．図書館資料を汚損若しくは紛失した者には、代本又は相当の弁済を求めるものとする。

（延滞による借受の禁止）

第１６条　第１１条の貸出期間を超過した者に対し、図書館長は一定期間、図書館資料の貸出を禁止するものとする。

（複写及び撮影，翻刻，掲載等）

第１７条　利用者は、学術研究及び教育並びに学習のために図書館資料の複写及び、撮影、翻刻、掲載等（以下「特別利用」という。）を希望する場合、所定の手続きを経なければならない。
２．図書館資料の複写及び特別利用に係る著作権侵害等についての責任は、利用者が負わなければならない。
３．寄託書及び未刊私文書等の複写及び特別利用は、利用者が所有者及び著作権者の承認を受けなければならない。
４．複写又は撮影により、当該資料に破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合、図書館長はその資料の複写を制限することができる。
５．特別利用に関し必要な事項は、京都大学図書館保管資料特別利用規則（平成１７年１月２８日総長裁定）の定めるところによる。
６．前項に関わらず、特別利用に係る利用料の納付は免除する。
７．図書館資料の特別利用に係り問題が生じた場合、図書館は一切の責任を負わない。
８．借受図書を図書館長の許可なく複写又は撮影し外部に使用した者には、直ちにその図書館資料の返却を求めるとともに、図書館資料の利用を禁止するものとする。

（参考調査）

第１８条　利用者は、学習、教育又は研究のため必要があるときは、資料の所在調査等を依頼することができる。

（相互利用）

第１９条　第３条第１項第１号から第３号に該当する利用者は､他の大学等学外諸機関(外国の大学等を含む。)の所蔵する図書館資料の利用を依頼することができる。

（個人情報漏えい防止のために必要な措置）

第２０条　図書館長は、図書館資料に個人情報（京都大学における個人情報の保護に関する規程（平成１７年達示第１号）第２条第１項に規定するものをいう。）が記録されている場合には、当該個人情報の漏えいの防止のために次の各号に掲げる措置を講じるものとする。
（１）当該図書館資料の施錠設備への格納その他の物理的な接触の制限
（２）図書館資料に記録されている個人情報に対する不正アクセス（不正アクセス行為の禁止等に関する法律（平成１１年法律第１２８号）第２条第４項に規定する不正アクセスをいう。）を防止するために必要な措置
（３）図書館の職員に対する教育・研修の実施
（４）その他当該個人情報の漏えいの防止のために必要な措置

（遵守事項）

第２１条 利用者は、館内においては職員の指示に従うとともに、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
（１）館内の各フロアや施設等の注意事項に従って利用すること。
（２）図書館資料、機器その他の設備を丁寧に扱い、紛失、汚損又は毀損しないこと。
（３）他の利用者の迷惑となる行為を行わないこと。
（４） 許可なく撮影を行わないこと。

（利用の拒否）

第２２条　図書館長は、この規則もしくはその他の規則に違反し、又はその指示に従わない利用者に対して、図書館の利用の禁止又は制限をすることができる。

（雑則）

第２３条　この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、図書館長が定める。

附則

１．この規程は、平成２２年７月１５日から実施する。
２．京都大学大学院文学研究科図書館一般利用規程（平成１６年９月３０日制定）、文学研究科図書館利用規則（昭和２５年１０月２６日制定）、文学部学生等図書館利用規則（昭和２５年１０月２６日制定）、文学研究科図書複写・撮影規則（昭和３２年５月１６日制定）は、第１項の実施日をもって廃止する。

附則（平成２３年３月１４日教授会決定）
（実施期日）
この規則は、平成２３年４月１日から実施する。

附則
この規則は、平成３１年４月１日から実施する。
附則
この規則は、令和２年４月１日から実施する。
附則
この規則は、令和５年４月１日から実施する

別表（第１１条第１項関係）

利用者	貸出冊数	貸出期間
文学部の学生等（第３条第１項第１号）	２５冊	２か月
文学研究科の学生等（第３条第１項第２号）	４０冊	２か月
文学研究科の教職員、名誉教授、元教授（第３条第１項第３号）	６５冊	１年
本学の学部及び大学院学生等（第３条第１項第４号及び第５号）	１０冊	２週間
京都大学の役員、教職員、名誉教授（第３条第１項第６号）	１０冊	１か月

（2）京都大学文学研究科図書館利用施行細則

平成 22 年 7 月 15 日 制定
平成 28 年 1 月 22 日 改正
平成 31 年 2 月 21 日 改正
令和 2 年 2 月 20 日 改正
令和 5 年 2 月 16 日 改正

（趣旨）

第１条　この細則は、京都大学文学研究科図書館利用規則（以下「利用規則」という。）第２３条に基づき、京都大学文学研究科図書館（以下「図書館」という。）の利用に関し必要な事項を定めるものとする。

（書庫利用の許可）

第２条　利用規則第３条第１項第７号に掲げる者が文学部校舎書庫の利用を希望する場合は、入庫検索許可願を提出し許可を受けるものとする。

２．利用規則第５条第２項第３号及び第３項第２号に定める文学部校舎書庫及び学術雑誌閲覧室書庫の利用を希望する者は、文学研究科教員の紹介を受けた上で入庫検索特別許可願を提出し許可を受けるものとする。利用の有効期限は３ヶ月以内とする。

（学外者の利用手続）

第３条　利用規則第３条第１項第９号に掲げる者が図書館の利用を希望するときは、あらかじめ所蔵調査依頼をするものとする。利用の際には、あわせて身分を証明するものを提出しなければならない。

（書庫利用手続等）

第４条　文学部校舎書庫及び学術雑誌閲覧室書庫の利用を希望する者は、受付に学生証、職員証、図書館利用証又は入庫検索許可票を提出し、入庫票の交付を受けるものとする。

２．利用者は、書庫利用中、図書掛員が確認できるところに入庫票を掲示しなければならない。

３．利用者は、書庫に筆記用具以外の荷物を持ち込むことはできない。ただし調査研究の目的で筆記用具以外の荷物の持ち込みを希望する者は、入庫票の交付の際に、その荷物を図書掛員に提示し、承諾を得なければならない。

（開館日及び開館時間）

第５条　図書館の開館日は月曜日から金曜日までとする。

２．図書館の開館時間は、以下のとおりとする。

施設名	開館時間	閉館時間
文学部校舎閲覧室	午前 9 時	午後 7 時
文学部校舎書庫	午前 9 時	午後 6 時 45 分
学術雑誌閲覧室	午前 10 時	午後 6 時
学術雑誌閲覧室書庫	午前 10 時	午後 5 時 45 分

（夏季休業期間（京都大学通則（昭和２８年４月７日達示第３号）開始日から８月３１日まで及び１２月最終開館日の開館時間）

施設名	開館時間	閉館時間
文学部校舎閲覧室	午前 9 時	午後 5 時
文学部校舎書庫	午前 9 時	午後 4 時 45 分
学術雑誌閲覧室	午前 10 時	午後 5 時
学術雑誌閲覧室書庫	午前 10 時	午後 4 時 45 分

３．前項にかかわらず、次の各号に掲げる利用者の利用時間は、午前９時から午後５時までとする。
（１）文学部校舎閲覧室を利用する第３条第１項第８号に該当する利用者
（２）第３条第１項第９号に該当する利用者
４．図書館長は第１項から第３項にかかわらず、特に必要と認めたときは、臨時に開館日及び開館時間を変更することができる。

（図書館資料の閲覧に関する所定の手続）

第６条　利用規則第９条により普通図書の閲覧を希望する者は、以下の手続きを経なければならない。
（１）受付で学生証、職員証、図書館利用証、入庫検索許可票又は身分証を提示の上、閲覧証に所要の事項を記入し提出しなければならない。
（２）閲覧手続きにあたり、図書掛員が図書館業務システムを利用した場合は、前号にかかわらず閲覧証の提出を必要としない。

（閲覧中の図書館資料の保留）

第７条　利用者が、閲覧終了後も引き続き当該図書館資料の閲覧を希望する場合は、翌日まで受付にて保留を認めるものとする。

（貴重図書の閲覧に関する所定の手続）

第８条　利用規則第１０条に定める貴重図書の閲覧を希望する者は、貴重図書閲覧願を提出し、図書館長の許可を得なければならない。
なお、図書館長は同願を許可する際、その図書館資料を管理する専修の教員の承諾を経るものとする。

（図書館資料の貸出に関する所定の手続）

第９条　利用規則第１１条に定める普通図書の貸出を希望する者は、以下の手続きを経なければならない。
（１）受付で希望する図書館資料とともに学生証、職員証又は図書館利用証を提示の上、図書借用証に所要の事項を記入し提出しなければならない。
（２）貸出手続きにあたり、図書掛員が図書館業務システムを利用した場合は、前号にかかわらず図書借用証の提出を必要としない。

（延滞罰則の適用日数）

第１０条　利用規則第１６条による図書館資料の貸出禁止期間は、当該図書館資料の返却期限日から実際の返却日までの日数を超えないものとする。

（複写及び，撮影，翻刻，掲載等（以下「特別利用」という。）に関する所定の手続）

第１１条　利用規則第１７条により図書館資料の複写を希望する者は、申込書を提出するとともに、その複写物について図書掛員の検認を受けなければならない。

２．利用規則第１７条第５項により図書館資料の特別利用を許可する際、図書館長はその図書館資料を管理する専修の教員の承諾を経るものとする。

附則

この細則は、平成２２年７月１５日から施行する。

附則

この細則は、平成２８年１月２２日から施行する。

附則

この細則は、平成３１年４月１日から施行する。

附則

この細則は、令和２年４月１日から施行する。

附則

この細則は、令和５年４月１日から施行する。

(3) 文学研究科所蔵特殊文庫

(※印は文庫として別置していない)

	名称	概要	冊数	専修
1.	池田文庫	大阪外国語学校露語部一期生であった池田久雄氏旧蔵の語学・文学・社会学・芸術など広範囲にわたるロシア語文献コレクションである。	2,159 冊	(言語学)
2.	井上文庫	本学部名誉教授（西洋史学）井上智勇博士の旧蔵書で，ローマ史を中心とする西洋古代史関係の文献（独・英・仏語）が主となっている。	517 冊	(西洋史学)
※ 3.	今西文庫	朝鮮史学を専門とした本学部教授（東洋史学）今西龍博士旧蔵の中国語関係書籍である。	4,336 冊	(中哲文)
4.	植田文庫	本学部教授（美学美術史学）であった植田寿蔵博士旧蔵の美学関係書のコレクションである。	1,592 冊	(美学)
5.	内田文庫	本学部国史学教室の創設者内田銀蔵博士旧蔵の国史関係書を主としたコレクションである。	3,650 冊	(国史学)
6.	穎原文庫	本学部教授（国語学国文学）であった穎原退蔵博士旧蔵の国文学関係のコレクションである。同教授の専門であった俳書の版本をはじめ，写本も数多い。	6,040 冊	(国文学)
7.	大山文庫	本学部名誉教授（ドイツ文学）大山定一先生の旧蔵書で，近世から現代に至るドイツ文学研究資料である。特に，Goethe，Rilke 関係の文献が多い。	1,451 冊	(独文学)
8.	岡嶋文庫	本学部講師（西洋史学）であった岡嶋誠太郎氏の旧蔵書。エジプト学の専門書が揃っており，古代オリエント研究に寄与するところが大である。	233 冊	(西洋史学)
9.	金倉文庫	イタリア独立運動史を専門とした金倉英一氏の旧蔵書で，イタリア政治史関係のコレクションである。その大部分はイタリア語の文献である。	428 冊	(西洋史学)
※10.	狩野文庫	文学部創設以来，中国哲学・中国語学・中国文学の講座を担当した本学部名誉教授狩野直喜博士の旧蔵書の一部で，宋・元・明版の貴重なものが多い。	3,651 冊	(中哲文)
11.	木方文庫	本学部英文学出身の木方庸助博士の旧蔵書で，中世末期から近世初期に至るイギリス演劇に関する文献が主となっている。	154 冊	(英文学)
12.	木村孝一記念図書	昭和 5 年本学部社会学専攻を卒業した木村氏の歿後，母堂より寄贈されたもの。研究に必要な基本的文献が揃っている。	502 冊	(社会学)
13.	クラーク文庫	本学部教師（英文学）であった Edward B Clarke 氏旧蔵の英文学関係書のコレクションである。	5,133 冊	(英文学)
14.	桑原文庫	本学部名誉教授（東洋史学）桑原隲蔵博士旧蔵の東洋史関係のコレクションである。博士の専門が東西交渉史であったことから，洋書も多く含まれている。	12,457 冊	(東洋史学)
15.	島文庫	本学部名誉教授（倫理学）島芳夫博士の旧蔵書（洋書）で，古代ギリシア思想からベルグソンなどの「生の哲学」に至る各時代の哲学書が幅広く収められている。	820 冊	(倫理学)
16.	清水文庫	本学部美学を専攻して卒業ののち，アメリカ現代文学・演劇・映画研究者となった清水光（本名:光繁）氏の旧蔵書。英米文学書のコレクションである。	727 冊	(米文学)
※17.	十硯山房旧蔵書	書肆文求堂の主人であり，中国書誌学者としても著名な田中慶太郎氏の旧蔵書で，貴重な資料が多い。	1,060 冊	(中哲文)

※18. 鈴木文庫　本学部名誉教授（中国語学中国文学）鈴木虎雄博士旧蔵の中国関係図書のコレクションで漢籍を中心としている。　14,025 冊　（中哲文）

19. 須田文庫　本学部美学美術史学出身の須田国太郎画伯の旧蔵書で，内容は美学・美術史に関するものが中心である。　4,151 冊　（美学）

20. 田中文庫　本学部西洋古典学教室の創設者である田中秀央博士の西洋古典関係図書のコレクションである。　1,875 冊　（西洋古典学）

21. 田中美知太郎文庫　本学部名誉教授（西洋哲学）田中美知太郎博士の旧蔵書（洋書）で，ギリシア・ローマ時代の哲学，特にプラトン，アリストテレスに関する専門的文献が中心となっている。現在日本では入手困難な 1500 ～ 1700 年代の図書も数多い。　2,974 冊　（西洋哲学史）

22. 田辺文庫　本学部名誉教授（哲学）田辺元博士旧蔵のコレクション。長期にわたる博士のドイツ留学中にもとめられた図書は日本では入手しがたいものが多く，博士の研鑽の跡を知る書き入れ本も多い。　1,412 冊　（哲学）

※23. 唐学斎旧蔵書　本学部教授（中国語学中国文学）であった吉川幸次郎博士の蔵書の一部で，経学と五・四前後の掌故に関する資料には稀覯の書が少なくない。　628 冊　（中哲文）

24. 時野谷文庫　本学部教授であった時野谷常三郎博士の旧蔵書。ドイツ史，ことにビスマルク関係文献が多い。　180 冊　（西洋史学）

25. 朝永文庫　本学部名誉教授（西洋哲学史）朝永三十郎博士の旧蔵書で古代より近代に至る哲学史関係の洋書を中心とする。　622 冊　（哲学）

26. 中原文庫　本学部名誉教授（西南アジア史学）中原与茂九郎氏の旧蔵書（洋書）で，アッシリア学関係，特にメソポタミア史の文献が中心となっている。　301 冊　（西南アジア史学）

27. 西田文庫　本学部名誉教授（哲学）西田幾多郎博士旧蔵の哲学関係図書のコレクションである。同教授の手稿も多い。　1,627 冊　（哲学）

28. 西田直二郎旧蔵洋書　本学部名誉教授（国史学）西田直二郎博士旧蔵の洋書。ドイツを中心としたヨーロッパにおける日本文献，文化史に関するものが多い。　701 冊　（国史学）

29. 民研本　元民族研究所の蔵書で，社会民族学関係図書の一大コレクションである。集書の内容は，太平洋諸地域民族の宗教，経済，風俗，慣習等に関するものが中心で，中国・蒙古に関する漢籍も多い。　6,440 冊　（社会学）

30. 米田文庫　本学部教授（社会学）であった米田庄太郎博士旧蔵の社会学関係のコレクションで，19 世紀から 20 世紀にかけての欧米の理論社会学の図書が多い。　3,150 冊　（社会学）

なお，特殊文庫の説明は文学研究科図書館ホームページにも記載しています。

https://www.library.bun.kyoto-u.ac.jp/research/special-collection

６．京都大学における災害等に伴う休講等の措置等に関する取扱要項

平成３１年3月１２日総長裁定制定
令和7年1月１４日総長裁定

（趣旨）

第1条　この要項は、京都大学（以下「本学」という。）の学生の安全確保のため、災害その他の本学学生の安全確保が必要な事態（以下「災害等」という。）が発生し、又は発生するおそれのある場合における授業及び定期試験（以下「授業等」という。）の取扱いに関し必要な事項を定めるものとする。

（気象警報等又は交通機関の運休による休講等の措置）

第2条　本学は、災害等が発生し、又は発生するおそれのある場合は、次表に定めるところにより、対面により行う授業（京都大学通則（昭和２８年達示第３号。以下「通則」という。）第３条第３項により行う授業を除く。）の休止又は定期試験延期の措置（以下「休講等の措置」という。）をとる。

キャンパス	基準	授業等の取扱い
吉田 キャンパス	京都市又は京都市を含む地域に気象等に関する特別警報又は暴風警報若しくは暴風雪警報（以下「気象警報等」という。）が発表された場合	別表１に定めるところによる。
	京都市営バスが災害等の発生又は発生のおそれにより、全面的に運休した、又は計画運休（自然災害による被害を未然に防ぐために交通機関があらかじめその運休を決定し、実施することをいう。以下同じ。）する場合	運休　別表１に定めるところによる。 計画運休　別表２に定めるところによる。
	JR 西日本（京都線の京都駅～大阪駅間、琵琶湖線の長浜駅～京都駅間、湖西線の近江塩津駅～京都駅間、奈良線の京都駅～奈良駅間及び嵯峨野線の京都駅～園部駅間）、阪急電鉄（京都線の京都河原町駅～大阪梅田駅間）、京阪電鉄（京阪本線・鴨東線・中之島線の出町柳駅～淀屋橋駅又は中之島駅間）、近畿日本鉄道（京都線の京都駅～大和西大寺駅間）及び京都市営地下鉄（烏丸線の国際会館駅～竹田駅間、東西線の六地蔵駅～太秦天神川駅間）のうち、２以上の交通機関が災害等の発生又は発生のおそれにより、全面的に又は部分的に運休した、又は計画運休する場合	
宇治 キャンパス	宇治市又は宇治市を含む地域に気象警報等が発表された場合	別表１に定めるところによる。
	JR 西日本（奈良線の京都駅～奈良駅間）及び京阪電鉄（宇治線の中書島駅～宇治駅）の全ての交通機関が災害等の発生又は発生のおそれにより、全面的に又は部分的に運休した、又は計画運休する場合	運休　別表１に定めるところによる。 計画運休　別表２に定めるところによる。
桂 キャンパス	京都市又は京都市を含む地域に気象警報等が発表された場合	別表１に定めるところによる。
	京都市営バス、京阪京都交通バス及びヤサカバスの路線のうち、教育担当理事（以下「担当理事」という。）が別に定める路線が災害等の発生又は発生のおそれにより、全面的に運休した、又は計画運休する場合	運休　別表１に定めるところによる。 計画運休　別表２に定めるところによる。
	JR 西日本（京都線の京都駅～大阪駅間）及び阪急電鉄（京都線の京都河原町駅～大阪梅田駅間）の全ての交通機関が災害等の発生又は発生のおそれにより、全面的に又は部分的に運休した、又は計画運休する場合	

２　前項の場合において、担当理事は、各部局の事情を考慮して、吉田キャンパス、宇治キャンパス及び桂キャンパスの全部又は一部において授業等の実施が可能と判断したときは、当該キャンパスの関係する部局の長と調整の上、当該キャンパスの全部又は一部の休講等の措置を終了する。

３　担当理事に事故があるときは、あらかじめ総長が指名する理事が、前項の規定に準じて休講等の措置を終了するものとする。

４　担当理事又は前項の総長が指名する理事は、前２項の規定により休講等の措置を終了した場合は、速やかに総長に報告するものとする。

（理事の判断による休講等の措置）

第3条　前条に定めるもののほか、担当理事は、各部局の事情を考慮して、吉田キャンパス、宇治キャンパス及び桂キャンパスの全部又は一部において学生の安全確保のため休講等の措置をとる必要があると判断したときは、

当該キャンパスの関係する部局の長と調整の上、当該キャンパスの全部又は一部において休講等の措置をとることができるものとする。

2　担当理事に事故があるときは、あらかじめ総長が指名する理事が、前項の規定に準じて休講等の措置をとるものとする。

3　担当理事又は前項の総長が指名する理事は、前２項の規定により休講等の措置をとった場合は、速やかに総長に報告するものとする。

4　前条第２項から第４項までの規定は、第１項及び第２項の規定による休講等の措置をとった場合の当該措置の終了及び総長への報告について準用する。

（危機対策本部を設置した場合における休講等の措置）

第４条　前２条に定めるもののほか、本学は、吉田キャンパス、宇治キャンパス及び桂キャンパスを含む地域で震度６弱以上の地震が発生した場合、危機管理計画に基づき、吉田キャンパス、宇治キャンパス及び桂キャンパスにおいて、当分の間、休講等の措置をとる。

2　前項に定めるもののほか、京都大学危機管理規程（平成２３年達示第６４号）第９条第１項に基づき危機対策本部が設置され、当該危機対策本部の本部長（以下「本部長」という。）が学生の安全確保のため必要があると判断した場合は、吉田キャンパス、宇治キャンパス及び桂キャンパスの全部又は一部において、当分の間、休講等の措置をとる。

3　前２項の規定により休講等の措置をとった場合の当該措置の終了は、本部長が危機対策本部の設置の原因となった災害等に係る諸状況を勘案して決定する。

4　第２条第２項及び第３項並びに前条第４項の規定にかかわらず、前２条の規定による休講等の措置後、当該措置を終了するまでの間に、当該措置の原因となった災害等に関連して危機対策本部が設置された場合の当該措置の終了は、本部長が、当該災害等に係る諸状況を勘案して決定する。

（休講等の措置の周知方法）

第５条　前３条の規定による休講等の措置及び当該措置の終了については、KULASIS 及び本学ホームページ等を通じて、学生及び関係者に周知する。

（定期休業日に行う授業の休止の措置）

第６条　通則第３条第３項の定期休業日に行う授業の休止の措置に関し必要な事項は、当該授業を開講する部局の長が定める。

（通学が困難な場合の救済措置）

第７条　第２条から第４条までの規定による休講等の措置をとらない場合であっても、次の各号のいずれかに該当する事態が発生したことにより学生が授業等に出席できなかったときは、当該学生からの所定の欠席届の提出により、部局長は当該学生に対して必要な措置をとることができる。

(1) 居住地を含む地域における震度６弱以上の地震の発生

(2) 居住地を含む地域における避難指示の発令

(3) 居住地を含む地域における気象警報等の発表

(4) その他居住地を含む地域又は通学経路における前３号に準ずる災害等の発生

（休講等の措置の代替措置）

第８条　災害等の発生又は発生のおそれにより休講となった授業は、原則として補講を行うものとする。ただし、授業担当教員の判断により、レポートその他の当該授業に相当する学修を課すこと等により代替措置とすることができる。

2　災害等の発生又は発生のおそれにより延期となった定期試験の実施方法は、必要に応じて部局間で調整を行った上で、当該定期試験を実施する部局が定める。

（その他）

第９条　この要項に定めるもののほか、災害等が発生し、又は発生するおそれのある場合の授業等の取扱いに関し必要な事項は、担当理事が定める。

附　則

この要項は、平成３１年３月１２日から実施する。

附　則

この要項は、令和７年４月１日から実施する。

別表１

１・２時限の授業等の取扱い

状況	授業等の取扱い
⑴ 午前６時３０分の時点で気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生している場合	１・２時限は、休講等の措置をとる。
⑵ 午前６時３０分から午前８時４５分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	
⑶ 午前８時４５分から午前１０時３０分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	２時限は、休講等の措置をとる。 １時限の授業等はそのまま続けるが、学生の安全確保上緊急を要すると担当理事が認める場合は、１時限の途中からでも休講等の措置をとる。
⑷ 午前１０時３０分から午前１２時００分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	２時限の授業等はそのまま続けるが、学生の安全確保上緊急を要すると担当理事が認める場合は、２時限の途中からでも休講等の措置をとる。

３・４・５時限の授業等の取扱い

状況	授業等の取扱い
⑴ 午前６時３０分から午前１０時３０分までの間に気象警報等が解除され、又は交通機関の運休が終了した場合	３・４・５時限は、授業等を実施する。
⑵ 午前１０時３０分の時点で気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生している場合	３・４・５時限は、休講等の措置をとる。
⑶ 午前１０時３０分から午後１時１５分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	
⑷ 午後１時１５分から午後３時００分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	４・５時限は、休講等の措置をとる。 ３時限の授業等はそのまま続けるが、学生の安全確保上緊急を要すると担当理事が認める場合は、３時限の途中からでも休講等の措置をとる。
⑸ 午後３時００分から午後４時４５分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	５時限は、休講等の措置をとる。 ４時限の授業等はそのまま続けるが、学生の安全確保上緊急を要すると担当理事が認める場合は、４時限の途中からでも休講等の措置をとる。
⑹ 午後４時４５分から午後６時１５分までの間に気象警報等が発表され、又は交通機関の運休が発生することとなった場合	５時限の授業等はそのまま続けるが、学生の安全確保上緊急を要すると担当理事が認める場合は、５時限の途中からでも休講等の措置をとる。

別表２

状況	授業等の取扱い
⑴ 午後０時３０分より前に計画運休が開始される場合	第２条第２項に規定する休講等の措置の終了の時まで休講等の措置をとる。
⑵ 午後０時３０分から午後２時４５分までの間に計画運休が開始される場合	~~第~~１時限は授業等を実施し、~~第~~２・３・４・５時限は第２条第２項に規定する休講等の措置の終了の時まで休講等の措置をとる。
⑶ 午後２時４５分から午後５時００分までの間に計画運休が開始される場合	~~第~~１・２時限は授業等を実施し、~~第~~３・４・５時限は第２条第２項に規定する休講等の措置の終了の時まで休講等の措置をとる。
⑷ 午後５時００分から午後６時４５分までの間に計画運休が開始される場合	~~第~~１・２・３時限は授業等を実施し、~~第~~４・５時限は第２条第２項に規定する休講等の措置の終了の時まで休講等の措置をとる。
⑸ 午後６時４５分から午後８時３０分までの間に計画運休が開始される場合	~~第~~１・２・３・４時限は授業等を実施し、~~第~~５時限は第２条第２項に規定する休講等の措置の終了の時まで休講等の措置をとる。

1．教　員　名　簿

名　誉　教　授

〔氏名の後の（　）は退職年〕（生年月日順）

インド哲学史	服部　正明	(S63)
東洋史学	河内　良弘	(H4)
日本史学	大山　喬平	(H9)
西洋史学	服部　春彦	(H10)
キリスト教学	水垣　渉	(H10)
心理学	清水　御代明	(H11)
英語学英米文学	喜志　哲雄	(H11)
宗教学	長谷　正當	(H12)
倫理学	加藤　尚武	(H13)
英語学英米文学	豊田　昌倫	(H13)
西南アジア史学	間野　英二	(H14)
地理学	石原　潤	(H15)
社会学	寶月　誠	(H17)
西洋哲学史	内山　勝利	(H17)
美学美術史学	佐々木　丞平	(H17)
アメリカ文学	中村　紘一	(H18)
科学哲学科学史	内井　惣七	(H18)
美学美術史学	岩城　見一	(H18)
キリスト教学	片柳　榮一	(H20)
地理学	金田　章裕	(H20)
西南アジア史学	濱田　正美	(H22)
イタリア語学 イタリア文学	齊藤　泰弘	(H22)
心理学	苧阪　直行	(H22)
仏教学	御牧　克己	(H22)
西洋古典学	中務　哲郎	(H22)
英語学英米文学	宮内　弘	(H24)
ドイツ語学 ドイツ文学	西村　雅樹	(H24)
日本史学	藤井　譲治	(H24)
フランス語学 フランス文学	吉川　一義	(H24)
中国語学 中国文学	川合　康三	(H24)
中国哲学史	池田　秀三	(H24)
東洋史学	夫馬　進	(H25)
日本史学	勝山　清次	(H25)
考古学	泉　拓良	(H25)
哲学	伊藤　邦武	(H26)
スラブ語学 スラブ文学	佐藤　昭裕	(H27)
地理学	小林　致広	(H27)
考古学	上原　真人	(H27)
国語学国文学	木田　章義	(H27)
心理学	櫻井　芳雄	(H27)
日本哲学史	藤田　正勝	(H27)
言語学	田窪　行則	(H28)
西洋史学	服部　良久	(H28)
現代史学	永井　和	(H28)
美学美術史学	吉岡　洋	(H28)
国語学国文学	大谷　雅夫	(H29)
社会学	伊藤　公雄	(H29)
イタリア語学 イタリア文学	天野　惠	(H30)
英語学英米文学	若島　正	(H30)
インド古典学	赤松　明彦	(H30)
宗教学	氣多　雅子	(H30)
日本史学	横田　冬彦	(H30)
地理学	石川　義孝	(H30)
メディア文化学	林　晋	(H31)
フランス語学 フランス文学	田口　紀子	(H31)
心理学	藤田　和生	(H31)
西洋近世哲学史	福谷　茂	(H31)
言語学	吉田　和彦	(H31)
心理学	板倉　昭二	(H31)
メディア文化学	杉本　淑彦	(R2)
言語学	吉田　豊	(R2)
西南アジア史学	井谷　鋼造	(R2)
西洋中世哲学史	川添　信介	(R2)
社会学	松田　素二	(R3)

〔氏名の後の（　）は退職年〕（生年月日順）

西洋史学	南川　高志	(R3)
心理学	ANDERSON, James Russell	(R3)
現代史学	永原　陽子	(R3)
キリスト教学	芦名　定道	(R3)
地理学	杉浦　和子	(R4)
西洋古典学	髙橋　宏幸	(R4)
美学美術史学	根立　研介	(R4)
英語学英米文学	佐々木　徹	(R4)
倫理学	水谷　雅彦	(R4)
西洋古代哲学史	中畑　正志	(R5)
フランス語学 フランス文学	増田　眞	(R5)
社会学	落合恵美子	(R5)
地理学	水野　一晴	(R5)
ドイツ語学 ドイツ文学	松村　朋彦	(R6)
日本史学	吉川　真司	(R6)
中国哲学史	宇佐美　文理	(R7)
インド古典学	横地　優子	(R7)
東洋史学	吉本　道雅	(R7)

元　教　授

美学美術史学	宮島　久雄	(H10)
言語学	宮岡　伯人	(H12)
現代文化学	柏倉　康夫	(H14)
社会学	井上　俊	(H14)
西洋古典学	CRAIK, Elizabeth Mary	(H14)
西洋史学	谷川　稔	(H17)
中国語学中国文学	平田　昌司	(R2)
東洋史学	髙嶋　航	(R5)

文 学 研 究 科

文学研究科長　教授　　出 口　康 夫

文献文化学専攻

国語学国文学専修（東洋文献文化学講座）

教　　授	大　槻　　信
〃	金 光　桂 子
准　教　授	河 村　瑛 子
〃	田 中　草 大

中国語学中国文学専修（　〃　）

教　　授	木 津　祐 子
〃	緑 川　英 樹
准　教　授	成 田　健太郎

中国哲学史専修（　〃　）

准　教　授	池 田　恭 哉

インド古典学専修（　〃　）

教　　授	VASUDEVA, Som Dev
准　教　授	天 野　恭 子
特 定 講 師	PAN, Tao

仏教学専修（　〃　）

教　　授	宮　崎　　泉

西洋古典学専修（西洋文献文化学講座）

准　教　授	河 島　思 朗
講　　師	竹 下　哲 文

スラブ語学スラブ文学専修（　〃　）

教　　授	中 村　唯 史

ドイツ語学ドイツ文学専修（　〃　）

教　　授	川　島　　隆
准　教　授	籠　　碧

英語学英米文学専修（　〃　）

教　　授	家 入　葉 子
〃	廣 田　篤 彦
〃	森　慎 一 郎
准　教　授	小 林　久美子
〃	南 谷　奉 良

フランス語学フランス文学専修（　〃　）

教　　授	永 盛　克 也
〃	村 上　祐 二
准　教　授	鳥 山　定 嗣
特定准教授	LE FLOC'H, Justine

イタリア語学イタリア文学専修（　〃　）

准　教　授	村 瀬　有 司
特定准教授	DURETTO, Ida

思想文化学専攻

哲学専修（思想文化学講座）

教　　授	出口　康夫
特定准教授(兼)	五十嵐　涼介 ※1
特定講師	岡村　太郎
特定助教(兼)	渡邊　一弘 ※1
特定助教	辻　麻衣子
〃	髙木　俊一

西洋古代哲学史専修（ 〃 ）

准教授	早瀬　篤

西洋中世哲学史専修（ 〃 ）

教　　授	周藤　多紀

西洋近世哲学史専修（ 〃 ）

教　　授	大河内　泰樹
准教授	林　拓也

日本哲学史専修（ 〃 ）

教　　授	上原　麻有子
特定助教	CERDA Sova P.K.

倫理学専修（ 〃 ）

教　　授	児玉　聡
准教授	早川　正祐 ※2
講　　師	CAMPBELL, Michael

宗教学専修（ 〃 ）

教　　授	杉村　靖彦
准教授	伊原木　大祐

キリスト教学専修（ 〃 ）

教　　授	津田　謙治

美学美術史学専修（ 〃 ）

教　　授	平川　佳世
准教授	杉山　卓史
〃	筒井　忠仁
〃	田中　健一

歴史文化学専攻

日本史学専修（歴史文化学講座）

教　　授	上島　享
〃	谷川　穣
准教授	三宅　正浩
〃	本庄　総子
助　　教	松井　直人

東洋史学専修（ 〃 ）

教　　授	中砂　明徳
〃	箱田　恵子

西南アジア史学専修（ 〃 ）

教　　授	磯貝　健一
准教授	岩本　佳子

西洋史学専修（ 〃 ）

教　　授	小山　哲
〃	金澤　周作
准教授	藤井　崇
〃	安平　弦司

考古学専修（ 〃 ）

教　　授	吉井　秀夫
〃	下垣　仁志

※1 …成長戦略本部所属／文学研究科兼任

※2 …10月より就任

行動文化学専攻

心理学専修（行動文化学講座）

教　　授	薗　田　　宏
〃	黒　島　　妃　香
〃	森　口　　佑　介
講　　師	WILSON, Duncan A.

言語学専修（　〃　）

教　　授	定　延　　利　之
〃	千　田　　俊　太　郎
〃	CATT, Adam Alvah
准　教　授	大　竹　　昌　巳

社会学専修（　〃　）

教　　授	太　郎　丸　　博
〃	岸　　政　　彦
〃	丸　山　　里　美
准　教　授	田　中　　紀　行
〃	HEIM, Stephane
准教授（兼）	安　里　　和　晃

地理学専修（　〃　）

教　　授	米　家　　泰　作
准　教　授	埴　淵　　知　哉
〃	杉　江　　あ　い

現代文化学専攻

科学哲学科学史専修（現代文化学講座）

教　　授	伊　勢　田　　哲　治
〃	伊　藤　　憲　二

メディア文化学専修（　〃　）

教　　授	喜　多　　千　草
教　授（兼）	WADA-MARCIANO, Mitsuyo
准　教　授	松　永　　伸　司

現代史学専修（　〃　）

教　　授	小　野　沢　　透
〃	塩　出　　浩　之

京都大学・ハイデルベルク大学 国際連携文化越境専攻

文化越境専修

教　　授	WADA-MARCIANO, Mitsuyo
教　授（兼）	VASUDEVA, Som Dev
准　教　授	安　里　　和　晃
講　　師	KAMM, Bjorn-Ole
講　師（兼）	海　田　　大　輔
特　定　講　師	ERICSON, Kjell David

総合文化学（客員講座）

客員教授	村上　あかね
客員准教授	小原　嘉記
〃	岡本　健

（文化遺産学人文知連携センター）

准教授	千葉　豊
助教	伊藤　淳史
〃	笹川　尚紀
〃	徐　勤
〃	山﨑　大暉

（留学生担当講師）

講師	海田　大輔

多元統合人文学（協力講座）

教授	稲葉　穣
〃	船山　徹
〃	池田　巧
〃	石川　禎浩
〃	矢木　毅
〃	小関　隆
〃	岩城　卓二
〃	稲本　泰生
〃	宮宅　潔
〃	古勝　隆一
〃	古松　崇志
〃	FORTE, Erika Angela
〃	村上　衛
〃	森本　淳生
〃	直野　章子
〃	瀬戸口　明久
准教授	伊藤　順二
〃	藤原　辰史
〃	中西　竜也
〃	永田　知之
〃	向井　佑介
〃	福家　崇洋
〃	倉本　尚徳
〃	平岡　隆二
〃	野原　将揮
〃	小堀　聡
〃	呉　孟晋
〃	菅原　百合絵
〃	浅井　佑太
〃	井口　千雪

文　学　部

文学部長　教授　出口　康夫

哲学基礎文化学系

哲学専修

教授（兼）	出口　康夫	
特定准教授（兼）	五十嵐　涼介	※1
特定講師（兼）	岡村　太郎	
特定助教（兼）	渡邊　一弘	※1
〃	辻　麻衣子	
〃	髙木　俊一	

西洋哲学史専修

教授（兼）	周藤　多紀	
〃	大河内　泰樹	
准教授（兼）	早瀬　篤	
〃	林　拓也	

日本哲学史専修

教授（兼）	上原　麻有子	
特定助教（兼）	CERDA Sova P.K.	

倫理学専修

教授（兼）	児玉　聡	
准教授（兼）	早川　正祐	※2
講師（兼）	CAMPBELL,Michael	

宗教学専修

教授（兼）	杉村　靖彦	
准教授（兼）	伊原木　大祐	

キリスト教学専修

教授（兼）	津田　謙治	

美学美術史学専修

教授（兼）	平川　佳世	
准教授（兼）	杉山　卓史	
〃	筒井　忠仁	
〃	田中　健一	

東洋文化学系

国語学国文学専修

教授（兼）	大槻　信	
〃	金光　桂子	
准教授（兼）	河村　瑛子	
〃	田中　草大	

中国語学中国文学専修

教授（兼）	木津　祐子	
〃	緑川　英樹	
准教授（兼）	成田　健太郎	

中国哲学史専修

准教授（兼）	池田　恭哉	

インド古典学専修

教授（兼）	VASUDEVA,Som Dev	
准教授（兼）	天野　恭子	
特定講師（兼）	PAN,Tao	

仏教学専修

教授（兼）	宮崎　泉	

西洋文化学系

西洋古典学専修

准教授（兼）	河島　思朗	
講師（兼）	竹下　哲文	

スラブ語学スラブ文学専修

教授（兼）	中村　唯史	

ドイツ語学ドイツ文学専修

教授（兼）	川島　隆	
准教授（兼）	籠　碧	

英語学英文学専修

教授（兼）	家入　葉子	
〃	廣田　篤彦	
准教授（兼）	南谷　奉良	

アメリカ文学専修

教授（兼）	森　慎一郎	
准教授（兼）	小林　久美子	

フランス語学フランス文学専修

教授（兼）	永盛　克也	
〃	村上　祐二	
准教授（兼）	鳥山　定嗣	
特定准教授（兼）	LE FLOC'H,Justine	

イタリア語学イタリア文学専修

准教授（兼）	村瀬　有司	
特定准教授（兼）	DURETTO,Ida	

※1 …成長戦略本部所属／文学部兼任

※2 …10月より就任

歴史基礎文化学系

日本史学専修

教	授（兼）	上島　享
〃		谷川　穣
准教授（兼）		三宅　正浩
〃		本庄　総子
助	教（兼）	松井　直人

東洋史学専修

教	授（兼）	中砂　明徳
〃		箱田　恵子

西南アジア史学専修

教	授（兼）	磯貝　健一
准教授（兼）		岩本　佳子

西洋史学専修

教	授（兼）	小山　哲
〃		金澤　周作
准教授（兼）		藤井　崇
〃		安平　弦司

考古学専修

教	授（兼）	吉井　秀夫
〃		下垣　仁志

行動・環境文化学系

心理学専修

教	授（兼）	蘆田　宏
〃		黒島　妃香
〃		森口　佑介
講	師（兼）	WILSON,Duncan A.

言語学専修

教	授（兼）	定延　利之
〃		千田　俊太郎
〃		CATT,Adam Alvah
准教授（兼）		大竹　昌巳

社会学専修

教	授（兼）	太郎丸　博
〃		岸　政彦
〃		丸山　里美
准教授（兼）		田中　紀行
〃		HEIM,Stephane
〃		安里　和晃

地理学専修

教	授（兼）	米家　泰作
准教授（兼）		埴淵　知哉
〃		杉江　あい

基礎現代文化学系

科学哲学科学史専修

教	授（兼）	伊勢田　哲治
〃		伊藤　憲二

メディア文化学専修

教	授（兼）	喜多　千草
〃		WADA-MARCIANO,Mitsuyo
准教授（兼）		松永　伸司

現代史学専修

教	授（兼）	小野沢　透
〃		塩出　浩之

外国人留学生担当講師

講	師（兼）	海田　大輔

文化遺産学人文知連携センター

准教授（兼）		千葉　豊
助	教（兼）	伊藤　淳史
〃		笹川　尚紀
〃		徐　勤
〃		山﨑　大暉

非常勤講師

国語学国文学

市村　太郎	京都府立大学文学部・准教授
佐々木　孝浩	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫・教授
高橋　幸平	同志社女子大学表象文化学部・准教授
土佐　朋子	佛教大学文学部・教授
畑田　昌広	

中国語学中国文学

大西　克也	東京大学人文社会系研究科・教授

インド古典学

山口　周子	
芳原　綾子	
沼田　一郎	東洋大学文学部・教授
谷口　力光	名古屋大学人文学研究科・研究員
KUEMMEL, Martin Joachim	イエナ大学印欧語比較言語学・教授
PESCHL, Benedikt Thomas	ベルリン自由大学イラン学研究所・研究員
BERNARD, Chams Benoit Alex Skandar	ライデン大学言語学センター・研究員
大島　智靖	東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター・研究員
西岡　美樹	大阪大学言語文化研究科・講師
濱谷　真理子	岡山大学文明動態学研究所・講師

仏教学

菊谷　竜太	高野山大学文学部・准教授
岸野　亮示	京都薬科大学一般教育分野・講師
志賀　浄邦	京都産業大学文化学部・教授
佐藤　直実	宗教情報センター・研究員
髙橋　慶治	愛知県立大学外国語学部・教授
山口　周子	
芳原　綾子	

西洋古典学

平山　晃司	大阪大学言語文化研究科・教授
山下　修一	
西村　洋平	兵庫県立大学環境人間学研究科・准教授
広川　直幸	
勝又　泰洋	
佐藤　義尚	

スラブ語学スラブ文学

北井　聡子	大阪大学人文学研究科・准教授
中野　悠希	
田中　大	
VINOGRADOVA, Svetlana	
VLADIMIROV, Ivo	ソフィア大学スラブ学部・スラブ研究科・専任講師
SASAKI, Bogna Agnieszka	

ドイツ語学ドイツ文学

浅井　知代	
杉山　東洋	
藤田　隼風	
ポルドゥニャク　エドワルド	
BEUTTEL, Bianca	
FRANZ, Edgar Hermann	神戸市外国語大学総合文化コース・教授

英語学英文学

滝沢　直宏	立命館大学言語教育情報研究科・教授
西谷　拓哉	神戸大学大学院国際文化学研究科・教授
尾崎　俊介	愛知教育大学教育ガバナンス講座・教授
JACKSON, Lachlan Rigby	立命館大学法学部・教授
宮澤　直美	京都産業大学外国語学部・教授
メドロック　麻弥	佛教大学文学部・准教授
西谷　茉莉子	京都府立大学文学部・准教授
木島　菜菜子	同志社女子大学表象文化学部・准教授
後藤　篤	京都府立大学文学部・准教授
WROBETZ, Kevin Reay	神戸学院大学経営学部・准教授
LUDVIK, Catherine	

アメリカ文学

滝　沢　直　宏	立命館大学言語教育情報研究科・教授
西　谷　拓　哉	神戸大学大学院国際文化学研究科・教授
尾　崎　俊　介	愛知教育大学教育ガバナンス講座・教授
JACKSON, Lachlan Rigby	立命館大学法学部・教授
宮　澤　直　美	京都産業大学外国語学部・教授
メドロック　麻弥	佛教大学文学部・准教授
西　谷　茉莉子	京都府立大学文学部・准教授
木　島　菜　菜　子	同志社女子大学表象文化学部・准教授
後　藤　篤	京都府立大学文学部・准教授
WROBETZ, Kevin Reay	神戸学院大学経営学部・准教授
LUDVIK, Catherine	

フランス語学フランス文学

小　田　涼	関西学院大学文学部・教授
伊　藤　玄　吾	同志社大学グローバル地域文化学部・准教授
鵜　戸　聡	明治大学国際日本学部・専任准教授

イタリア語学イタリア文学

河　合　成　雄	神戸大学グローバル教育センター・教授
内　田　健　一	京都産業大学外国語学部・准教授
田　中　真　美	
小　西　咲　子	

哲学

大　塚　淳	ZEN大学知能情報社会学部・教授
大　西　琢　朗	立命館大学文学部・准教授
久木田　水　生	名古屋大学大学院情報研究学科・准教授
澤　田　和　範	学習院大学文学部・准教授
武　田　裕　紀	追手門学院大学共通教育機構・教授
朱　喜　哲	大阪大学社会技術共創研究センター・招へい准教授
森　元　良　太	北海道医療大学リハビリテーション科学部・全学教育推進センター・准教授
山　口　尚	

西洋古代哲学史

西　村　洋　平	兵庫県立大学環境人間学研究科・准教授
荻　原　理	東北大学文学研究科・教授

西洋中世哲学史

石　田　隆　太	同志社大学文学部・助教
関　沢　和　泉	東日本国際大学高等教育研究開発センター・教授
BROWER, Jeffrey Evan	Department of Philosophy, Purdue University・Professor
山　口　雅　広	龍谷大学文学部・准教授

西洋近世哲学史

岡　崎　龍	獨協大学外国語学部・非常勤講師
澤　田　和　範	学習院大学文学部・准教授
城　戸　淳	東北大学文学研究科・教授
松　本　直　樹	同志社女子大学学芸学部・嘱託講師

日本哲学史

城　戸　淳	東北大学文学研究科・教授
DAVIS, Bret Wingfield	Loyola University Maryland Professor & Thomas J. Higgins, S.J. Chair in Philosophy
満　原　健	奈良県立大学・非常勤講師
山　本　舜	神戸市立工業高等専門学校一般科・講師

倫理学

安　藤　馨	一橋大学大学院法学研究科・教授
永　守　伸　年	立命館大学文学部・准教授

宗教学

松　本　直　樹	同志社女子大学学芸学部・嘱託講師
笠　木　丈	甲南大学文学部・非常勤講師
DAVIS, Bret Wingfield	Loyola University Maryland Professor & Thomas J. Higgins, S.J. Chair in Philosophy
城　戸　淳	東北大学文学研究科・教授
岡　崎　龍	獨協大学外国語学部・非常勤講師

キリスト教学

岡　崎　龍	獨協大学外国語学部・非常勤講師
武　藤　慎　一	大東文化大学文学部・教授
村　上　み　か	同志社大学神学部・教授
三　輪　地　塩	同志社大学神学部・准教授
西　脇　純	西南学院大学国際文化学部・教授
西　村　一　輝	
谷　塚　巌	

美学美術史学

加須屋　明子	京都市立芸術大学美術学部・教授
足立　恵理子	
天王寺谷　千裕	
山形　美有紀	
増記　隆介	東京大学大学院人文社会系研究科・准教授

日本史学

斎木　涼子	奈良国立博物館学芸部・列品室長
小原　嘉記	京都女子大学文学部・准教授
横内　裕人	京都府立大学文学部・教授
後藤　敦史	京都橘大学文学部・准教授
佐藤　雄介	学習院大学文学部・准教授
佐々木　政文	京都先端科学大学人文学部・准教授

東洋史学

佐藤　達郎	関西学院大学文学部・教授
承　志	追手門大学文学部・教授
吉澤　誠一郎	東京大学大学院人文社会系研究科・教授

西南アジア史学

伊藤　隆郎	神戸大学大学院人文学研究科・准教授
今松　泰	
杉山　雅樹	京都外国語大学共通教育機構・准教授
髙松　洋一	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・教授
仲尾　周一郎	大阪大学人文学研究科・准教授
法貴　遊	

西洋史学

後藤　敦史	京都橘大学文学部・准教授
小山　啓子	神戸大学人文学研究科・教授
佐々木　博光	大阪公立大学現代システム科学研究科・准教授
田野　大輔	甲南大学文学部・教授
辻河　典子	近畿大学文芸学部・准教授
林田　敏子	奈良女子大学生活環境学部・教授
福田　耕佑	
山口　育人	奈良大学文学部・教授
DUBBINI,Rachele	フェラーラ大学人文学部・准教授

考古学

山本　雅和	京都産業大学文化学部・特任教授
長友　朋子	立命館大学文学部・教授
溝口　孝司	九州大学大学院比較社会文化研究院・教授

心理学

関　義正	愛知大学文学部心理学科・教授
中島　優	
山本　希	
渡部　綾一	

言語学

浅尾　仁彦	国立研究開発法人情報通信研究機構データ駆動知能システム研究センター・主任研究技術員
MORITA, Emma Simona	近畿大学国際学部国際学科・教授
荻原　裕敏	龍谷大学古典籍文化財デジタルアーカイブ研究センター・博士研究員
大﨑　紀子	
鈴木　博之	国立民族学博物館・プロジェクト研究員
仲尾　周一郎	大阪大学人文学研究科・准教授
宮本　陽一	大阪大学人文学研究科・教授
山本　武史	大阪大学人文学研究科・教授

社会学

蘆田　裕史	京都精華大学デザイン学部・准教授
飯田　豊	立命館大学産業社会学部・教授
伊藤　理史	京都産業大学現代社会学部・准教授
井上　明人	立命館大学映像学部・准教授
梅原　喜政	摂南大学経営学部・講師
岡崎　宏樹	神戸学院大学現代社会学部・教授
岡本　健	近畿大学総合文化研究科・教授
坂本　一磨	公立小松大学生産システム科学部・助教
瀧川　裕貴	東京大学大学院人文社会系研究科・准教授
田野　大輔	甲南大学文学部・教授
中村　健二	大阪経済大学情報社会学部・教授
濱　貴子	関西大学社会学部・准教授
村上　あかね	桃山学院大学社会学部・教授
山本　耕平	国際経済労働研究所労働政治研究事業部・研究員

地理学

河原　典史	立命館大学文学部・教授
桐村　喬	京都産業大学文化学部・准教授
鈴木　康弘	名古屋大学減災連携研究センター・教授
寺床　幸雄	立命館大学文学部・准教授
水野　真彦	大阪公立大学現代システム科学研究科・教授
渡辺　和之	阪南大学国際学部・准教授

科学哲学科学史

久木田水生	名古屋大学大学院情報研究学科・准教授
武田　裕紀	追手門学院大学共通教育機構・教授
森元　良太	北海道医療大学リハビリテーション科学部・全学教育推進センター・准教授

メディア文化学

飯田　豊	立命館大学産業社会学部・教授
岡崎　宏樹	神戸学院大学現代社会学部・教授
岡本　健	近畿大学総合文化研究科・教授
田野　大輔	甲南大学文学部・教授
中村　健二	大阪経済大学情報社会学部・教授
松田　利彦	国際日本文化研究センター・教授
蘆田　裕史	京都精華大学デザイン学部・准教授
伊藤　遊	京都精華大学国際マンガ研究センター・特任准教授
井上　明人	立命館大学映像学部・准教授
高橋　幸平	同志社女子大学表象文化学部・准教授
谷口　文和	京都精華大学メディア表現学部・准教授
濱　貴子	関西大学社会学部・准教授
山本　昭宏	神戸市外国語大学外国語学部・准教授
梅原　喜政	摂南大学経営学部・講師
坂本　一磨	公立小松大学生産システム科学部・助教
想田　和弘	映画作家
福田　耕佑	

現代史学

林田　敏子	奈良女子大学生活環境学部・教授
松田　利彦	国際日本文化研究センター・教授
山口　育人	奈良大学文学部・教授
吉澤　誠一郎	東京大学大学院人文社会系研究科・教授
佐々木政文	京都先端科学大学人文学部・准教授
辻河　典子	近畿大学文芸学部・准教授
濱　貴子	関西大学社会学部・准教授

文化越境

岡本　健	近畿大学総合文化研究科・教授
蘆田　裕史	京都精華大学デザイン学部・准教授
伊藤　遊	京都精華大学国際マンガ研究センター・特任准教授
井上　明人	立命館大学映像学部・准教授
ROTH, Martin Erwin	立命館大学先端総合学術研究科・准教授
RODE-KAYA, Katharina Suzanne	Heidelberg University Institute of East Asian Art History・Assistant Professor
想田　和弘	映画作家
CHOI, Jung Bong	韓国経済新聞・評論家
KOCHHAR GEORGE, Che Singh	リサーチコンサルタント
KIM, Suhyun	
WIRTZ, Fernando Gustavo	

基礎現代文化学系共通科目

伊藤　隆郎	神戸大学大学院人文学研究科・准教授
福田　耕佑	

情報基礎演習［文学部］

大浦　真	

書道

万殿　伸昭	京都市立奏和高等学校・教諭

博物館学Ⅰ・Ⅱ

松岡　久美子	近畿大学文芸学部・教授

博物館学 Ⅲ

竹下　繭子	京都国立博物館学芸部・主任研究員

サンスクリット語（２時間コース）

山　口　　周　子

ヒンディー語（初級）

濱　谷　　真　理　子　　岡山大学文明動態学研究所・講師

ヒンディー語　（中級Ⅰ・Ⅱ）

西　岡　　美　樹　　大阪大学言語文化研究科・講師

チベット語（初級）

髙　橋　　慶　治　　愛知県立大学外国語学部・教授

ギリシア語（初級Ⅰ・Ⅱ）

西　村　　洋　平　　兵庫県立大学環境人間学研究科・准教授

ギリシア語（４時間コース）

広　川　　直　幸

ラテン語（初級Ⅰ・Ⅱ）

勝　又　　泰　洋

ラテン語（４時間コース）

佐　藤　　義　尚

ポーランド語（初級Ⅰ・中級Ⅱ）

SASAKI,
Bogna Agnieszka

チェコ語（初級・中級）

田　　中　　大

ブルガリア語（初級・中級）

古教会スラヴ語（初級・中級）

VLADIMIROV,Ivo　　ソフィア大学スラブ学部・スラブ研究科・専任講師

イタリア語（初級４時間コース）Ⅰ・Ⅱ

田　中　　真　美

スペイン語（初級Ⅰ・Ⅱ，中級Ⅰ・Ⅱ）

小　西　　咲　子

ヘブライ語（初級・中級）

武　藤　　慎　一　　大東文化大学文学部・教授

イラン語（初級）

杉　山　　雅　樹　　京都外国語大学共通教育機構・准教授

アラブ語（初級）Ⅰ・Ⅱ

仲　尾　　周　一　郎　　大阪大学人文学研究科・准教授

スワヒリ語（初級・中級）

井　戸　根　　綾　子

朝鮮語（初級Ａ・Ｂ）

杉　　山　　豊　　京都産業大学外国語学部・教授

朝鮮語（中級Ａ・Ｂ）

朴　　真　　完　　京都産業大学外国語学部・教授

満洲語（初級）

松　岡　　雄　太　　関西大学外国語学部・教授

シュメール語（初級Ⅰ・Ⅱ）

森　　若　　葉　　国士舘大学イラク古代文化研究所・特別研究員

インドネシア語Ⅰ・Ⅱ（初級）

柏　村　　彰　夫　　アジア・アフリカ地域研究研究科・非常勤講師

タイ語Ⅰ・Ⅱ（初級）

弓　庭　　育　子　　アジア・アフリカ地域研究研究科・非常勤講師

ビルマ（ミャンマー）語Ⅰ（初級）

本　行　　沙　織　　アジア・アフリカ地域研究研究科・非常勤講師

ベトナム語Ⅰ・Ⅱ（初級）

吉　本　　康　子　　立命館大学政策科学部・助教

学 内 教 員

国語学国文学

須田 千里	人間・環境学研究科・教授
佐野 宏	人間・環境学研究科・教授
長谷川 千尋	人間・環境学研究科・教授

中国語学中国文学

池田 巧	人文科学研究所・教授
井口 千雪	人文科学研究所・准教授
永田 知之	人文科学研究所・准教授
野原 将揮	人文科学研究所・准教授
楊 維公	人文科学研究所・助教
松江 崇	人間・環境学研究科・教授
津守 陽	人間・環境学研究科・准教授

中国哲学史

船山 徹	人文科学研究所・教授
古勝 隆一	人文科学研究所・教授
倉本 尚徳	人文科学研究所・准教授
永田 知之	人文科学研究所・准教授
福谷 彬	人間・環境学研究科・准教授

仏教学

船山 徹	人文科学研究所・教授
倉本 尚徳	人文科学研究所・准教授
熊谷 誠慈	人と社会の未来研究院・教授
DEROCHE, Marc-Henri Jean	総合生存学館・准教授

スラブ語学スラブ文学

帯谷 知可	東南アジア地域研究研究所・教授
堀口 大樹	人間・環境学研究科・准教授
伊藤 順二	人文科学研究所・准教授
森谷 理紗	人文科学研究所・特定准教授
FEDOROVA, Anastasia	白眉センター・特定准教授

ドイツ語学ドイツ文学

河崎 靖	人間・環境学研究科・教授
細見 和之	人間・環境学研究科・教授
浅井 佑太	人文科学研究所・准教授

英語学英文学

谷口 一美	人間・環境学研究科・教授

アメリカ文学

谷口 一美	人間・環境学研究科・教授

フランス語学フランス文学

森本 淳生	人文科学研究所・教授
守田 貴弘	人間・環境学研究科・教授
中筋 朋	人間・環境学研究科・准教授
菅原 百合絵	人文科学研究所・准教授
藤野 志織	人文科学研究所・助教

イタリア語学イタリア文学

霜田 洋祐	人間・環境学研究科・准教授

倫理学

佐藤 義之	人間・環境学研究科・教授

宗教学

安部 浩	人間・環境学研究科・教授

美学美術史学

稲本　泰生	人文科学研究所・教授
浅井　佑太	人文科学研究所・准教授
呉　孟晋	人文科学研究所・准教授
武田　宙也	人間・環境学研究科・教授
髙井　たかね	人文科学研究所・助教

日本史学

吉江　崇	人間・環境学研究科・教授
熊谷　隆之	人間・環境学研究科・教授
岩城　卓二	人文科学研究所・教授
岩﨑　奈緒子	総合博物館・教授
福家　崇洋	人文科学研究所・准教授

東洋史学

辻　正博	人間・環境学研究科・教授
太田　出	人間・環境学研究科・教授
小野寺　史郎	人間・環境学研究科・教授
石川　禎浩	人文科学研究所・教授
矢木　毅	人文科学研究所・教授
宮宅　潔	人文科学研究所・教授
古松　崇志	人文科学研究所・教授
村上　衛	人文科学研究所・教授

西南アジア史学

帯谷　知可	東南アジア地域研究研究所・教授
東長　靖	アジア・アフリカ地域研究研究科・教授
中西　竜也	人文科学研究所・准教授
山口　元樹	アジア・アフリカ地域研究研究科・准教授

西洋史学

佐藤　公美	人間・環境学研究科・教授
福元　健之	人間・環境学研究科・准教授
小関　隆	人文科学研究所・教授
伊藤　順二	人文科学研究所・准教授
菅原　百合絵	人文科学研究所・准教授
藤原　辰史	人文科学研究所・准教授
Patrick Vierthaler	人文科学研究所・助教

考古学

中川　尚史	理学研究科・教授
中務　真人	理学研究科・教授
村上　由美子	総合博物館・教授
FORTE, Erika Angela	人文科学研究所・教授
向井　佑介	人文科学研究所・准教授

心理学

大倉　得史	人間・環境学研究科・教授
齋木　潤	人間・環境学研究科・教授
月浦　崇	人間・環境学研究科・教授
永田　素彦	人間・環境学研究科・教授
船曳　康子	人間・環境学研究科・教授
TAJAN, Nicolas Pierre	人間・環境学研究科・准教授
山本　洋紀	人間・環境学研究科・助教
MANALO, Emmanuel	教育学研究科・教授
齊藤　智	教育学研究科・教授
松下　姫歌	教育学研究科・教授
明和　政子	教育学研究科・教授
明地　洋典	教育学研究科・准教授
梅村　高太郎	教育学研究科・准教授
田口　真奈	教育学研究科・准教授
野村　理朗	教育学研究科・准教授
清重　英矩	教育学研究科・特定助教
熊田　孝恒	情報学研究所・教授
西田　眞也	情報学研究所・教授
神谷　之康	情報学研究所・教授
佐藤　弥	情報学研究科・連携教授
後藤　幸織	情報学研究科・准教授
中島　亮一	情報学研究科・准教授
三好　清文	情報学研究科・助教
阿部　修士	人と社会の未来研究院・教授
内田　由紀子	人と社会の未来研究院・教授
山本　真也	人と社会の未来研究院・教授
上田　祥行	人と社会の未来研究院・准教授
鈴木　優佳	人と社会の未来研究院・特定助教
髙橋　雄介	国際高等教育院・准教授
平田　聡	野生動物研究センター・教授

言語学

谷口　一美	人間・環境学研究科・教授
野原　将揮	人文科学研究所・准教授
パリハワダナルチラ	国際高等教育院・教授
堀口　大樹	人間・環境学研究科・准教授
守田　貴弘	人間・環境学研究科・教授
安岡　孝一	人文科学研究所・教授
横森　大輔	国際高等教育院・准教授

社会学

岡邊　健	教育学研究科・教授
坂梨　健太	農学研究科・准教授
柴田　悠	人間・環境学研究科・教授
菅原　百合絵	人文科学研究所・准教授
藤間　公太	教育学研究科・准教授
直野　章子	人文科学研究所・教授
朴　沙羅	人間・環境学研究科・准教授
原山　浩介	農学研究科・教授
福間　良明	教育学研究科・教授
宮　紀子	人文科学研究所・助教

地理学

大山　修一	アジア・アフリカ地域研究研究科・教授
塩谷　暁代	アジア・アフリカ地域研究研究科・特定助教
小島　泰雄	人間・環境学研究科・教授
山村　亜希	地球環境学堂・教授
松四　雄騎	防災研究所・教授

科学哲学科学史

瀬戸口　明久	人文科学研究所・准教授
平岡　隆二	人文科学研究所・准教授
藤原　辰史	人文科学研究所・准教授

メディア文化学

石川　禎浩	人文科学研究所・教授
村上　衛	人文科学研究所・教授
風間　計博	人間・環境学研究科・教授
須田　千里	人間・環境学研究科・教授
岩谷　彩子	国際高等教育院・教授
木下　千花	国際高等教育院・教授
藤原　辰史	人文科学研究所・准教授
仁井田　千絵	人間・環境学研究科・准教授
藤間　公太	教育学研究科・准教授
梶丸　岳	人間・環境学研究科・助教

現代史学

石川　禎浩	人文科学研究所・教授
小関　隆	人文科学研究所・教授
村上　衛	人文科学研究所・教授
小野寺　史郎	人間・環境学研究科・教授
駒込　武	教育学研究科・教授
西山　伸	大学文書館・教授
帯谷　知可	東南アジア地域研究研究所・教授
伊藤　順二	人文科学研究所・准教授
小堀　聡	人文科学研究所・准教授
福家　崇洋	人文科学研究所・准教授
藤原　辰史	人文科学研究所・准教授
福元　健之	人間・環境学研究科・准教授
山口　元樹	アジア・アフリカ地域研究研究科・准教授
Patrick Vierthaler	人文科学研究所・助教

基礎現代文化学系共通科目

伊藤　順二	人文科学研究所・准教授
菅原　百合絵	人文科学研究所・准教授
Patrick Vierthaler	人文科学研究所・助教
宮　紀子	人文科学研究所・助教

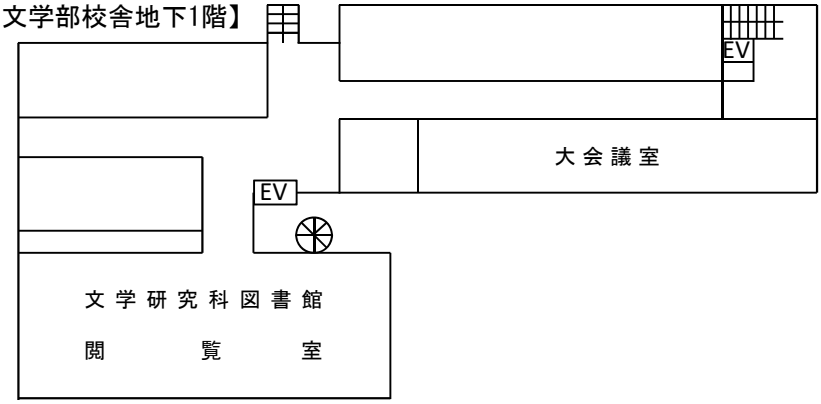
文化越境

佐野　真由子	教育学研究科・教授
河合　淳子	国際高等教育院・教授
湯川　志貴子	国際高等教育院・准教授
FORTE, Erika Angela	人文科学研究所・教授
FEDOROVA, Anastasia	白眉センター・特定准教授

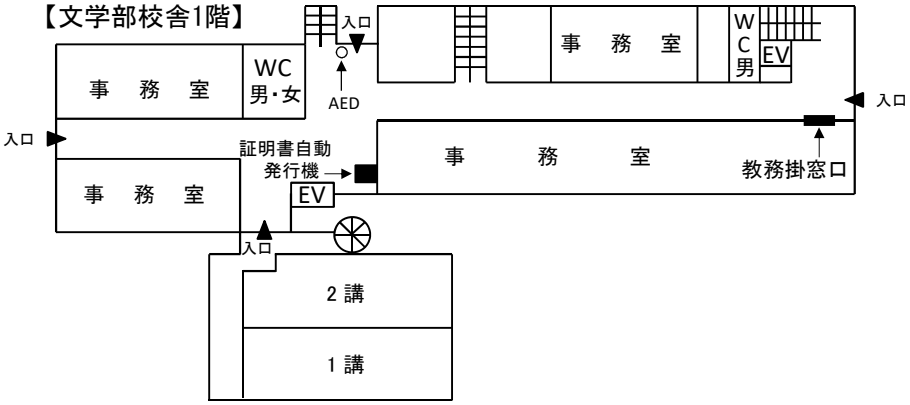
2. 建物配置図

←京阪出町柳駅
百万遍交差点
北西門
今出川通
N
総合研究1号館・
プロジェクトラボ
総合体育館
総合研究2号館
人文科学研究所本館・
総合研究4号館
総合研究
3号館
文系学部校舎
総合研究9号館
西門
総合博物館
陳列館
文学部校舎
文学部東館
西部生協会館「ルネ」
（ショップ/カフェテリア）
法経済学部
北館
文学部
校舎
教育学部本館
法経済学部
東館
総合研究10号館
（奨学掛）
法経済学部本館
東大路通
附属図書館
総合研究8号館
（中央生協食堂）
古文書演習室→陳列館2階206
古文書実習室→総合博物館3階西
考古学演習室→陳列館2階西201
考古学実習室→総合研究2号館1階南東
英米文学研究室1, 2→総合研究2号館1階南東
社会学共同研究室→文学部校舎5階521
地理学実習室→文学部校舎6階612
（地理学研究室の向い）
国際交流推進室→文学部校舎1階
先輩相談室→文系学部校舎2階L208
文学部・文学研究科相談室→総合研究2号館236
百周年時計台記念館
（生協購買部, カフェ）
教育推進・学生支援部棟
・学生相談センター
・キャリアサポートセンター
・障害学生支援部門（DRC）
（学生課）（厚生課）
本部棟
カフェレストラン
健康管理室「カンフォーラ」
正門
（本部キャンパス）
東一条通
正門
（吉田南キャンパス）
北門
グラウンド
吉田南
1号館
総合人間
学部棟
吉田南総合館
（北棟）
（東棟）
（西棟）
国際高等教育院棟
（全学共通科目
学生窓口）
（教務企画課）
（国際教育交流課）
西門
（南棟）
生協吉田食堂
大学院
人間・環境学研究科棟
吉田南総合図書館
吉田国際交流会館
国際交流サービスオフィス
京大生協本部
学術情報メディア
センター（南館）

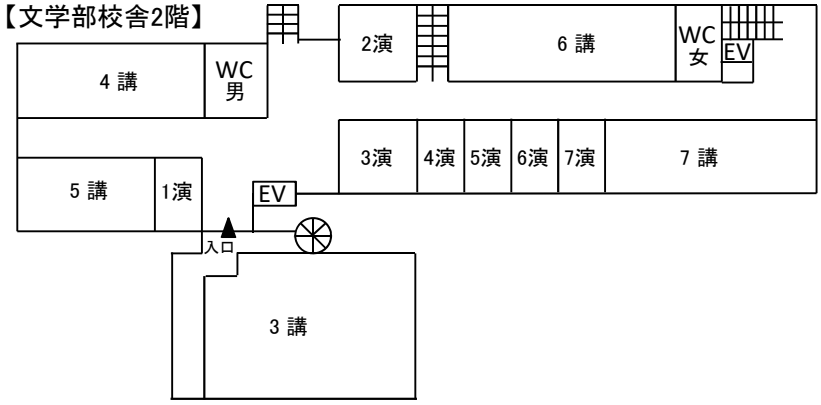
【文学部校舎地下1階】



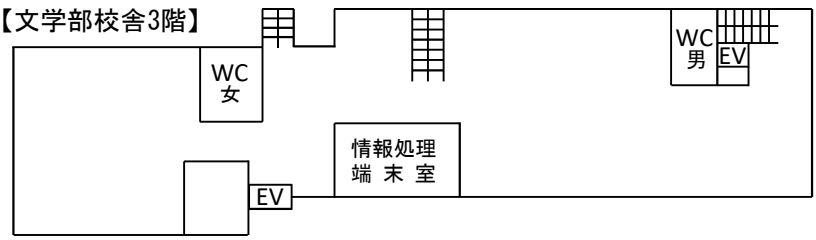
【文学部校舎1階】

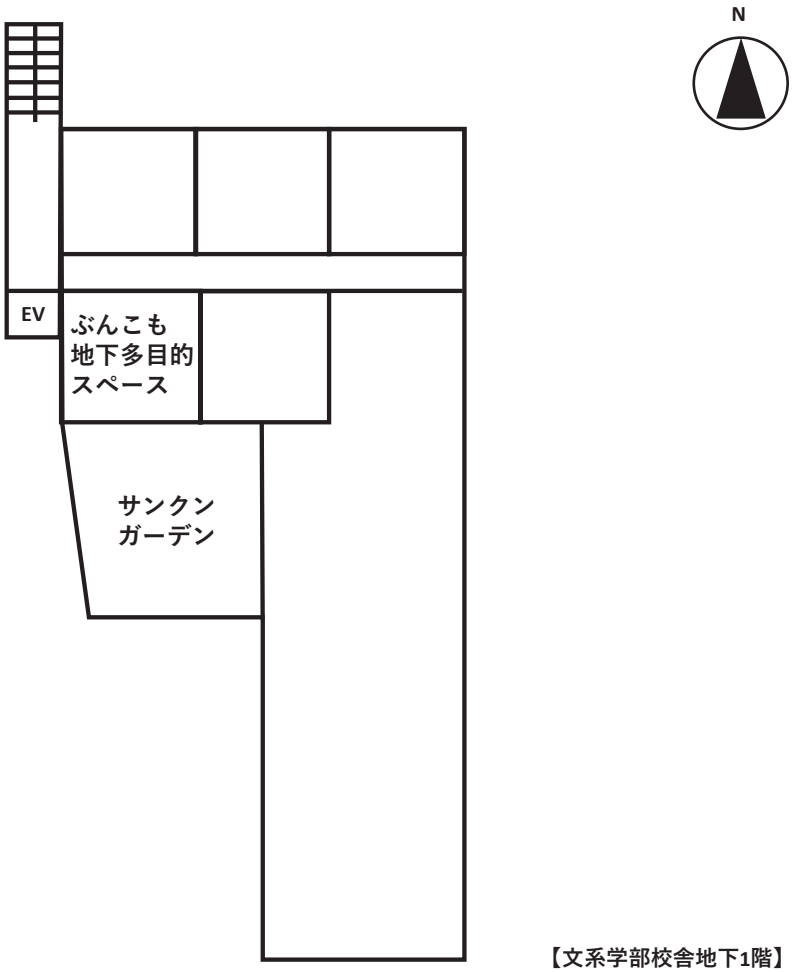


【文学部校舎2階】

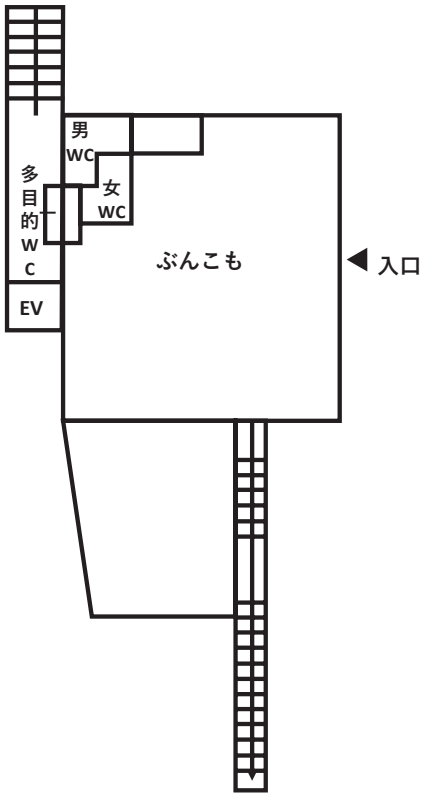


【文学部校舎3階】

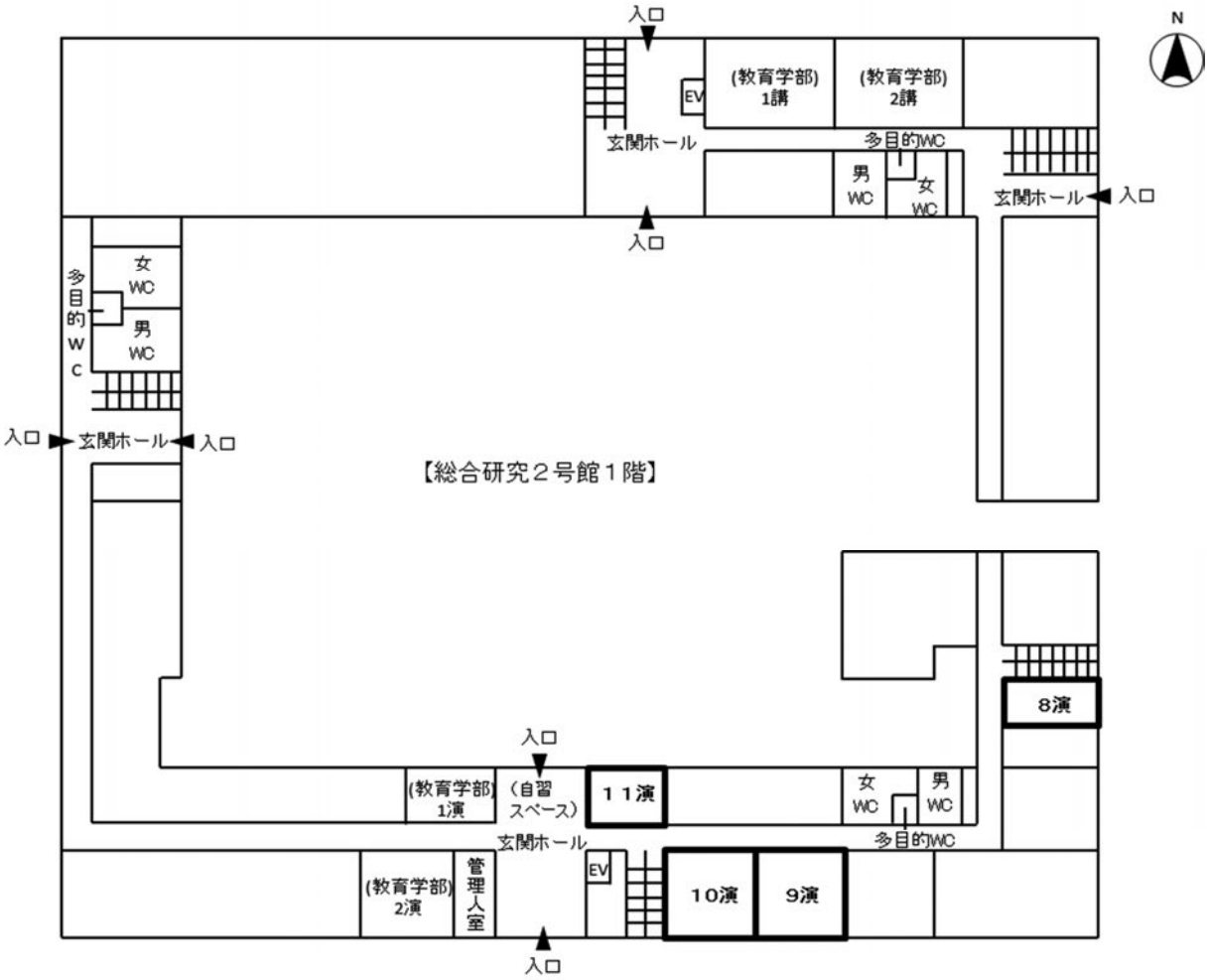


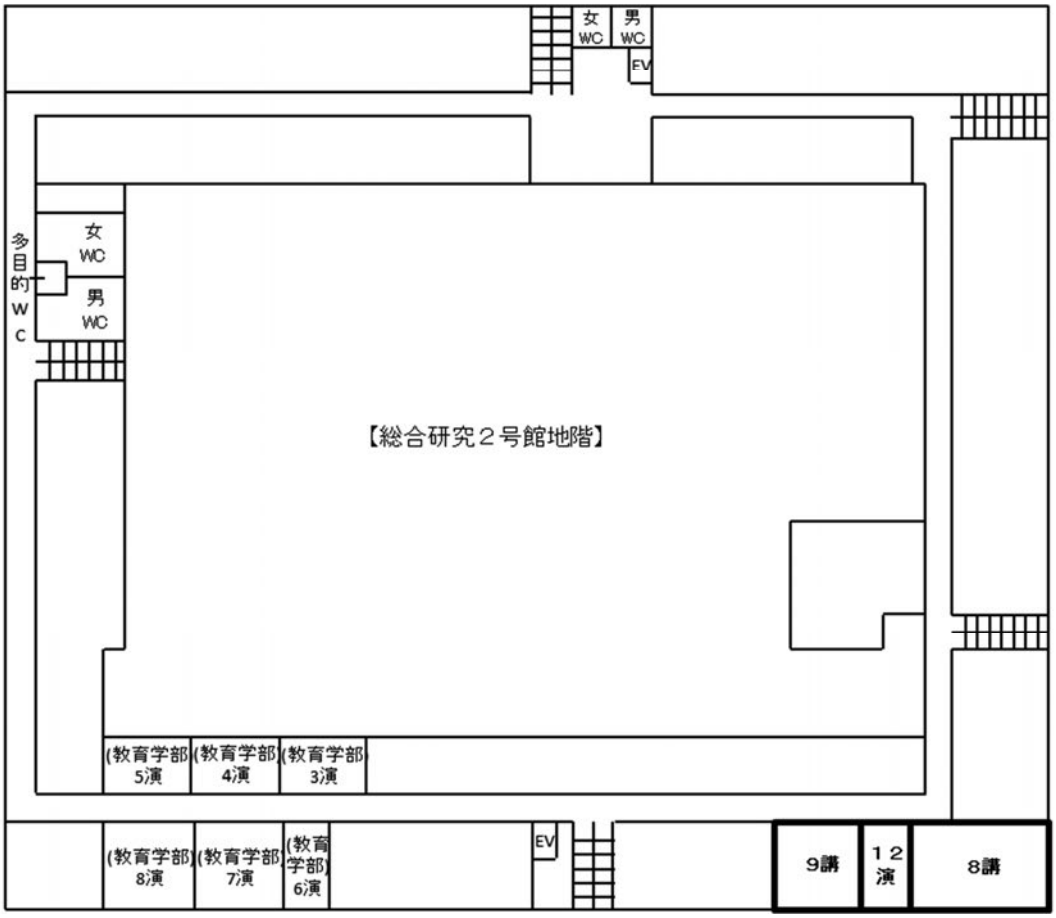


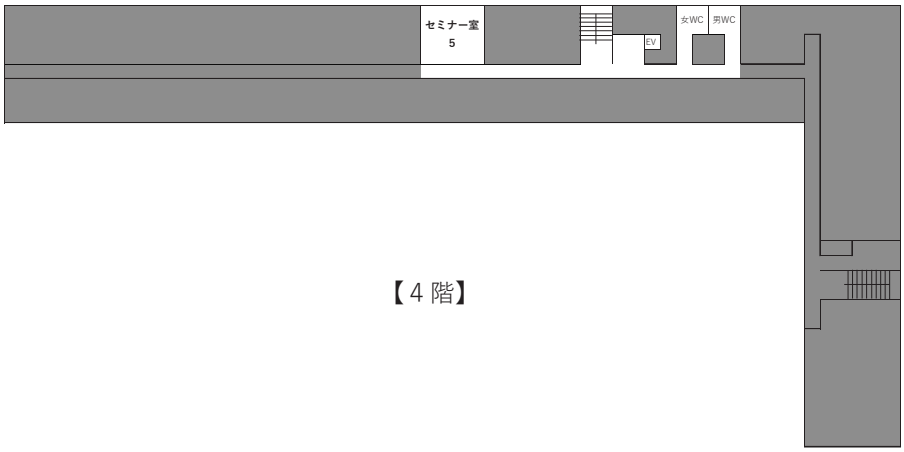
【文系学部校舎地下1階】



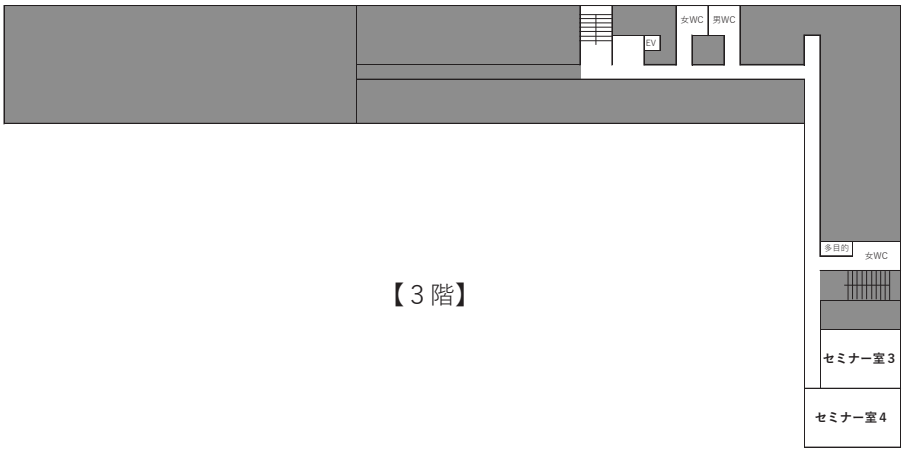
【文系学部校舎1階】


入口
N
(教育学部)
1講
(教育学部)
2講
EV
玄関ホール
多目的WC
男
WC
女
WC
玄関ホール
入口
入口
多目的
WC
女
WC
男
WC
入口
玄関ホール
入口
【総合研究２号館１階】
8演
入口
(教育学部)
1演
(自習
スペース)
１１演
女
WC
男
WC
多目的WC
玄関ホール
(教育学部)
2演
管理
人室
EV
10演
9演
入口

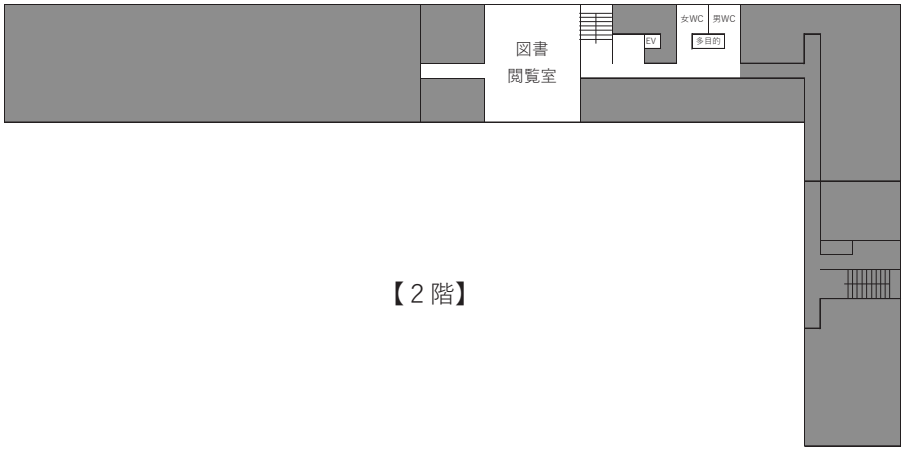

女
WC
男
WC
EV
多目的
WC
女
WC
男
WC
【総合研究２号館地階】
(教育学部)
5演
(教育学部)
4演
(教育学部)
3演
(教育学部)
8演
(教育学部)
7演
(教育
学部)
6演
EV
9講
１２
演
8講



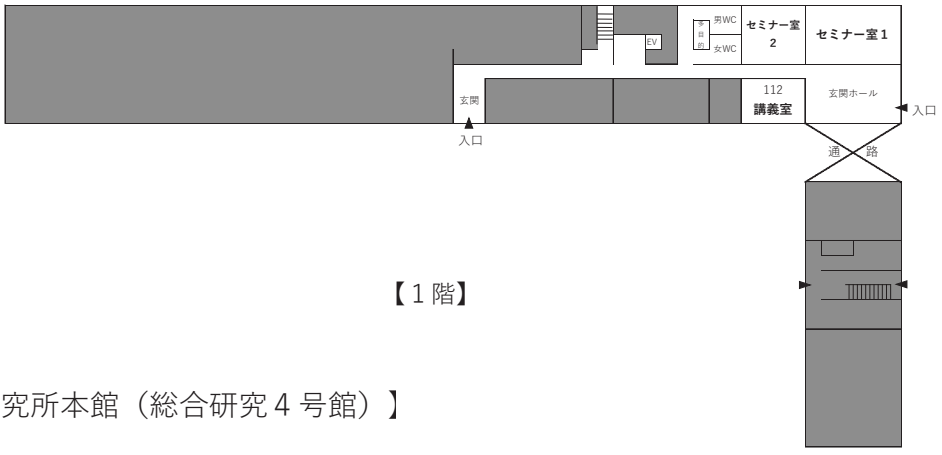
【4階】



【3階】



【2階】



【1階】

【人文科学研究所本館（総合研究4号館）】

３．講義室設備一覧

館	教室	略称	収容人員		設　　備
			講義	試験	
文学部校舎	第１講義室	１講	72	48	M，提，S，D，プ
	第２講義室	２講	72	48	M，提，S，D，プ
	第３講義室	３講	180	90	M，提，S，D，プ
	第４講義室	４講	63	36	M，提，S，D，プ
	第５講義室	５講	42	27	提，D，S，プ
	第６講義室	６講	83	49	M，提，S，D，プ
	第７講義室	７講	94	48	M，提，S，D，プ
	第１演習室	１演	18		長机６，イス 18
	第２演習室	２演	38		机(3人掛)8，机(2人掛)4，イス 32，長イス３，S，プ
	第３演習室	３演	34		長机６，長イス８，イス 18，S，プ
	第４演習室	４演	18		長机６，イス 18
	第５演習室	５演	18		長机６，イス 18
	第６演習室	６演	18		長机６，イス 18
	第７演習室	７演	18		長机６，イス 18，S
総合研究２号館	第８講義室	８講	87	58	M，提，D，世，S，プ
	第９講義室	９講	40		机(3人掛)10，机(2人掛)5，イス 40，M，提，S，D，プ
	第８演習室	８演	15		長机５，イス 15
	第９演習室	９演	33		長机８，イス 33（24＋机なし９），提，S，プ
	第 10 演習室	10 演	39		長机６，イス 39（18＋机なし 21），提，S，プ
	第 11 演習室	11 演	18		長机６，イス 18，S
	第 12 演習室	12 演	18		長机６，イス 18，ディスプレイ

※設備略称：Mーマイク，提ー提示装置(OHC)，世ー世界ビデオ，DーDVD，Sースクリーン，プープロジェクター

※全教室で無線 LAN 接続可能（KUINS-Air)。接続には SPS-ID もしくは ECS-ID が必要です。

4．連　絡　先

京都大学大学院文学研究科

京都大学文学部

〒606－8501　京都市左京区吉田本町

TEL　075－753－(内線番号)

事務室（内線番号）

教 務 掛

学　部（2709，2809，2864，2472）

大学院（2710，4903，2857）

FAX　075－753－2831

図 書 掛　（2715，カウンター2849，学術雑誌閲覧室 2461）

国際交流推進室　（2734）

総 務 掛　（2700）

各研究室の内線番号・場所

〈場所略称〉文－文学部校舎，文系－文系学部校舎，総合－総合研究 2 号館

専修	内線番号	場所	専修	内線番号	場所
国語学国文学	2824	文7階 北　717	宗 教 学	2839	文8階 北　813
中国語学中国文学	2825	文7階 北　711	キリスト教学	2757	文8階 北　811
中国哲学史	2755	文6階 南　630	美学美術史学	2752	文4階 北　417
インド古典学	2756・2866	文5階 南　526・528	日本史学	2789	総合1階 北
仏 教 学	2756・2866	文5階 南　526・528	東洋史学	2790	総合2階 南東
西洋古典学	2867	文6階 南　628	西南アジア史学	2830	総合2階 北
スラブ語学スラブ文学	2868	文7階 北　723	西洋史学	2791	総合2階 南
ドイツ語学ドイツ文学	2826	文7階 南　730	考 古 学	2794・2795	総合1階 東南
英語学英米文学	2828・2447	総合1階 南東	心 理 学	2753	文3階 南　320
フランス語学フランス文学	2829	文8階 南　828・830	言 語 学	2827	文4階 南　416
イタリア語学イタリア文学	2774	文6階 南　626	社 会 学	2758・2749	文5階 北　517・521
哲　　学	2754	総合2階 北	地 理 学	2793	文6階 北　617
西洋古代哲学史	2733	総合2階 南	現代文化学系	2792	文8階 北　819
西洋中世哲学史	2443	総合2階 南	現代文化学系Ⅱ（分室）	2475	文8階 南　814
西洋近世哲学史	2444	総合2階 南	メディア文化学		文系2階 南　202
日本哲学史	2869	文8階 南　812	文化越境	2822	文5階 南　524
倫 理 学	2440	文8階 北　817			

5．京大以文会規約

京大以文会は1933年に誕生し、1955年に現在の同窓会組織として再出発しました。在学生は、学部生・院生ともに、みなさん正会員となります。これは在学生と同窓生のつながりをつよめ、両者がともに構成する文学部・文学研究科という共同体のさらなる発展をはかるためです。

4月に入学予定の新入生に対しては、以文会の入会案内を送り、標準修学期間（学部4年、修士2年、博士3年）の会費全額を前納していただくようお願いします。在学生に対するサービスは、毎年発行している会誌『以文』の提供、卒業・修了懇親会の開催などのほか、各界で活躍する卒業生と懇談できる機会である「先輩たちの就職リアルトーク」の実施への協力、あるいは就職活動を希望する在学生による「OB・OG訪問」の仲介などの学生支援サービスをいっそう充実させ、在学生から好評を得ております。

■京大以文会規約

第一章　総則

第一条　本会は京大以文会と称し、会員相互の交流と親睦を図るとともに、京都大学文学部・文学研究科の発展に資することを目的とする。

第二条　本会は本部を京都大学文学部・文学研究科内におく。

第二章　会員

第三条　左の者を会員とする。

一、京都大学文学部卒業生ならびに文学研究科の課程を修了した者。

二、京都大学文学部・文学研究科学生。

三、京都大学文学部・文学研究科教員ならびに元教員。

四、本学関係者で本会評議員会において適当と認めた者。

第三章　会費

第四条　会費は年額二千円とする。

第五条　京都大学文学部・文学研究科学生は、入学あるいは進学時に、左の要領で、それぞれの標準修学期間の年会費全額を前納するものとする。

一、文学部学生は八千円

二、文学部学士入学による編入生は四千円

三、修士課程学生は四千円

四、博士課程学生は六千円

ただし、退学者および他学部転出者には、未修学期間の年会費分を、申し出に応じて返納する。

第六条　七十五歳以上の会員は会費を免除する。

第四章　事業及び会計

第七条　本会は左の事業を行う。

一、会報の発行

二、親睦会、講演会等の開催

三、会員名簿の管理

四、京都大学文学部・文学研究科学生への支援

五、京都大学文学部・文学研究科の発展のための寄附受け入れ等の斡旋

六、そのほか評議員会が必要と認める事業

第八条　本会の経費は会費及び寄附金を以てあてる。

第九条　会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終わる。

第五章　支部

第十条　都道府県単位に支部を設けることができる。但し複数の都道府県にまたがる支部の設置を妨げな

い。
第十一条　支部は評議員会の承認を得て各自規約をつくることができる。

第六章　役員及び職員

第十二条　本会に左の役員をおき任期を二ヶ年とする。但し重任を妨げない。
一、会長　　一名
二、評議員　若干名
三、理事　　若干名
四、監事　　二名
第十三条　本会に名誉会長をおき、文学部長・文学研究科長をこれにあてる。
第十四条　会長は評議員の互選とする。会長は本会を代表して会務を総理する。会長は評議員会ならびに理事会を招集して議長となる。
第十五条　監事は評議員会において本会会員のなかから選出する。監事は本会の会計及び会務の執行を監督する。
第十六条　本会に本部会務担当の職員一名をおく。

第七章　評議員会

第十七条　評議員は左の三グループごとに互選する。
一、文学部・文学研究科教員
二、支部
三、文学部・文学研究科学生
第十八条　前条に定める者のほか、必要に応じ会長は本会会員のなかから評議員を指名することができる。
第十九条　評議員は評議員会を構成して本会の運営及び事業の実施に係わる重要事項を審議・議決する。評議員会の定足数は二分の一とする。議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。
第二十条　評議員会は年に一回会員に会務の報告を行う。

第八章　理事会及び委員会

第二十一条　理事は評議員の互選とし、評議員会が指名する。但し必要に応じ評議員会は評議員以外の本会会員のなかから理事を指名することができる。
第二十二条　理事は理事会を構成して事業の企画・推進を行う。理事会のなかに、総務・会計・会報・広報担当の理事を各一名おく。理事会の定足数は二分の一とする。議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。
第二十三条　会長は複数の評議員で構成される委員会に、個別事項の審議・企画・実施を委託することができる。

第九章　本会規約の改定

第二十四条　この規約は評議員会の議決により改定することができる。

附則

この規約は二〇一三年四月一日から施行する。

2025　京都大学大学院文学研究科　京都大学文学部